

松阪市 市民意識調査

【結果報告書】

令和4年11月

松阪市

目次

I	調査の概要	1
	1. 調査目的	2
	2. 調査概要	2
	3. 報告書における図表の見方	3
	4. 標本誤差	3
II	調査結果	5
	ご自身のこと及び松阪市のまちづくりについて	
	ご自身のことについて	6
	市政全般等について	26
	松阪市の個々の課題	
	1. 広報全般について	55
	2. アフターコロナの重点的施策について	65
	3. シビックプライド(松阪というまちを愛し、誇りに思う心)について	68
	4. 各種手続きのオンライン化について	69
	5. 公民連携事業について	74
	6. カーボンニュートラルについて	79
	7. 福祉の重層的支援体制について	91
	8. 終活及び死後事務の心配について	101
	9. 観光施策について	107
	10. 医療に対する意識について	121
	11. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について	129
III	自由記述	131
IV	調査票	159

I 調査の概要

1. 調査目的

松阪市の市政運営の基礎資料とするため、アンケート調査を行い、市民の市政に対する意識や要望を調査、把握するために実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

(2) 調査対象

市内にお住まいの15歳以上の方

(3) 調査時期

令和4年8月16日～令和4年9月5日

(4) 調査方法

無作為に抽出した3,000人の市民に対し郵送にて調査票を送付

郵送による調査票の返送およびWEB回答により調査を実施

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
令和4年度(今回)	3,000	1,440	48.0	1,437	47.9
郵送回答		1,054		1,052	
WEB回答		386		385	
令和3年度(前回)	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
令和元年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
平成29年度	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成27年度	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年度	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2

※有効回収数:回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N：母集団数（調査の対象となる集団の総数）
n：サンプル数（有効回答数）
P：回答比率（ある選択肢の回答割合）

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

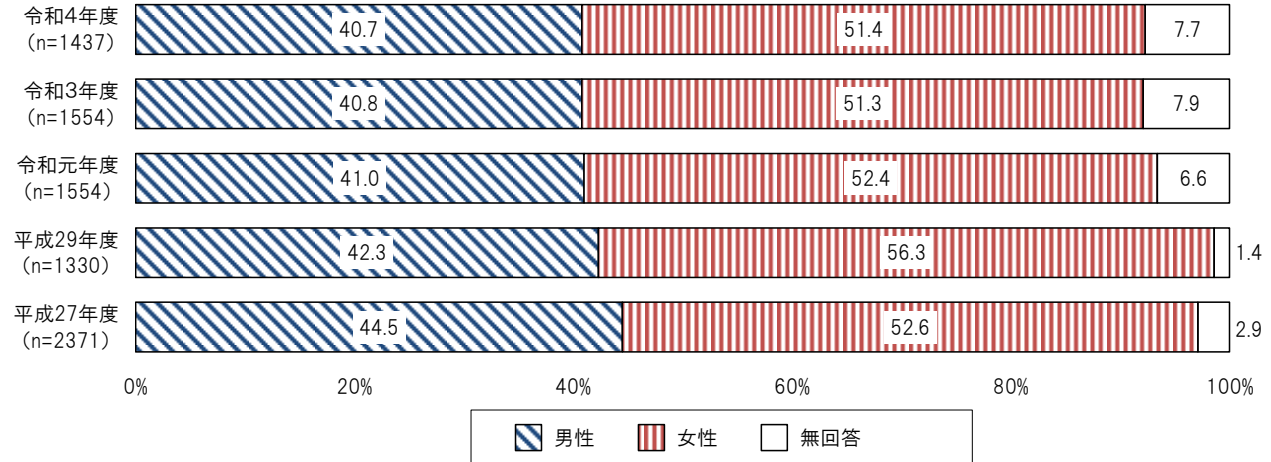
(1) 松阪市市民意識調査（N=159, 611）令和4年8月1日現在の住民基本台帳人口

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,437(全数)	±1.54%	±2.06%	±2.36%	±2.52%	±2.57%
585(男性)	±2.42%	±3.23%	±3.70%	±3.95%	±4.04%
739(女性)	±2.15%	±2.87%	±3.29%	±3.52%	±3.59%

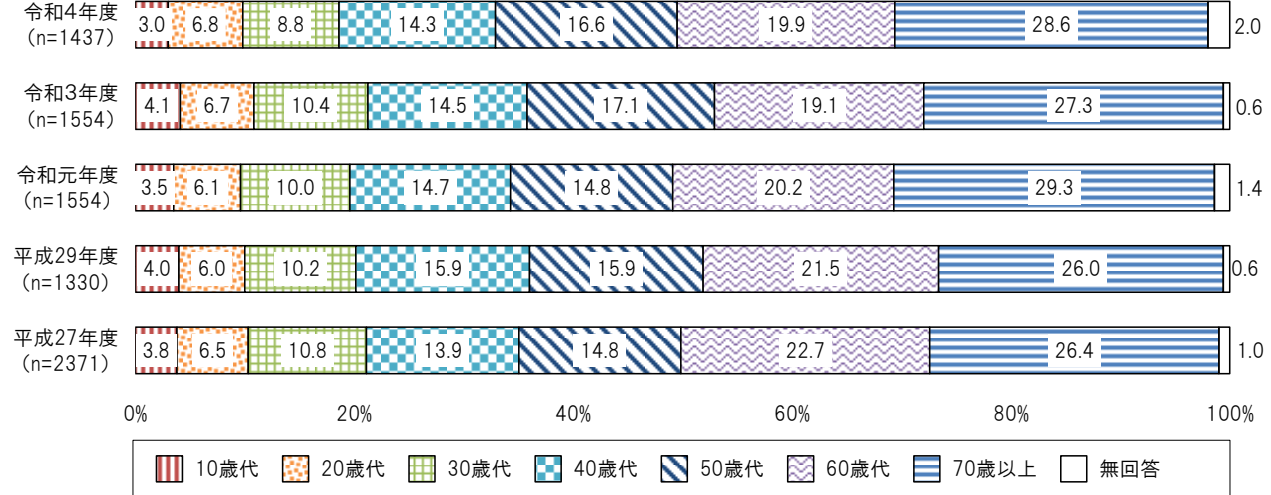
Ⅱ 調査結果

問1 あなたご自身についておうかがいします。

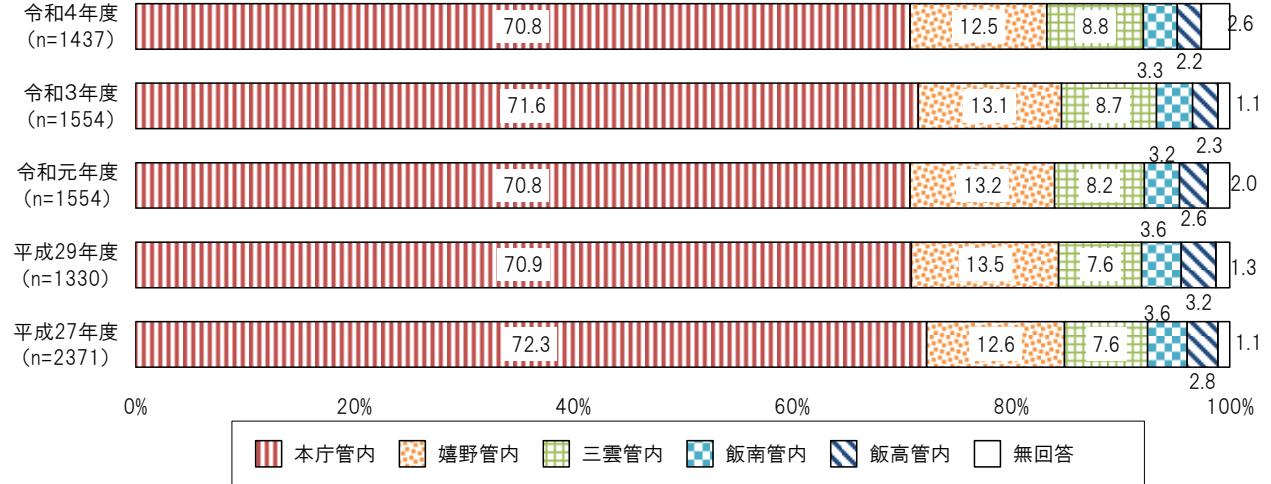
(1) 性別



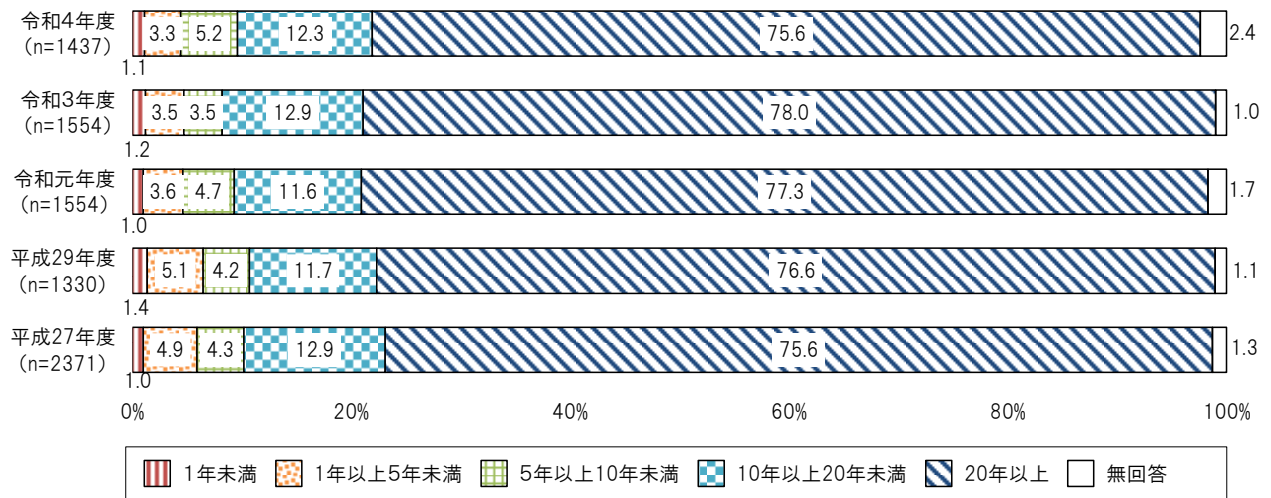
(2) 年齢



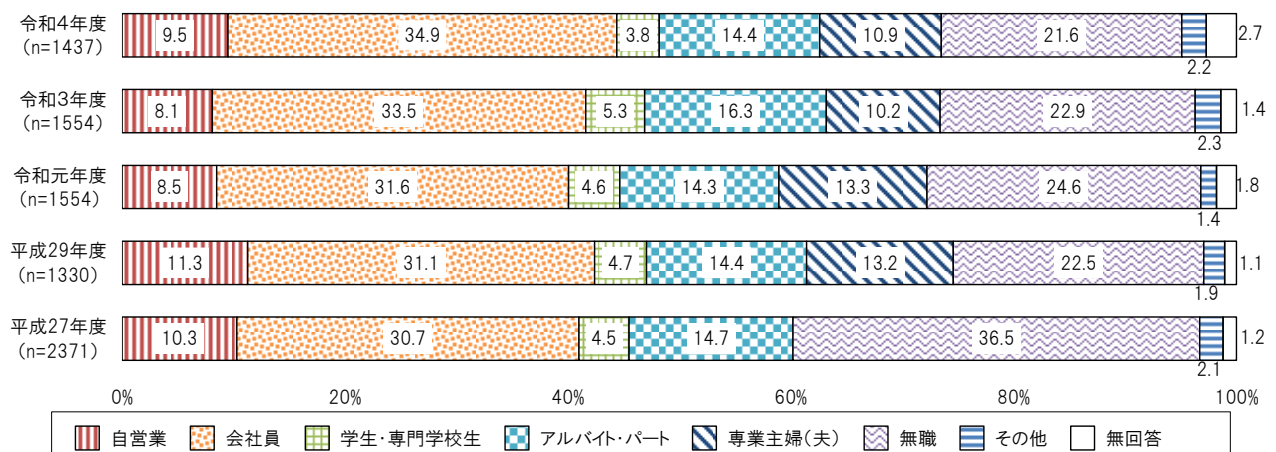
(3) 居住地



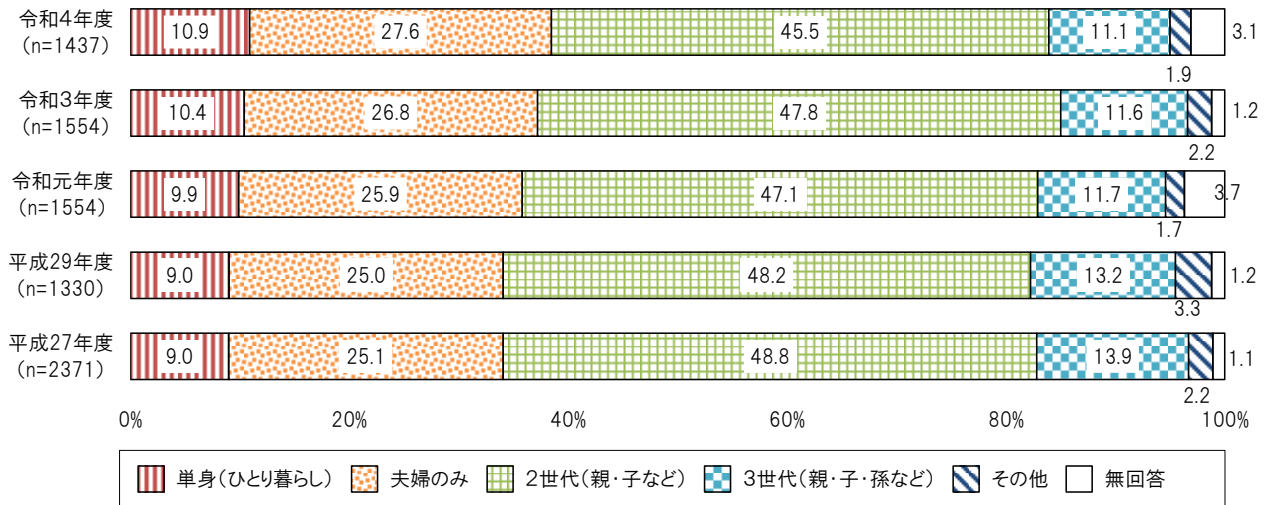
(4) 居住年数



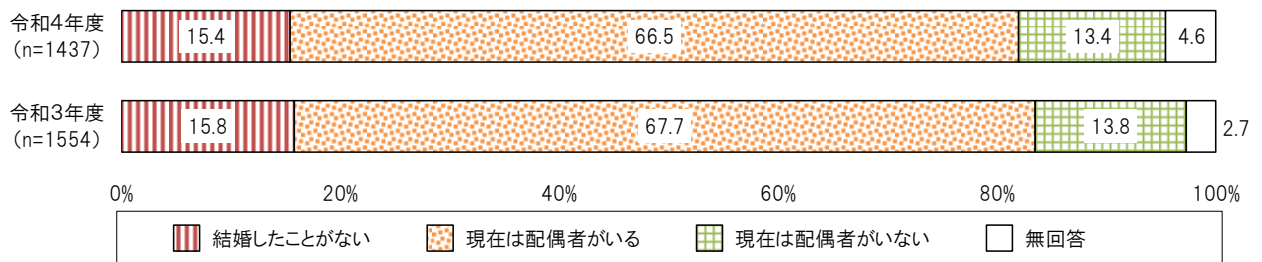
(5) 職業



(6) 家族構成



(7) 婚姻状況



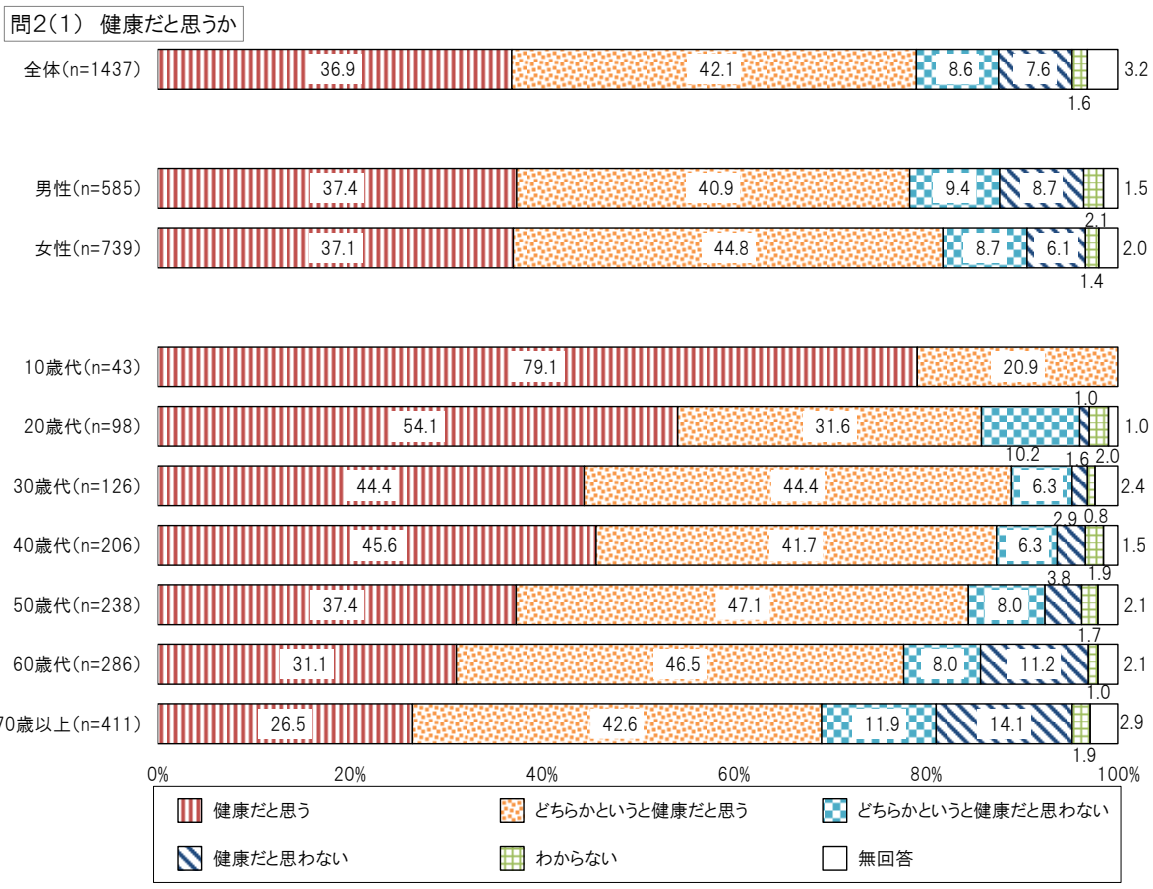
問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1) 健康だと思いますか。(〇は1つだけ)

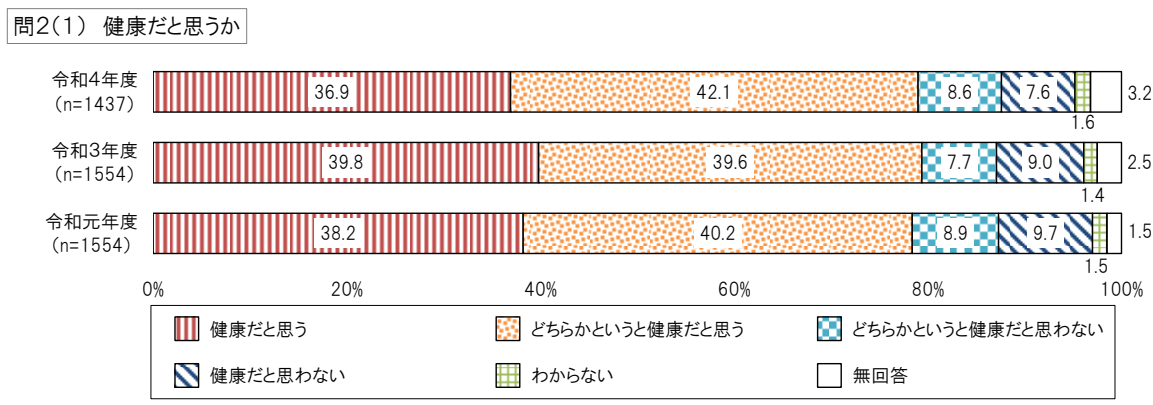
「どちらかという健康だと思う」が42.1%と最も高く、ついで「健康だと思う」が36.9%、「どちらかという健康だと思わない」が8.6%となっている。

性別にみると、男女ともに「どちらかという健康だと思う」が最も高くなっている。

年代別にみると、「健康だと思う」が年代が上がるにつれて減少する傾向にある。「どちらかという健康だと思わない」「健康だと思わない」を合計した割合は、50歳代までは1割ほどであるが60歳代では19.2%、70歳以上では26.0%と高くなっている。



前回と比較すると、「健康だと思う」「どちらかという健康だと思う」を合計した割合は、前回は79.4%であったが今回は79.0%と若干低下している。また、前回は「健康だと思う」の方が高かったが今回では「どちらかという健康だと思う」の方が高くなっている。



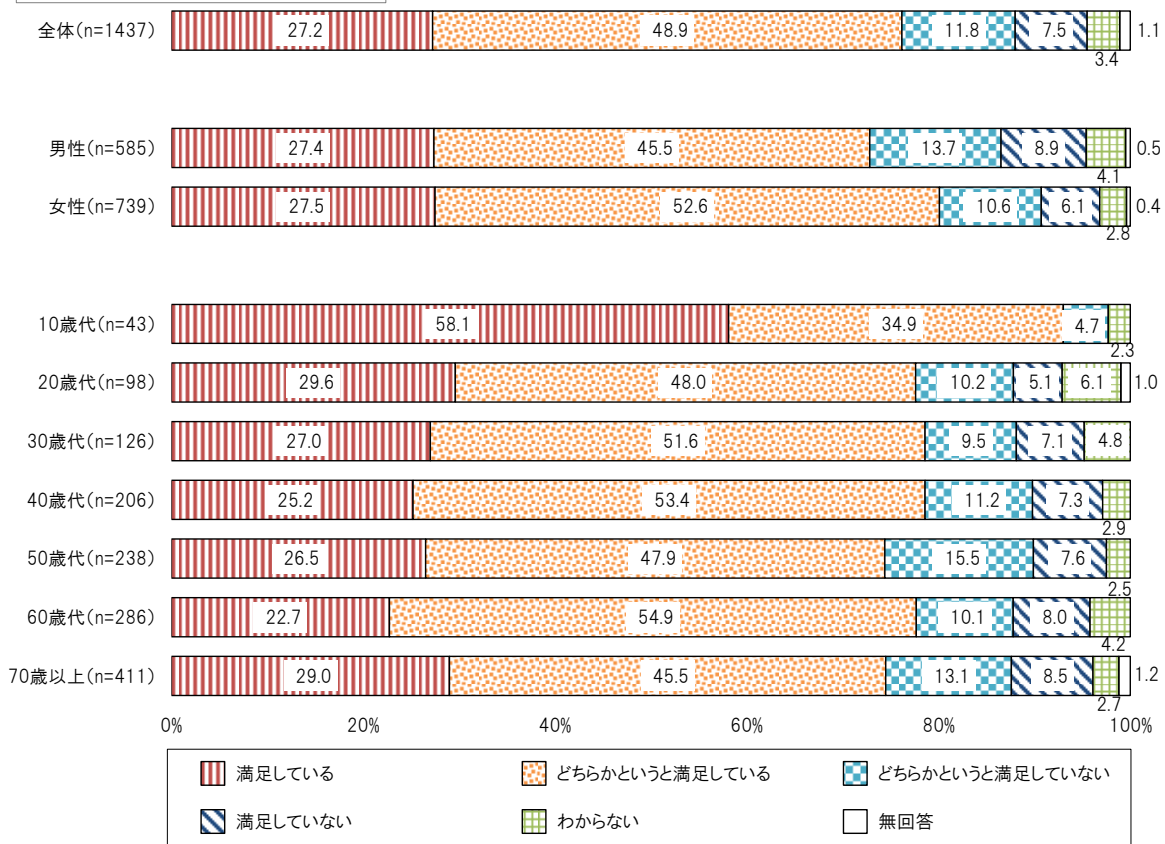
(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという満足している」が48.9%と最も高く、ついで「満足している」が27.2%、「どちらかという満足していない」が11.8%となっている。

性別にみると、「満足している」「どちらかという満足している」の合計の割合は男性が72.9%、女性が80.1%で女性の方が男性よりも高くなっている。

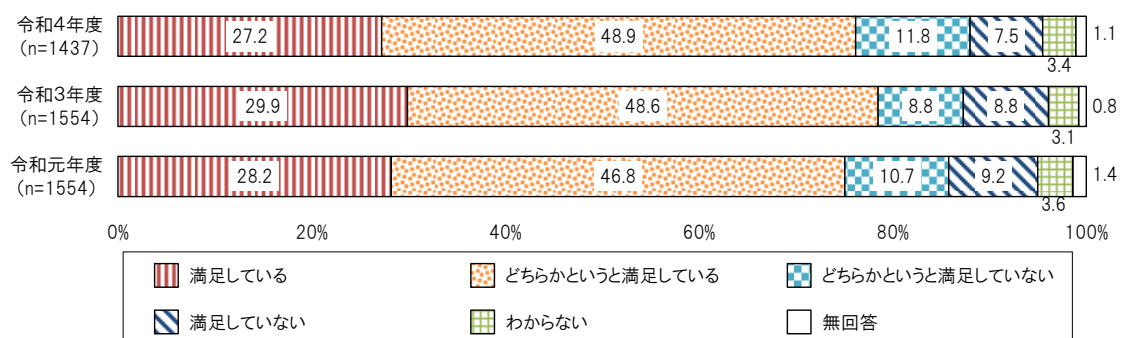
年代別では、10歳代は「満足している」の割合が高く、他の年代よりも30ポイントほど高くなっている。「満足している」「どちらかという満足している」を合計した割合は10歳代を除いて大きな差はないが若干50歳代、70歳以上が低くなっている。

問2(2) 現在の生活に満足しているか



前回と比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合は前回は78.5%であったのに対し今回は76.1%であり、前回より2.4ポイント低下している。

問2(2) 現在の生活に満足しているか

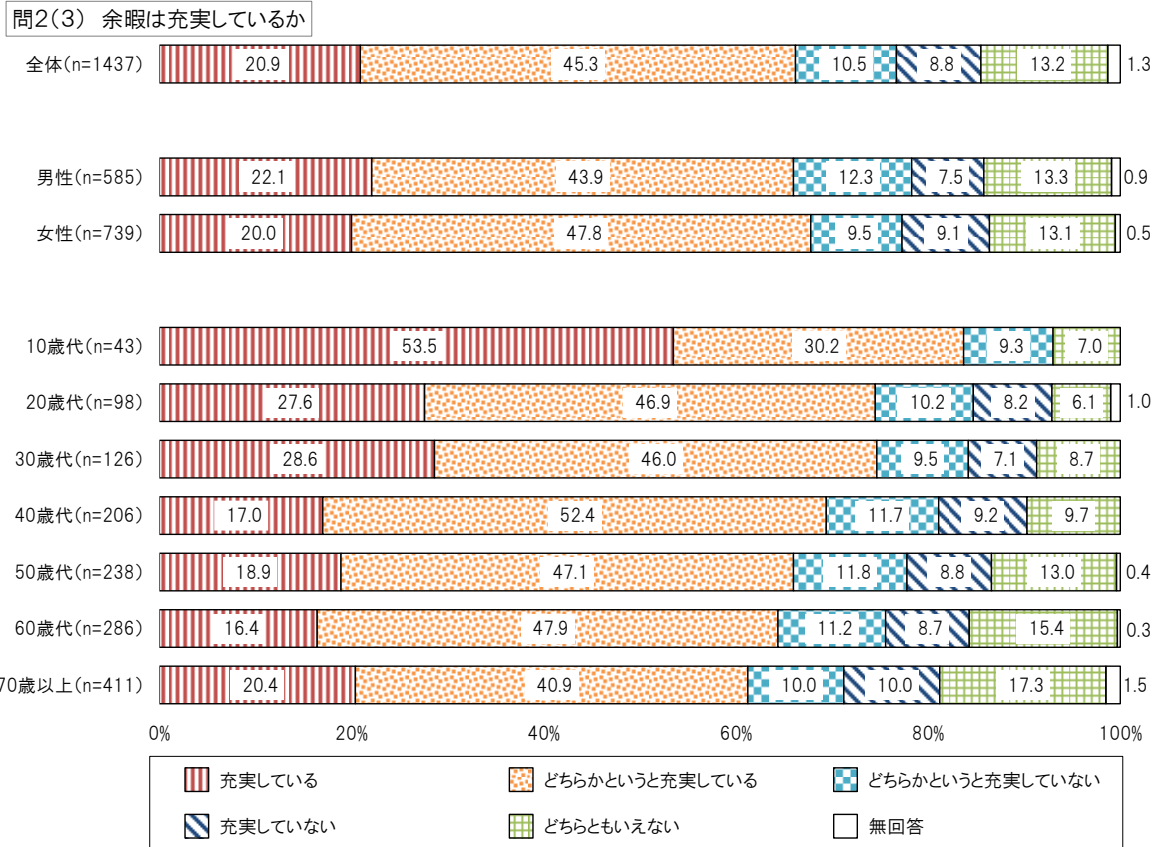


(3) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

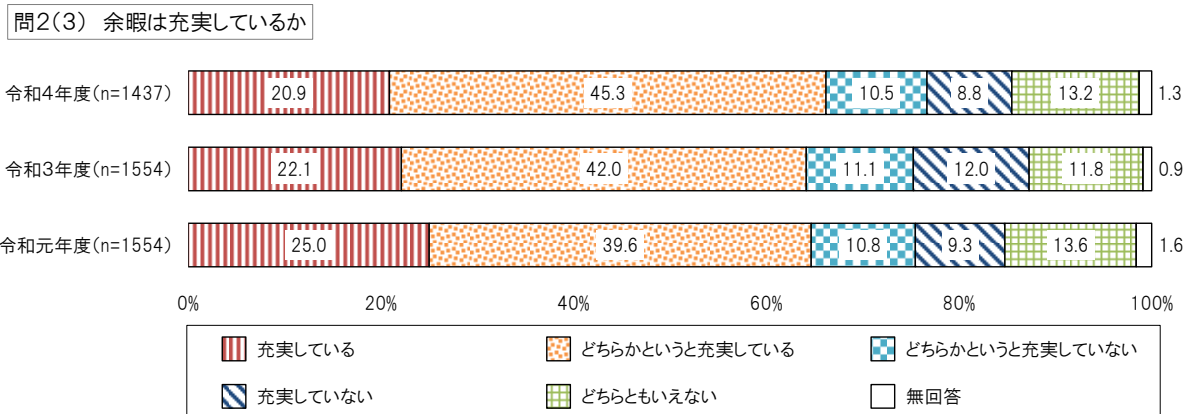
「どちらかという充実している」が45.3%と最も高く、ついで「充実している」が20.9%となっている。

性別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合をみると、男性が66.0%、女性が67.8%で女性の方が男性よりも若干高くなっている。

年代別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は10歳代で最も高く83.7%となっている。その後年代が上がるにつれてその割合は減少している。



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は前回は64.1%であったのに対し今回は66.2%と2.1ポイント増加している。



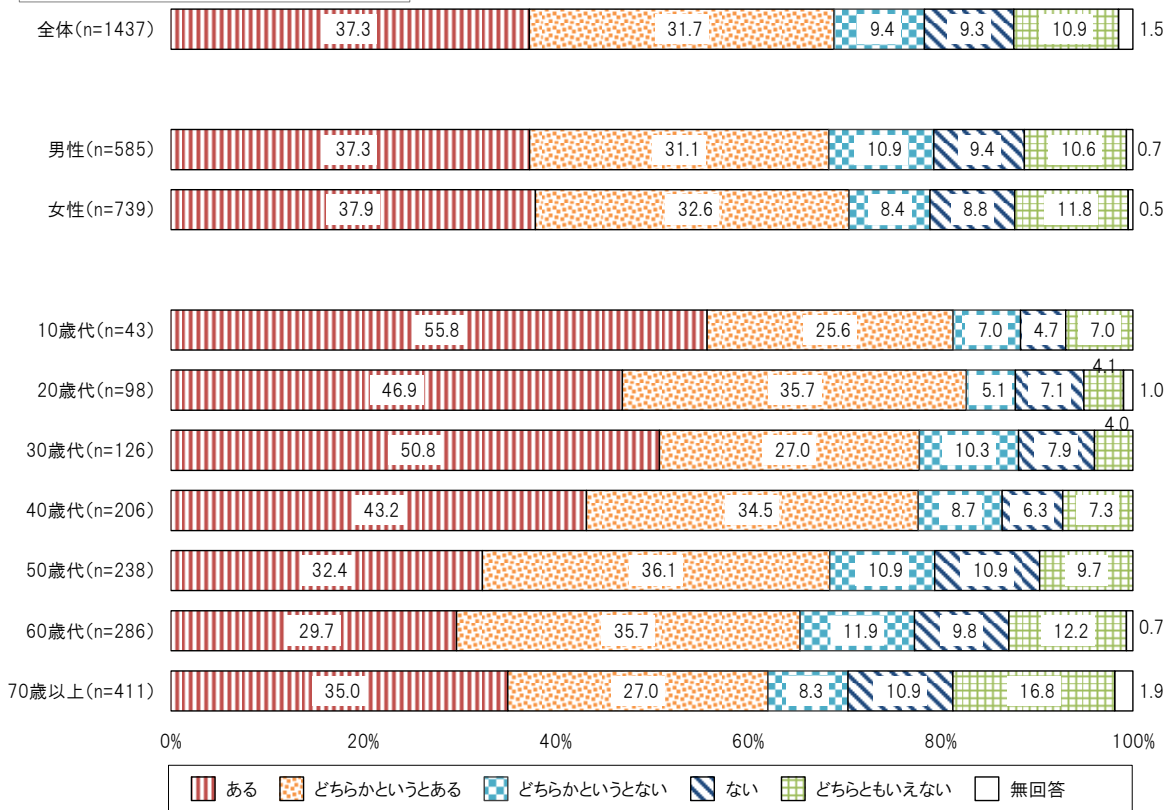
(4) 生きがいにしているものはありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が37.3%で最も高く、ついで「どちらかというところ」が31.7%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合をみると、男性が68.4%、女性が70.5%で女性の方が男性よりも若干高くなっている。

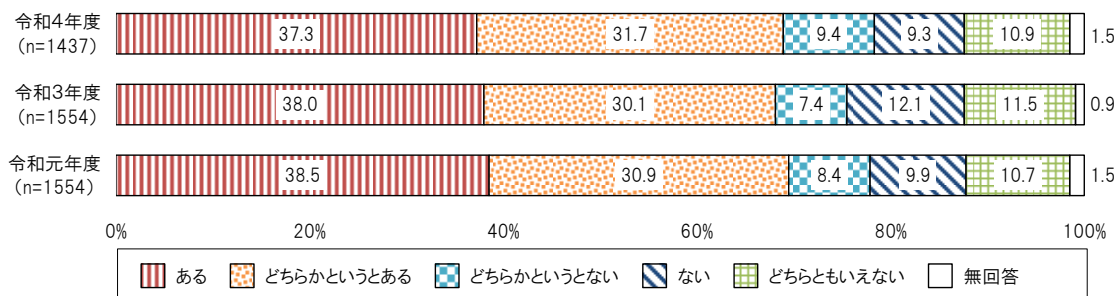
年代別にみると、10歳代で「ある」の割合が最も高く55.8%となっている。「ある」「どちらかというところ」の合計の割合をみると、20歳代が82.6%で最も高く、それ以降は年代が上がるほど割合は低くなっている。

問2(4) 生きがいにしているものはあるか



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところ」を合計した割合は、前回は68.1%であったのに対し今回は69.0%と若干増加している。

問2(4) 生きがいにしているものはあるか



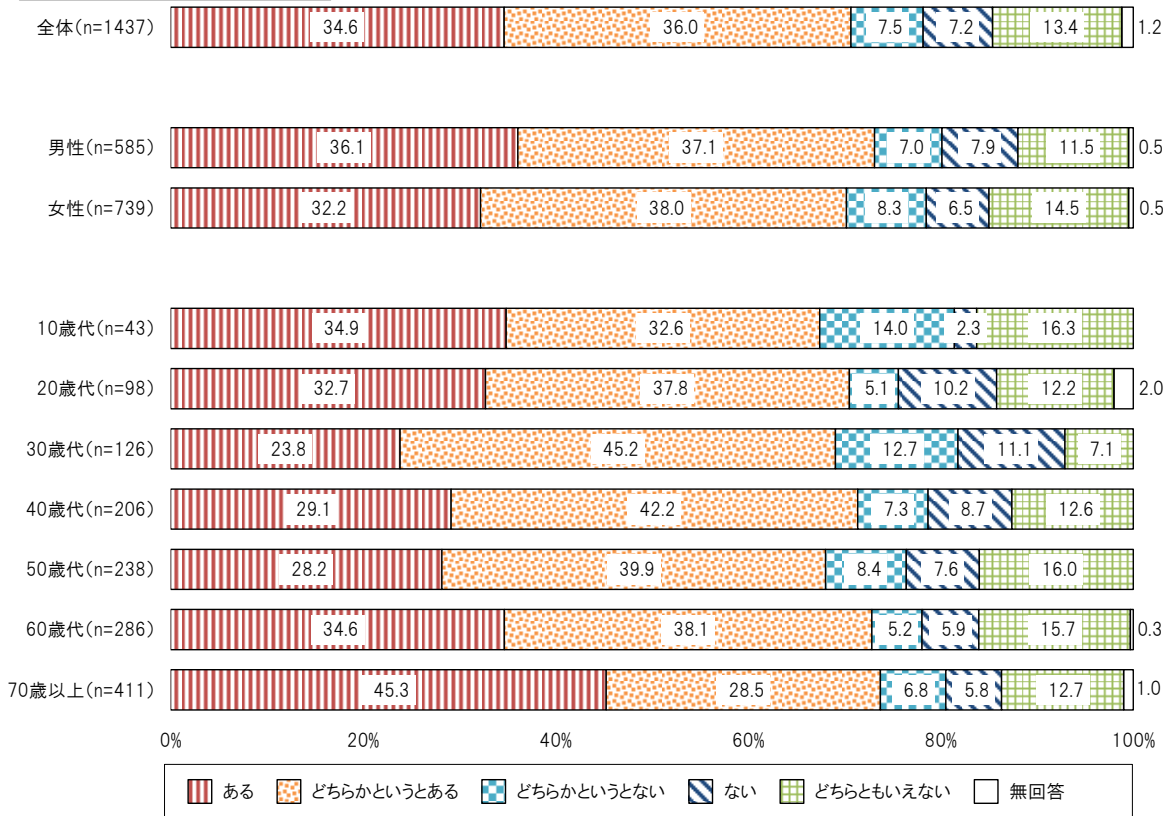
(5) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというところある」が36.0%と最も高く、ついで「ある」が34.6%、「どちらともいえない」が13.4%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところある」の合計の割合は、男性が73.2%、女性が70.2%で男性の方が女性よりも3.0ポイント高くなっている。

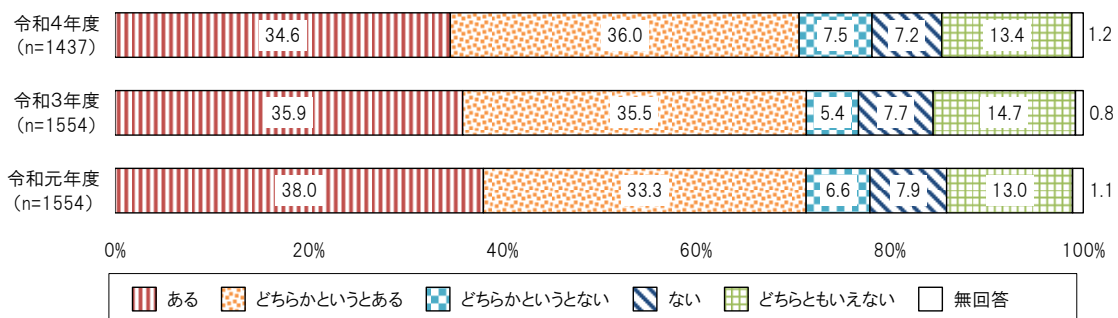
年代別にみると、「ある」「どちらかというところある」の合計の割合は70歳以上が最も高く73.8%であり、ついで60歳以上で72.7%となっている。「ある」の割合は10歳代以降徐々に低くなり30歳代が最も低く、それ以降の年代では概ね年代が上がると高くなっている。

問2(5) 地域への愛着はあるか



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところある」を合計した割合は、前回は71.4%であり今回は70.6%と若干低くなっている。

問2(5) 地域への愛着はあるか



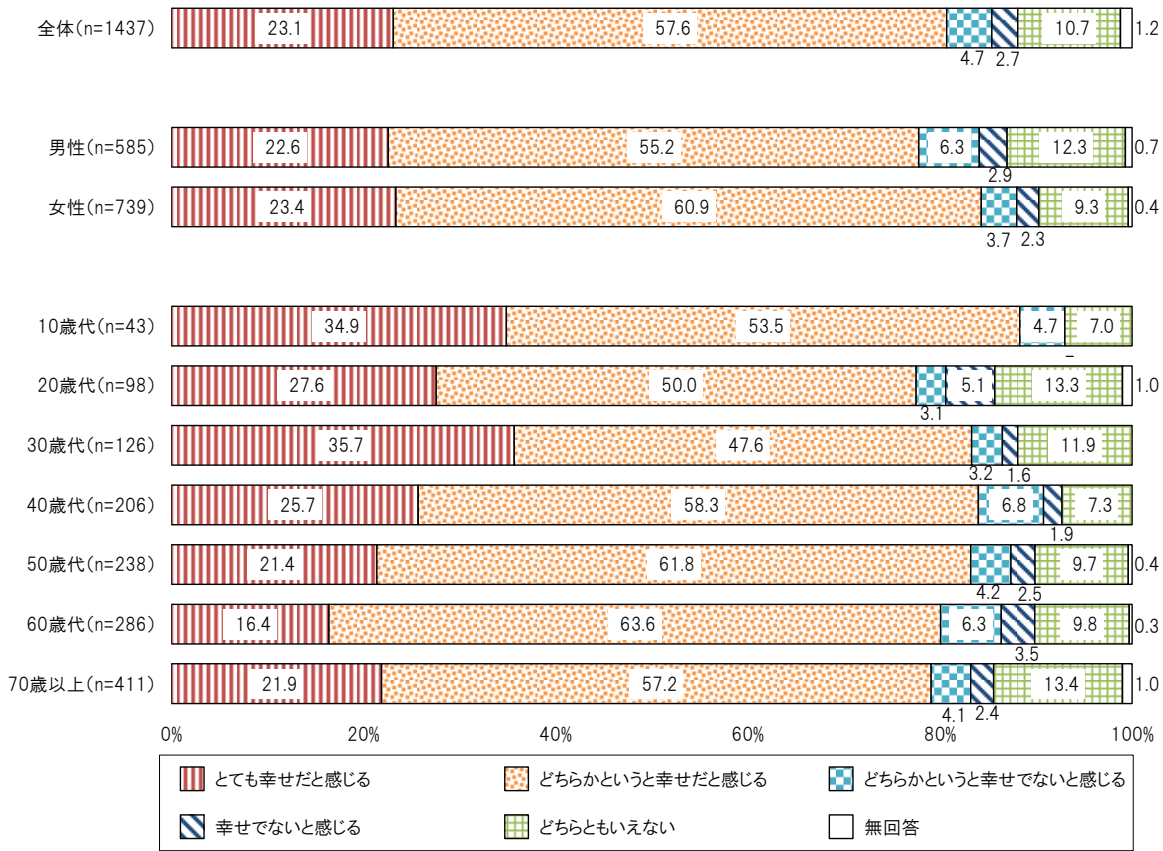
(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという幸せだと感じる」が57.6%と最も高く、ついで「とても幸せだと感じる」が23.1%、「どちらともいえない」が10.7%となっている。

性別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は、男性が77.8%、女性が84.3%で女性の方が男性よりも6.5ポイント高くなっている。

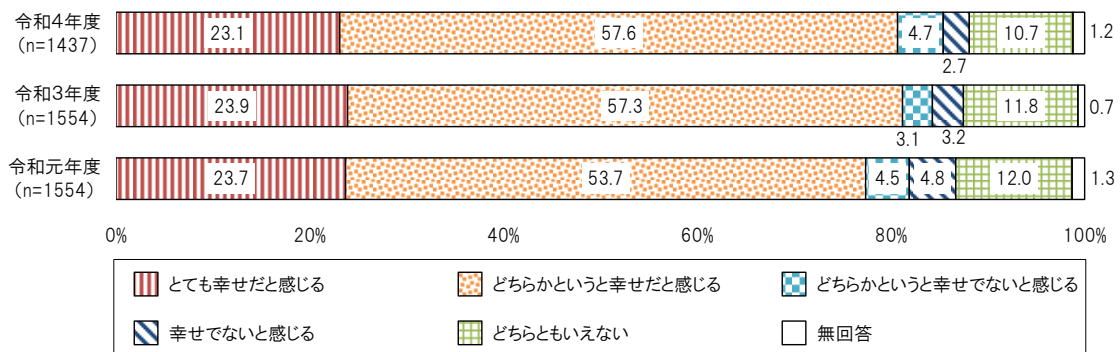
年代別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は10歳代で最も高く、20歳代で最も低くなっている。

問2(6) 今、幸せだと感じるか



前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合をみると、前回は81.2%であったのに対し今回は80.7%と0.5ポイント低下している。

問2(6) 今、幸せだと感じるか



(7) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が86.6%で最も高く、ついで「生活に経済的な余裕があること」が45.2%、「家族との関係が良好なこと」が40.9%となっている。

前回調査と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。「生活に経済的な余裕があること」「家族との関係が良好なこと」「健康であること」などで前回から増加しており、一方で「働く場所があること」「頼れる人がいること」「住まいがあること」などで前回から減少している。

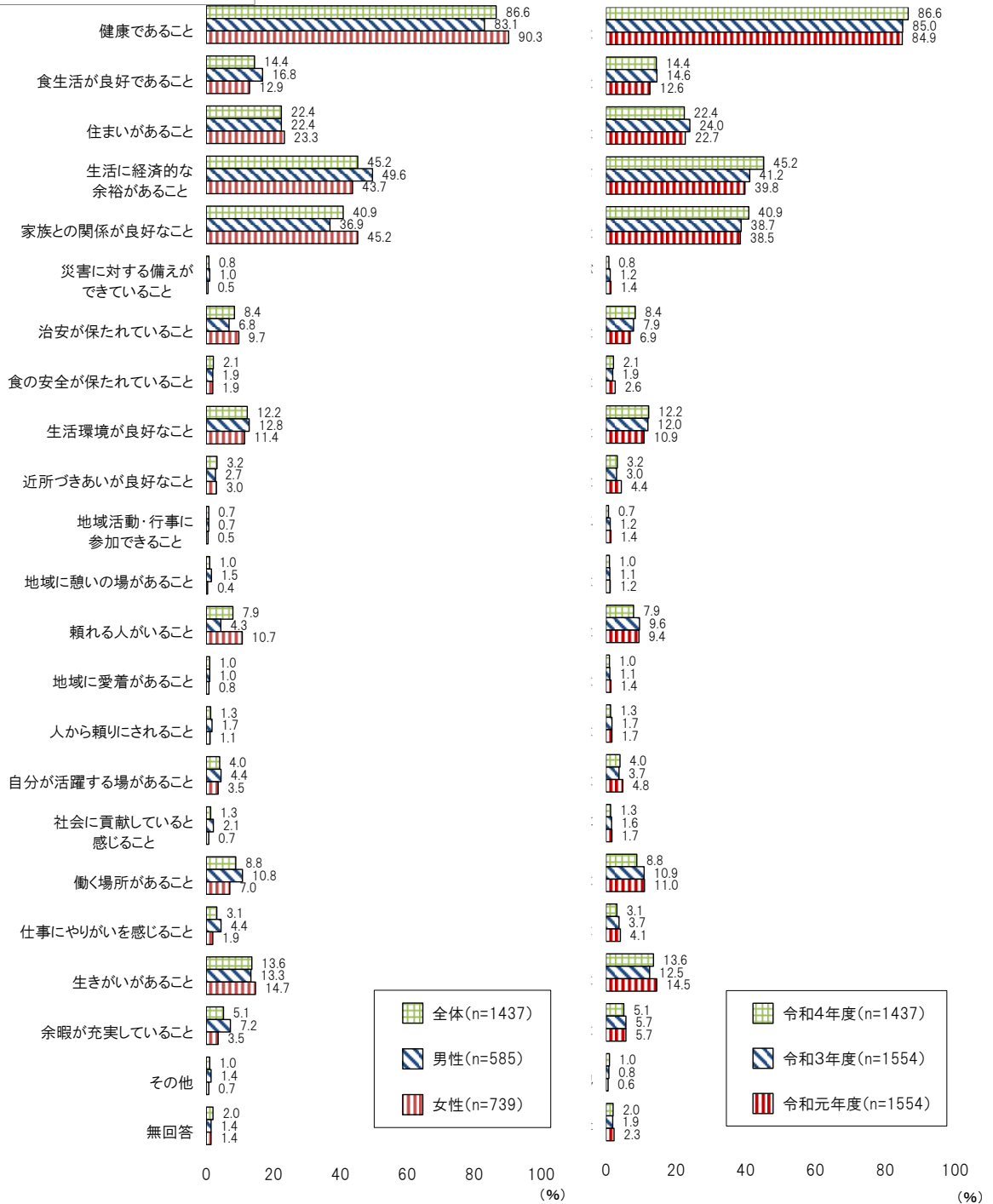
性別にみると、1番割合の高い項目はいずれも「健康であること」であるが、2番目は男性では「生活に経済的な余裕があること」、女性では「家族との関係が良好なこと」となっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康であること」が最も高い。2番目は70歳以上を除く年代で「生活に経済的な余裕があること」となっており、70歳以上では「家族との関係が良好なこと」となっている。10歳代、20歳代では3番目に「食生活が良好であること」が入ってきている。

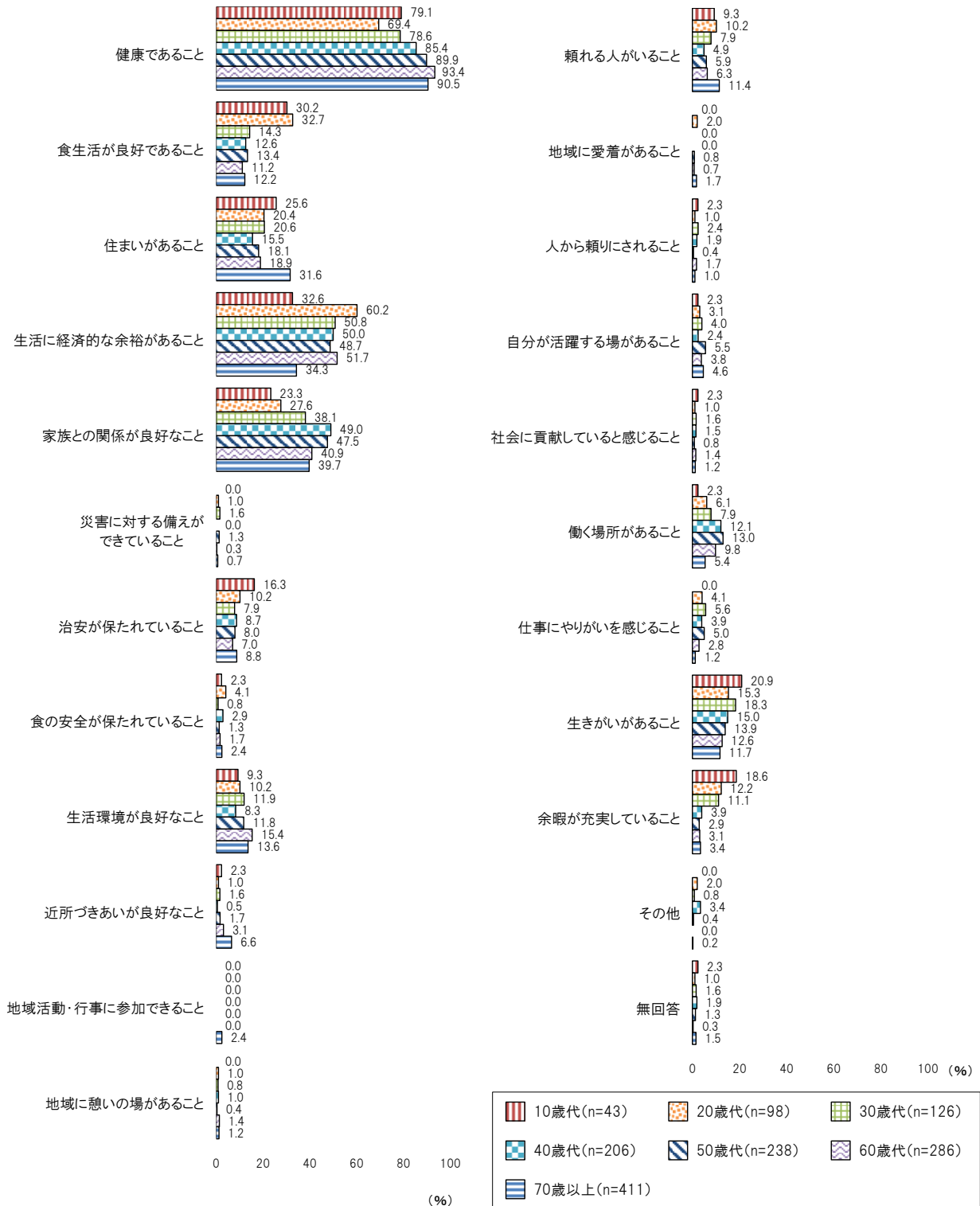
<上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目	
全体		健康であること	86.6%	生活に経済的な余裕があること	45.2%	家族との関係が良好なこと	40.9%
性別	男性	健康であること	83.1%	生活に経済的な余裕があること	49.6%	家族との関係が良好なこと	36.9%
	女性	健康であること	90.3%	家族との関係が良好なこと	45.2%	生活に経済的な余裕があること	43.7%
年代別	10 歳代	健康であること	79.1%	生活に経済的な余裕があること	32.6%	食生活が良好であること	30.2%
	20 歳代	健康であること	69.4%	生活に経済的な余裕があること	60.2%	食生活が良好であること	32.7%
	30 歳代	健康であること	78.6%	生活に経済的な余裕があること	50.8%	家族との関係が良好なこと	38.1%
	40 歳代	健康であること	85.4%	生活に経済的な余裕があること	50.0%	家族との関係が良好なこと	49.0%
	50 歳代	健康であること	89.9%	生活に経済的な余裕があること	48.7%	家族との関係が良好なこと	47.5%
	60 歳代	健康であること	93.4%	生活に経済的な余裕があること	51.7%	家族との関係が良好なこと	40.9%
	70 歳以上	健康であること	90.5%	家族との関係が良好なこと	39.7%	生活に経済的な余裕があること	34.3%

問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

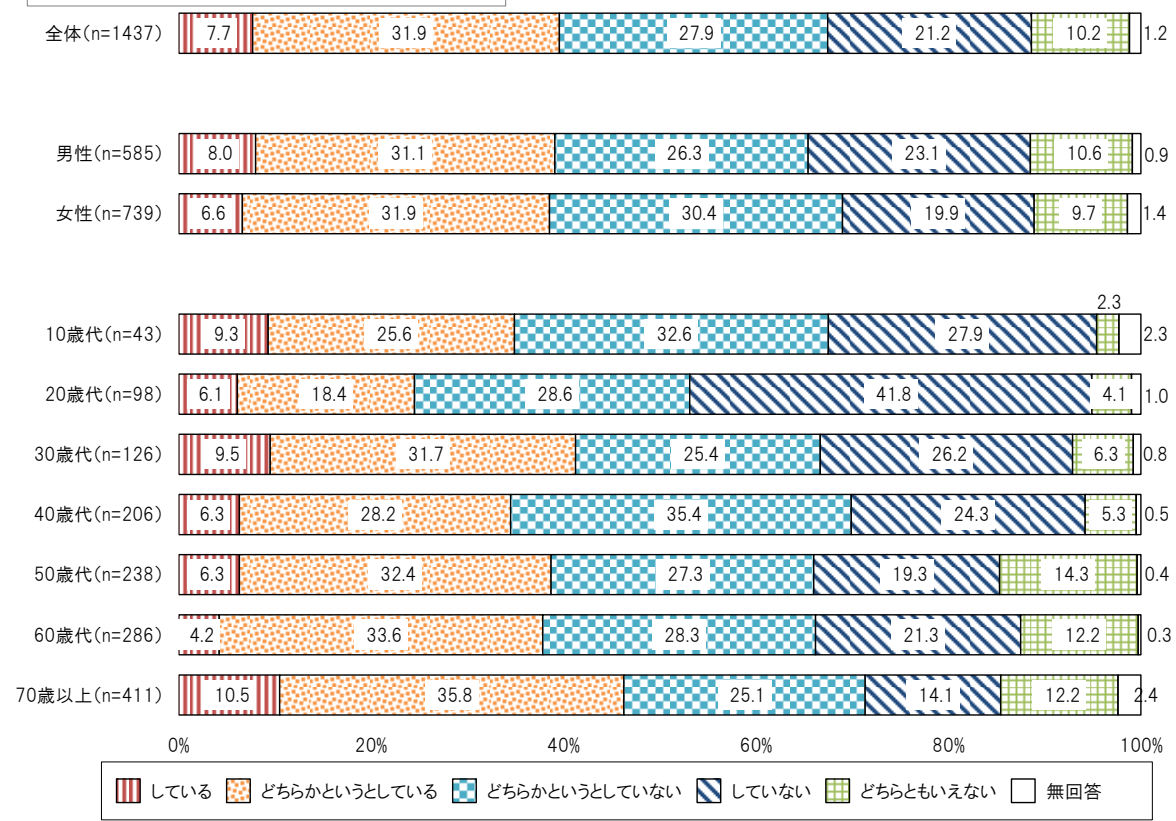
(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというとしている」が31.9%で最も高く、ついで「どちらかというとしていない」が27.9%、「していない」が21.2%となっている。

性別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、男性が39.1%、女性が38.5%で男性の方が女性よりも0.6ポイント高くなっている。

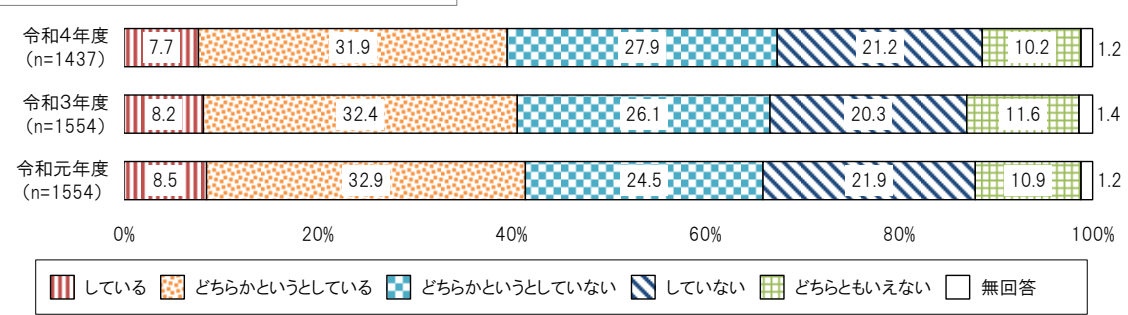
年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は70歳以上で最も高く46.3%であり、ついで30歳代で41.2%となっている。一方、20歳代が24.5%で最も低くなっており、最も高い70歳以上と最も低い20歳代では21.8ポイントの差が生じている。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、前回が40.6%であったのに対し今回は39.6%と若干低下している。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



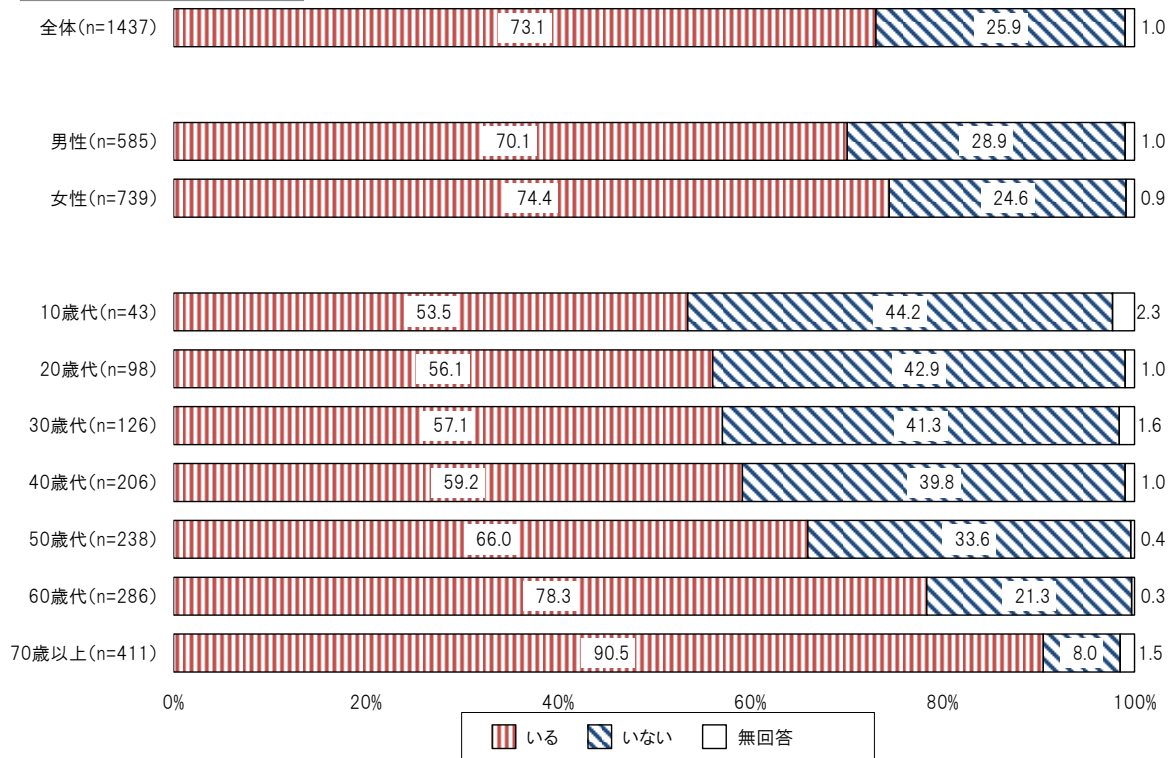
(2) かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

「いる」が73.1%となっており、「いない」が25.9%となっている。

性別にみると、「いる」の割合は男性が70.1%、女性が74.4%で女性の方が男性よりも4.3ポイント高くなっている。

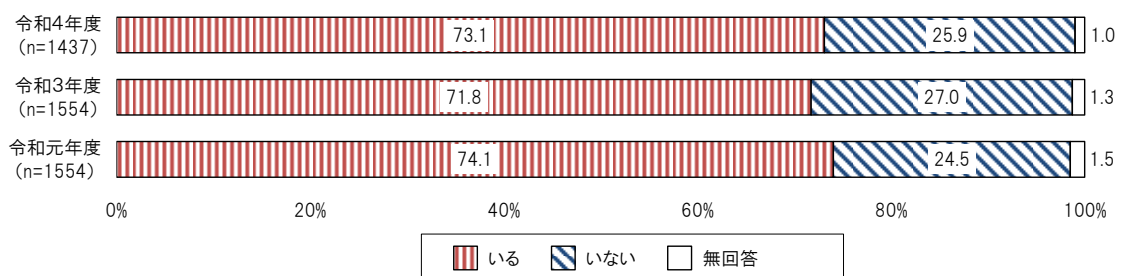
年代別にみると、「いる」の割合は10歳代から40歳代では50%代となっており、それ以降は年代が上がるほど割合が高くなっている。

問3(2) かかりつけ医の有無



前回と比較すると、「いる」の割合は前回が71.8%であったのに対し今回は73.1%と1.3ポイント増加している。

問3(2) かかりつけ医の有無



(3) (2)で「1. いる」と答えた方におうかがいします。

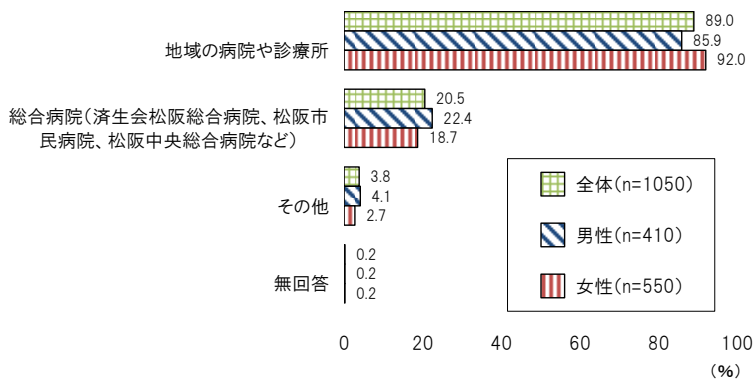
かかりつけの医療機関を教えてください。(〇はあてはまるものすべて)

「地域の病院や診療所」が89.0%で最も高く、ついで「総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)」が20.5%となっている。

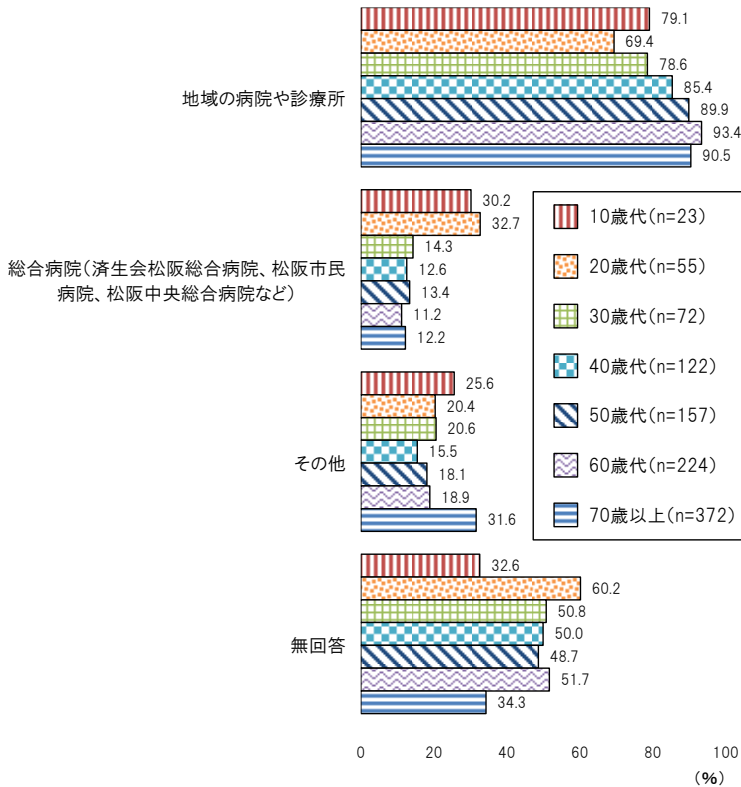
性別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は、男性が85.9%、女性が92.0%で女性の方が高く、「総合病院」は男性が22.4%、女性が18.7%で男性の方が高くなっている。

年代別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は60歳代、70歳以上で9割以上となっている。一方で10歳代、20歳代では「総合病院」の割合が3割以上となっている。

問3(3) かかりつけの医療機関



問3(3) かかりつけの医療機関



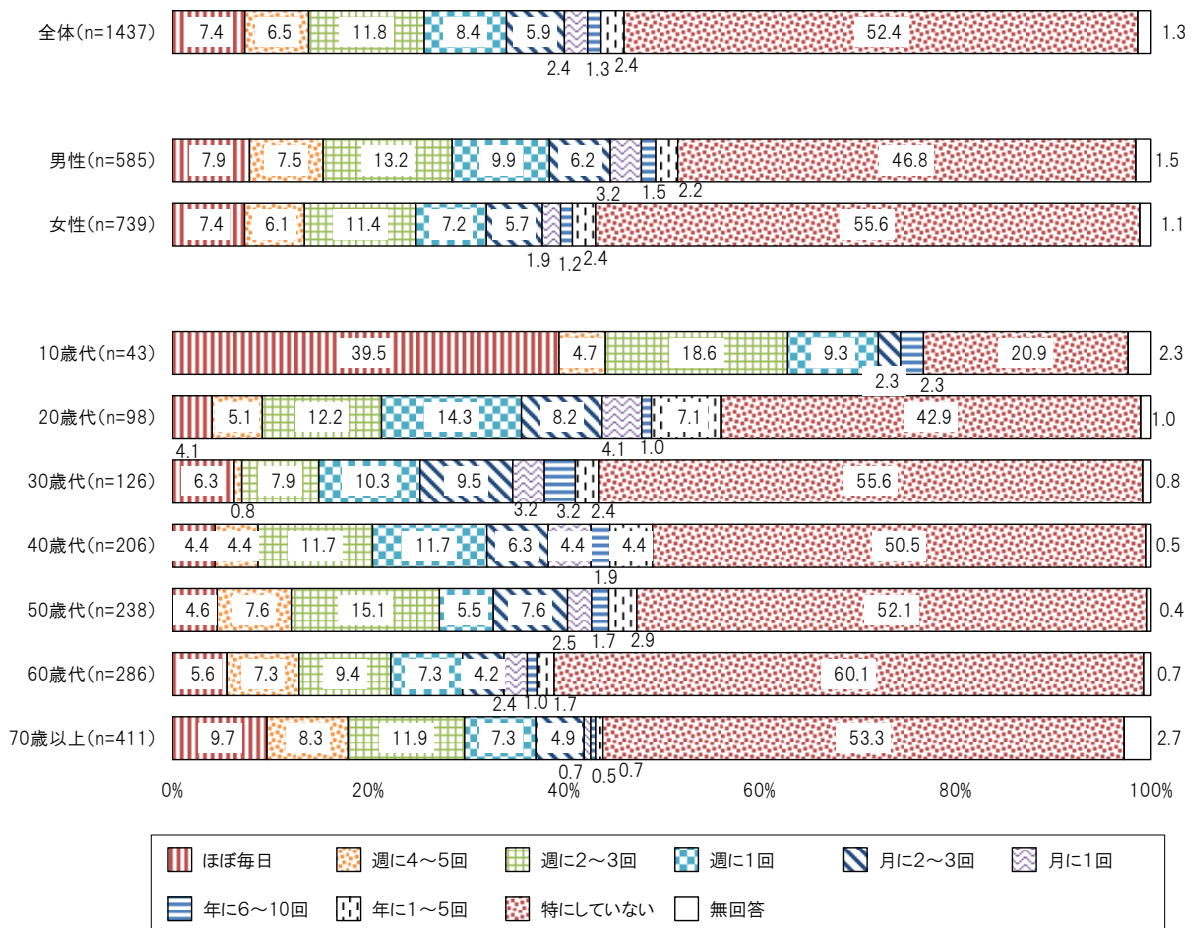
(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(〇は1つだけ)

「特にしていない」が52.4%と最も高く、ついで「週に2〜3回」が11.8%、「週に1回」が8.4%となっている。

性別にみると、女性では「特にしていない」が55.6%と半数を超えており、男性に比べて8.8ポイント高くなっている。

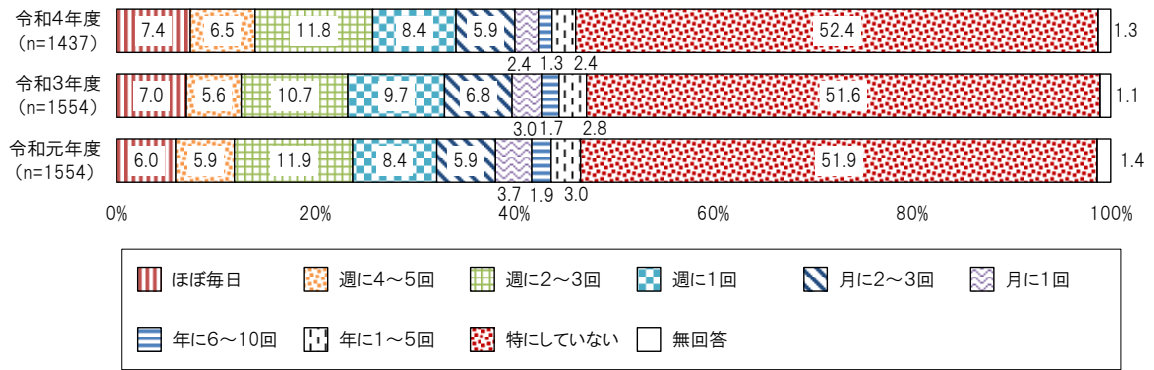
年代別にみると、30歳以上の年代では「特にしていない」の割合が半数を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が39.5%と他の世代と比べ非常に高くなっている。一方、「ほぼ毎日」「週に4〜5回」「週に2〜3回」「週に1回」の合計の割合をみると、30歳代が最も低く25.3%であるが、それ以降の年代では60歳代を除き年齢が上がるにつれ割合が高くなり70歳以上では37.2%となっている。

問3(4) 運動・スポーツをどの程度行っているか



前回と比較すると、「特にしていない」は前回は51.6%であったのに対し今回は52.4%と0.8ポイント増加している。

問3(4) 運動・スポーツをどの程度行っているか



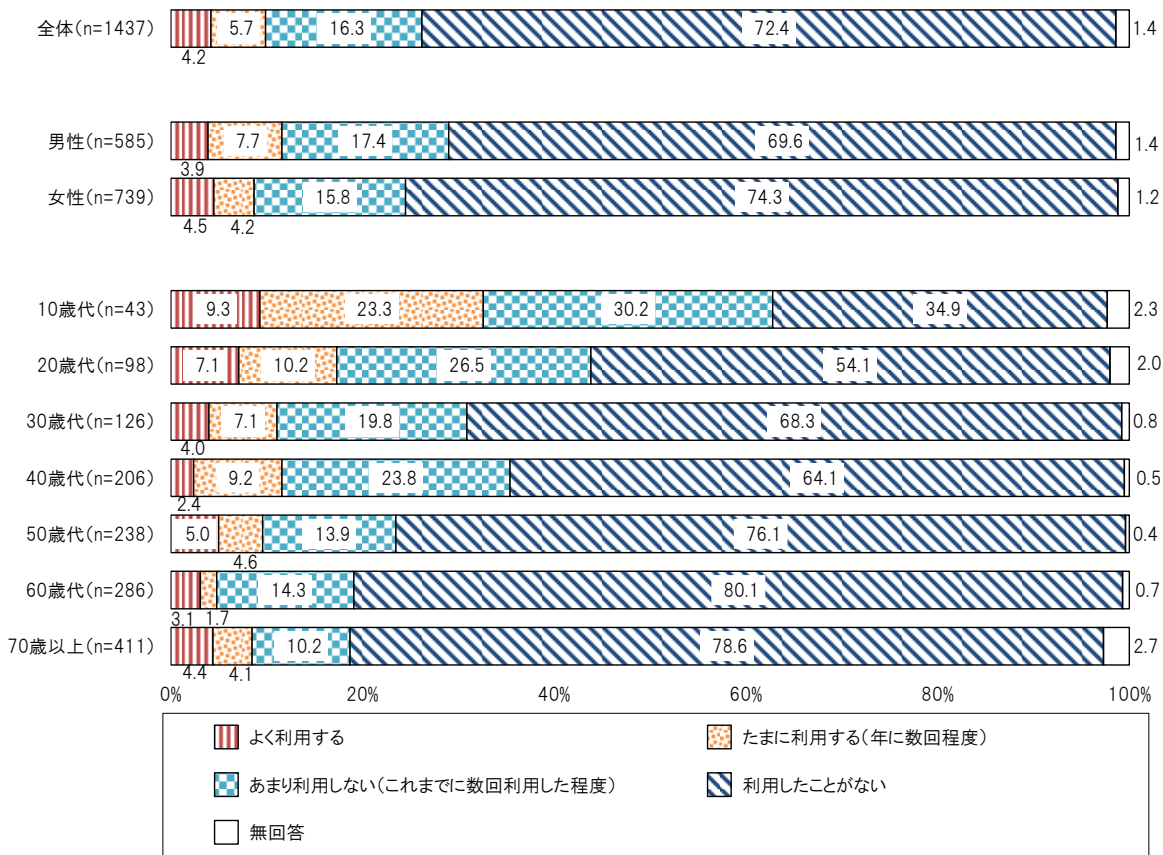
(5) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（〇は1つだけ）

「利用したことがない」が72.4%と最も高く、ついで「あまり利用しない（これまでに数回利用した程度）」が16.3%、「たまに利用する（年に数回程度）」が5.7%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、いずれも7割程度となっている。

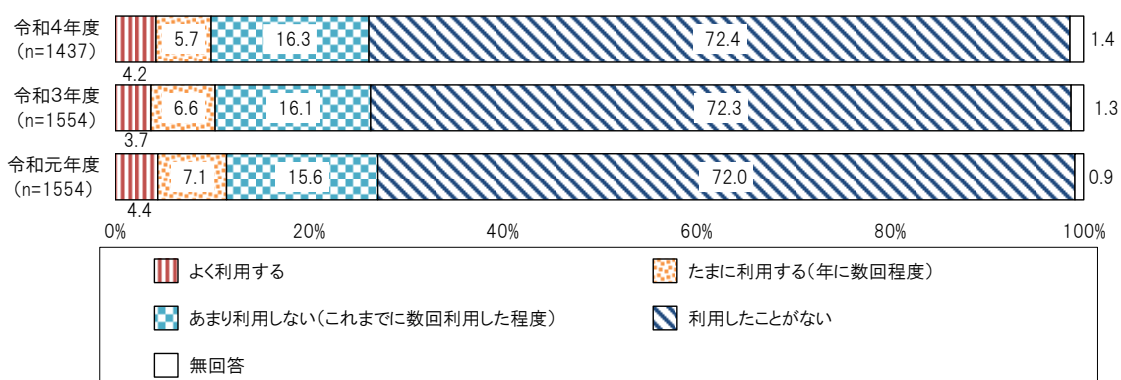
年代別にみると、10歳代で「よく利用する」の割合が9.3%と高くなっている。50歳代以上では「利用したことがない」が75%を超えている。

問3(5)公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



前回と比較すると、「よく利用する」「たまに利用する」の合計の割合は、前回は10.3%であったのに対し今回は9.9%と0.4ポイント低下している。

問3(5)公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

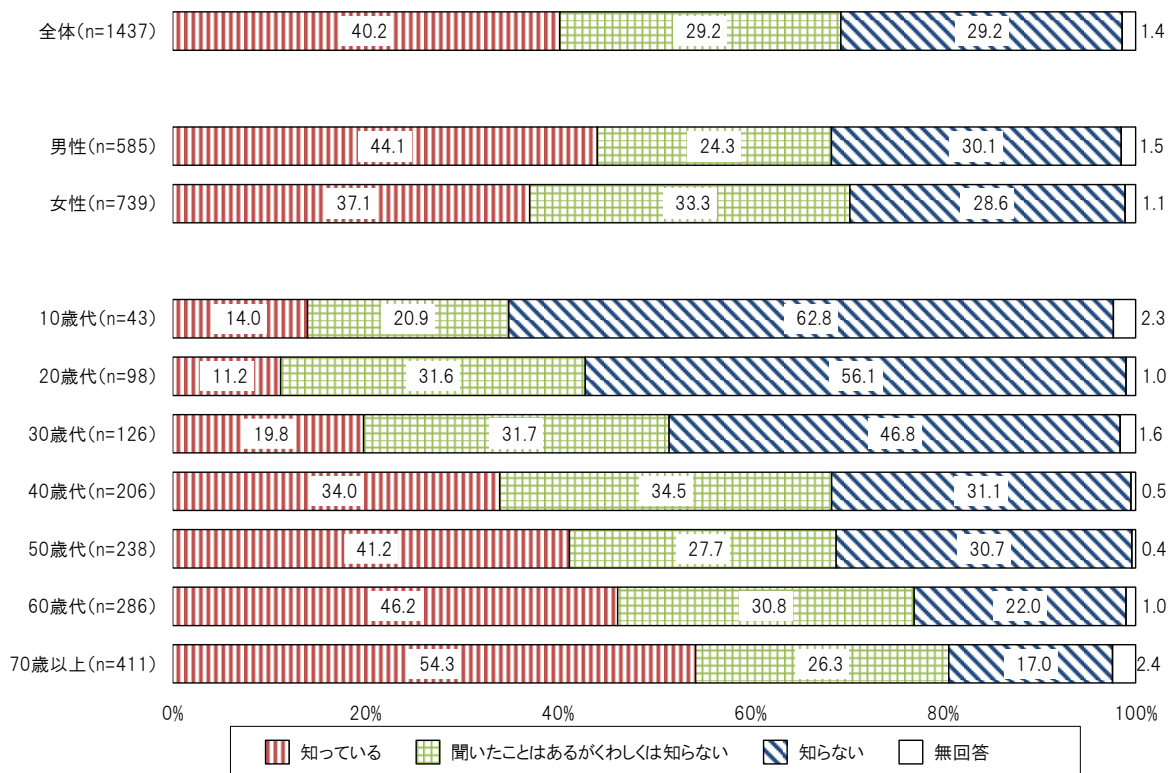
(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）を知っていますか。（〇は1つだけ）

「知っている」が40.2%で最も高く、ついで「知らない」が29.2%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が29.2%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は男性で44.1%、女性で37.1%と男性の方が女性よりも7.0ポイント高くなっている。

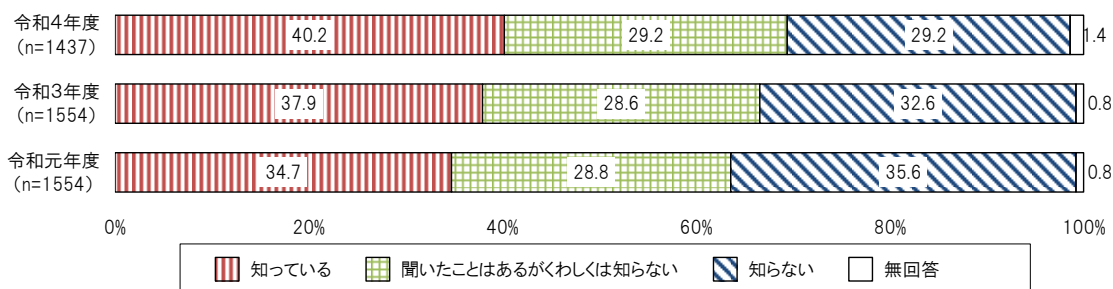
年代別にみると、「知っている」の割合は30歳代までは10%代と低くなっており、40歳代以降では年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



前回と比較すると、「知っている」は2.3ポイント増加しており、一方で「知らない」は3.4ポイント減少している。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



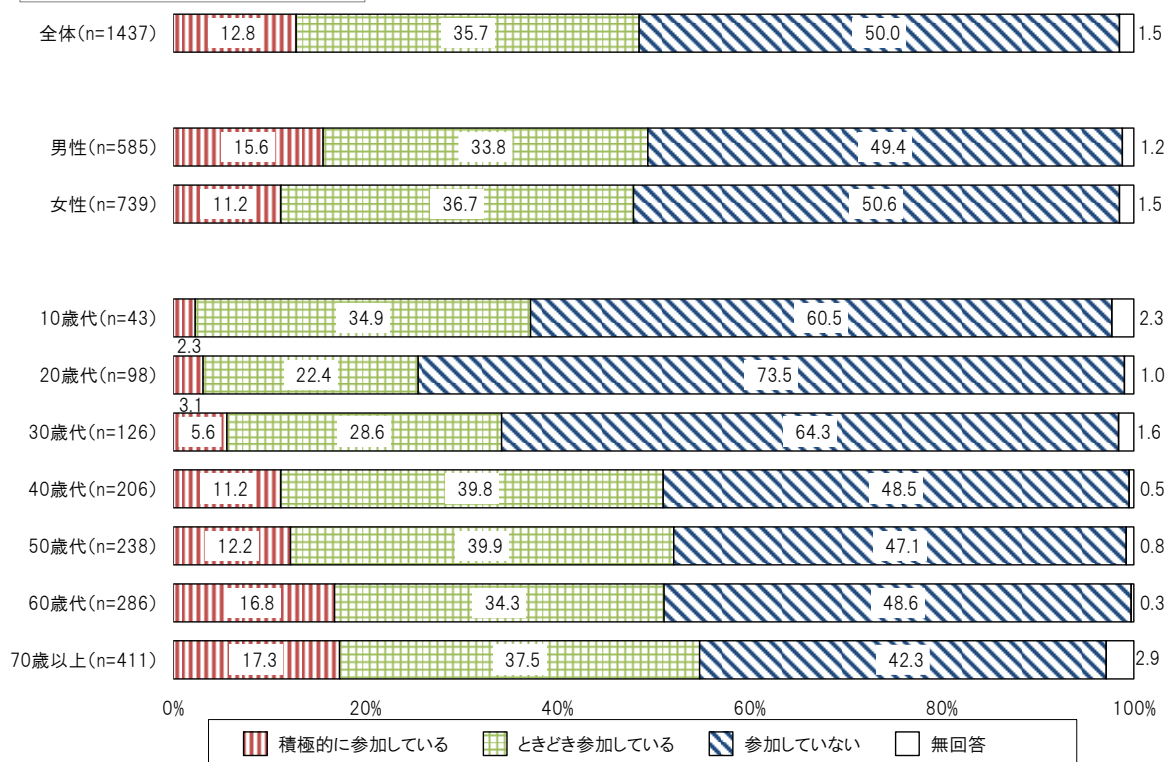
(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加していますか。（〇は1つだけ）

「参加していない」が50.0%と最も高く、ついで「ときどき参加している」が35.7%、「積極的に参加している」が12.8%となっている。

性別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、男性が49.4%、女性が47.9%と男性の方が女性より1.5ポイント高くなっている。

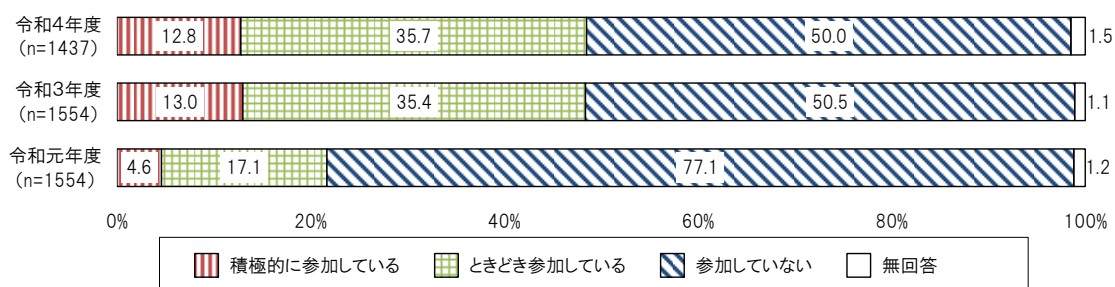
年代別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は20歳代で25.5%と最も低くなり、年齢が上がるにつれ概ね参加している割合が高くなっている。

問4(2) 住民自治協議会への参加



前回と比較すると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、前回は48.4%であるのに対し今回は48.5%と、ほぼ横ばいとなっている。

問4(2) 住民自治協議会への参加



問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が35.1%と最も高く、ついで「買い物が便利」が30.6%、「食べ物がおいしい」が26.4%となっている。

前回と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。前回に比べ「歴史や伝統がある」「医療施設、救急医療が整っている」「保健・福祉施設が整っている」などで増加しており、一方で「治安が良い」「道路が整備されている」「買い物が便利」などで減少している。

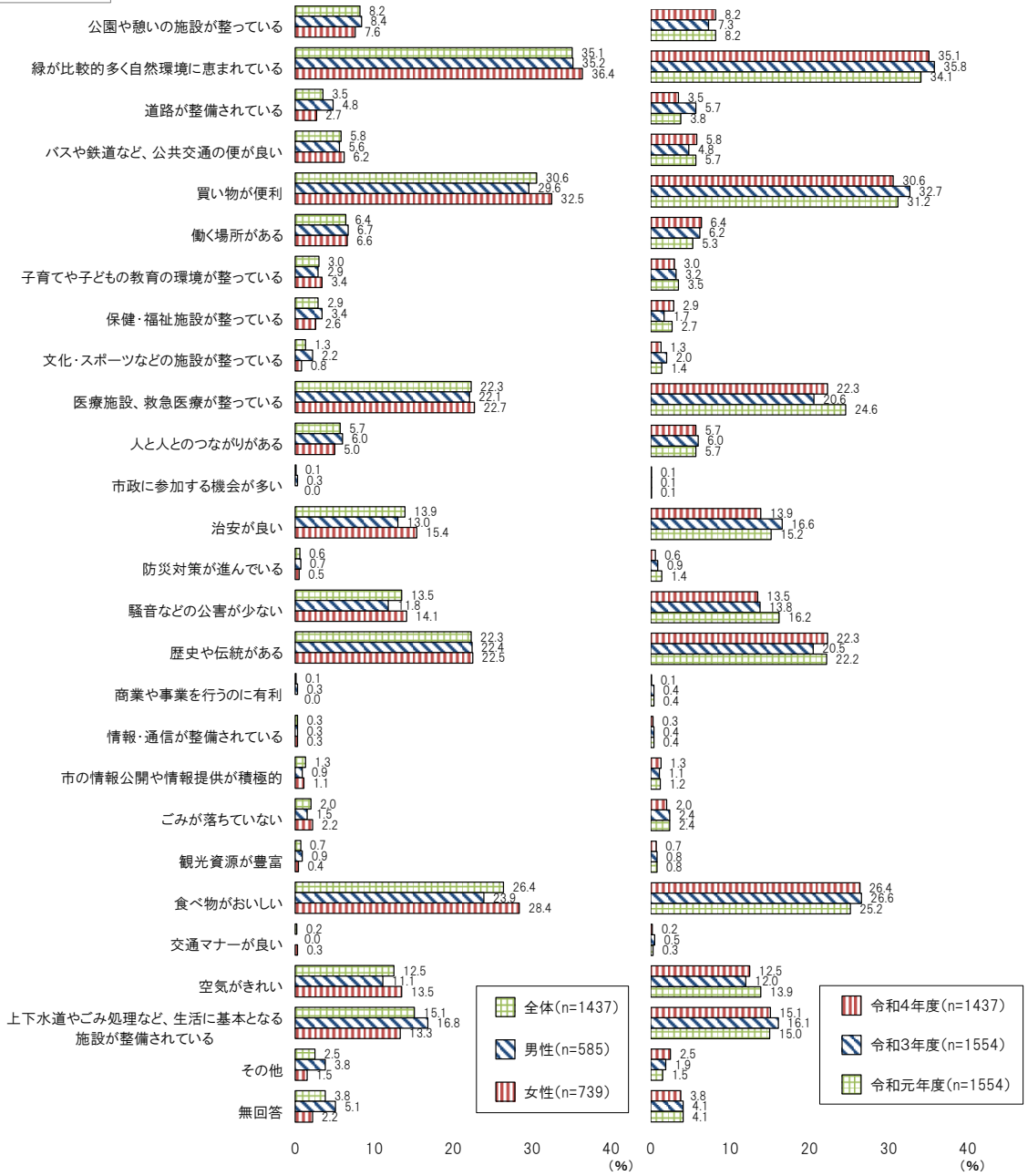
性別にみると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。なお、4番目に高い項目は男性では「歴史や伝統がある」、女性では「医療施設、救急医療が整っている」となっている。

年代別にみると、1番目に高い項目は、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、10歳代、30歳代、40歳代では「食べ物がおいしい」となっている。

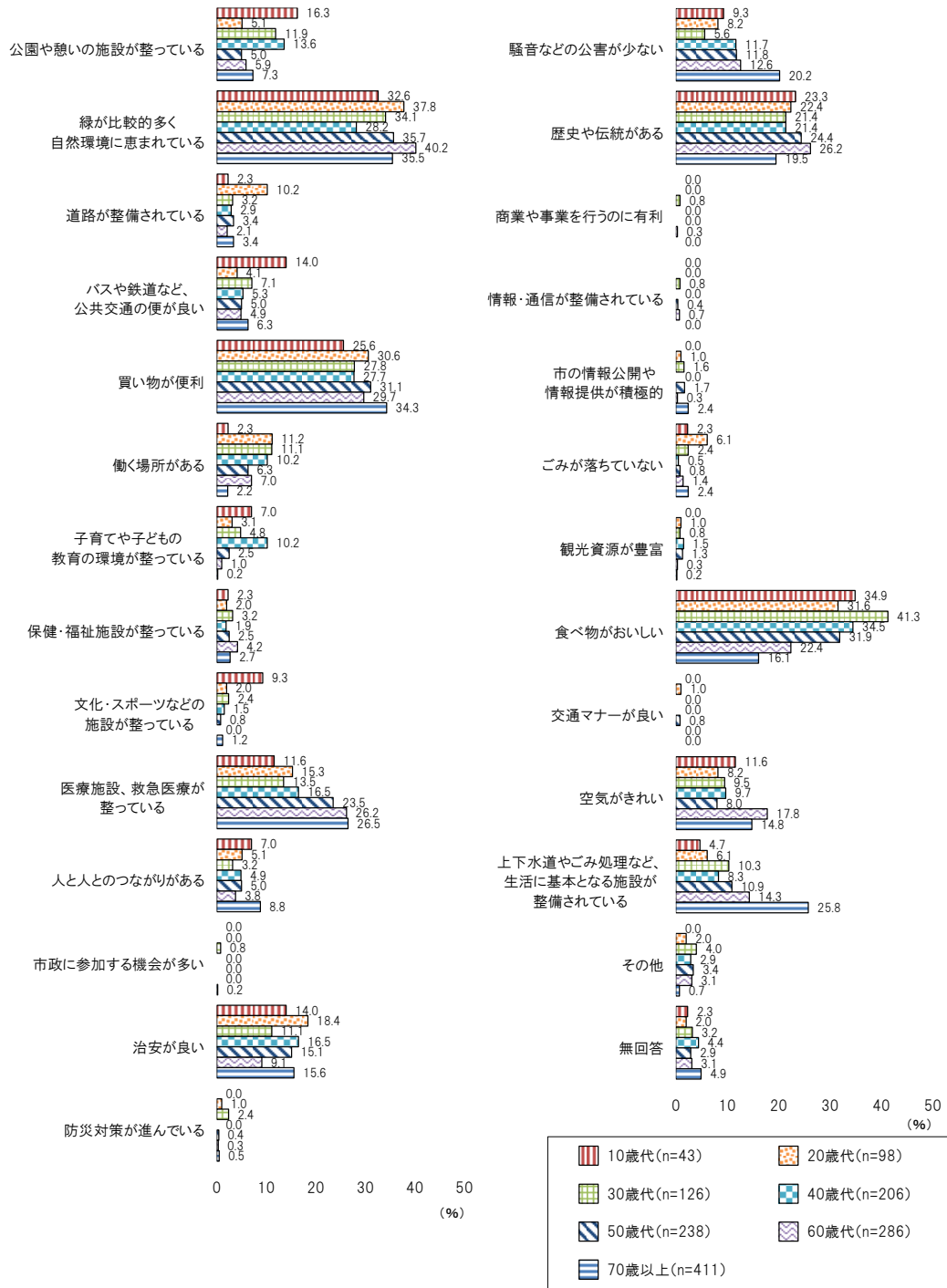
<上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目		
全体		緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.1%	買い物が便利	30.6%	食べ物がおいしい	26.4%	
性別	男性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.2%	買い物が便利	29.6%	食べ物がおいしい	23.9%	
	女性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	36.4%	買い物が便利	32.5%	食べ物がおいしい	28.4%	
年代別	10歳代	食べ物がおいしい	34.9%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	32.6%	買い物が便利	25.6%	
	20歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	37.8%	食べ物がおいしい	31.6%	買い物が便利	30.6%	
	30歳代	食べ物がおいしい	41.3%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	34.1%	買い物が便利	27.8%	
	40歳代	食べ物がおいしい	34.5%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	28.2%	買い物が便利	27.7%	
	50歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.7%	食べ物がおいしい	31.9%	買い物が便利	31.1%	
	60歳代		緑が比較的多く自然環境に恵まれている	40.2%	買い物が便利	29.7%	医療施設、救急医療が整っている	26.2%
							歴史や伝統がある	26.2%
70歳以上		緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.5%	買い物が便利	34.3%	医療施設、救急医療が整っている	26.5%	

問5(1) 松阪市の良いところ



問5(1) 松阪市の良いところ



(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が36.2%で最も高く、ついで「交通マナーが悪い」が31.6%、「買い物が不便」が14.1%となっている。

前回と比較すると、「買い物が不便」「文化・スポーツなどの施設が整っていない」等が増加しており、一方で「交通マナーが悪い」「防災対策が遅れている」「道路が整備されていない」等は減少している。

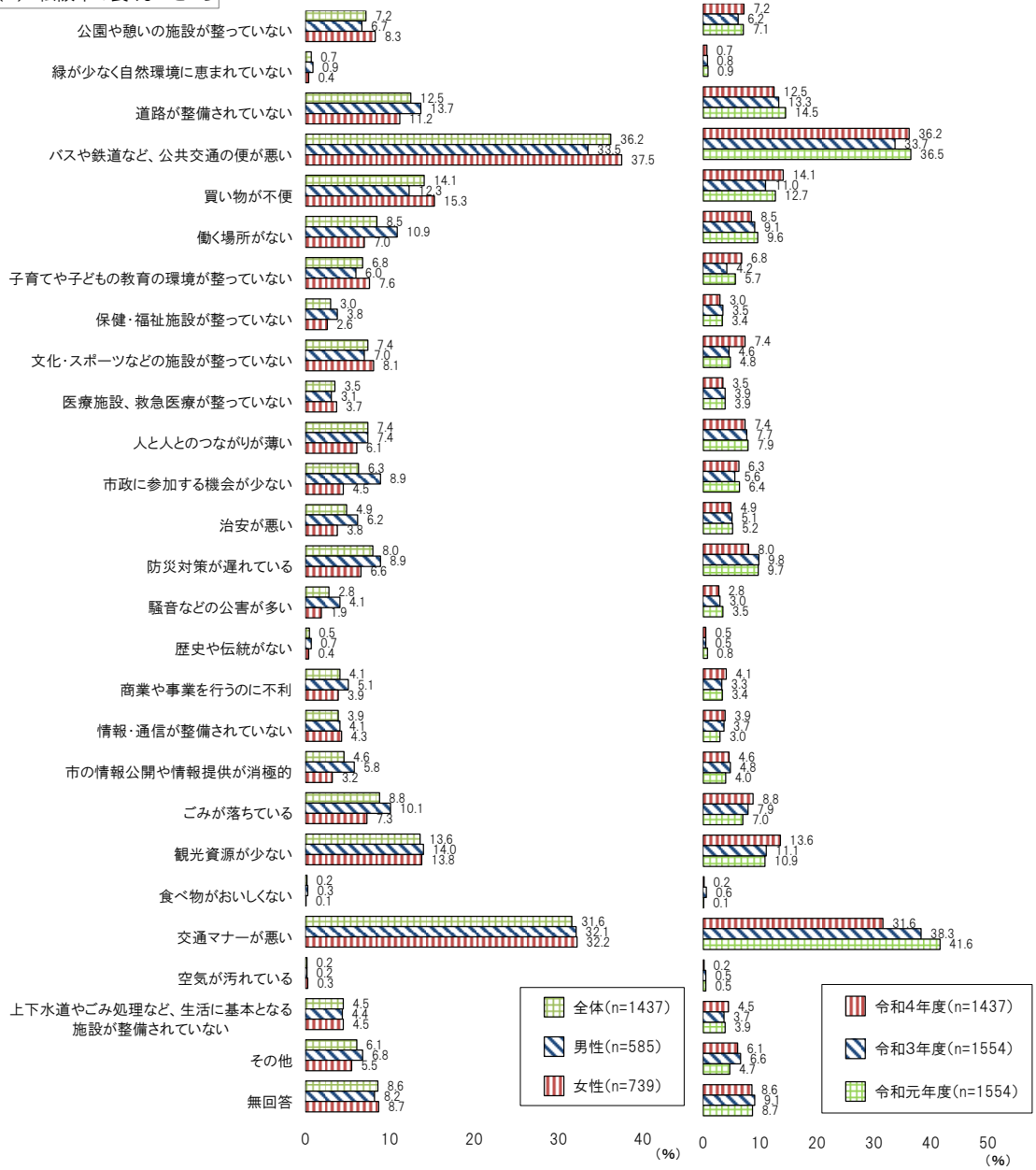
性別にみると、男女ともに1番目に高い項目は「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」、2番目は「交通マナーが悪い」となっている。3番目に高い項目は、男性では「観光資源が少ない」、女性では「買い物が不便」となっている。

年代別にみると、1番目、2番目に高い項目はいずれの年代も「交通マナーが悪い」もしくは「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」であるが、3番目に高い項目は、10歳代は「ごみが落ちている」、20歳代は「働く場所がない」、30歳代は「子育てや子どもの教育の環境が整っていない」、40歳代、60歳代は「観光資源が少ない」、50歳代は「道路が整備されていない」「買い物が不便」、70歳以上は「買い物が不便」であった。なお、50歳代の3番目に高い項目は2項目が同率であった。

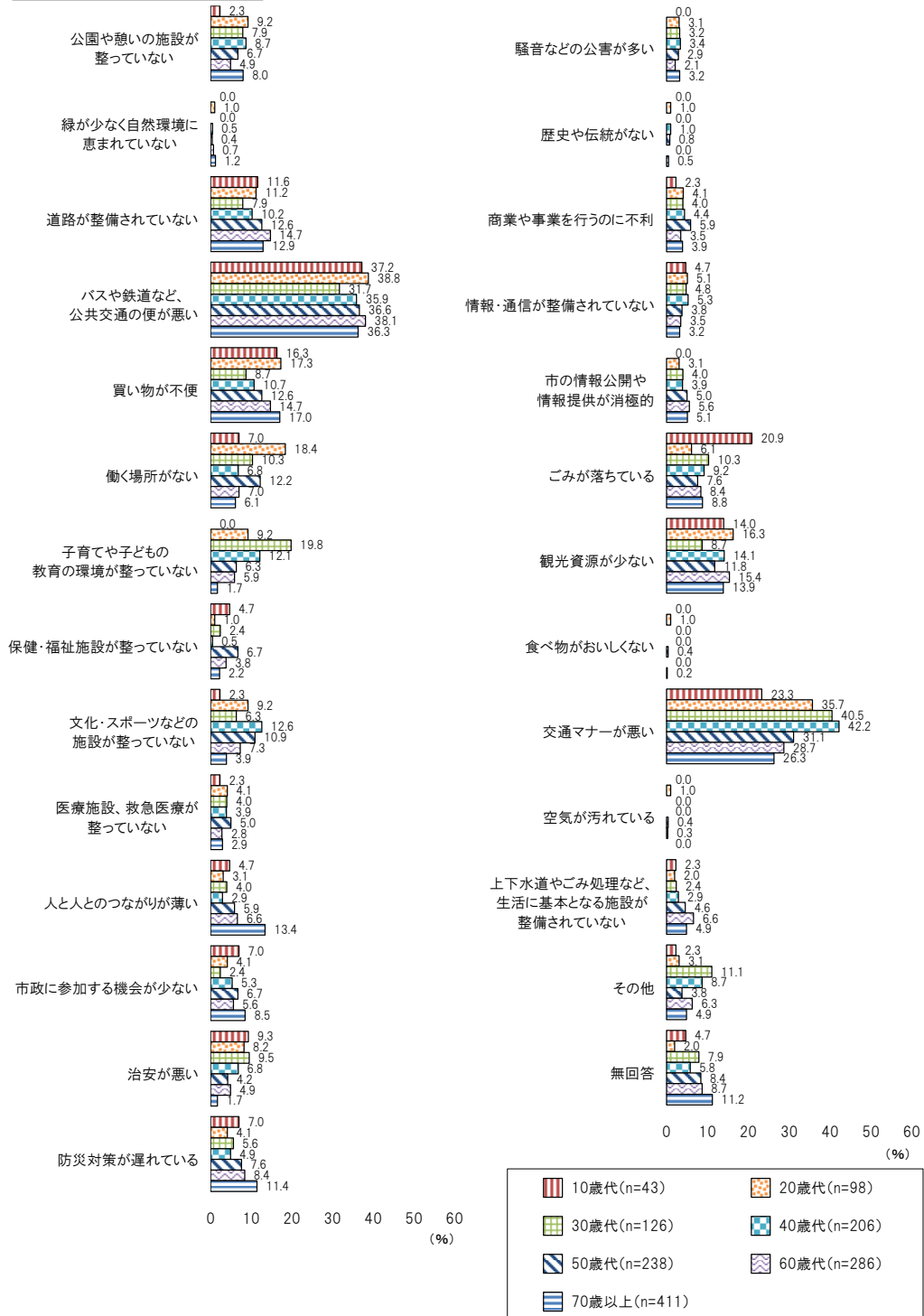
<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目		
全体		バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	36.2%	交通マナーが悪い	31.6%	買い物が不便	14.1%	
性別	男性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	33.5%	交通マナーが悪い	32.1%	観光資源が少ない	14.0%	
	女性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.5%	交通マナーが悪い	32.2%	買い物が不便	15.3%	
年代別	10歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.2%	交通マナーが悪い	23.3%	ごみが落ちている	20.9%	
	20歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.8%	交通マナーが悪い	35.7%	働く場所がない	18.4%	
	30歳代	交通マナーが悪い	40.5%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	31.7%	子育てや子どもの教育の環境が整っていない	19.8%	
	40歳代	交通マナーが悪い	42.2%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	35.9%	観光資源が少ない	14.1%	
	50歳代		バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	36.6%	交通マナーが悪い	31.1%	道路が整備されていない	12.6%
							買い物が不便	12.6%
	60歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.1%	交通マナーが悪い	28.7%	観光資源が少ない	15.4%	
70歳以上	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	36.3%	交通マナーが悪い	26.3%	買い物が不便	17.0%		

問5(2) 松阪市の良くないところ



問5(2) 松阪市の良くないところ



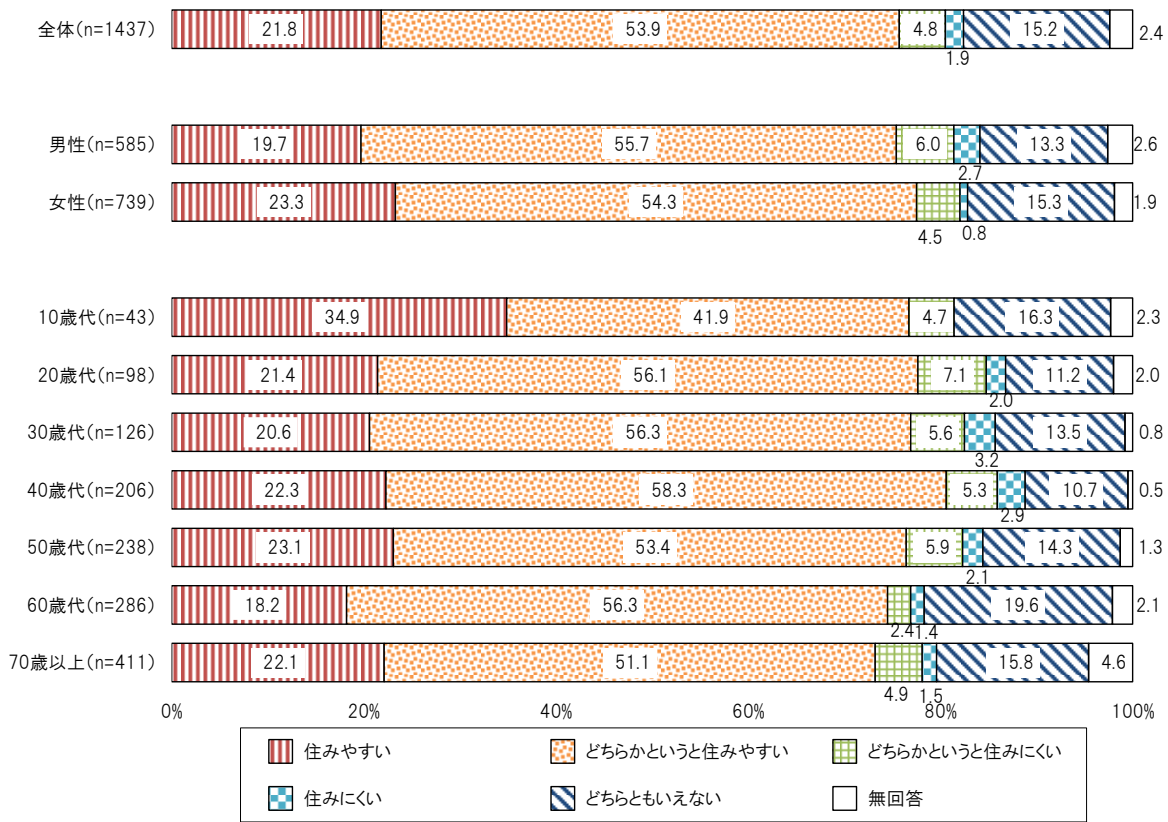
(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというに住みやすい」が53.9%と最も高く、ついで「住みやすい」が21.8%、「どちらともいえない」が15.2%となっている。

性別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、男性で75.4%、女性で77.6%と女性の方が男性より2.2ポイント高くなっている。

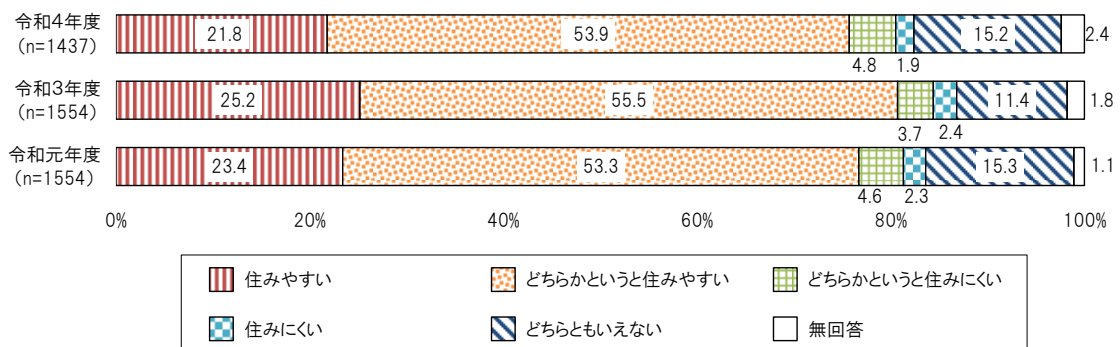
年代別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合はいずれの年代も7割以上となっており、中でも40歳代では80.6%と最も高くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、前回が80.7%であったのに対し今回は75.7%と5.0ポイント低下している。

問5(3) 松阪市は住みやすいか

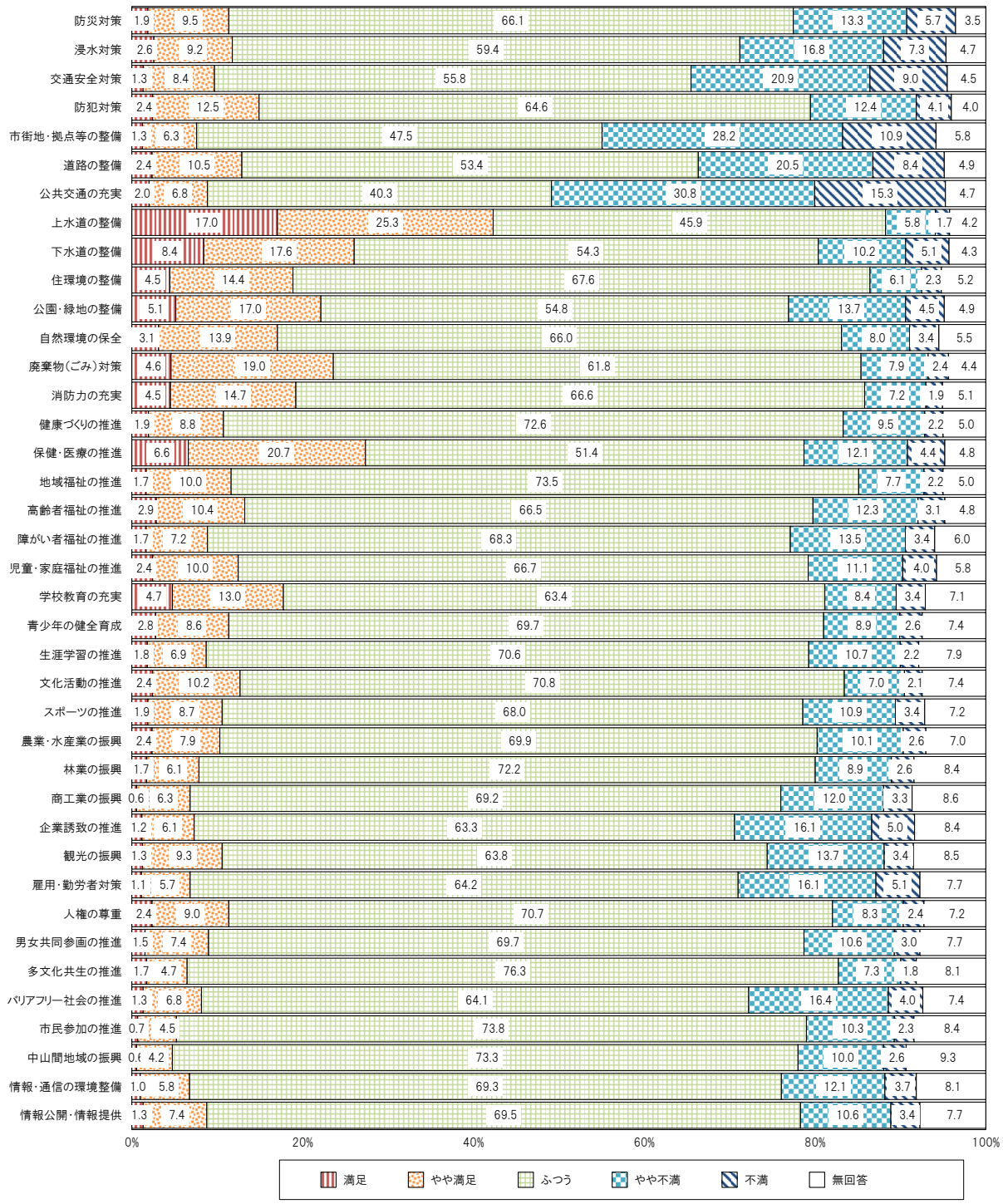


問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(38)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

(1) 満足度

満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く42.3%となっており、ついで「保健・医療の推進」が27.3%、「下水道の整備」が26.0%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の充実」が46.1%で最も高く、ついで「市街地・拠点等の整備」が39.1%、「交通安全対策」が29.9%となっている。

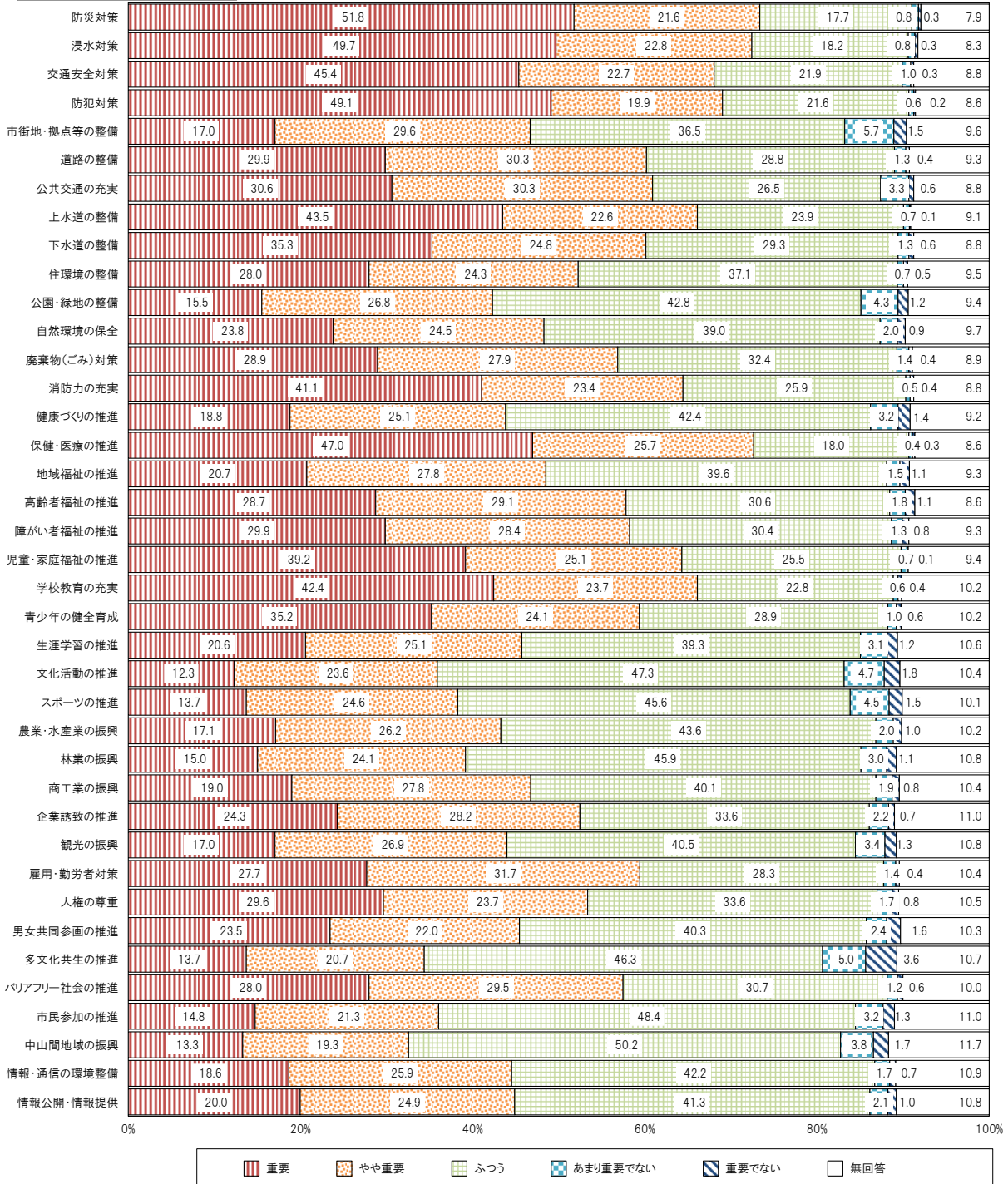
問6 松阪市の政策に対する満足度



(2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「防災対策」が73.4%で最も高く、ついで「保健・医療の推進」が72.7%、「浸水対策」が72.5%となっている。

問6 松阪市の政策に対する重要度



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

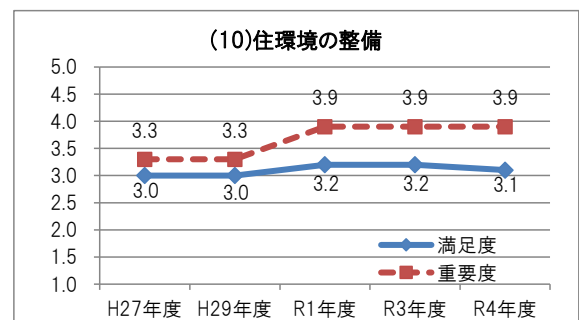
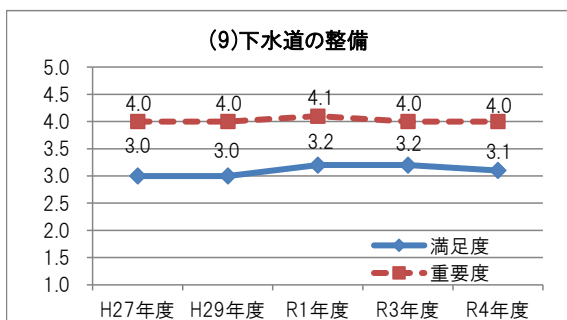
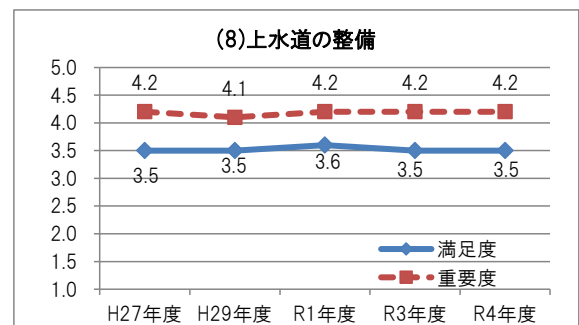
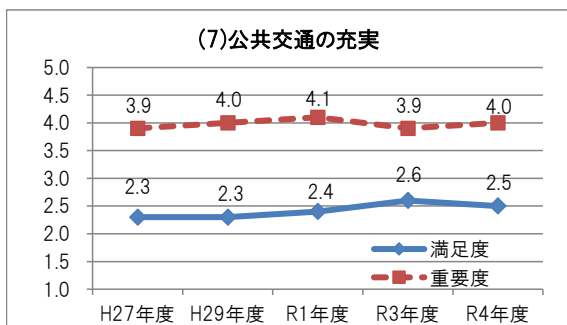
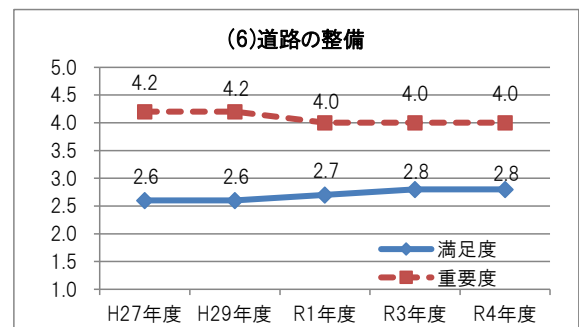
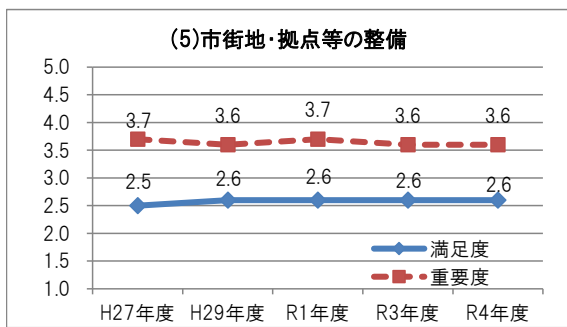
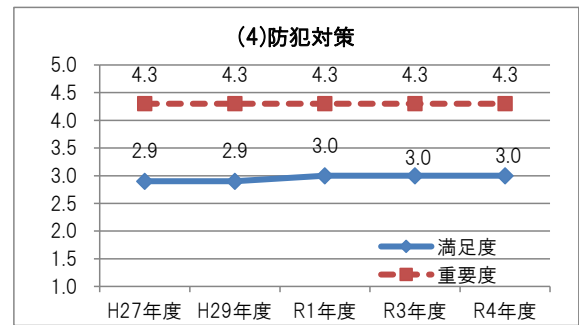
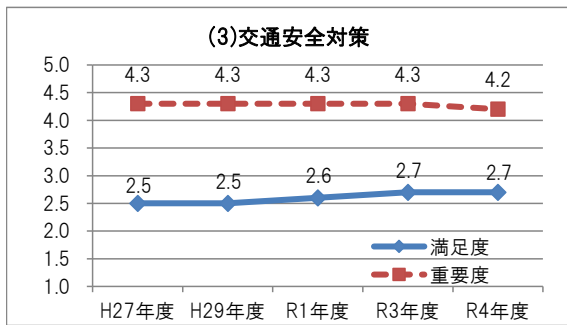
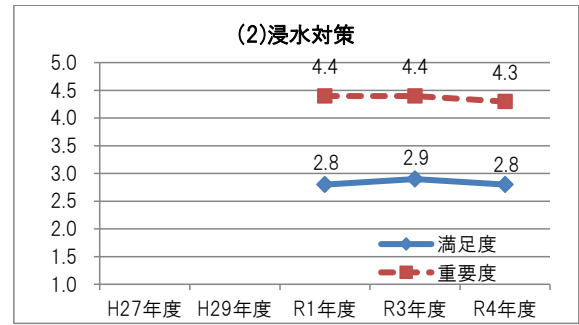
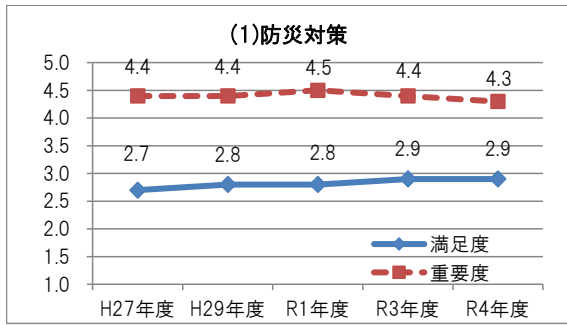
《評価得点の算出式》

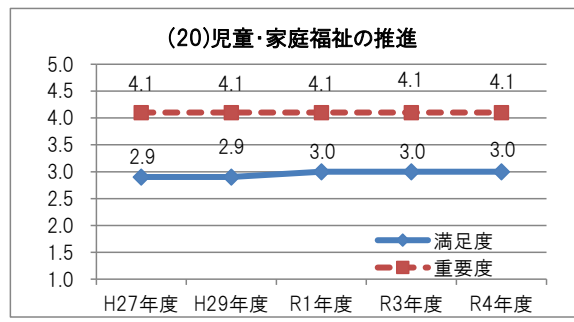
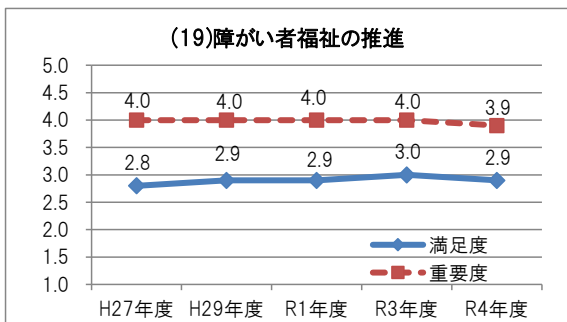
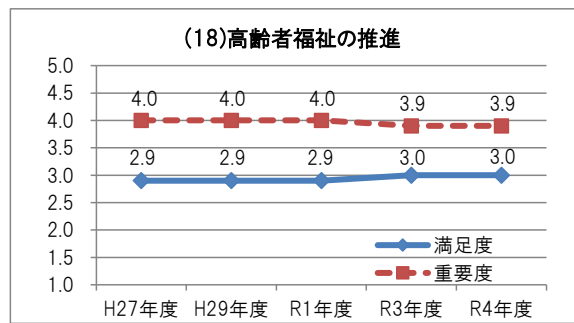
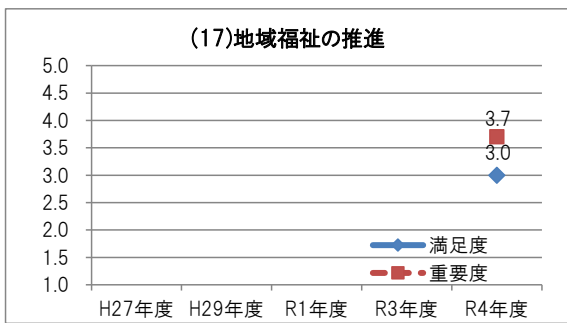
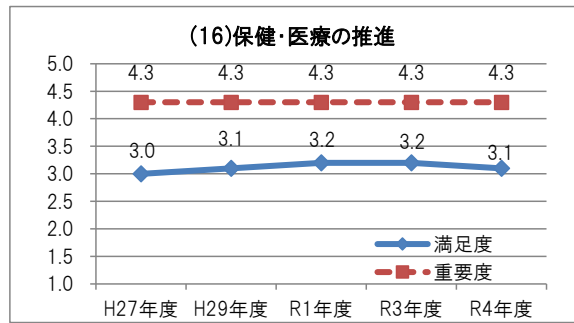
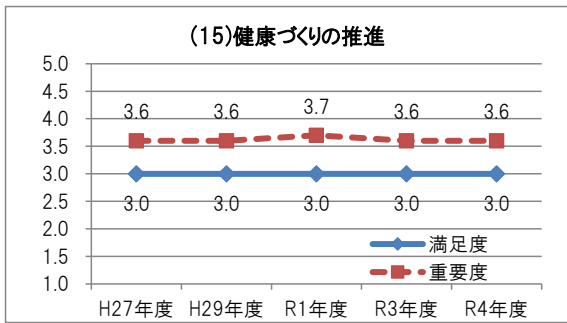
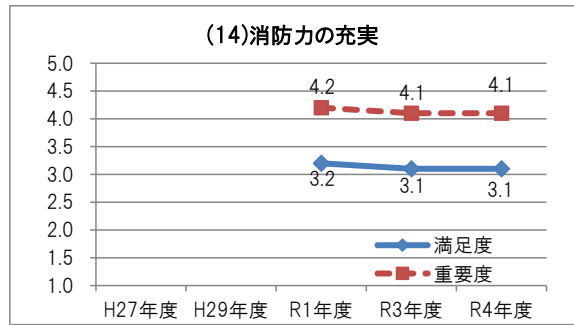
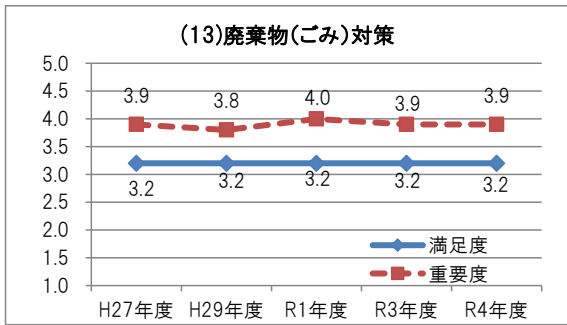
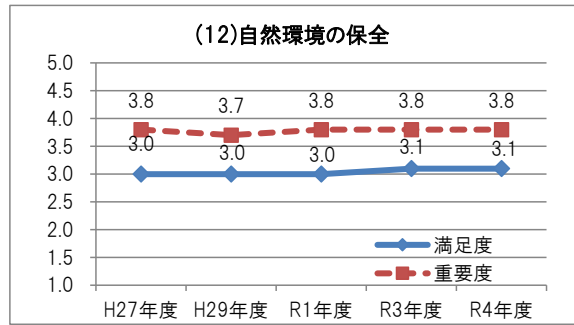
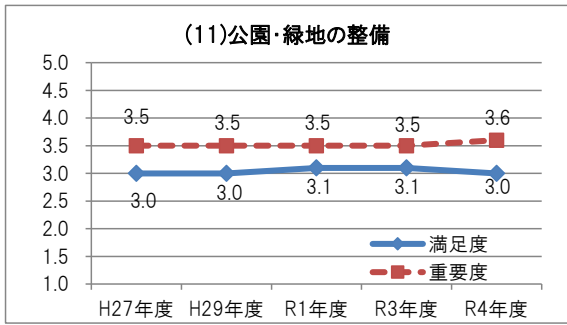
$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

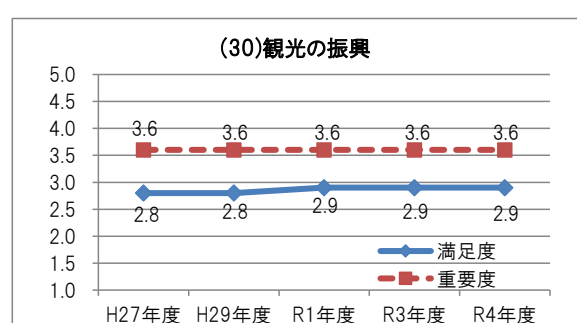
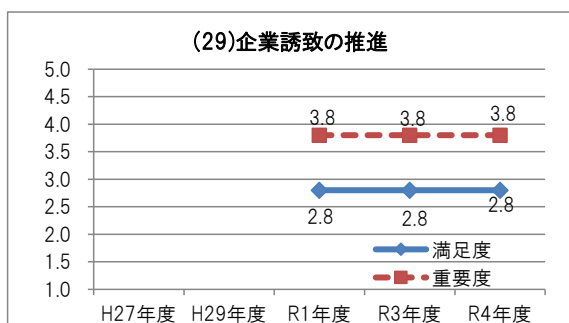
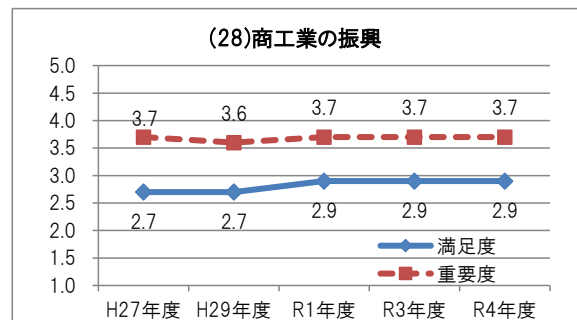
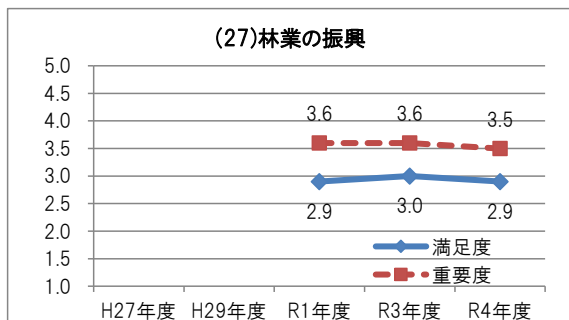
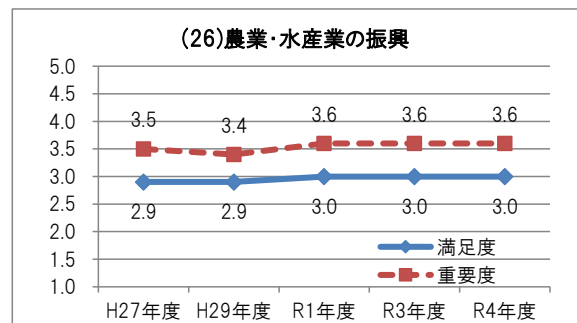
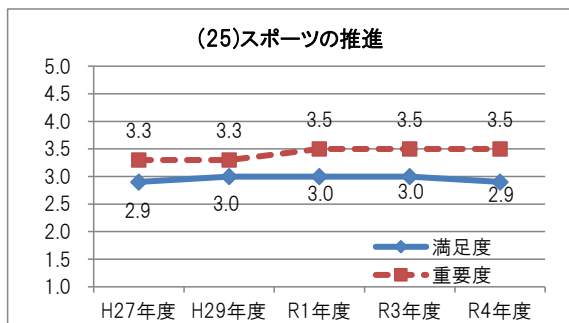
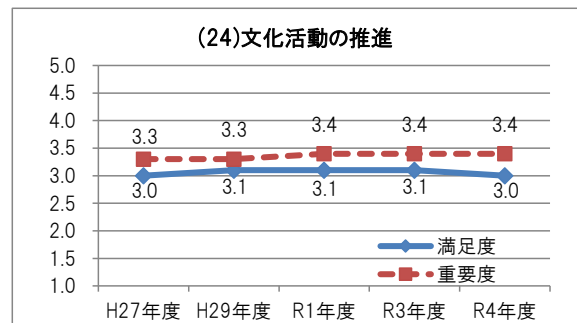
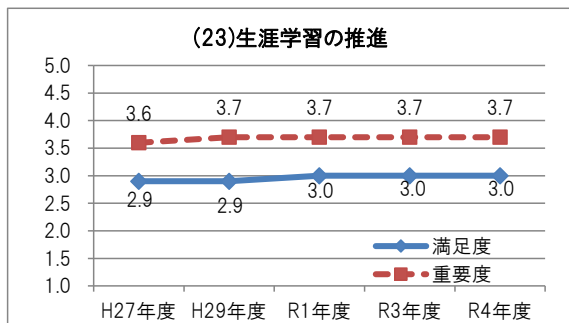
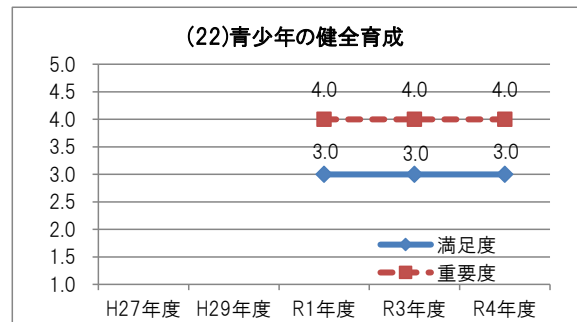
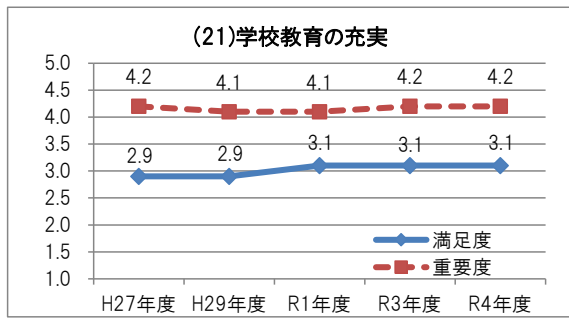
$$\text{重要度} = \frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

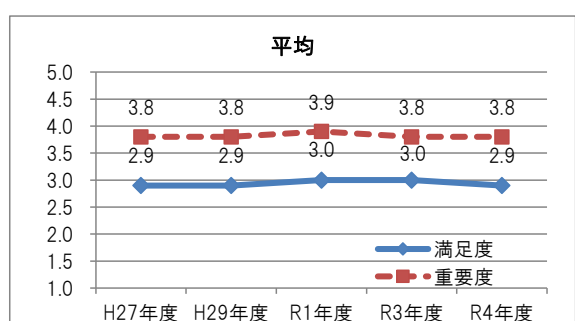
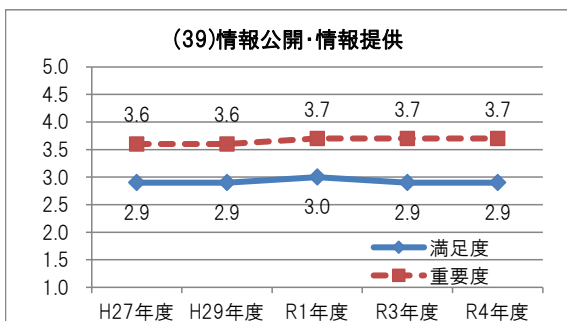
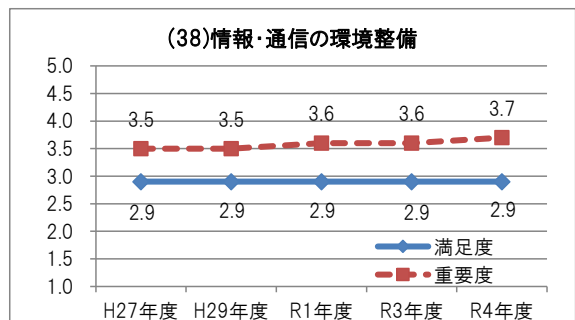
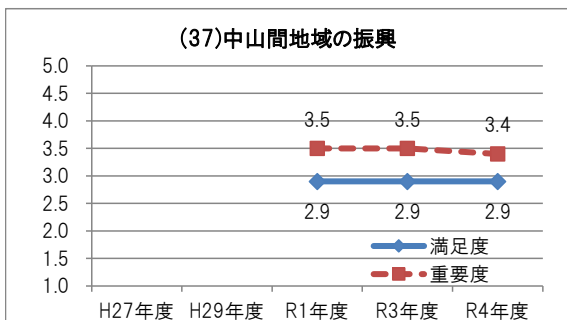
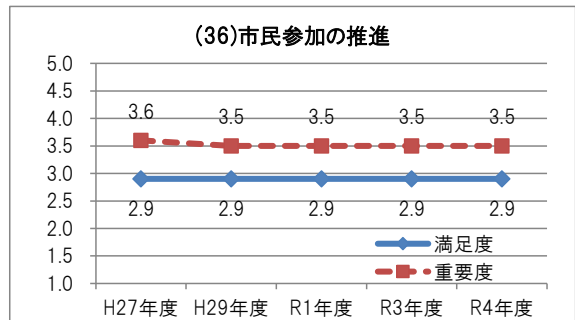
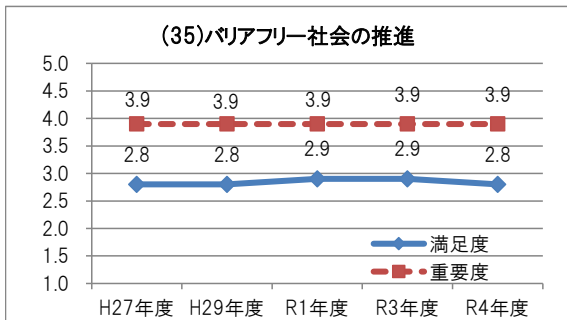
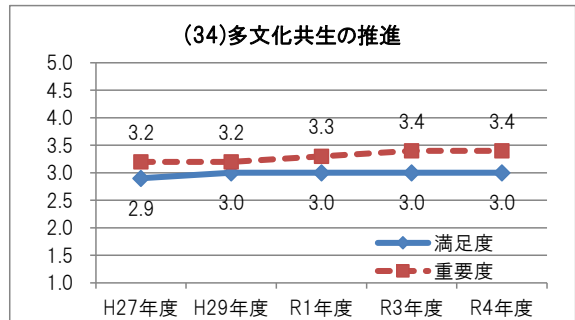
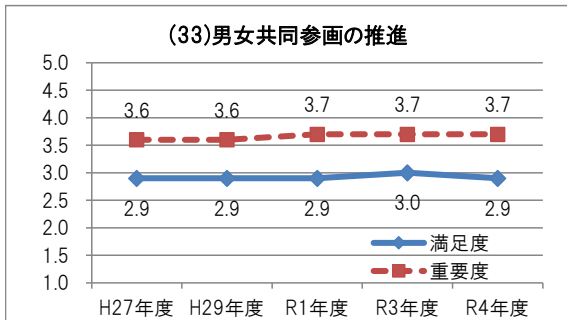
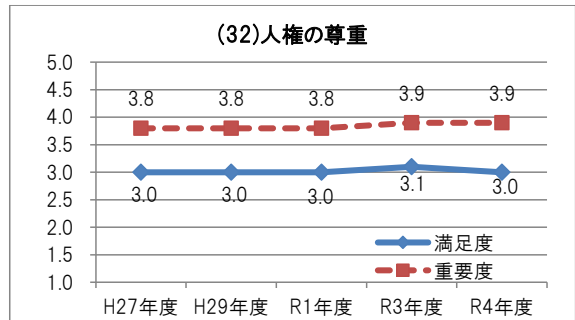
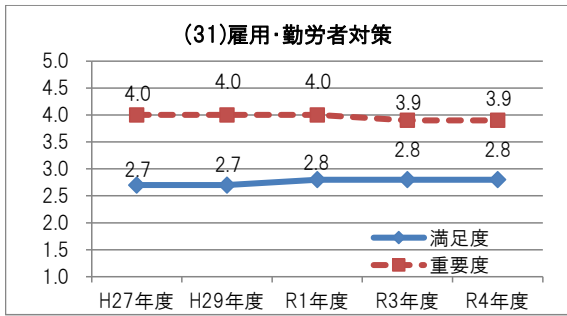
前回と比較すると、満足度では 39 項目中 3 項目が上昇、2 項目が横ばい、33 項目が下降となり、平均では 0.03 の下降となっている。重要度をみると、39 項目中 19 項目が上昇、5 項目が横ばい、14 項目が下降となり、平均では同率となっている。なお、「地域福祉の推進」は今回からの新規項目のため上昇、横ばい、下降の数に含まない。

項目番号	施策	満足度							重要度										
		H27年度	H29年度	R1年度	R3年度	R4年度	H27年度	H29年度	R1年度	R3年度	R4年度								
1	防災対策	2.72	↑	2.78	↑	2.82	↑	2.87	↑	2.88	4.38	↑	4.42	↑	4.46	↓	4.37	↓	4.34
2	浸水対策					2.77	↑	2.85	↓	2.82				4.40	↓	4.36	↓	4.32	
3	交通安全対策	2.47	↑	2.53	↑	2.55	↑	2.67	↑	2.71	4.31	↓	4.29	↑	4.33	↓	4.29	↓	4.23
4	防犯対策	2.91	↑	2.95	→	2.95	↑	3.05	↓	2.97	4.31	↓	4.28	↑	4.32	↓	4.29	↓	4.28
5	市街地・拠点等の整備	2.49	↑	2.56	↑	2.57	↑	2.62	↓	2.56	3.74	↓	3.63	↑	3.66	↓	3.58	↑	3.61
6	道路の整備	2.56	↑	2.61	↑	2.74	↑	2.81	↓	2.77	4.21	↑	4.24	↓	4.02	↓	3.98	↓	3.97
7	公共交通の充実	2.35	↓	2.25	↑	2.39	↑	2.56	↓	2.47	3.90	↑	3.98	↑	4.07	↓	3.92	↑	3.95
8	上水道の整備	3.50	↑	3.54	↑	3.60	↓	3.53	↓	3.52	4.16	↓	4.12	↑	4.23	↓	4.18	↑	4.20
9	下水道の整備	2.97	↑	2.99	↑	3.22	↓	3.19	↓	3.15	4.00	↓	3.98	↑	4.07	↓	4.04	↓	4.02
10	住環境の整備	2.99	↓	2.97	↑	3.17	→	3.17	↓	3.13	3.31	→	3.31	↑	3.88	↓	3.87	→	3.87
11	公園・緑地の整備	3.03	↓	3.00	↑	3.10	↑	3.12	↓	3.05	3.50	↓	3.48	↑	3.50	↑	3.54	↑	3.56
12	自然環境の保全	2.97	↑	2.98	↑	3.05	↑	3.06	→	3.06	3.76	↓	3.75	→	3.75	↑	3.78	↓	3.76
13	廃棄物(ごみ)対策	3.20	→	3.20	↓	3.17	↑	3.18	↓	3.16	3.90	↓	3.83	↑	3.97	↓	3.88	↑	3.92
14	消防力の充実					3.15	↓	3.12	↑	3.13				4.18	↓	4.11	↑	4.14	
15	健康づくりの推進	2.97	↑	3.00	↑	3.02	↑	3.04	↓	2.99	3.65	↓	3.63	↑	3.67	↓	3.60	↑	3.62
16	保健・医療の推進	3.03	↑	3.07	↑	3.19	↓	3.16	↓	3.14	4.29	↓	4.26	↑	4.30	↓	4.28	↑	4.30
17	地域福祉の推進									3.01									3.72
18	高齢者福祉の推進	2.94	→	2.94	→	2.94	↑	3.03	↓	2.97	3.98	↓	3.97	↑	4.02	↓	3.92	↓	3.90
19	障がい者福祉の推進	2.82	↑	2.85	↑	2.92	↑	2.97	↓	2.90	3.98	↓	3.97	↑	4.00	↓	3.98	↓	3.94
20	児童・家庭福祉の推進	2.91	↑	2.94	↑	3.01	↑	3.03	↓	2.96	4.11	↓	4.07	↑	4.12	→	4.12	↑	4.13
21	学校教育の充実	2.93	↑	2.95	↑	3.08	→	3.08	→	3.08	4.18	↓	4.13	↑	4.15	↑	4.19	→	4.19
22	青少年の健全育成					3.03	↑	3.04	↓	3.00				4.04	↓	4.01	↑	4.03	
23	生涯学習の推進	2.91	↑	2.94	↑	2.97	↑	2.98	↓	2.95	3.58	↑	3.65	↑	3.67	↓	3.66	↑	3.68
24	文化活動の推進	3.01	↑	3.06	↑	3.10	→	3.10	↓	3.04	3.33	↓	3.30	↑	3.44	↓	3.40	↑	3.45
25	スポーツの推進	2.94	↑	2.97	↑	3.00	↓	2.98	↓	2.94	3.30	↓	3.27	↑	3.49	↓	3.47	↑	3.49
26	農業・水産業の振興	2.91	↑	2.95	↑	3.01	↑	3.02	↓	2.97	3.52	↓	3.43	↑	3.62	↓	3.59	↑	3.63
27	林業の振興					2.95	↑	2.96	↓	2.95				3.57	→	3.57	↓	3.55	
28	商工業の振興	2.65	↑	2.70	↑	2.89	↑	2.93	↓	2.88	3.71	↓	3.65	↑	3.68	→	3.68	↑	3.69
29	企業誘致の推進					2.82	↑	2.85	↓	2.81				3.79	↓	3.78	↑	3.82	
30	観光の振興	2.79	↑	2.83	↑	2.93	↑	2.94	↓	2.90	3.58	↓	3.56	↑	3.59	↓	3.56	↑	3.62
31	雇用・勤労者対策	2.67	↑	2.72	↑	2.79	↑	2.85	↓	2.80	4.01	↓	3.96	↓	3.95	↓	3.94	↑	3.95
32	人権の尊重	2.95	↑	2.99	↑	3.00	↑	3.06	↓	3.01	3.76	↑	3.78	↑	3.85	↑	3.89	→	3.89
33	男女共同参画の推進	2.91	↑	2.93	↑	2.95	↑	3.00	↓	2.93	3.58	→	3.58	↑	3.68	↓	3.71	→	3.71
34	多文化共生の推進	2.92	↑	2.97	↓	2.96	↑	3.00	↓	2.97	3.19	↑	3.20	↑	3.35	↑	3.42	↓	3.40
35	バリアフリー社会の推進	2.79	→	2.79	↑	2.86	↑	2.89	↓	2.84	3.87	↑	3.86	↑	3.92	→	3.92	→	3.92
36	市民参加の推進	2.85	↑	2.89	↑	2.95	↓	2.94	↓	2.90	3.55	↓	3.48	↑	3.52	→	3.52	↓	3.51
37	中山間地域の振興					2.88	↑	2.92	↓	2.89				3.46	↓	3.45	↓	3.44	
38	情報・通信の環境整備	2.88	↑	2.91	↑	2.94	↓	2.92	↓	2.87	3.50	↓	3.49	↑	3.62	→	3.62	↑	3.67
39	情報公開・情報提供	2.85	↑	2.91	↑	2.96	↓	2.93	↓	2.92	3.64	↓	3.62	↑	3.70	↓	3.69	↓	3.68
平均		2.90	→	2.90	↑	2.96	↑	2.98	↓	2.95	3.80	↓	3.79	↑	3.87	↓	3.85	→	3.85







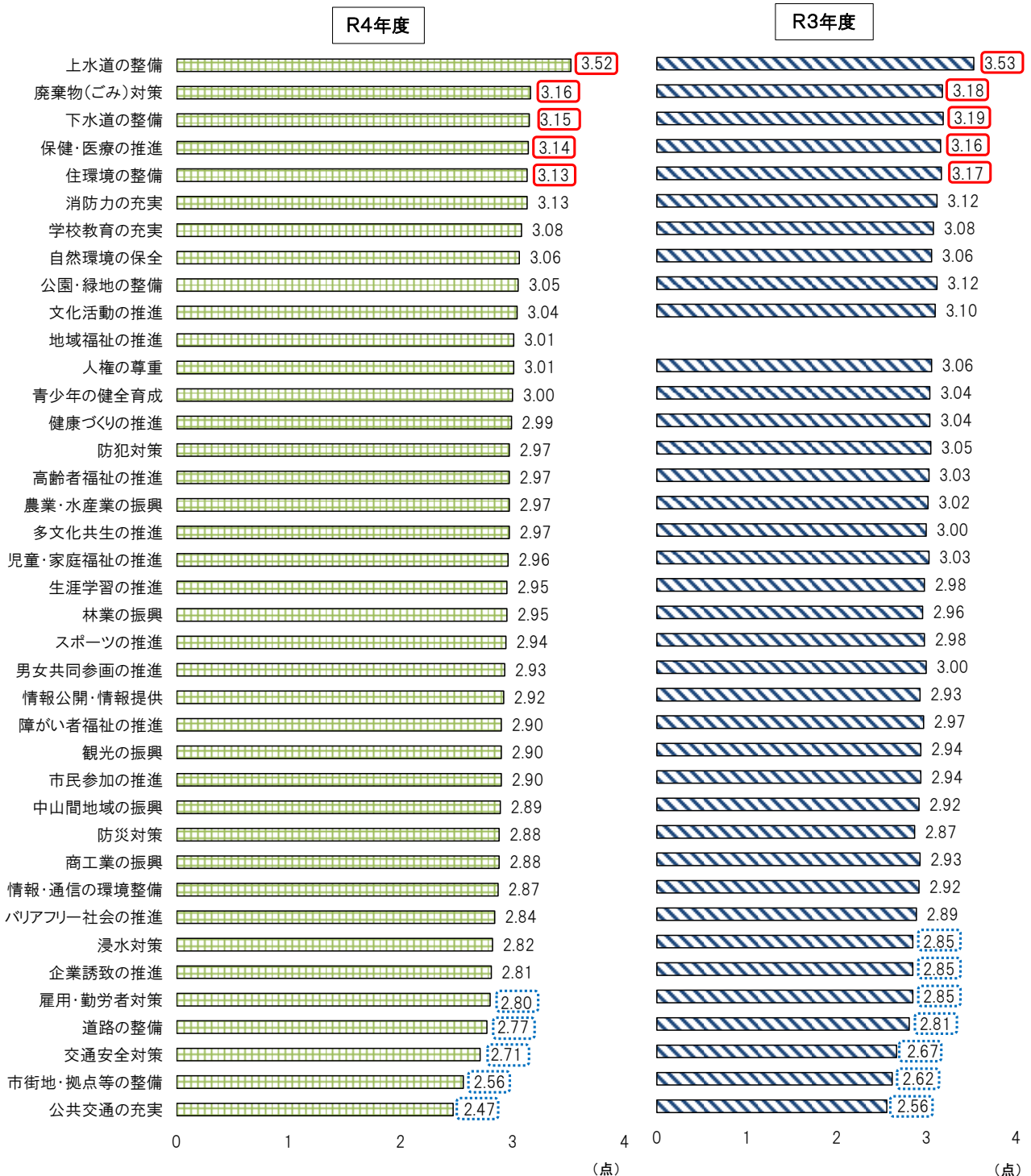


満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、いずれ項目も満足度は低下している。

下位5項目についてもすべて前回と同様の項目となっている。それらのうち「交通安全対策の整備」は満足度が上昇し、他の4項目は低下している。

問6 松阪市の政策に対する満足度

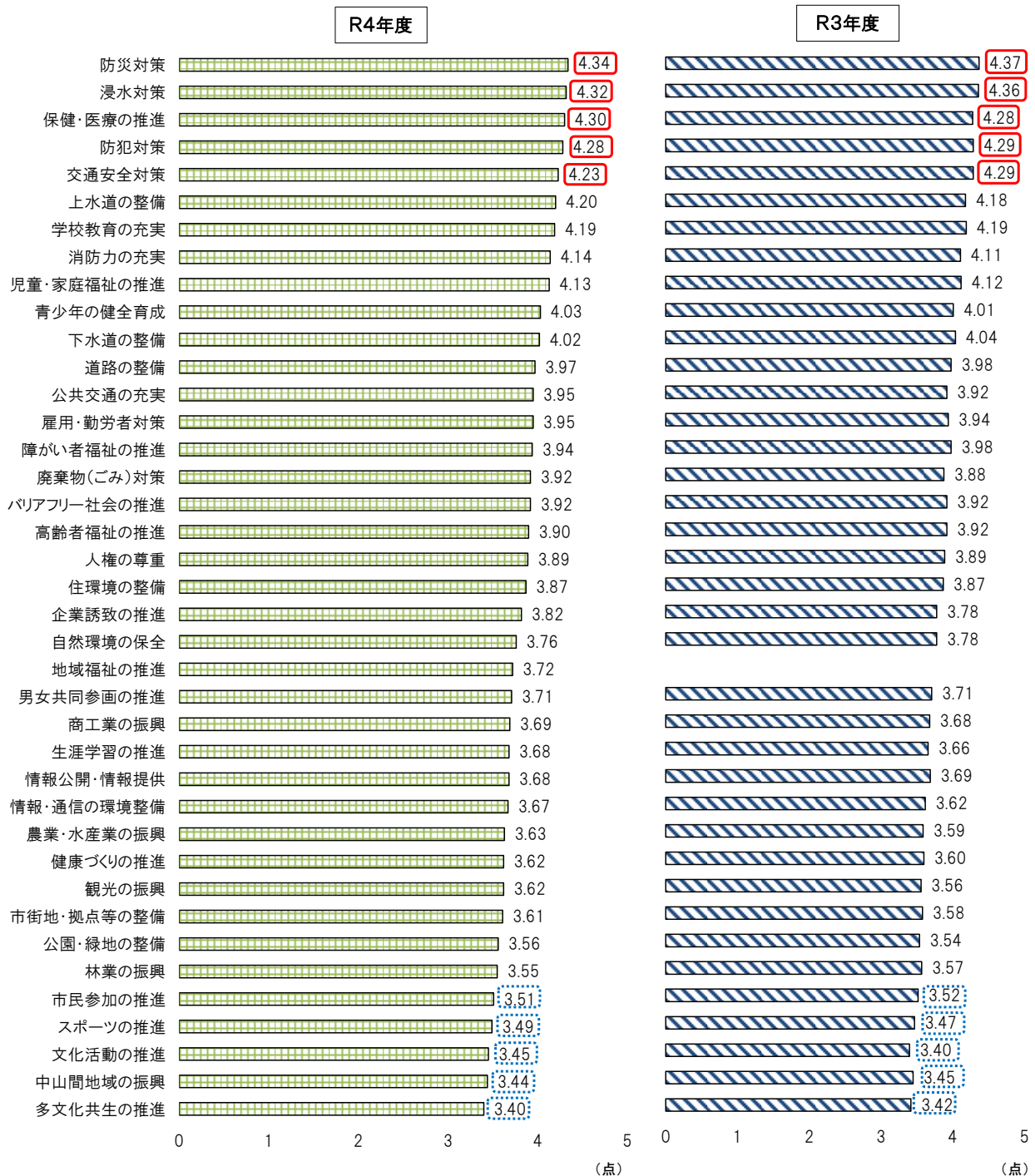


重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、重要度は「保健・医療の推進」は上昇し、他の4項目は低下している。

一方で下位5項目についてもすべて前回と同様の項目となっている。重要度は「多文化共生の推進」「中山間地域の振興」「市民参加の推進」では低下し、「文化活動の推進」「スポーツの推進」では上昇している。

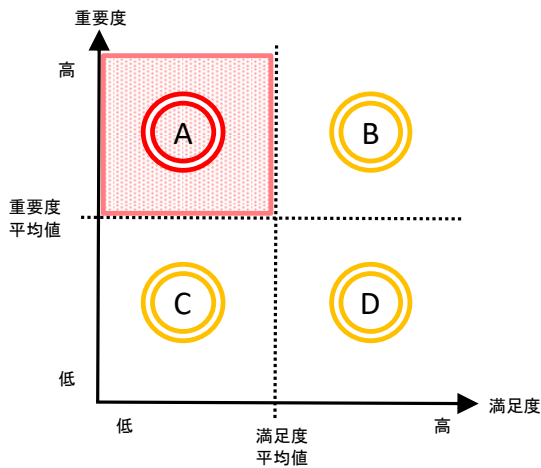
問6 松阪市の政策に対する重要度



39 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。



《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができる。

最重点項目の判定基準

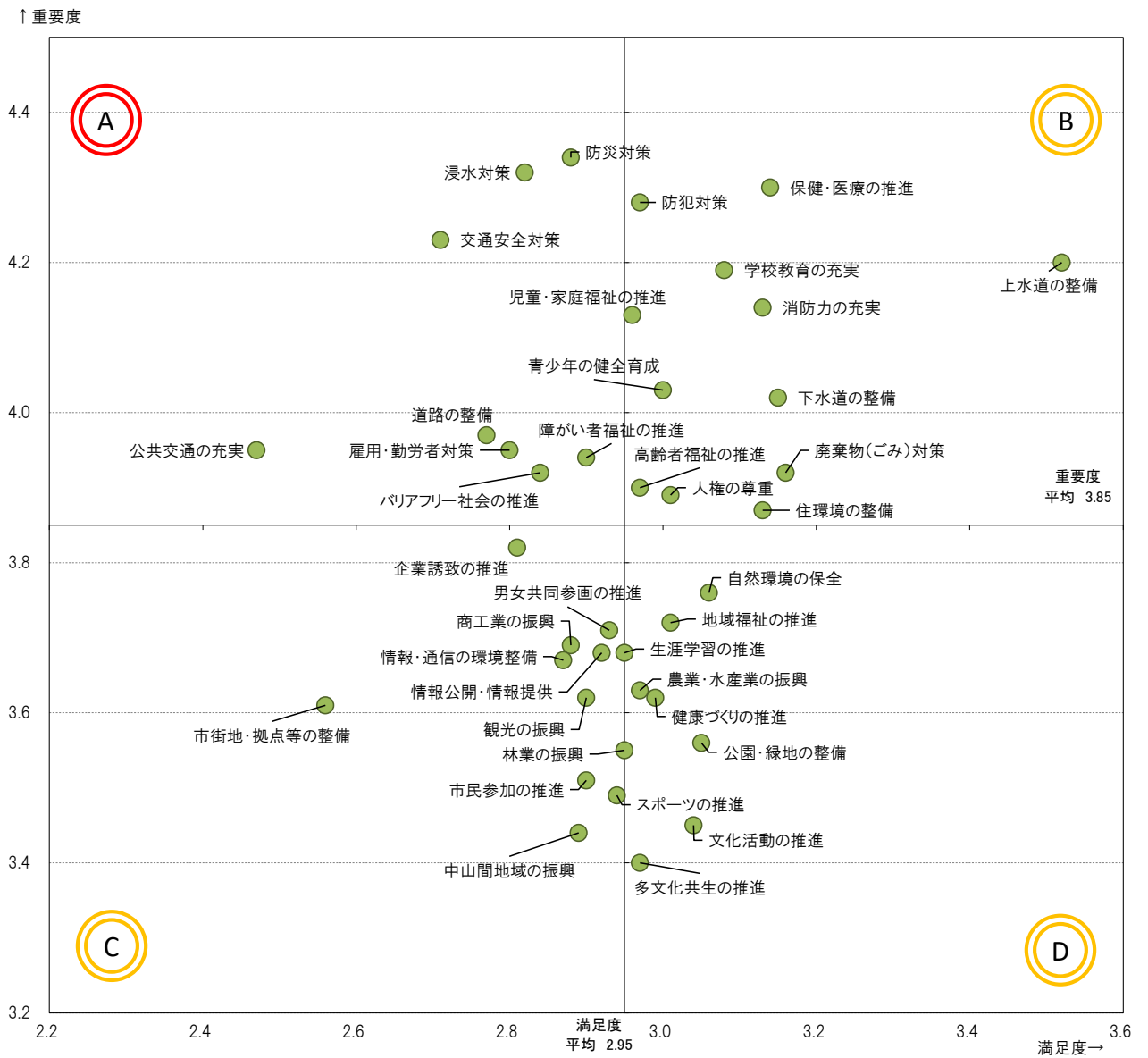
- ・満足度⇒平均値を下回る
- ・重要度⇒平均値を上回る

《施策項目に対する考え方》

分類

- ① A 満足度が低く、重要度が高い ⇒ **最重点項目（優先すべき施策）**
- ② B 満足度が高く、重要度が高い ⇒ **これまで通り継続して実施すべき施策**
- ③ C 満足度が低く、重要度が低い ⇒ **施策内容等を見直し、検討を要する施策**
- ④ D 満足度が高く、重要度が低い ⇒ **これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策**

満足度と重要度の関係



※この表は P35 の表の数値を用いています。

以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりとなる。

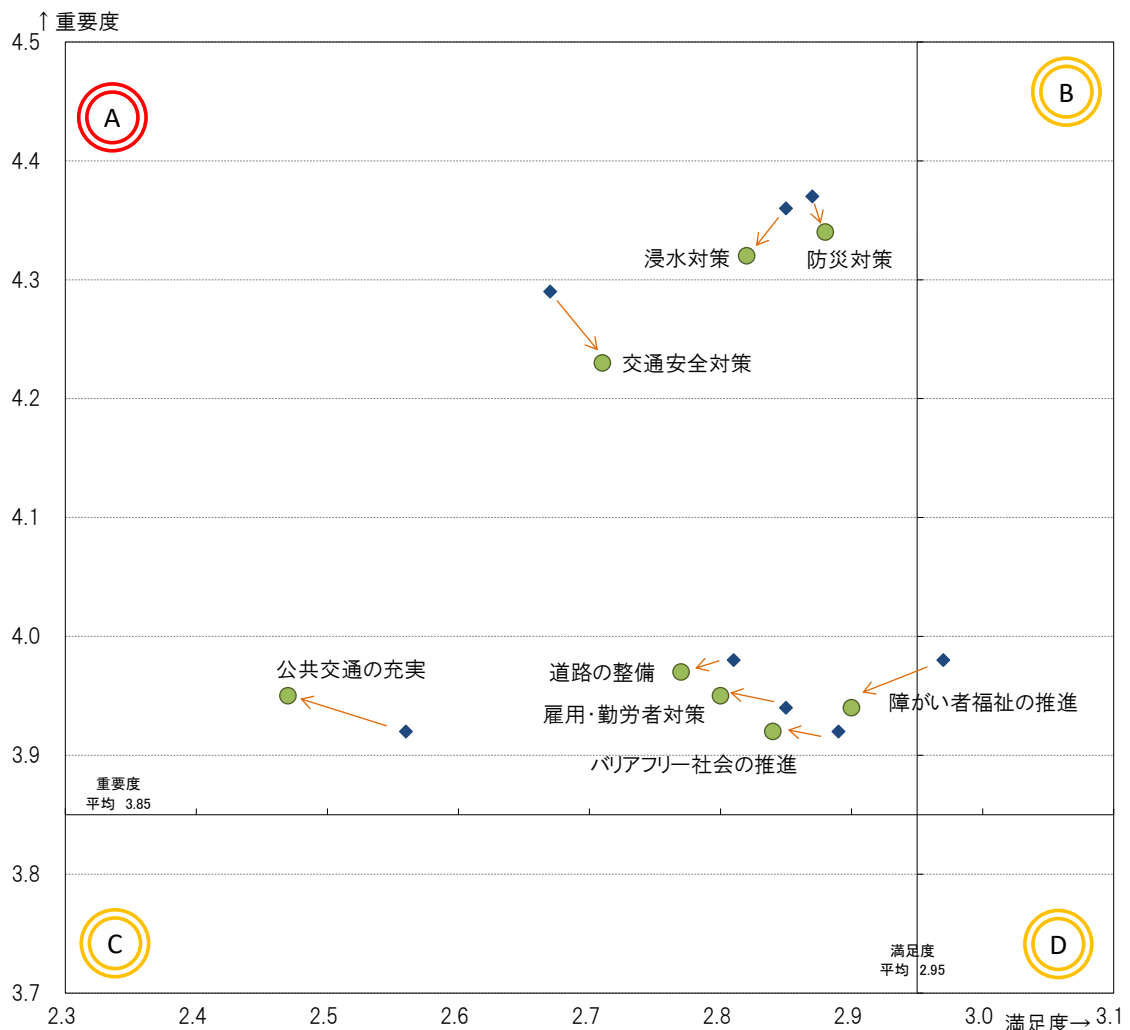
A	最重点項目(市民が優先して求めている施策)	<input type="checkbox"/> 防災対策 <input type="checkbox"/> 浸水対策 <input type="checkbox"/> 交通安全対策	<input type="checkbox"/> 道路の整備 <input type="checkbox"/> 公共交通の充実 <input type="checkbox"/> 障がい者福祉の推進	<input type="checkbox"/> 雇用・勤労者対策 <input type="checkbox"/> バリアフリー社会の推進
B	これまで通り継続して実施すべき施策	<input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 上水道の整備 <input type="checkbox"/> 下水道の整備 <input type="checkbox"/> 住環境の整備	<input type="checkbox"/> 廃棄物(ごみ)対策 <input type="checkbox"/> 消防力の充実 <input type="checkbox"/> 保健・医療の推進 <input type="checkbox"/> 高齢者福祉の推進	<input type="checkbox"/> 児童・家庭福祉の推進 <input type="checkbox"/> 学校教育の充実 <input type="checkbox"/> 青少年の健全育成 <input type="checkbox"/> 人権の尊重
C	施策内容等を見直し、検討を要する施策	<input type="checkbox"/> 市街地・拠点等の整備 <input type="checkbox"/> スポーツの推進 <input type="checkbox"/> 商工業の振興 <input type="checkbox"/> 企業誘致の推進	<input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 男女共同参画の推進 <input type="checkbox"/> 市民参加の推進 <input type="checkbox"/> 中山間地域の振興	<input type="checkbox"/> 情報・通信の環境整備 <input type="checkbox"/> 情報公開・情報提供
D	これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策	<input type="checkbox"/> 公園・緑地の整備 <input type="checkbox"/> 自然環境の保全 <input type="checkbox"/> 健康づくりの推進	<input type="checkbox"/> 地域福祉の推進 <input type="checkbox"/> 生涯学習の推進 <input type="checkbox"/> 文化活動の推進	<input type="checkbox"/> 農業・水産業の振興 <input type="checkbox"/> 林業の振興 <input type="checkbox"/> 多文化共生の推進

最重点項目について前回と比較した結果は以下の通りとなる。

8つの重点項目をみると、5つのパターンに分かれる。

- ①『満足度が微増および横ばい (0~0.05 以下)』かつ『重要度が微減および横ばい (0~0.05 以上)』
 - 「防災対策」「交通安全対策」があげられる。
- ②『満足度が微減および横ばい (0~-0.05 以上)』かつ『重要度が微増および横ばい (0~0.05 以下)』
 - 「雇用・勤労者対策」「バリアフリー社会の推進」があげられる。
- ③『満足度が微減および横ばい (0~-0.05 以上)』かつ『重要度が微減および横ばい (0~0.05 以上)』
 - 「浸水対策」「道路の整備」があげられる。
- ④『満足度が減少 (-0.06 以下)』かつ『重要度が微増および横ばい (0~0.05 以下)』
 - 「公共交通の充実」があげられる。
- ⑤『満足度が減少 (-0.06 以下)』かつ『重要度が微減および横ばい (0~-0.05 以上)』
 - 「障がい者福祉の推進」があげられる。

満足度と重要度の関係



※◆前回調査 (令和3年度) ●令和4年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

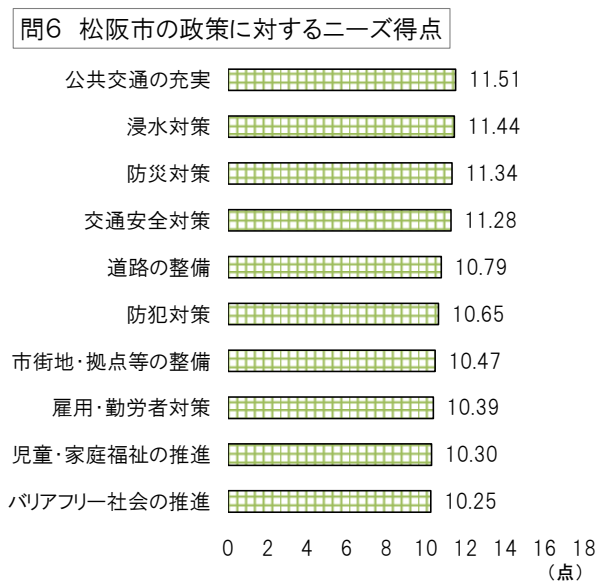
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数（満足度と重要度の両方が回答された数）}$$

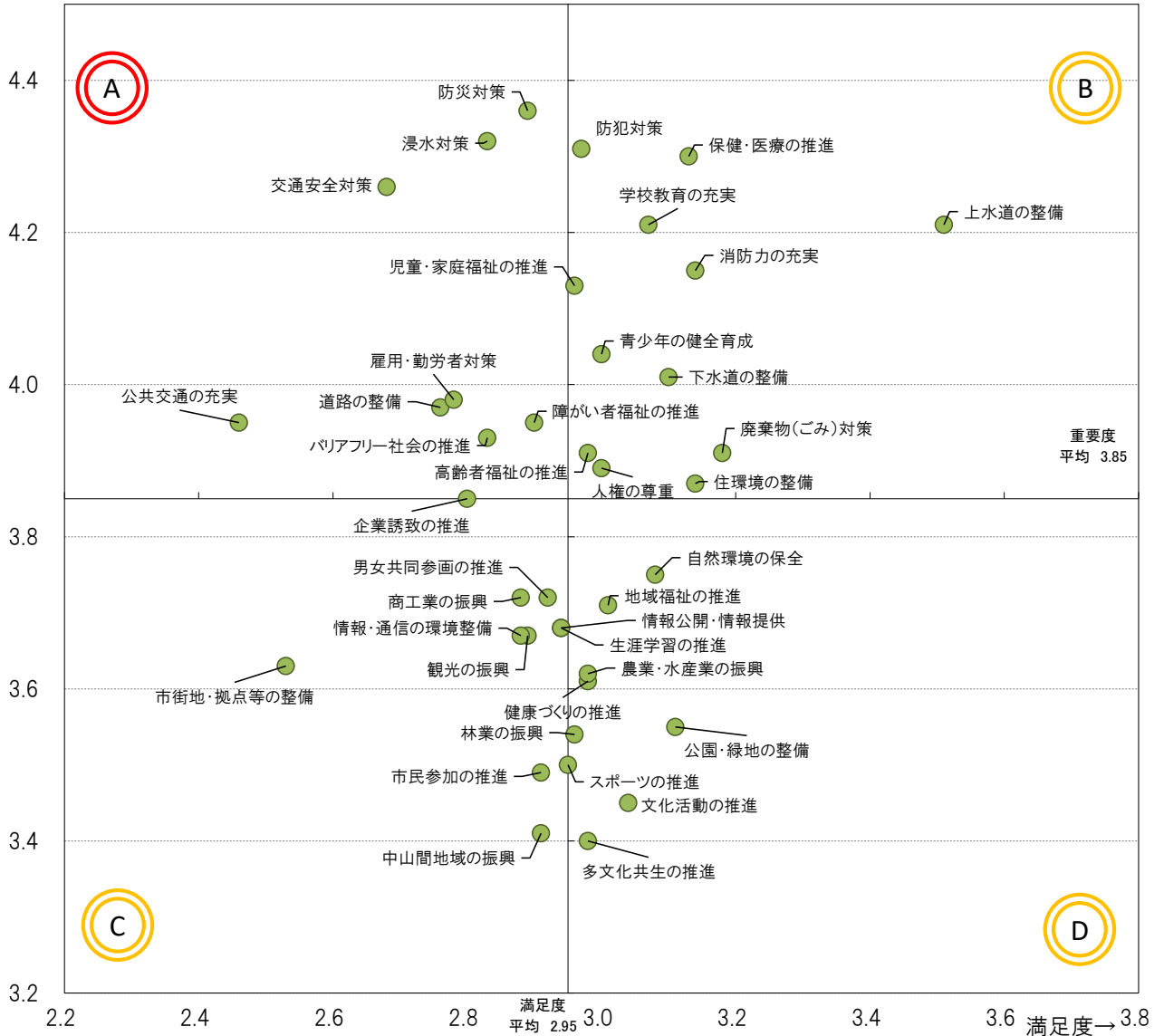
以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「交通安全対策」「浸水対策」「防災対策」等のニーズ得点が高くなっている。



満足度と重要度から、居住地別に「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《本庁管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(本庁管内)

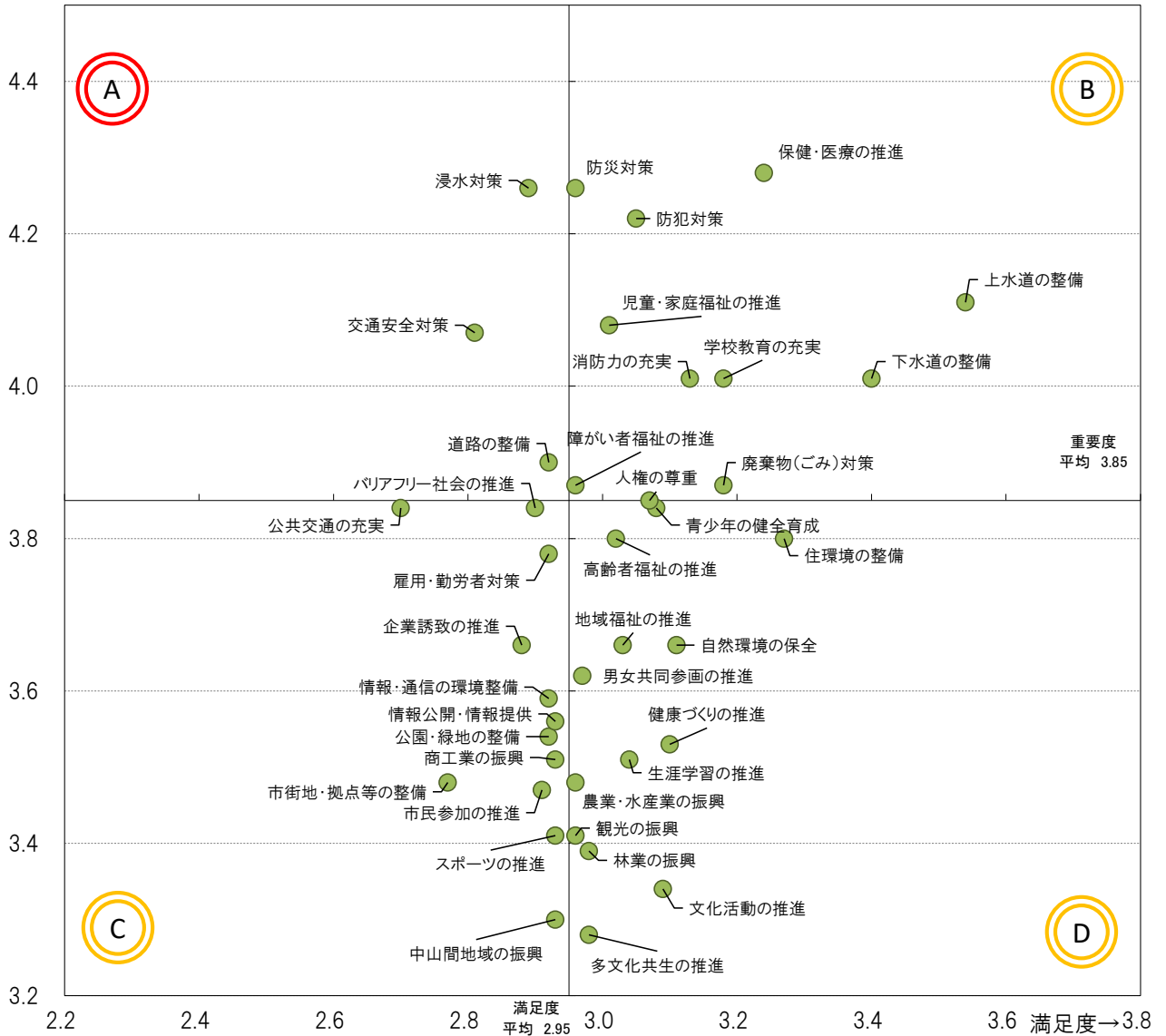


A 最重点項目 (本庁管内の市民が優先して求めている施策)

- | | | |
|----------|-------------|---------------|
| ○ 防災対策 | ○ 道路の整備 | ○ 企業誘致の推進 |
| ○ 浸水対策 | ○ 公共交通の充実 | ○ 雇用・勤労者対策 |
| ○ 交通安全対策 | ○ 障がい者福祉の推進 | ○ パリアフリー社会の推進 |

《嬉野管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(嬉野管内)

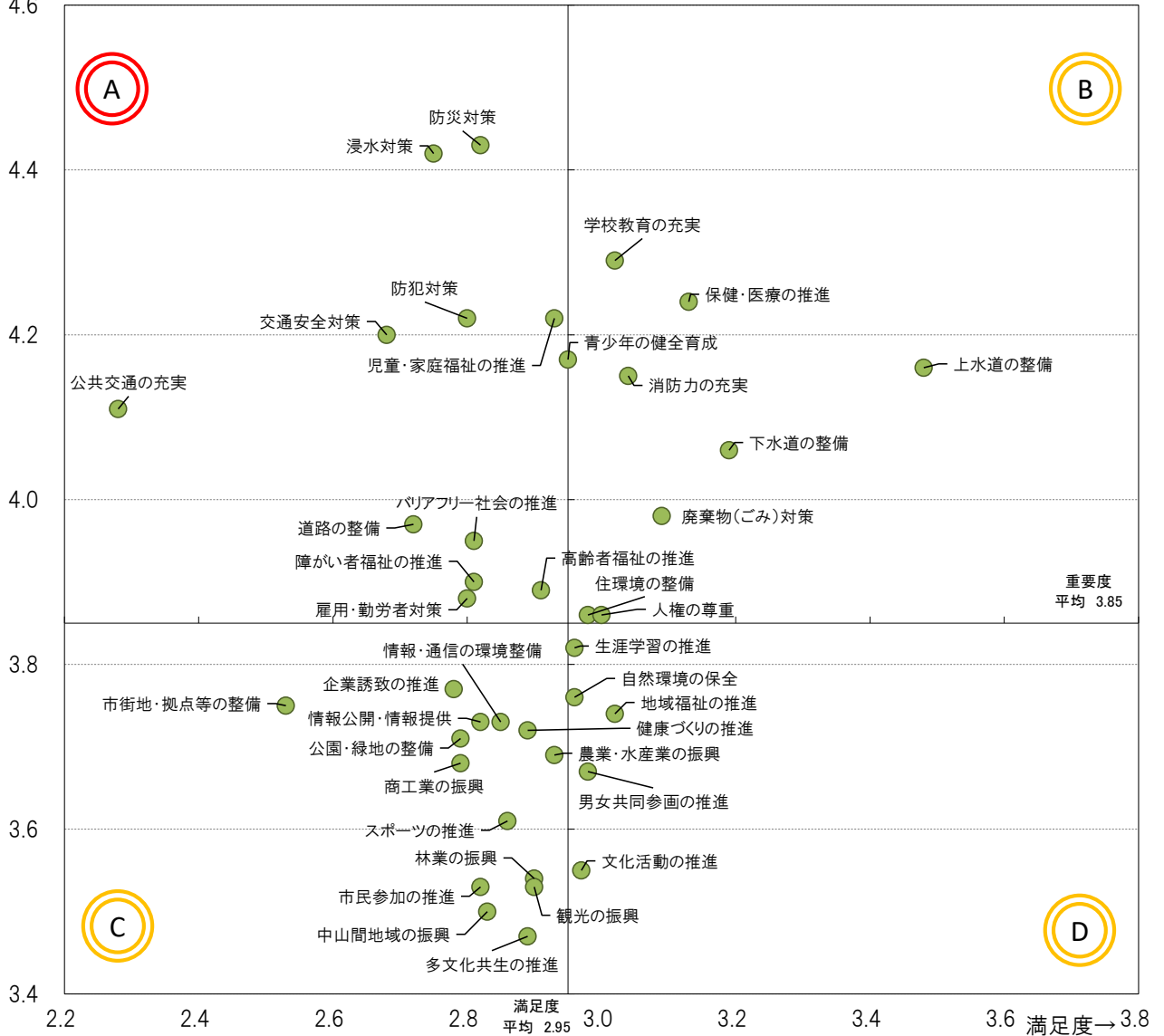


A 最重点項目 (嬉野管内の市民が優先して求めている施策)

○ 浸水対策 ○ 道路の整備 ○ 交通安全対策

《三雲管内》

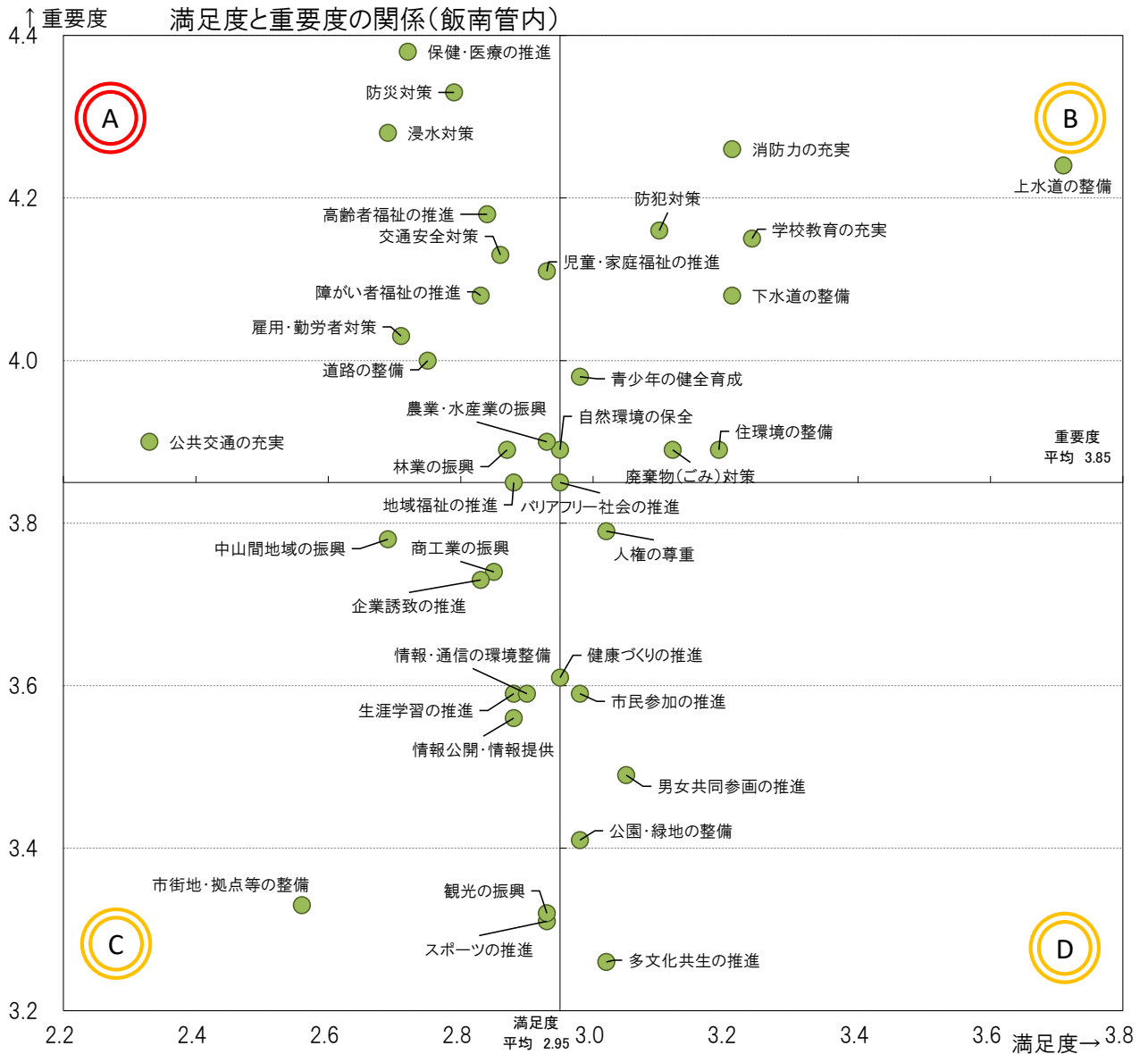
↑重要度 満足度と重要度の関係(三雲管内)



A 最重点項目 (三雲管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策
- 浸水対策
- 交通安全対策
- 防犯対策
- 道路の整備
- 公共交通の充実
- 高齢者福祉の推進
- 障がい者福祉の推進
- 児童・家庭福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- バリアフリー社会の推進

《飯南管内》

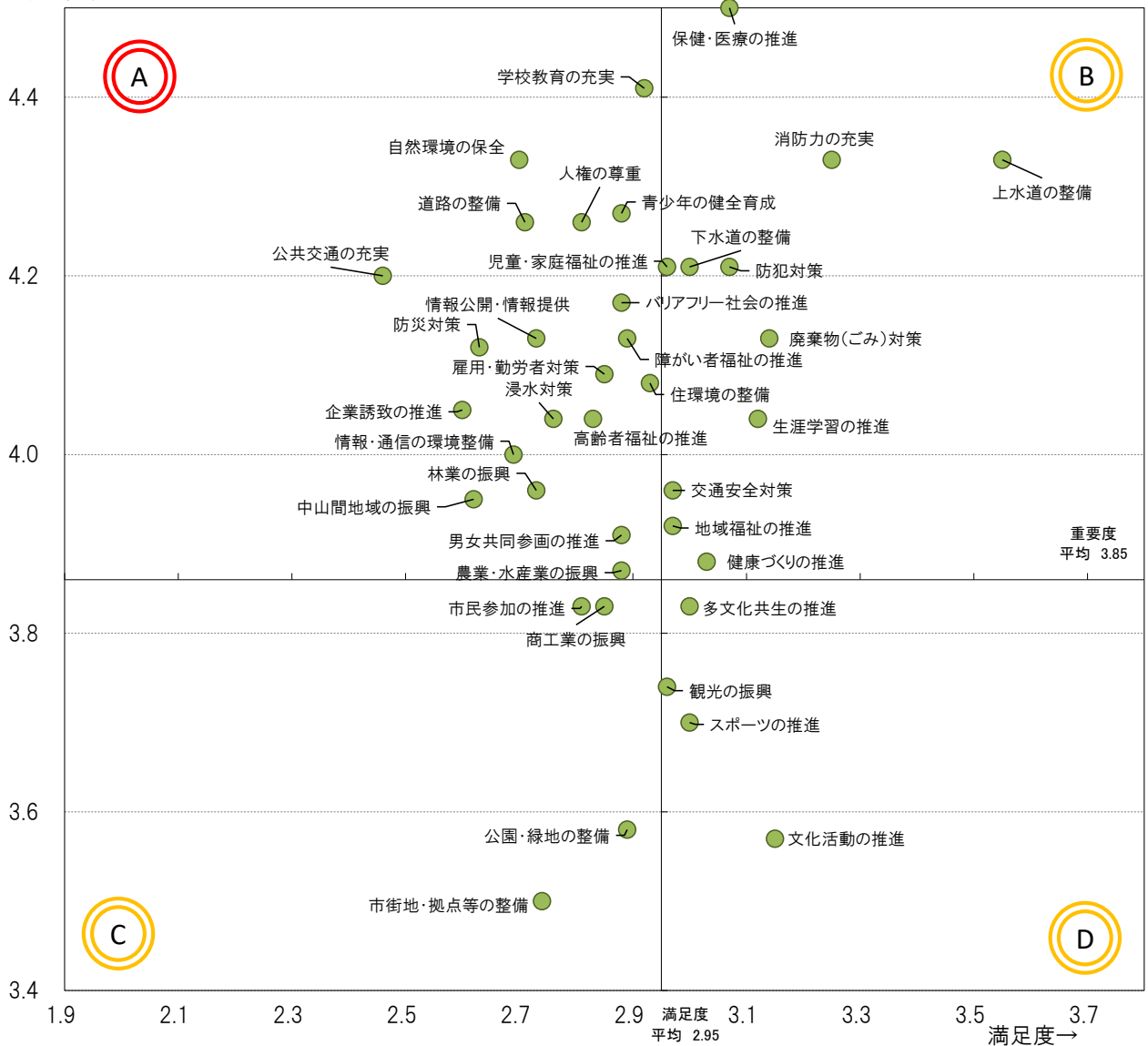


A 最重点項目（飯南管内の市民が優先して求めている施策）

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| ○ 防災対策 | ○ 保健・医療の推進 | ○ 農業・水産業の振興 |
| ○ 浸水対策 | ○ 地域福祉の推進 | ○ 林業の振興 |
| ○ 交通安全対策 | ○ 高齢者福祉の推進 | ○ 雇用・勤労者対策 |
| ○ 道路の整備 | ○ 障がい者福祉の推進 | |
| ○ 公共交通の充実 | ○ 児童・家庭福祉の推進 | |

《飯高管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(飯高管内)



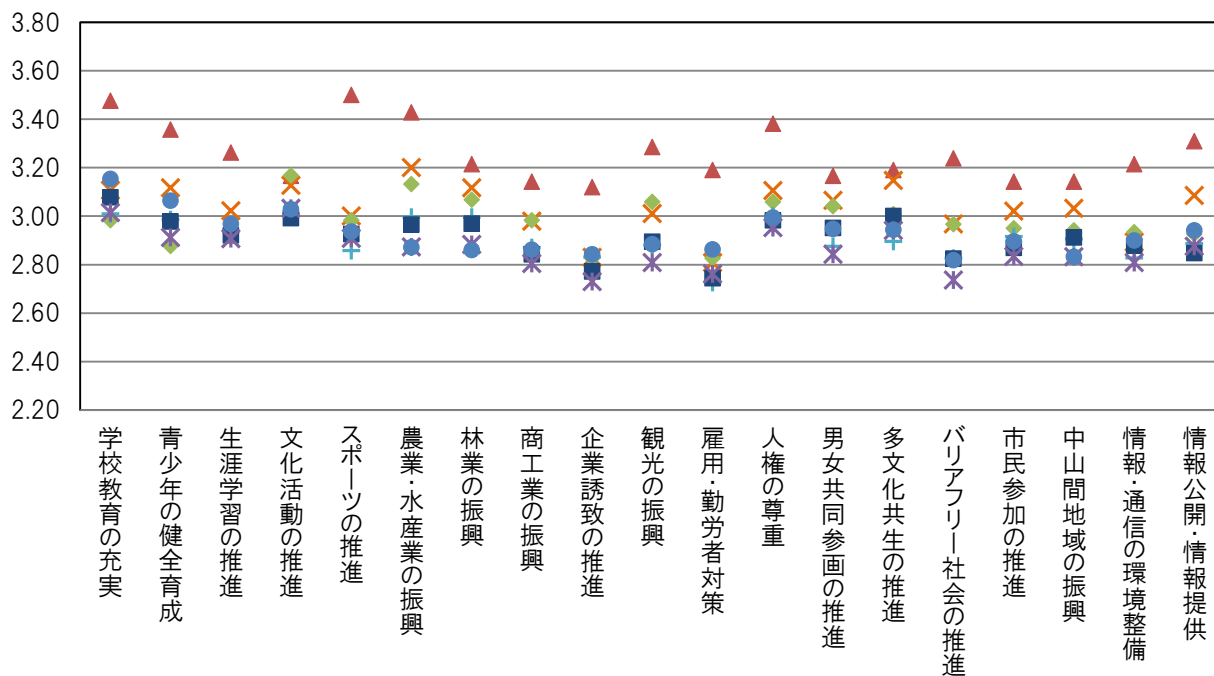
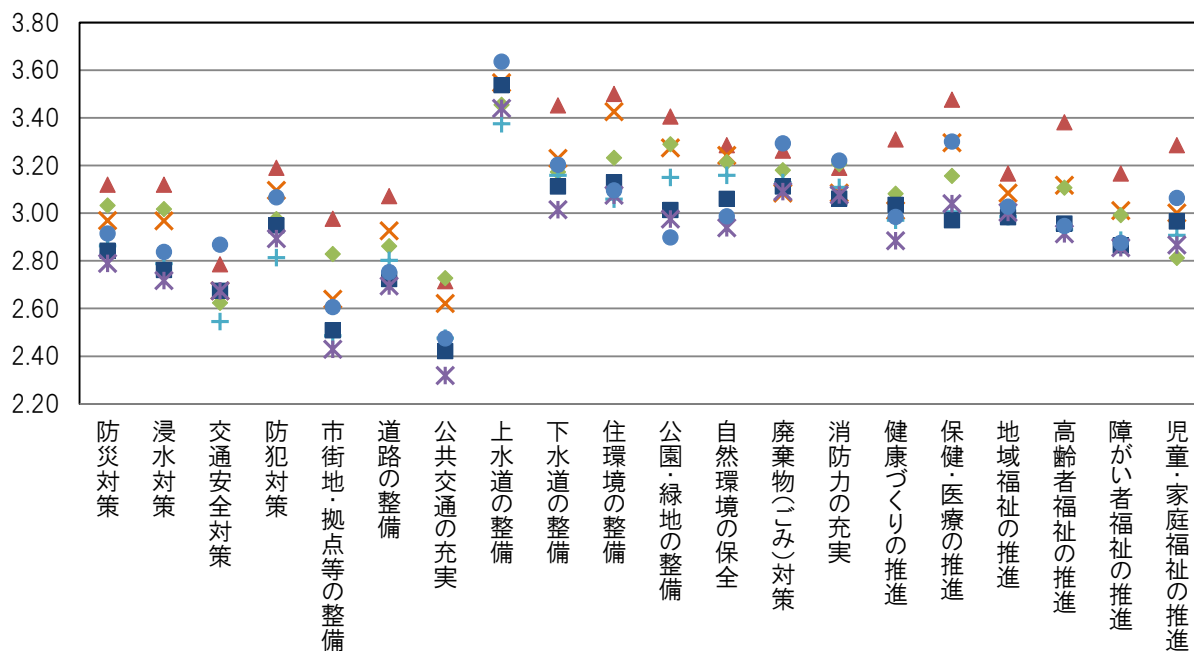
(A) 最重点項目 (飯高管内の市民が優先して求めている施策)

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| ○ 防災対策 | ○ 障がい者福祉の推進 | ○ 人権の尊重 |
| ○ 浸水対策 | ○ 学校教育の充実 | ○ 男女共同参画の推進 |
| ○ 道路の整備 | ○ 青少年の健全育成 | ○ パリアフリー社会の推進 |
| ○ 公共交通の充実 | ○ 農業・水産業の振興 | ○ 中山間地域の振興 |
| ○ 住環境の整備 | ○ 林業の振興 | ○ 情報・通信の環境整備 |
| ○ 自然環境の保全 | ○ 企業誘致の推進 | ○ 情報公開・情報提供 |
| ○ 高齢者福祉の推進 | ○ 雇用・勤労者対策 | |

年代別にみた 39 項目の満足度と重要度は以下のとおりである。

《年代別 満足度》

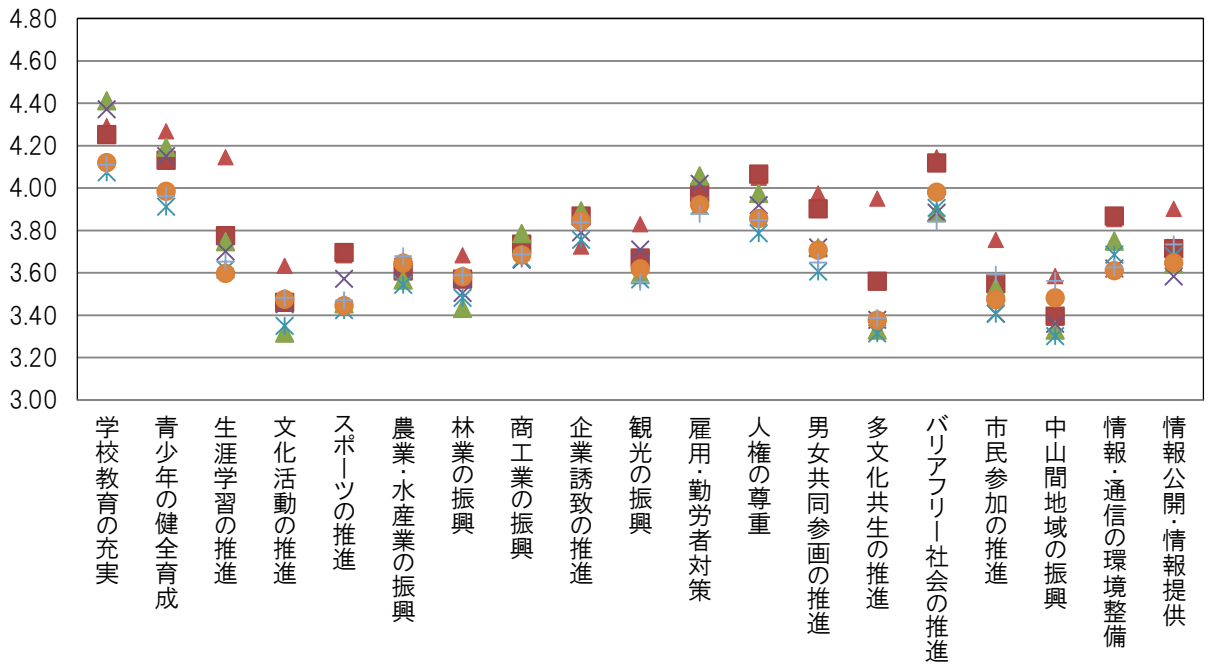
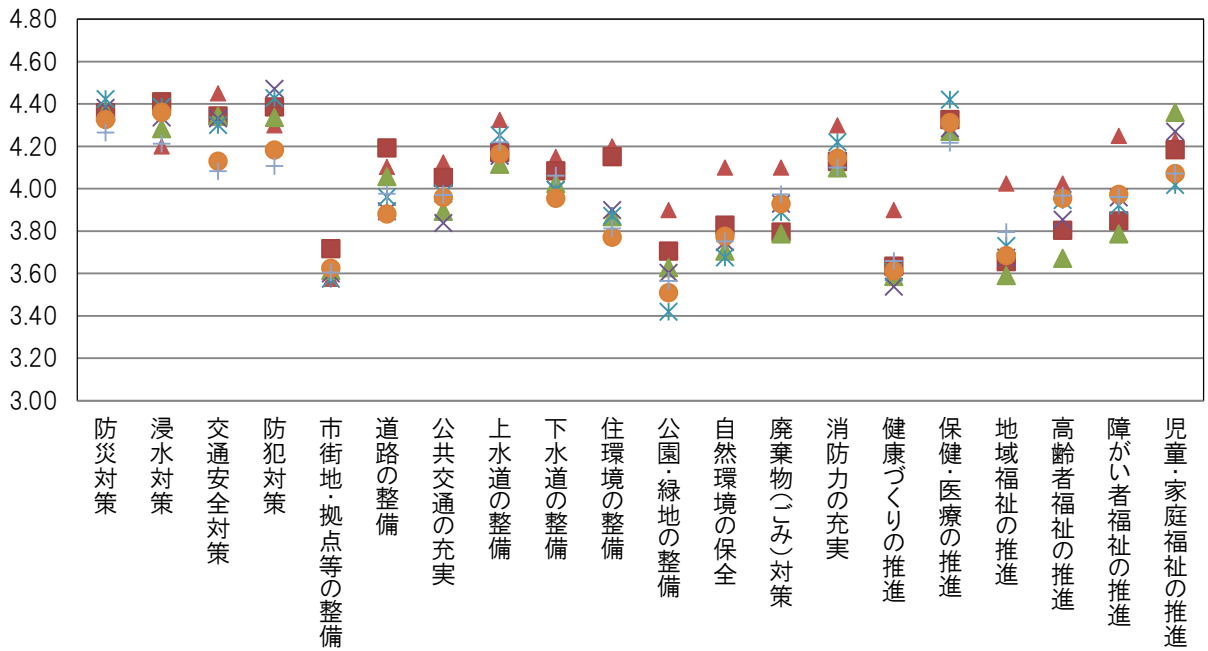
問6 年代別 満足度



▲10歳代 ×20歳代 ◆30歳代 +40歳代 ■50歳代 ×60歳代 ●70歳代以上

《年代別 重要度》

問6 年代別 重要度



▲10歳代 ■20歳代 ▲30歳代 ×40歳代 *50歳代 ●60歳代 +70歳代以上

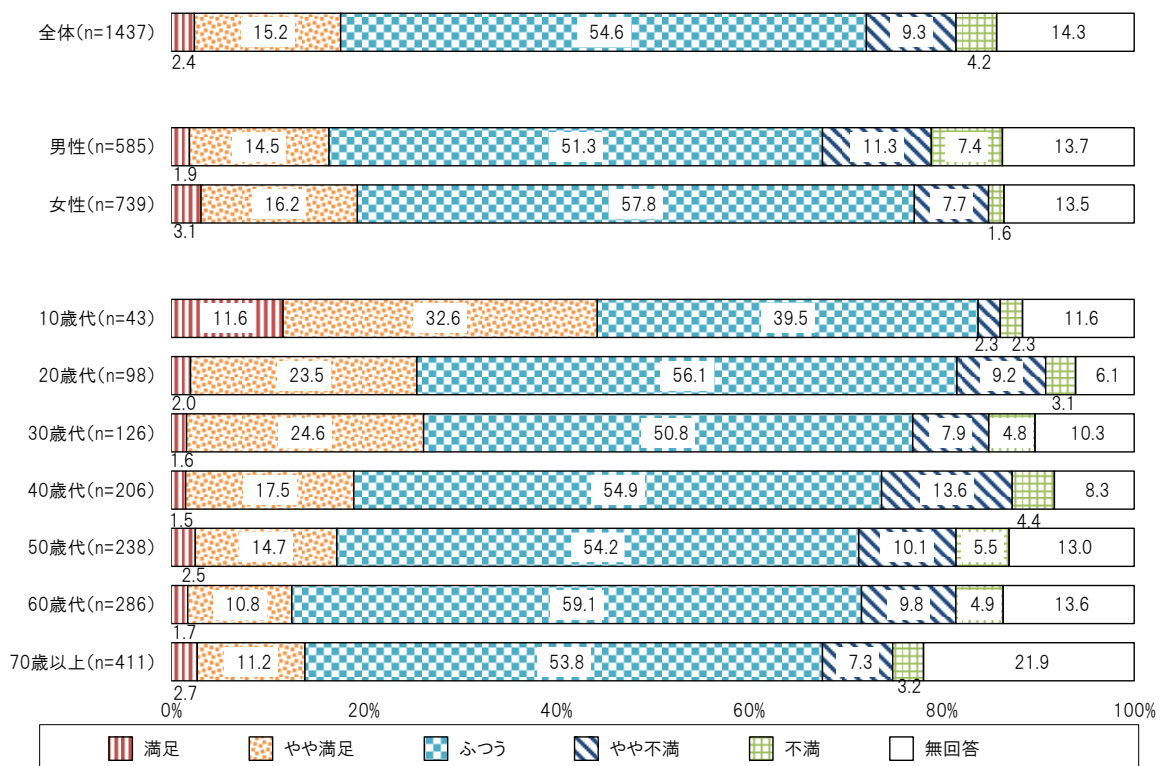
問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。（〇は1つだけ）

「ふつう」が54.6%で最も高く、ついで「やや満足」が15.2%、「やや不満」が9.3%となっている。

性別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は、男性が16.4%、女性が19.3%で女性の方が男性よりも2.9ポイント高くなっている。

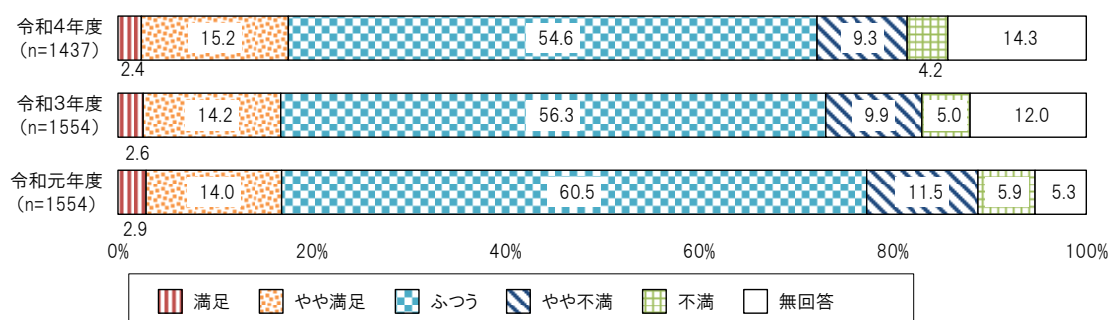
年代別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は10歳代で最も高く44.2%となっており、年代が上がるにつれ低くなる傾向にある。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



前回と比較すると、「満足」「やや満足」の合計の割合は前回は16.8%であったのに対し今回は17.6%と0.8ポイント増加している。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



松阪市の個々の課題

1. 広報全般について

問8 松阪市の情報は主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

「広報まつさか」が69.9%で最も高く、ついで「自治会などの回覧」が43.7%、「新聞」が26.9%となっている。

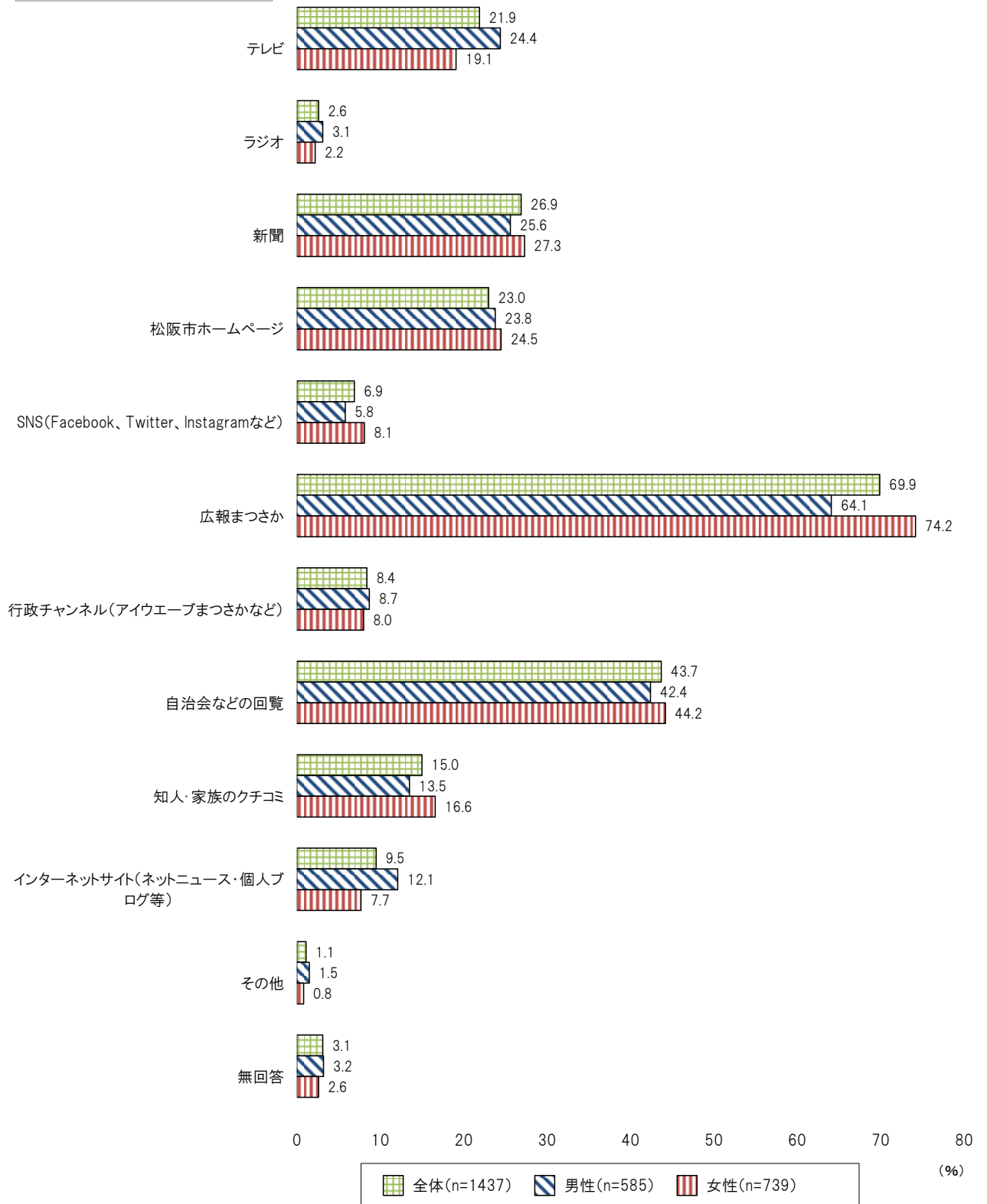
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「広報まつさか」「自治会などの回覧」「新聞」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「テレビ」は男性の方が5.3ポイント高く、「広報まつさか」は女性の方が10.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は、10歳代以外は「広報まつさか」であり、10歳代では「テレビ」となっている。10歳代では「広報まつさか」は3番目以内に入ってきていない。「自治会などの回覧版」は30歳代以上では3番目以内に入ってくるものの20歳代以下では3番目以内に入ってきていない。10歳代では「SNS」が3番目になっている。

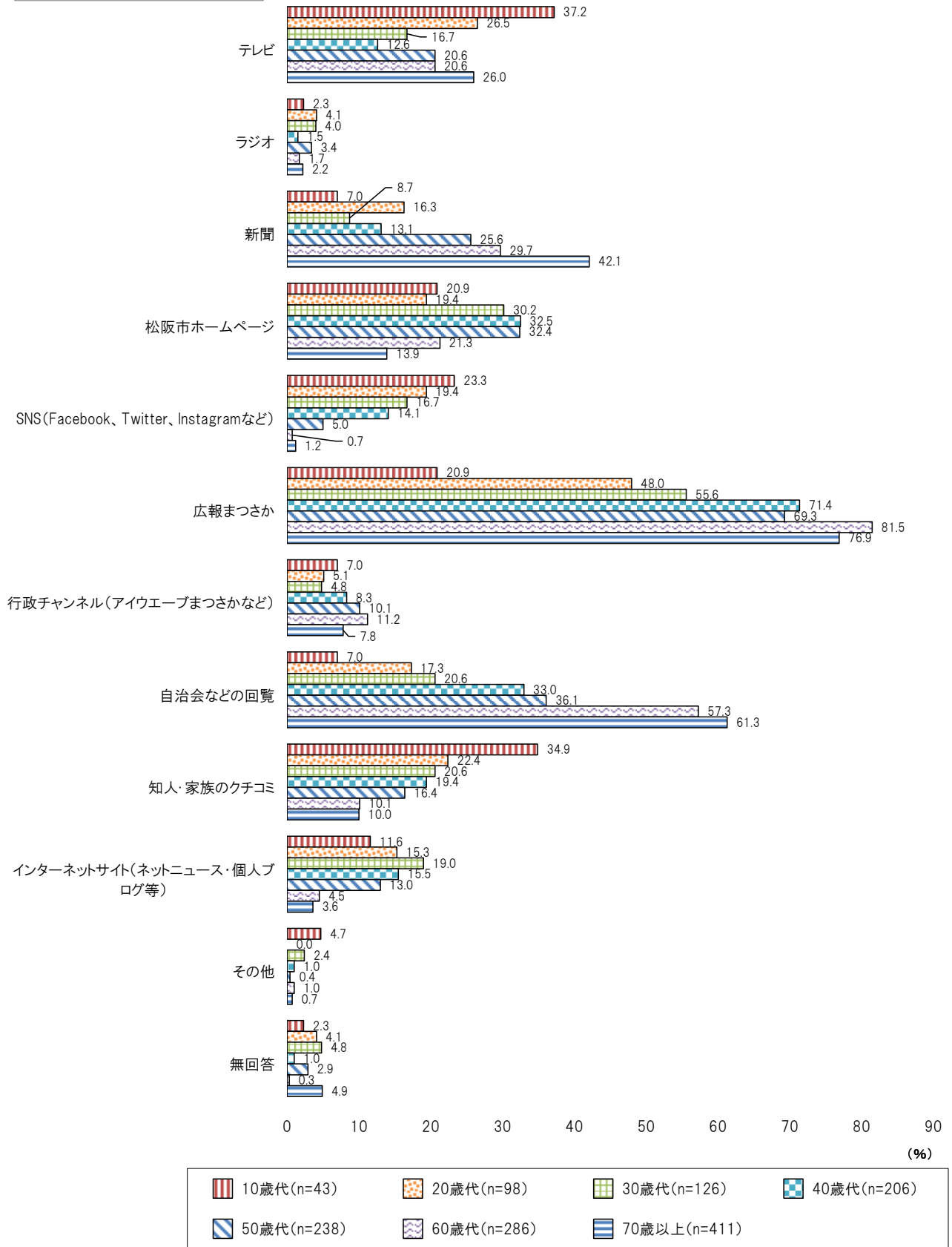
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	テレビ	37.2%	知人・家族のクチコミ	34.9%	SNS (Facebook、Twitter、Instagramなど)	23.3%
20歳代	広報まつさか	48.0%	テレビ	26.5%	知人・家族のクチコミ	22.4%
30歳代	広報まつさか	55.6%	松阪市ホームページ	30.2%	自治会などの回覧	20.6%
					知人・家族のクチコミ	20.6%
40歳代	広報まつさか	71.4%	自治会などの回覧	33.0%	松阪市ホームページ	32.5%
50歳代	広報まつさか	69.3%	自治会などの回覧	36.1%	松阪市ホームページ	32.4%
60歳代	広報まつさか	81.5%	自治会などの回覧	57.3%	新聞	29.7%
70歳以上	広報まつさか	76.9%	自治会などの回覧	61.3%	新聞	42.1%

問8 松阪市の情報の入手方法



問8 松阪市の情報の入手方法



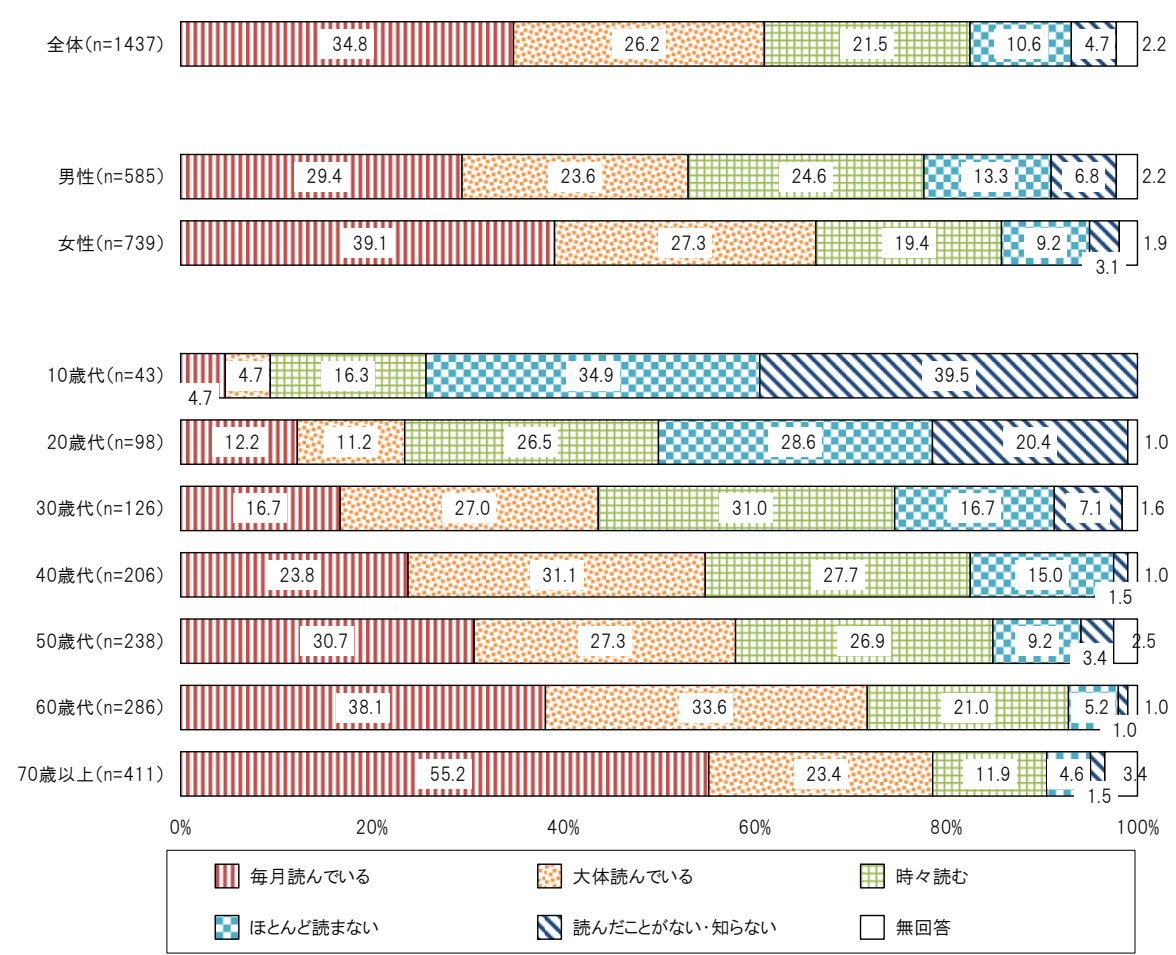
問9 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

全体では「毎月読んでいる」が34.8%で最も高く、ついで「大体読んでいる」が26.2%、「時々読む」が21.5%となっている。

性別にみると、「毎月読んでいる」は女性で39.1%であるのに対し、男性では29.4%と、女性の方が9.7ポイント多くなっている。

年代別にみると、「毎月読んでいる」は年齢が高いほど割合が高くなっており、70歳以上では55.2%となっている。一方、10歳代で「読んだことがない・知らない」、20歳代では「ほとんど読まない」が最も多くなっており、「読んだことがない・知らない」「ほとんど読まない」の合計の割合をみると10歳代で74.4%、20歳代で49.0%となっている。

問9 広報まつさかを読んでいるか



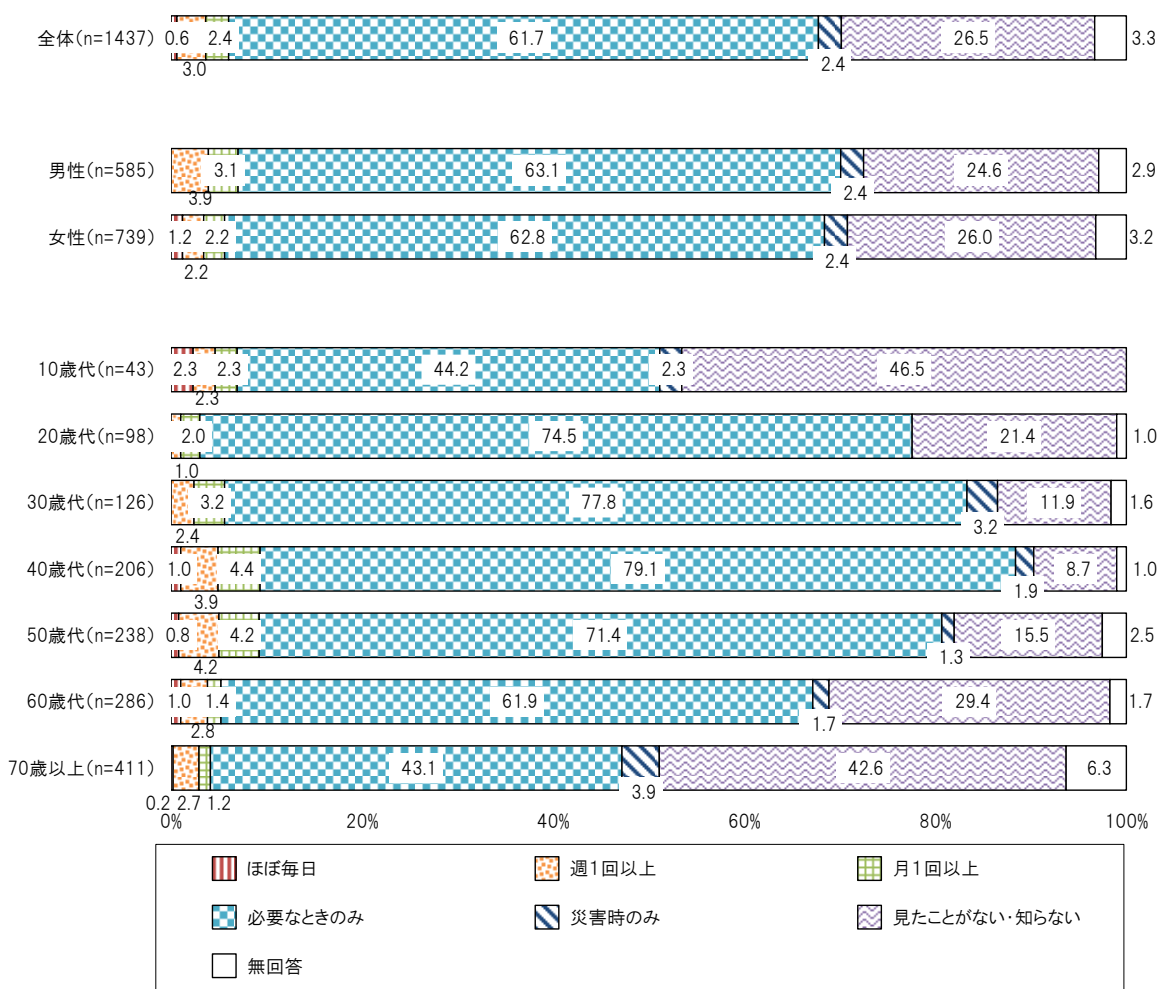
問 10 松阪市ホームページを利用していますか。（○は1つだけ）

全体では「必要なときのみ」が61.7%で最も高く、ついで「見たことがない・知らない」が26.5%、「週1回以上」が3.0%となっている。

性別にみると、「必要なときのみ」の割合は男性の方が女性より0.3ポイント高いものの極端な差はなくほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は、30歳代、40歳代、50歳代で20%を下回っており、一方で、10歳代で46.5%、70歳以上で42.6%となっており、それぞれ4割を超えている。

問10 松阪市ホームページの利用状況



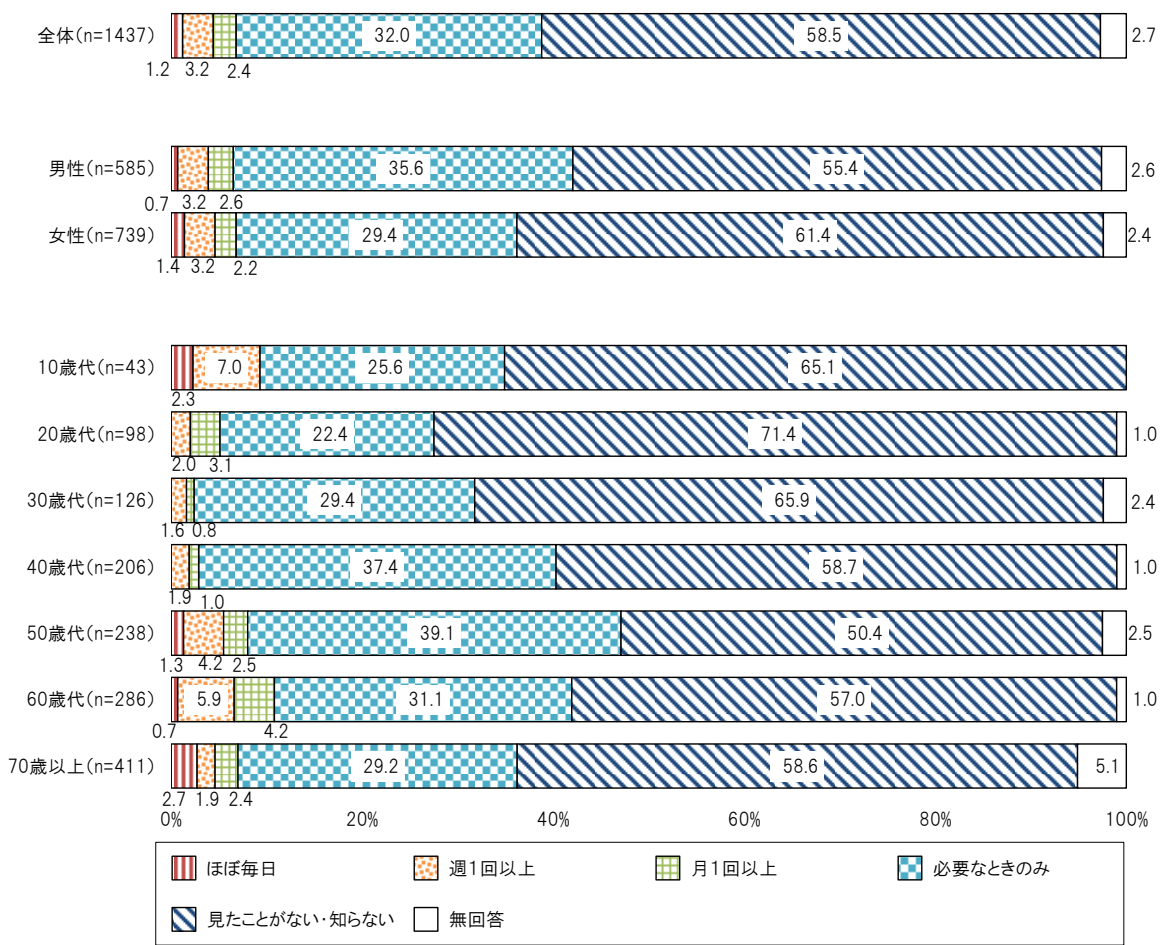
問 11 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありませんか。（〇は1つだけ）

全体では「見たことがない・知らない」が58.5%で最も高く、ついで「必要なときのみ」が32.0%、「週1回以上」が3.2%となっている。

性別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は女性の方が男性より6.0ポイント高く、「必要なときのみ」の割合は男性の方が女性より6.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は、40歳代以上の年代で5割以上6割未満、10歳代、30歳代で6割以上7割未満、20歳代で7割以上となっている。

問11 行政チャンネルの視聴の有無



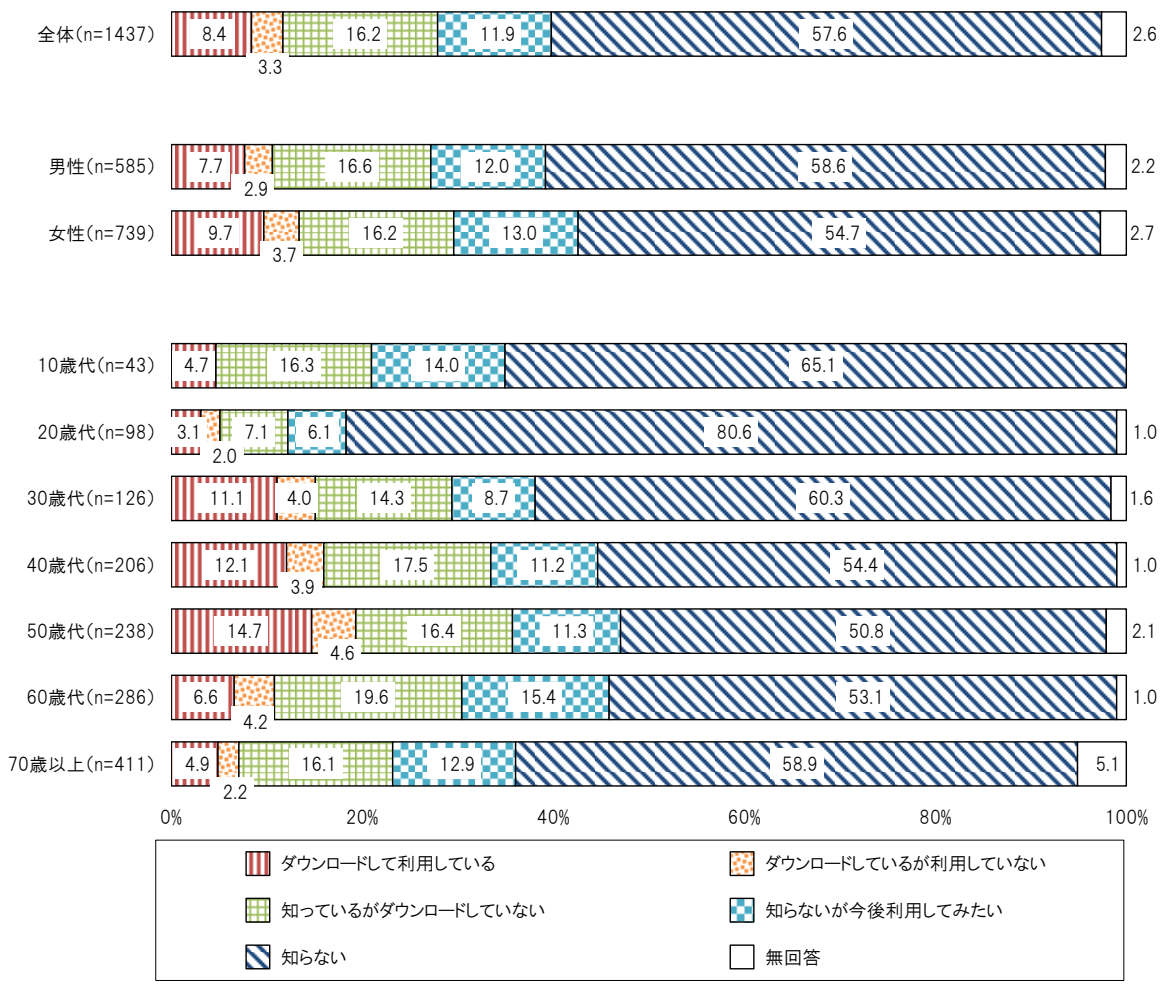
問 12 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」を知っていますか。（○は1つだけ）

全体では「知らない」が57.6%で最も高く、ついで「知っているがダウンロードしていない」が16.2%、「知らないが今後利用してみたい」が11.9%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は男性の方が女性より3.9ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、「ダウンロードして利用している」の割合は、30歳代、40歳代、50歳代では1割を超え高くなっている。一方、10歳代、20歳代、70歳以上では5%未満と低くなっている。

問12 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」の認知状況



問 13 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報は何ですか。（〇はいくつでも）

「災害情報」が48.8%で最も高く、ついで「防災・安全情報」が45.9%、「イベント情報」が37.2%となっている。

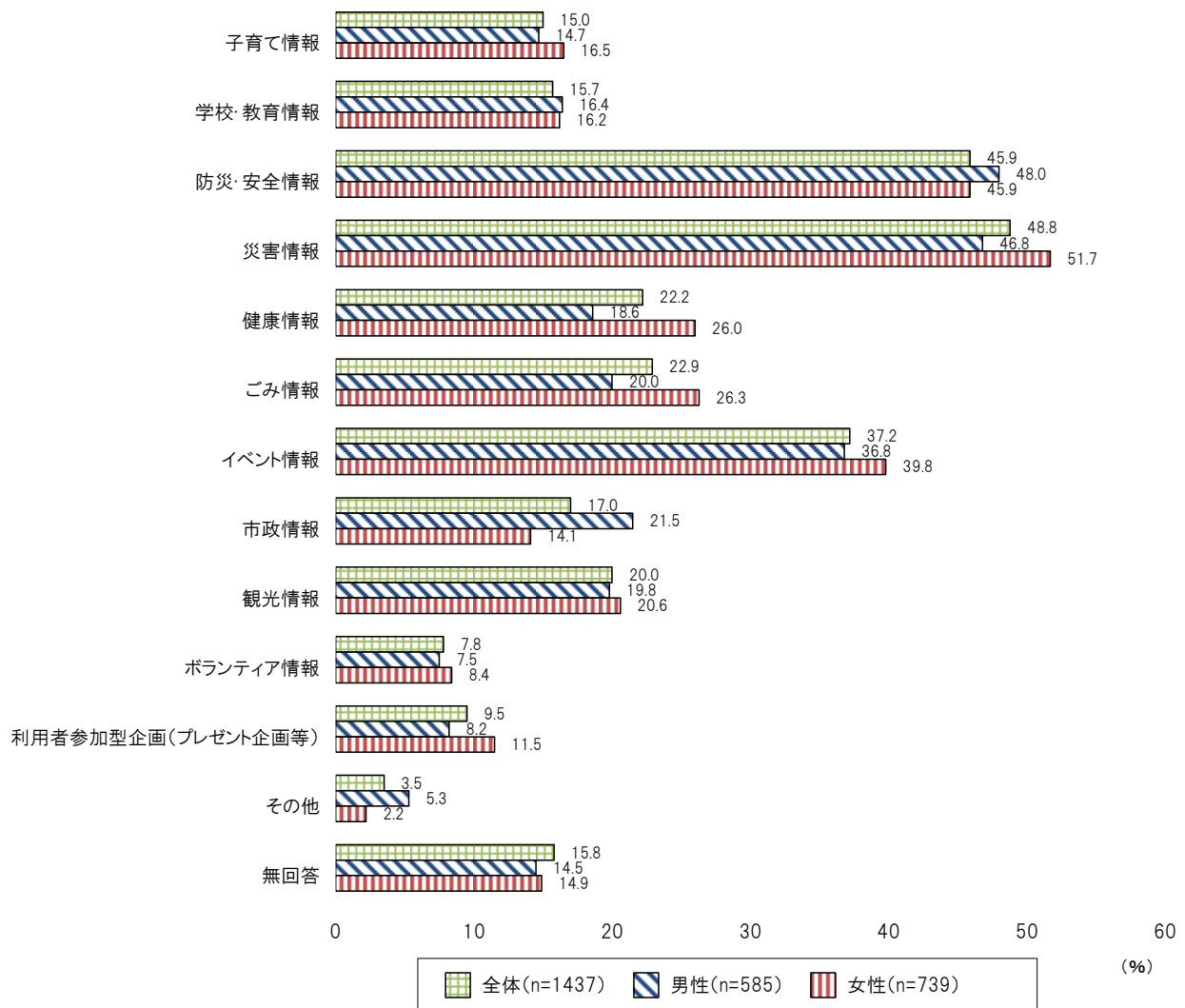
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「災害情報」「防災・安全情報」「イベント情報」であった。男女の間で差が大きかった項目は、男性の方が高かった項目として「市政情報」で7.4ポイント、「その他」で3.1ポイント、「防災・安全情報」で2.1ポイント高く、女性の方が高い項目として「健康情報」で7.4ポイント、「ごみ情報」で6.3ポイント、「災害情報」で4.9ポイント高くなっている。

年代別にみると1番目の項目は、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「災害情報」、10歳代、30歳代、40歳代では「イベント情報」となっている。いずれの年代も上位の3項目は「災害情報」「防災・安全情報」「イベント情報」が入ってくるが、10歳代は同率の3番目に「学校・教育情報」が入ってきている。

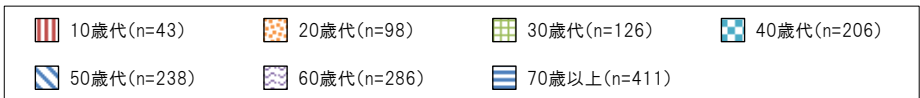
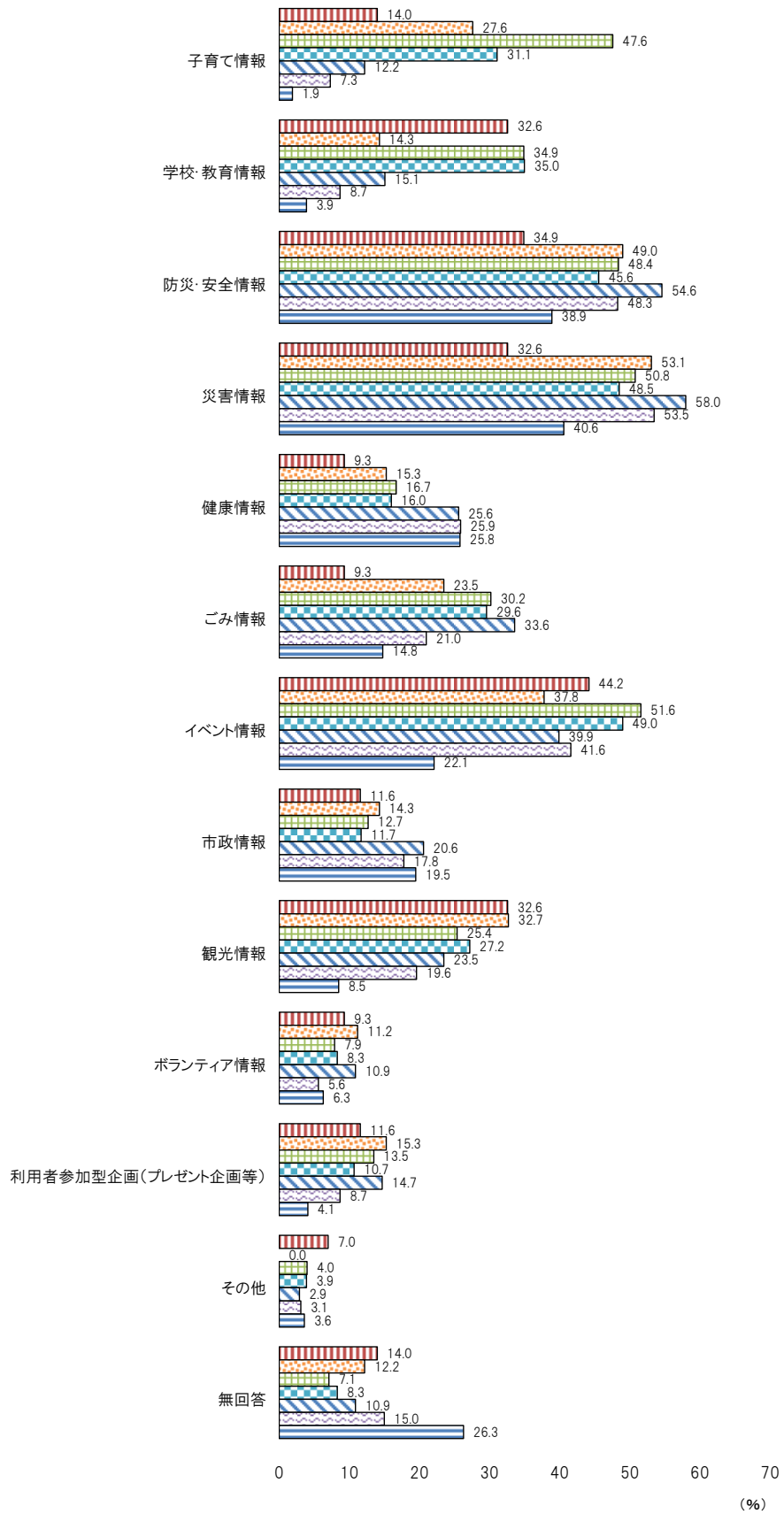
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	イベント情報	44.2%	防災・安全情報	34.9%	学校・教育情報	32.6%
					災害情報	32.6%
20歳代	災害情報	53.1%	防災・安全情報	49.0%	イベント情報	37.8%
30歳代	イベント情報	51.6%	災害情報	50.8%	防災・安全情報	48.4%
40歳代	イベント情報	49.0%	災害情報	48.5%	防災・安全情報	45.6%
50歳代	災害情報	58.0%	防災・安全情報	54.6%	イベント情報	39.9%
60歳代	災害情報	53.5%	防災・安全情報	48.3%	イベント情報	41.6%
70歳以上	災害情報	40.6%	防災・安全情報	38.9%	無回答	26.3%

問13 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報



問13 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報



2. アフターコロナの重点的施策について

問 14 アフターコロナに向けてどのような分野に力をいれていくべきだと思いますか。
(○は3つまで)

「子ども子育て支援」が24.5%で最も高く、ついで「地域医療」が24.4%、「学校教育」が18.4%となっている。

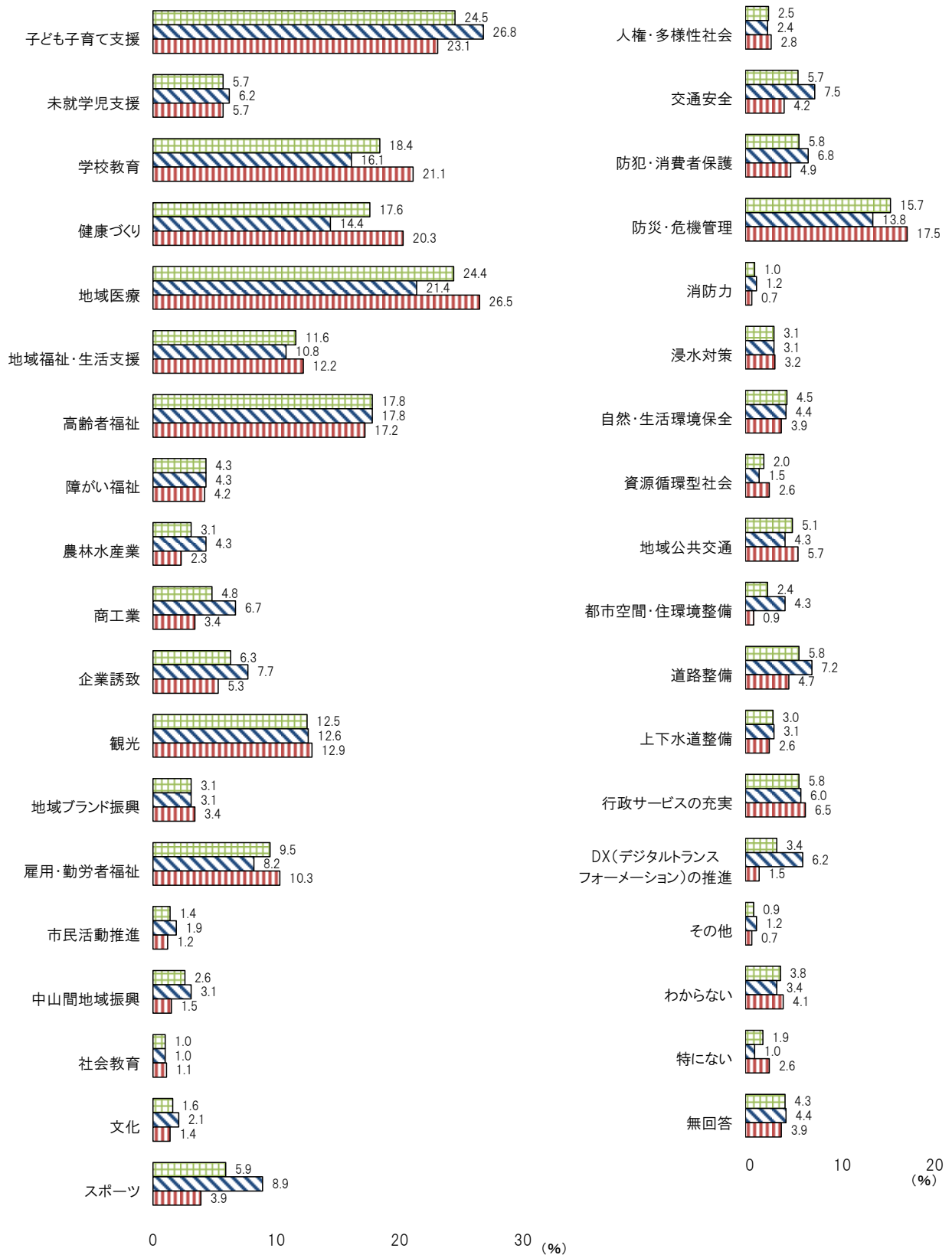
性別にみると、1番目、2番目に高い項目は男女とも同じで、「地域医療」「子ども子育て支援」であった。3番目に高い項目は、男性では「高齢者福祉」、女性では「学校教育」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、男性の方が高かったのは「スポーツ」で5.0ポイント、「DXの推進」で4.7ポイント、「子ども子育て支援」で3.7ポイントとなっており、一方で女性の方が高かったのは「健康づくり」で5.9ポイント、「地域医療」で5.1ポイント、「学校教育」で5.0ポイントとなっている。

年代別に3番目までに入っている項目をみると、「子ども子育て支援」は70歳以上を除く年代で入っており、「地域医療」は10歳代、30歳代を除く年代で入っている。「学校教育」は10歳代、30歳代、40歳代で入っており、「高齢者福祉」は60歳代、70歳以上の高齢層で入っている。

<年代ごとの上位3項目>

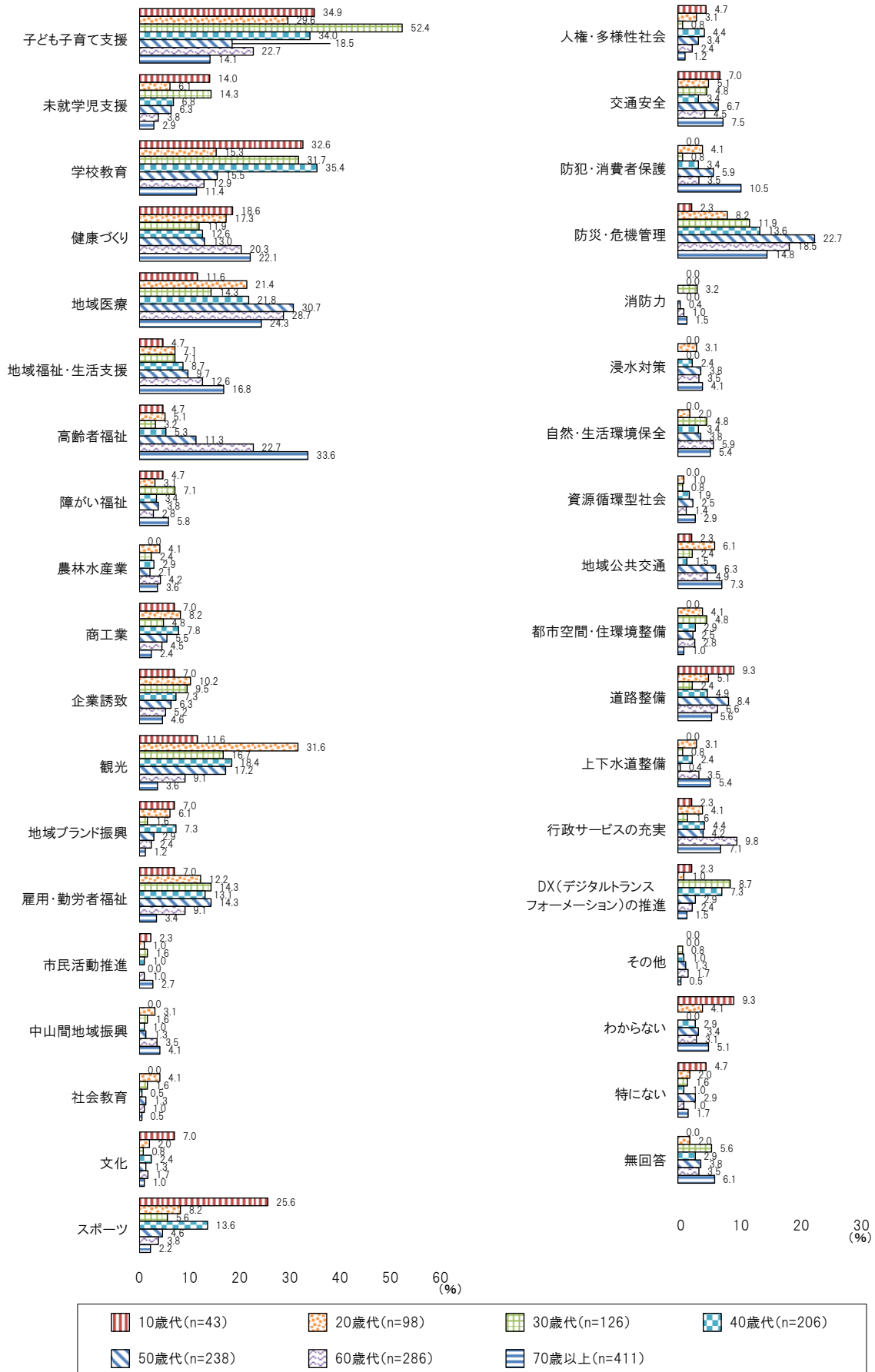
	1番目		2番目		3番目	
10歳代	子ども子育て支援	34.9%	学校教育	32.6%	スポーツ	25.6%
20歳代	観光	31.6%	子ども子育て支援	29.6%	地域医療	21.4%
30歳代	子ども子育て支援	52.4%	学校教育	31.7%	観光	16.7%
40歳代	学校教育	35.4%	子ども子育て支援	34.0%	地域医療	21.8%
50歳代	地域医療	30.7%	防災・危機管理	22.7%	子ども子育て支援	18.5%
60歳代	地域医療	28.7%	子ども子育て支援	22.7%	/	/
			高齢者福祉	22.7%		
70歳以上	高齢者福祉	33.6%	地域医療	24.3%	健康づくり	22.1%

問14 アフターコロナに向けて、力を入れていくべき分野



全体 (n=1437)
 男性 (n=585)
 女性 (n=739)

問14 アフターコロナに向けて、力を入れていくべき分野



3. シビックプライド(松阪というまちを愛し、誇りに思う心)について

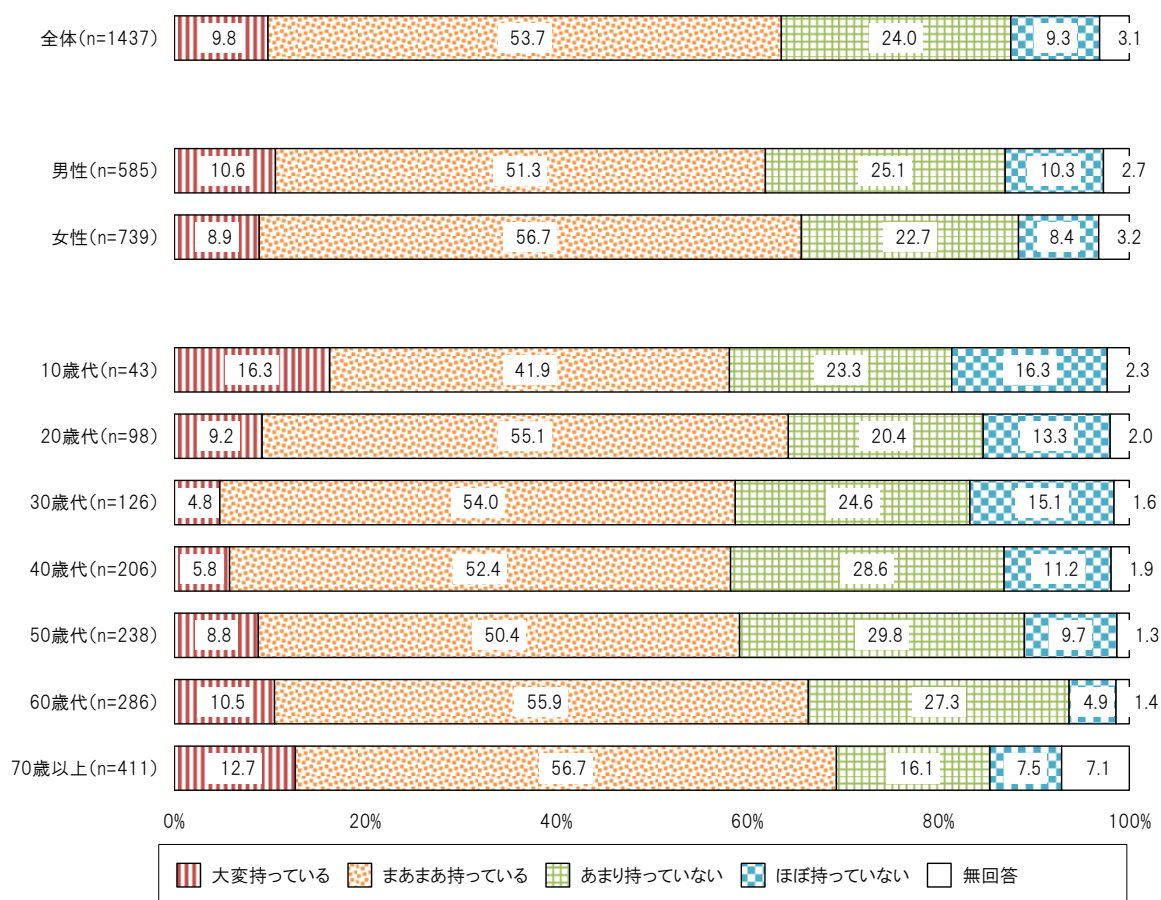
問 15 あなたは松阪というまちに「シビックプライド」を持っていますか。(〇は1つだけ)

全体では「まあまあ持っている」が53.7%で最も高く、ついで「あまり持っていない」が24.0%、「大変持っている」が9.8%となっている。

性別にみると、「大変持っている」「まあまあ持っている」の合計の割合は、男性が61.9%、女性が65.6%で女性の方が男性より3.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「大変持っている」「まあまあ持っている」の合計の割合は、20歳代、60歳代、70歳以上では6割を超えている。「大変持っている」の割合は30歳代、40歳代で低くなっている。

問15 松阪というまちにシビックプライドを持っているか



4. 各種手続きのオンライン化について

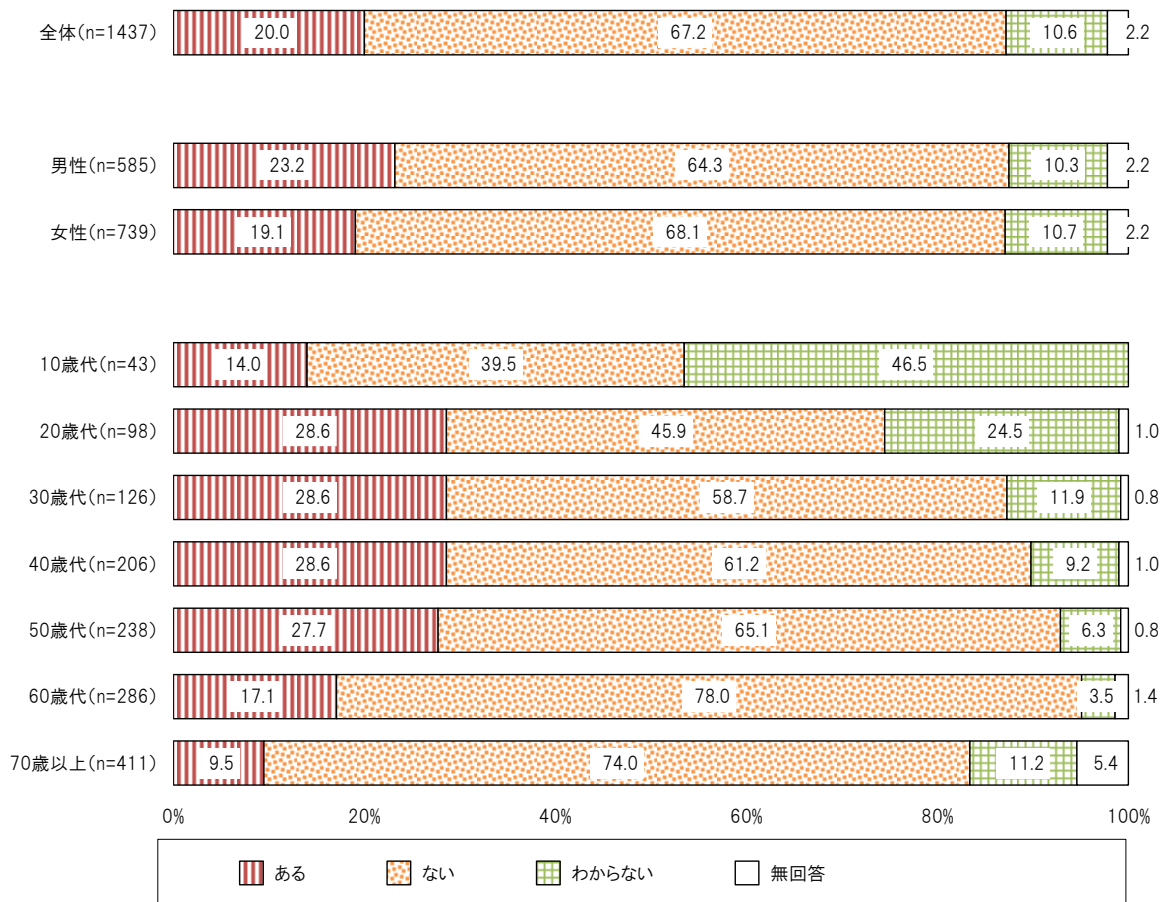
問 16 これまでに松阪市の各種手続きを電子申請（オンライン申請）でしたことはありますか。（〇は1つだけ）

全体では「ない」が67.2%で、「ある」が20.0%となっている。

性別にみると、「ある」の割合は男性の方が女性より4.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合について、20歳代から50歳代までの年代では3割ほどと高くなっているが、70歳以上では9.5%と低くなっている。なお、10歳代では46.5%が「わからない」としている。

問16 各種手続きを電子申請でしたことがあるか



問 17 電子申請（オンライン申請）が普及するために必要なことは何だと思えますか。
（〇はいくつでも）

全体では「使いやすい電子申請の方法が整うこと」が 60.0%で最も高く、ついで「機器（パソコンやスマートフォン）操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること」が 46.4%、「職員による対面での支援や、窓口サービスの充実がすすむこと」が 31.0%となっている。

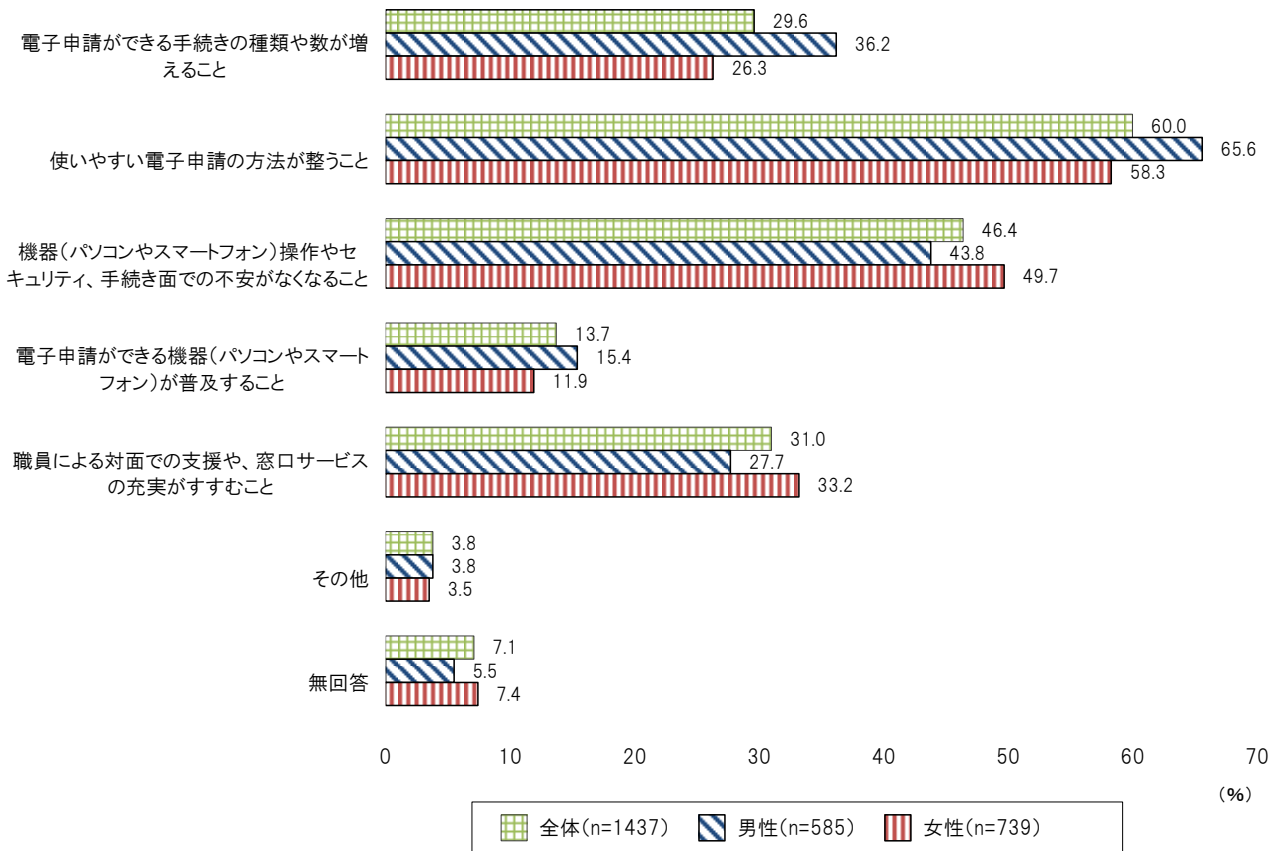
性別にみると、1 番目、2 番目に高い項目は男女とも同じで、「使いやすい電子申請の方法が整うこと」「機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること」であった。3 番目に高い項目は、男性では「電子申請ができる手続きの種類や数が増えること」、女性では「職員による対面での支援や、窓口サービスの充実がすすむこと」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「電子申請ができる手続きの種類や数が増えること」で 9.9 ポイント男性の方が高く、一方で、「機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること」で 5.9 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「使いやすい電子申請の方法が整うこと」が 1 番目であった。また「機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること」はいずれの年代でも 2 番目もしくは 3 番目に入っている。10 歳代から 50 歳代までの年代では「電子申請ができる手続きの種類や数が増えること」が入ってきており、60 歳代、70 歳以上では「職員による対面での支援や、窓口サービスの充実がすすむこと」が入ってきている。

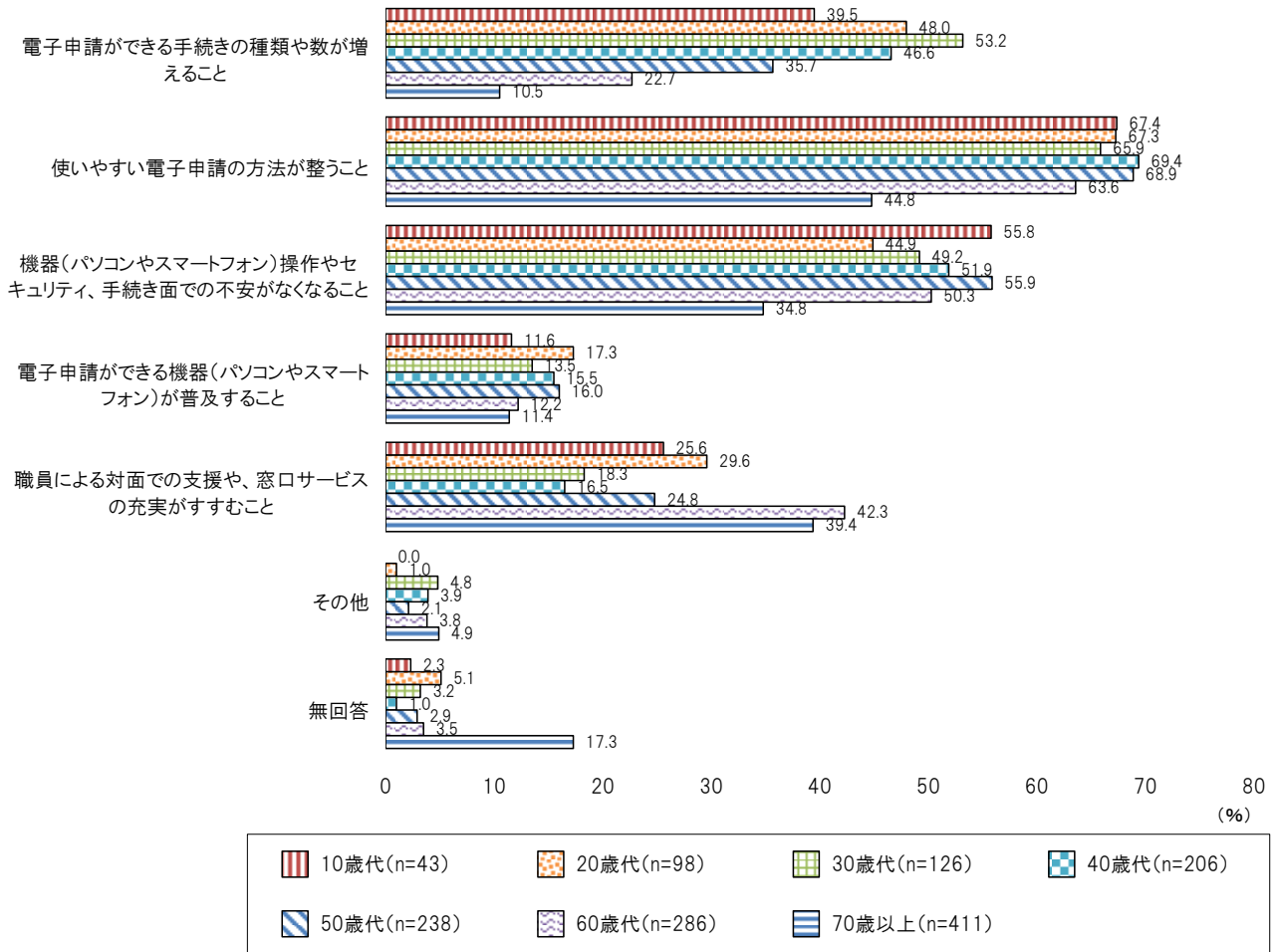
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	使いやすい電子申請の方法が整うこと	67.4%	機器（パソコンやスマートフォン）操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	55.8%	電子申請ができる手続きの種類や数が増えること	39.5%
20 歳代	使いやすい電子申請の方法が整うこと	67.3%	電子申請ができる手続きの種類や数が増えること	48.0%	機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	44.9%
30 歳代	使いやすい電子申請の方法が整うこと	65.9%	電子申請ができる手続きの種類や数が増えること	53.2%	機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	49.2%
40 歳代	使いやすい電子申請の方法が整うこと	69.4%	機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	51.9%	電子申請ができる手続きの種類や数が増えること	46.6%
50 歳代	使いやすい電子申請の方法が整うこと	68.9%	機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	55.9%	電子申請ができる手続きの種類や数が増えること	35.7%
60 歳代	使いやすい電子申請の方法が整うこと	63.6%	機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	50.3%	職員による対面での支援や、窓口サービスの充実がすすむこと	42.3%
70 歳以上	使いやすい電子申請の方法が整うこと	44.8%	職員による対面での支援や、窓口サービスの充実がすすむこと	39.4%	機器操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること	34.8%

問17 電子申請が普及するために必要なこと



問17 電子申請が普及するために必要なこと



5. 公民連携事業について

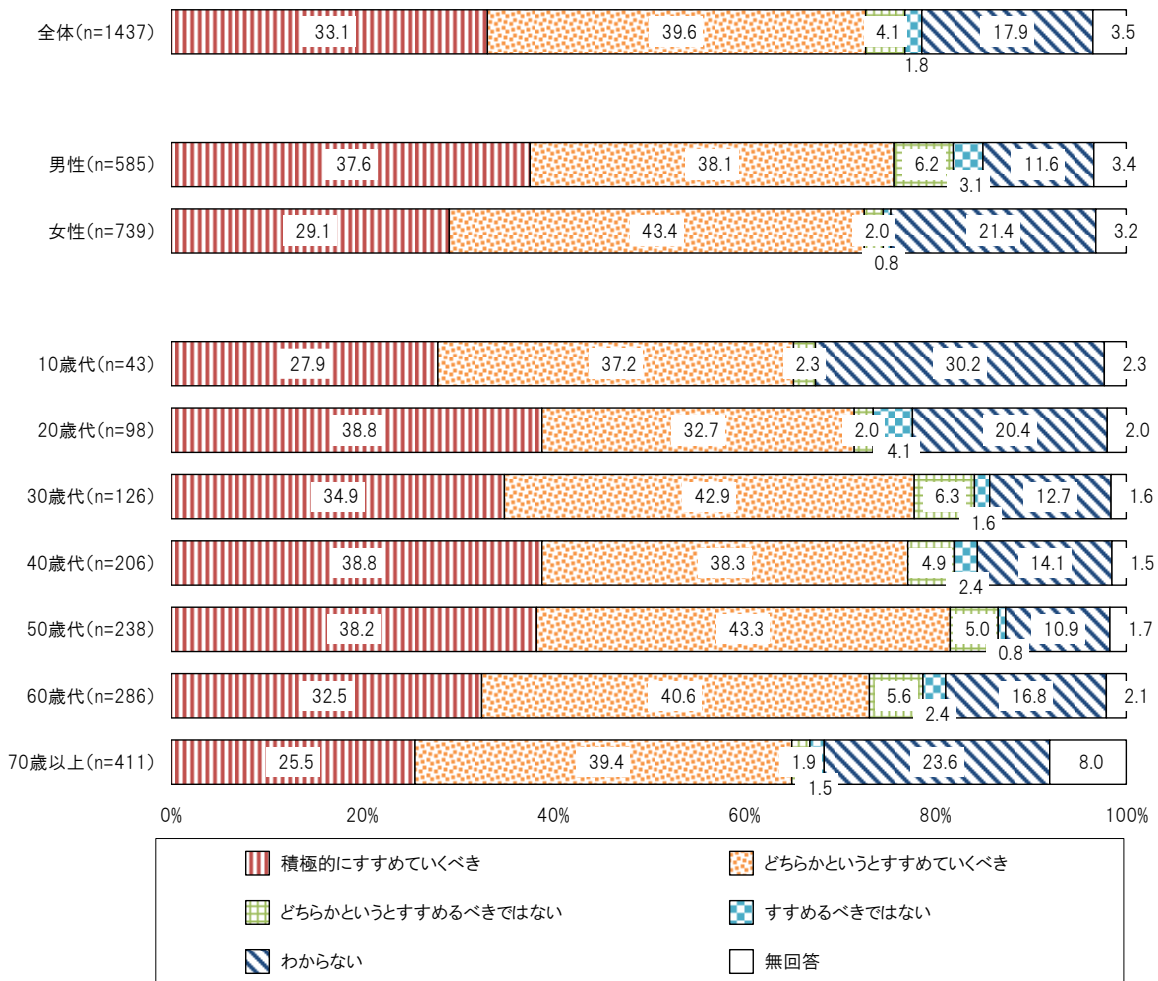
問 18 松阪市が民間との連携（公民連携）をすすめることについてどのように思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「どちらかというすすめていくべき」が39.6%で最も高く、ついで「積極的にすすめていくべき」が33.1%、「わからない」が17.9%となっている。

性別にみると、「積極的にすすめていくべき」「どちらかというすすめていくべき」の合計の割合は、男性が75.7%、女性が72.5%で男性の方が女性より3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「積極的にすすめていくべき」「どちらかというすすめていくべき」の合計の割合は、10歳代、70歳以上で低くなっており、50歳代で最も高くなっている。

問18 松阪市と民間の連携をすすめることをどう思うか



問 19 次の市役所業務のうち、特に民間の力を活かすことができる分野は何だと思えますか。（○は3つまで）

全体でみると「市民活動・地域活動などの支援」が30.9%で最も高く、ついで「ごみ収集・清掃」が30.5%、「各種証明・届出手続きなどの窓口」が23.9%となっている。

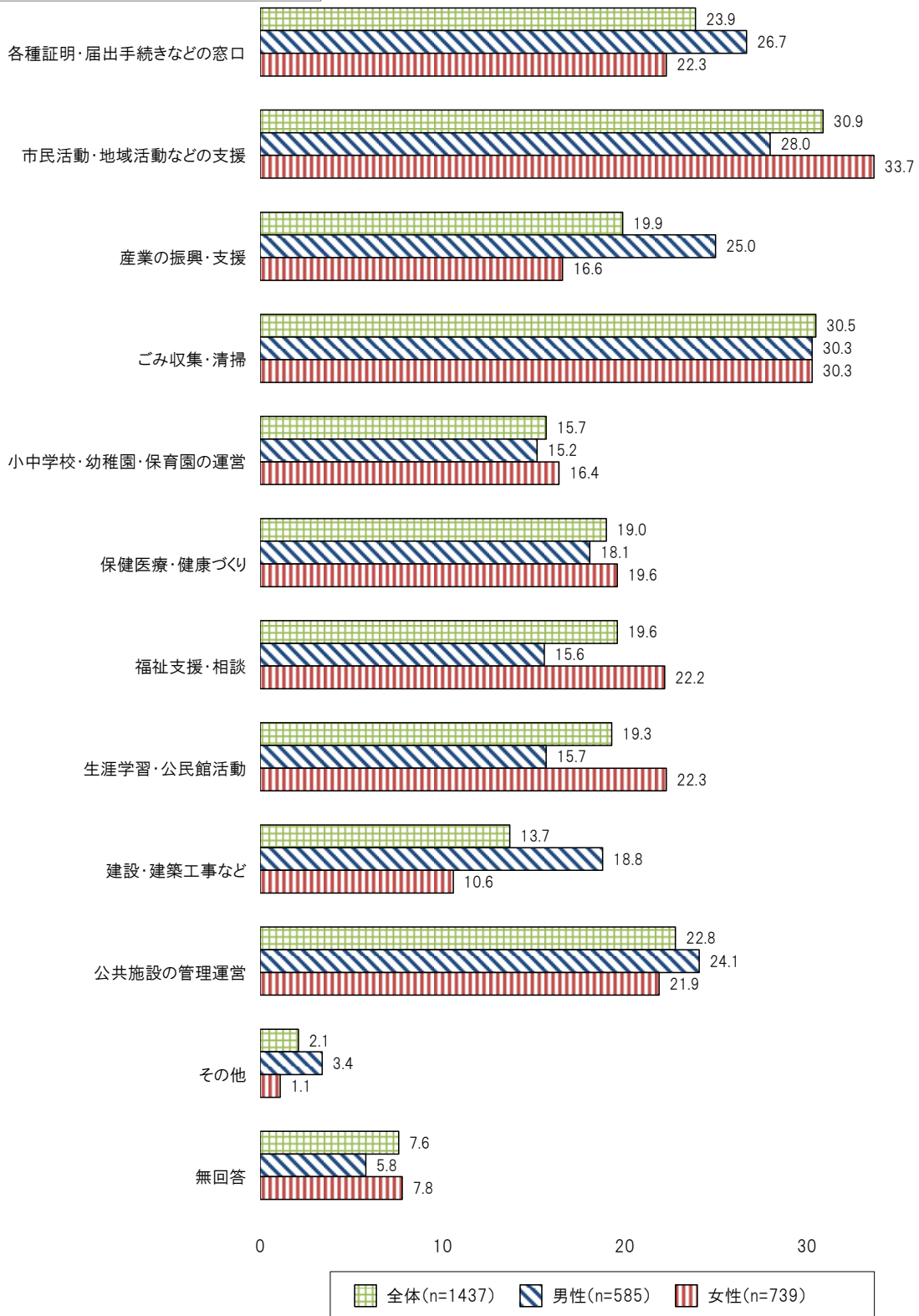
性別にみると、上位3番目に入ってくる項目は同じであり「市民活動・地域活動などの支援」「ごみ収集・清掃」「各種証明・届出手続きなどの窓口」であったが、1番目は男性では「ごみ収集・清掃」、女性では「市民活動・地域活動などの支援」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「産業の振興」で8.4ポイント、「建設・建築工事など」で8.2ポイント男性の方が高く、一方で、「福祉支援・相談」で6.6ポイント、「生涯学習・公民館活動」で6.6ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「ごみ収集・清掃」は2番目以内に入っている。また「市民活動・地域活動などの支援」は40歳代を除く年代で3番目以内に入っている。3番目に入る項目は年代によってばらつきがみられる。

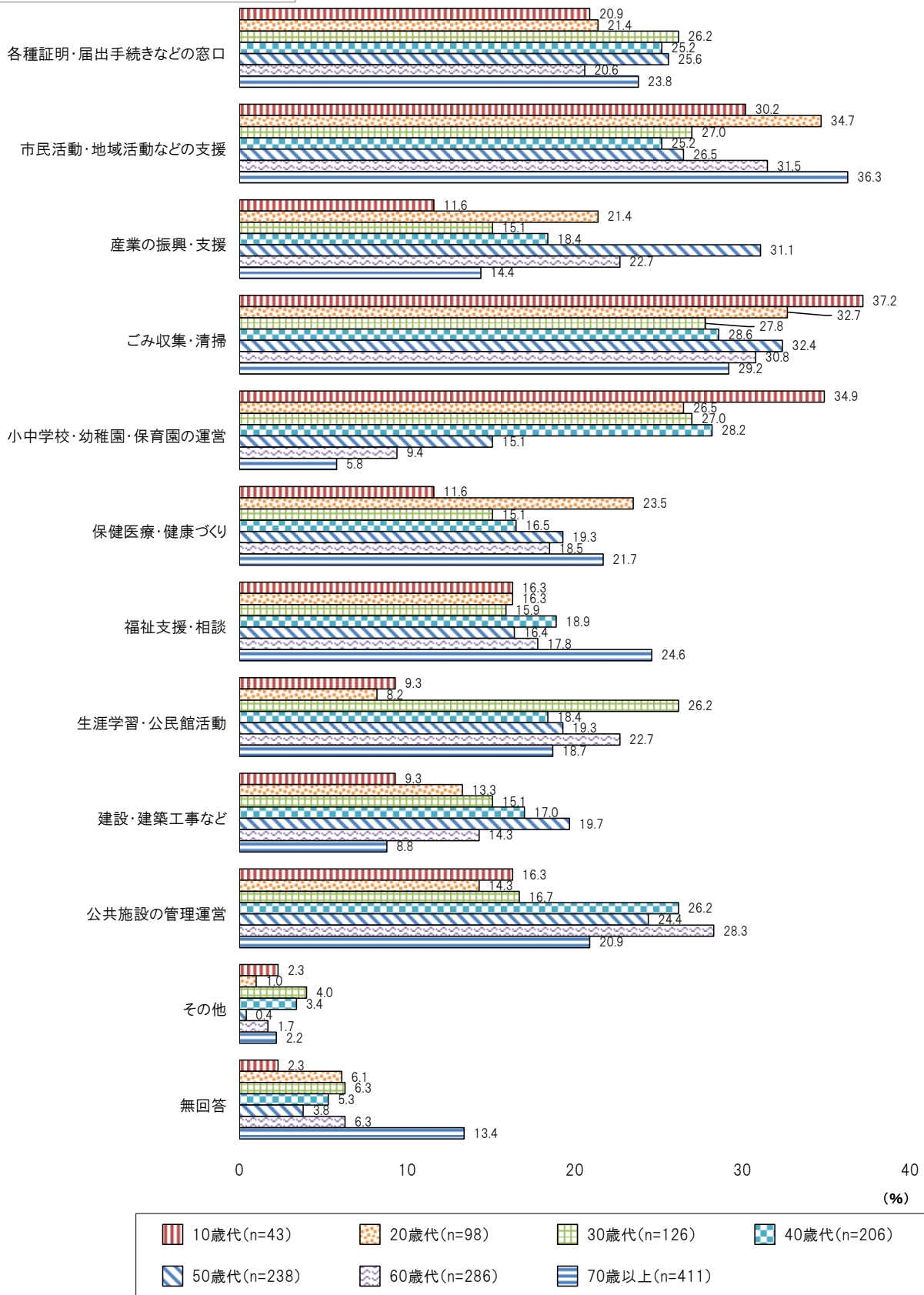
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	ごみ収集・清掃	37.2%	小中学校・幼稚園・保育園の運営	34.9%	市民活動・地域活動などの支援	30.2%
20 歳代	市民活動・地域活動などの支援	34.7%	ごみ収集・清掃	32.7%	小中学校・幼稚園・保育園の運営	26.5%
30 歳代	ごみ収集・清掃	27.8%	市民活動・地域活動などの支援	27.0%	/	/
			小中学校・幼稚園・保育園の運営	27.0%		
40 歳代	ごみ収集・清掃	28.6%	小中学校・幼稚園・保育園の運営	28.2%	公共施設の管理運営	26.2%
50 歳代	ごみ収集・清掃	32.4%	産業の振興・支援	31.1%	市民活動・地域活動などの支援	26.5%
60 歳代	市民活動・地域活動などの支援	31.5%	ごみ収集・清掃	30.8%	公共施設の管理運営	28.3%
70 歳以上	市民活動・地域活動などの支援	36.3%	ごみ収集・清掃	29.2%	福祉支援・相談	24.6%

問19 民間の力を活かすことができる分野



問19 民間の力を活かすことができる分野



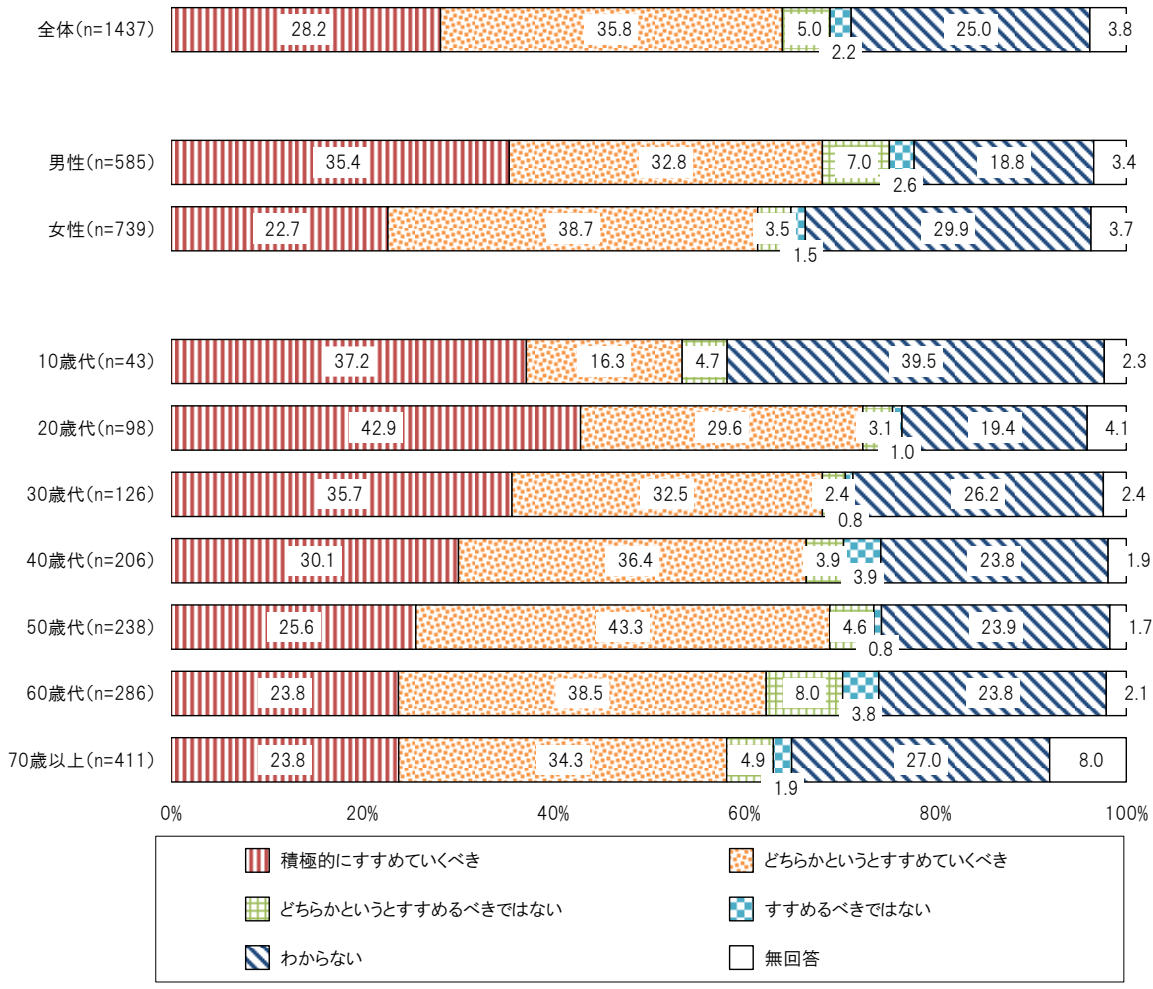
問 20 松阪市が、課題解決のために先進的な取組をすすめることについてどのように思いますか。（○は1つだけ）

全体では「どちらかというすすめていくべき」が35.8%で最も高く、ついで「積極的にすすめていくべき」が28.2%、「わからない」が25.0%となっている。

性別にみると、「積極的にすすめていくべき」「どちらかというすすめていくべき」の合計の割合は、男性が68.2%、女性が61.4%で男性の方が女性より6.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「積極的にすすめていくべき」「どちらかというすすめていくべき」の合計の割合は、10歳代、70歳以上で低くなっており、20歳代で最も高くなっている。

問20 課題解決のため先進的な取組(成果連動型事業)をすすめることをどう思うか



6. カーボンニュートラルについて

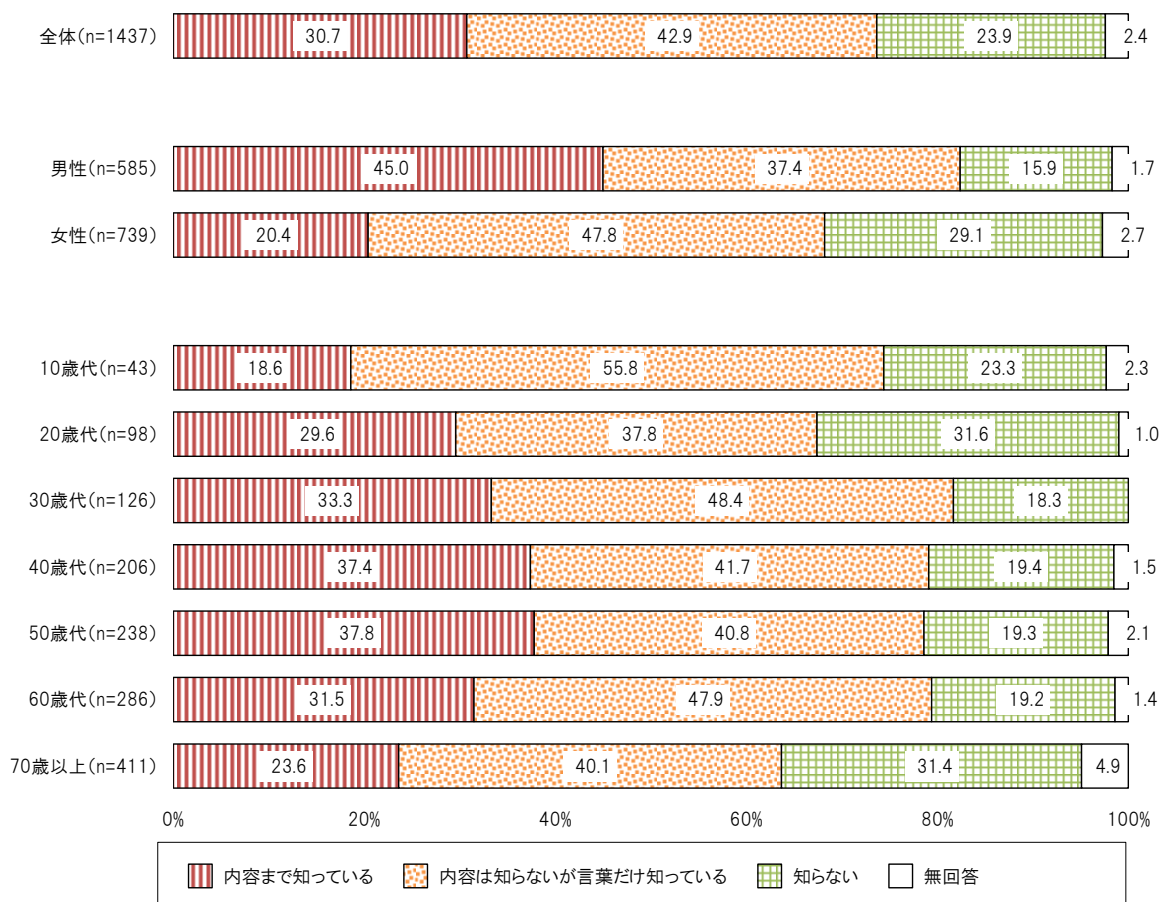
問 21 「カーボンニュートラル」を知っていますか。（○は1つだけ）

全体では「内容は知らないが言葉だけ知っている」が42.9%で最も高く、ついで「内容まで知っている」が30.7%、「知らない」が23.9%となっている。

性別にみると、「内容まで知っている」の割合は、男性が45.0%、女性が20.4%で男性の方が女性より24.6%ポイントと大幅に高くなっている。

年代別にみると、「内容まで知っている」の割合について、50歳代で37.8%と最も高くなっており、ついで40歳代で37.4%となっている。一方で10歳代は18.6%で最も低くなっている。

問21 カーボンニュートラルを知っているか



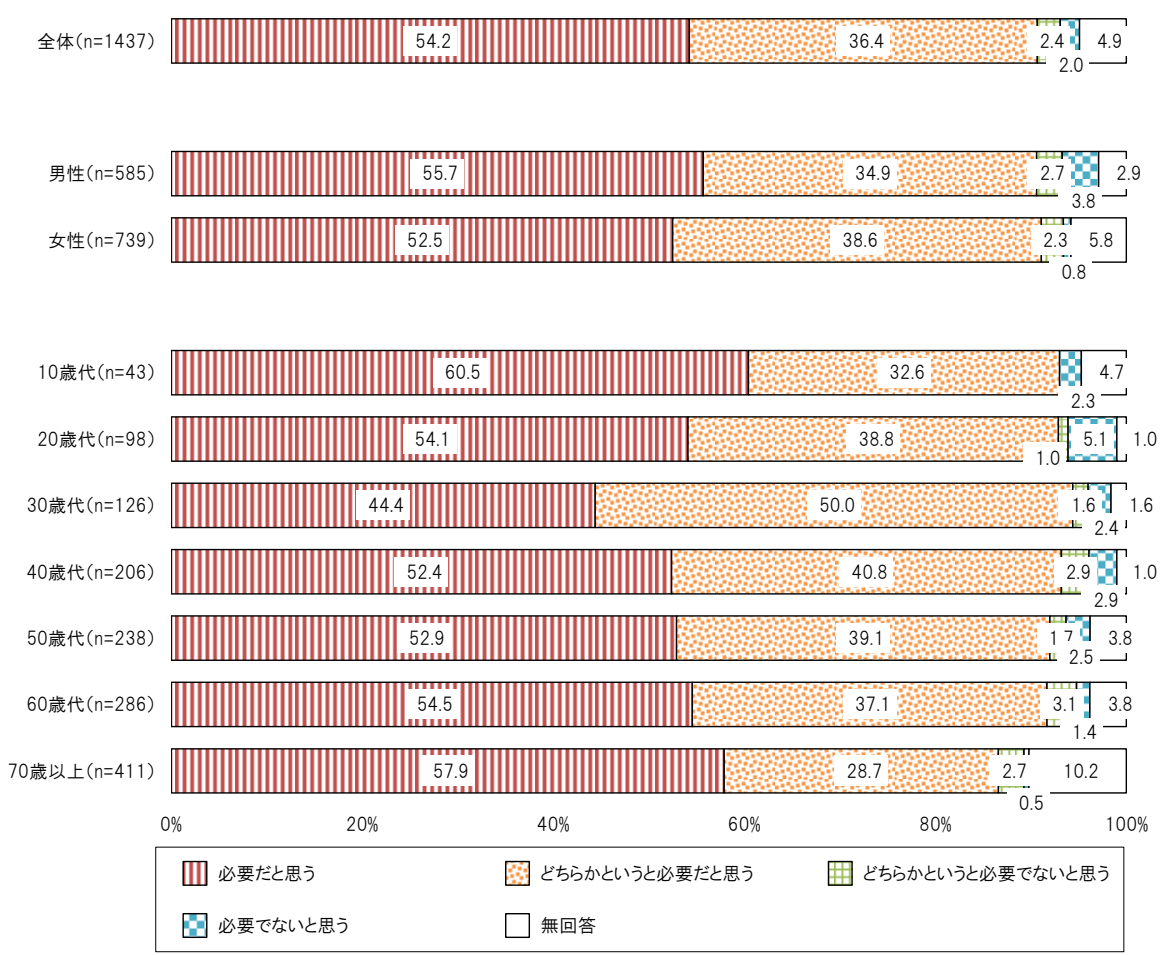
問 22 バイオマス発電など再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出しない低炭素の重要なエネルギー源です。再生可能エネルギーの活用についてどのように思われますか。（○は1つだけ）

全体では「必要だと思う」が54.2%で最も高く、ついで「どちらかという必要だと思う」が36.4%、「どちらかという必要でないと思う」が2.4%となっている。

性別にみると、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」の合計の割合は、男性が90.6%、女性が91.1%で女性の方が男性より0.5%ポイント高くなっている。

年代別にみると、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」の合計の割合は、30歳代で94.4%と最も高くなっており、ついで40歳代で93.2%となっている。一方で70歳以上は86.6%で最も低くなっている。

問22 再生可能エネルギーの活用をどう思うか



問 23 2050 年までにカーボンニュートラルを実現するため、「地域脱炭素ロードマップ」が公表されています。松阪市が取り組むべきものとして重要だと思うものを以下から選んでください。（○は 3 つまで）

全体では「公共施設や学校等への LED などの省エネ設備の導入」が 52.0%で最も高く、ついで「食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化」が 45.3%、「森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO₂吸収量の確保」が 41.3%となっている。

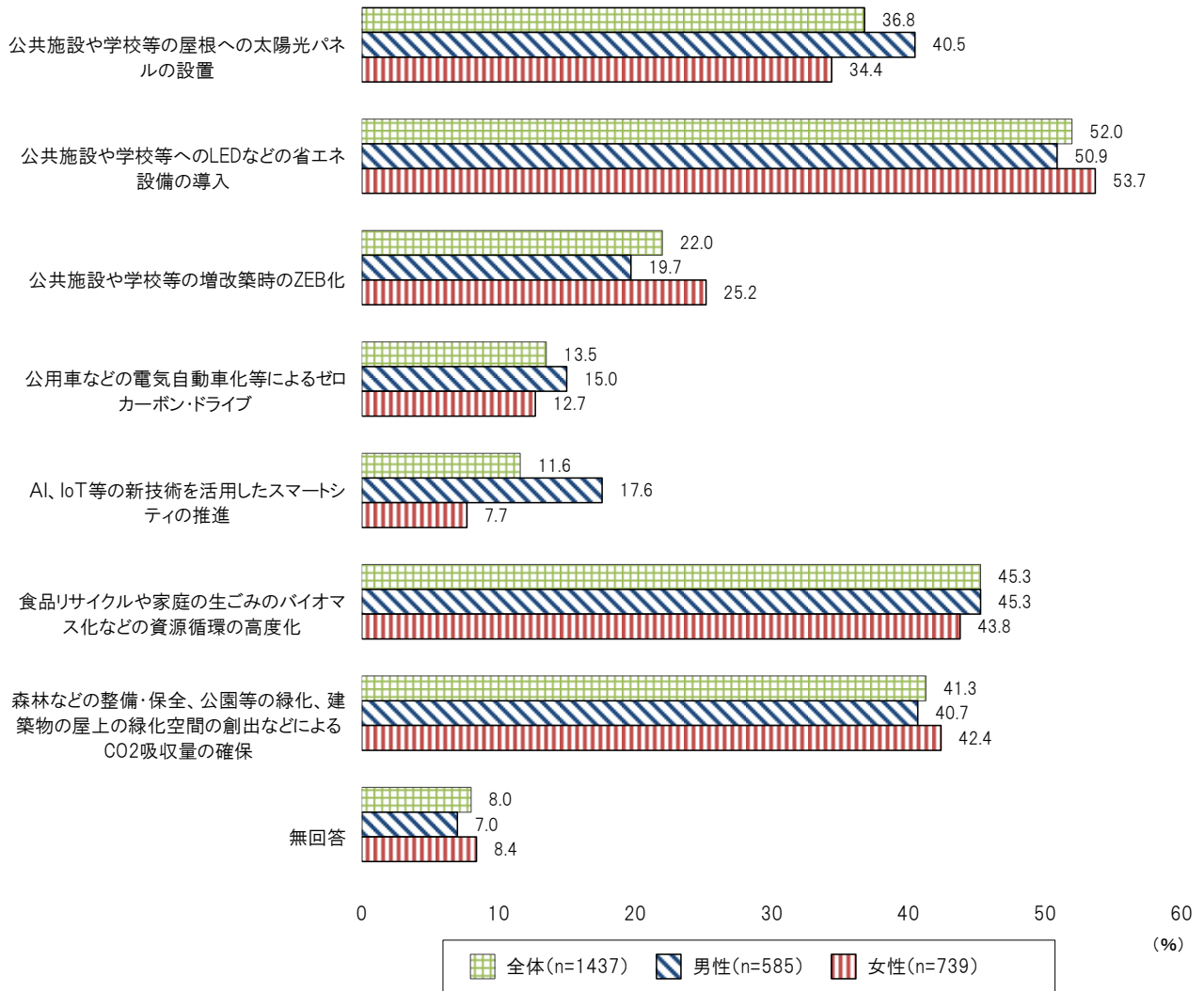
性別にみると、3 番目以内に入る項目は、項目、順番ともに男女で同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「AI、IoT等の新技術を活用したスマートシティの推進」で 9.9 ポイント、「公共施設や学校等の屋根への太陽光パネルの設置」で 6.1 ポイント男性の方が高く、一方で、「公共施設や学校等の増改築時の ZEB 化」で 5.5 ポイント、「公共施設や学校等への LED などの省エネ設備の導入」で 2.8 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「公共施設や学校等の屋根への太陽光パネルの設置」は 1 番目であった。また「森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO₂吸収量の確保」はいずれの年代でも 3 番目以内に入っている。「食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化」については 10 歳代を除く年代で 3 番目以内に入っている。

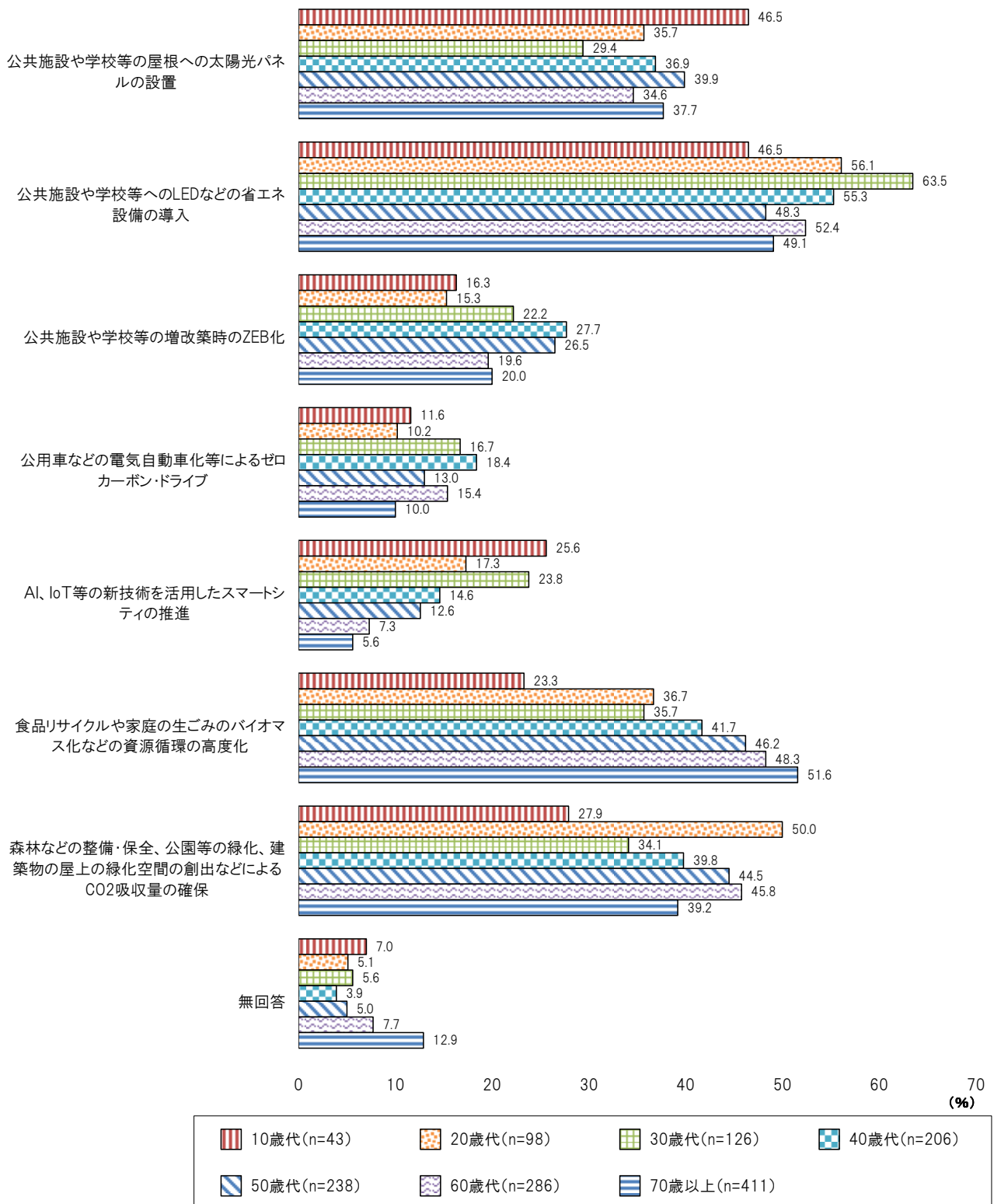
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	公共施設や学校等の屋根への太陽光パネルの設置	46.5%			森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	27.9%
	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	46.5%				
20 歳代	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	56.1%	森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	50.0%	食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化	36.7%
30 歳代	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	63.5%	食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化	35.7%	森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	34.1%
40 歳代	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	55.3%	食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化	41.7%	森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	39.8%
50 歳代	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	48.3%	食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化	46.2%	森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	44.5%
60 歳代	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	52.4%	食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化	48.3%	森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	45.8%
70 歳以上	食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化	51.6%	公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入	49.1%	森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO2吸収量の確保	39.2%

問23 カーボンニュートラルを実現するために重要だと思うこと



問23 カーボンニュートラルを実現するために重要だと思うこと



問 24 カーボンニュートラルを実現するために、わたしたちができるところから取り組むべき「ゼロカーボンアクション 30」が公表されています。あなたがすでに取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では「食品ロスをなくす」が 56.2%で最も高く、ついで「エネルギーの節約」が 53.9%、「3R の実践」が 49.5%となっている。

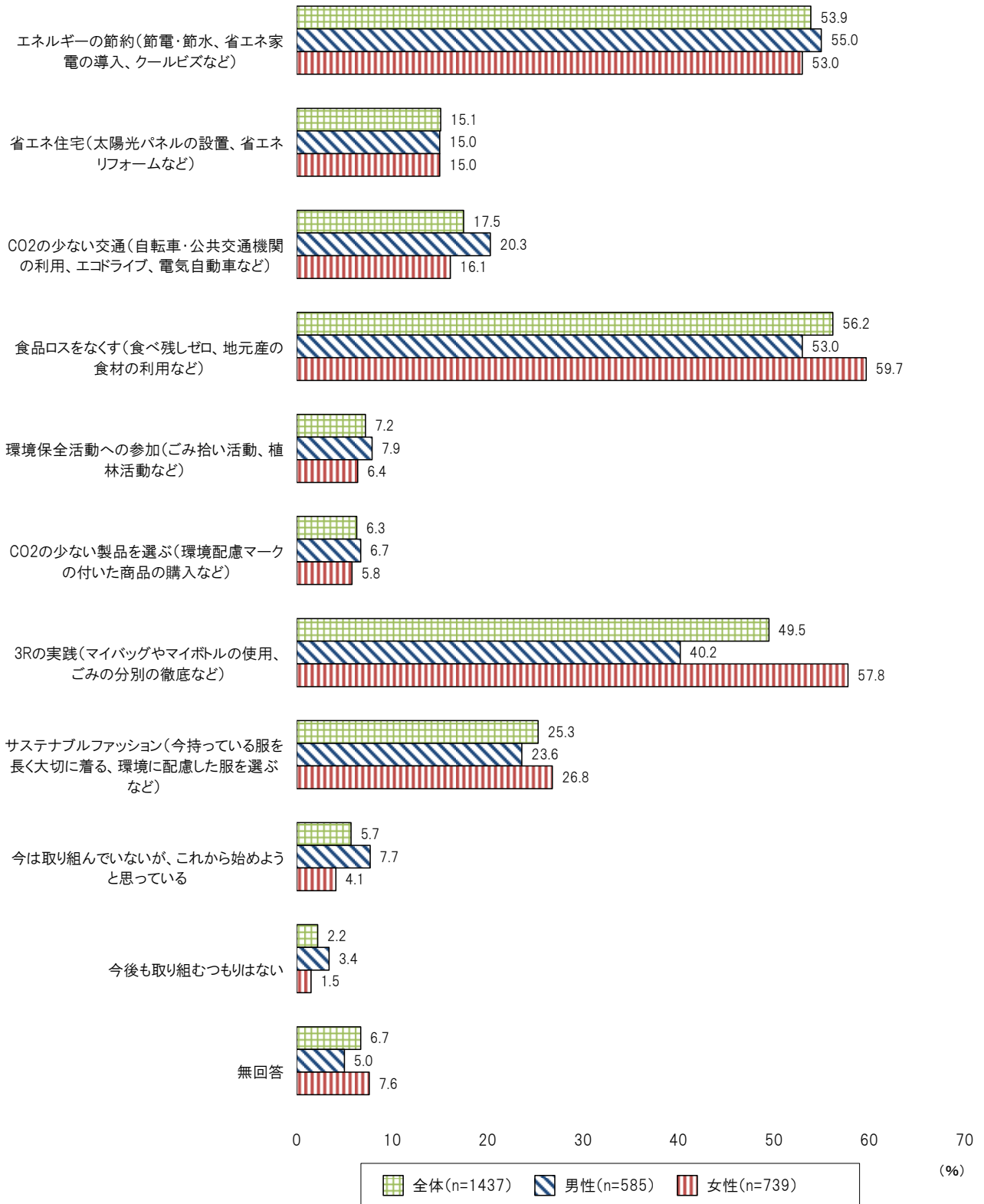
性別にみると、上位 3 番目に入ってくる項目は「食品ロスをなくす」「エネルギーの節約」「3R の実践」で同じであったが、1 番目は男性では「エネルギーの節約」、女性では「食品ロスをなくす」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「CO₂の少ない交通」で 4.2 ポイント、「エネルギーの節約」で 2.0 ポイント男性の方が高く、一方で、「3R の実践」で 17.6 ポイント、「食品ロスをなくす」で 6.7 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、3 番目以内に入っている項目はいずれの年代でも「食品ロスをなくす」「エネルギーの節約」「3R の実践」であった。1 番目の項目は、10 歳代、20 歳代では「エネルギーの節約」、30 歳代、40 歳代、50 歳代、70 歳以上では「食品ロスをなくす」、60 歳代では「3R の実践」となっている。

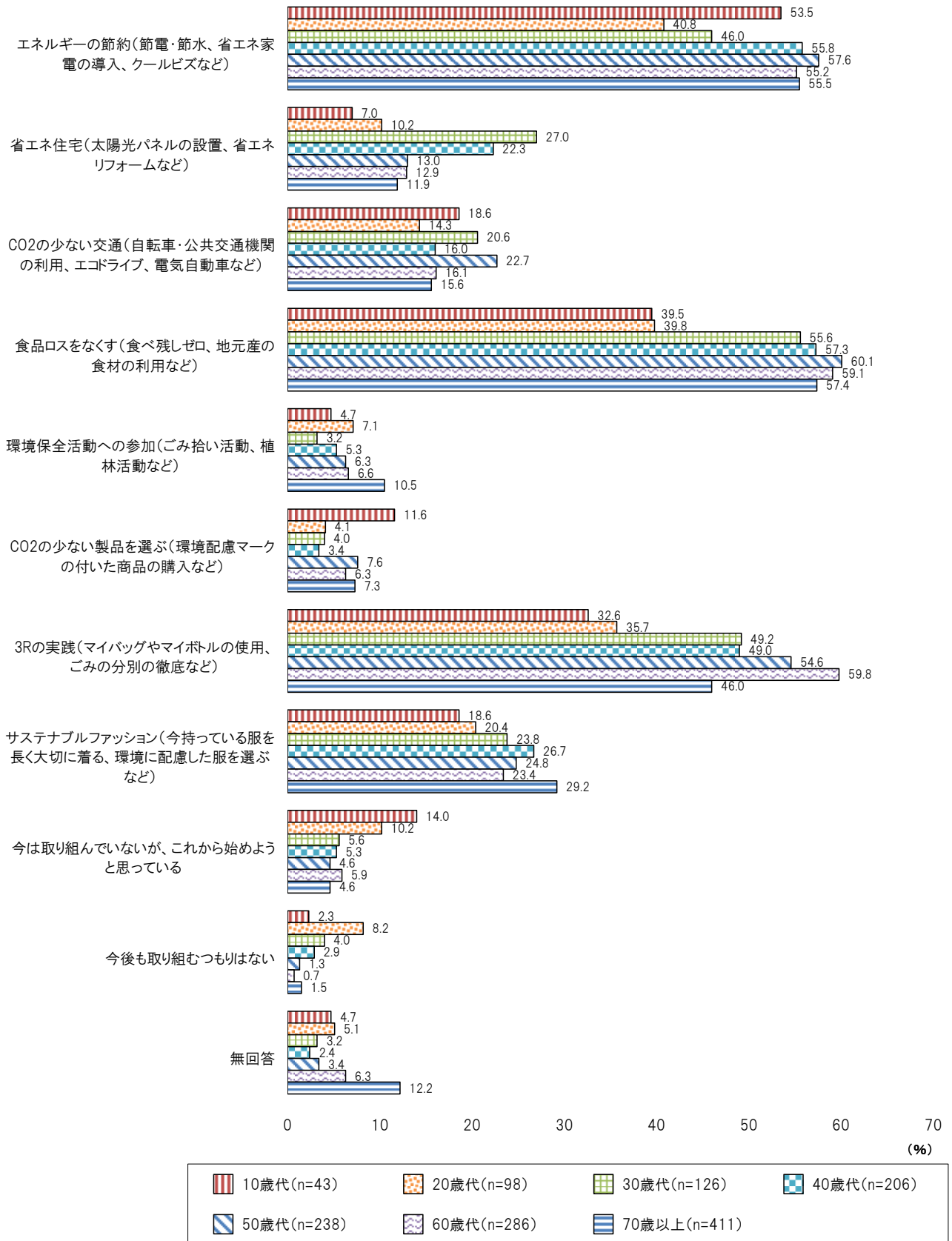
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	エネルギーの節約 (節電・節水、省エネ家電の導入、クールビズなど)	53.5%	食品ロスをなくす (食べ残しゼロ、地元産の食材の利用など)	39.5%	3R の実践 (マイバッグやマイボトルの使用、ごみの分別の徹底など)	32.6%
20 歳代	エネルギーの節約	40.8%	食品ロスをなくす	39.8%	3R の実践	35.7%
30 歳代	食品ロスをなくす	55.6%	3R の実践	49.2%	エネルギーの節約	46.0%
40 歳代	食品ロスをなくす	57.3%	エネルギーの節約	55.8%	3R の実践	49.0%
50 歳代	食品ロスをなくす	60.1%	エネルギーの節約	57.6%	3R の実践	54.6%
60 歳代	3R の実践	59.8%	食品ロスをなくす	59.1%	エネルギーの節約	55.2%
70 歳以上	食品ロスをなくす	57.4%	エネルギーの節約	55.5%	3R の実践	46.0%

問24 カーボンニュートラルにすでに取り組んでいること



問24 カーボンニュートラルにすでに取り組んでいること



問 25 カーボンニュートラルの実現に向けて、一人ひとりが自分のこととして取り組むために必要な情報は何かと思いますか。（〇は2つまで）

全体では「省エネの実践方法」が47.5%で最も高く、ついで「食品ロスゼロの実践方法」が38.0%、「3Rの実践方法」が29.7%となっている。

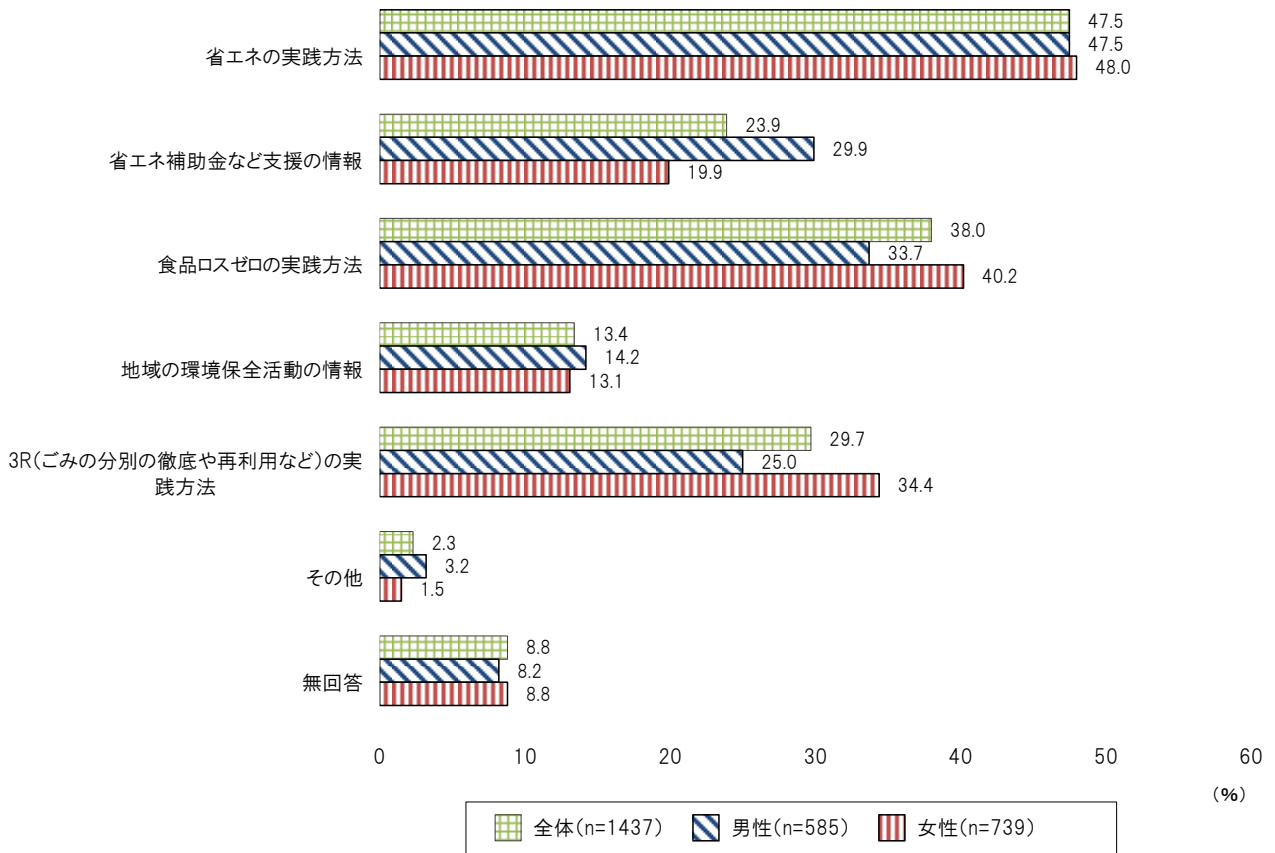
性別にみると、1番目、2番目に高い項目は「省エネの実践方法」「食品ロスゼロの実践方法」で同じであった。3番目に高い項目は、男性では「省エネ補助金など支援の情報」、女性では「3Rの実践方法」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「省エネ補助金など支援の情報」で10.0ポイント男性の方が高く、一方で、「3Rの実践方法」で9.4ポイント、「食品ロスゼロの実践方法」で6.5ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「省エネの実践方法」は2番目以内に、「食品ロスゼロの実践方法」は3番目以内に入っている。

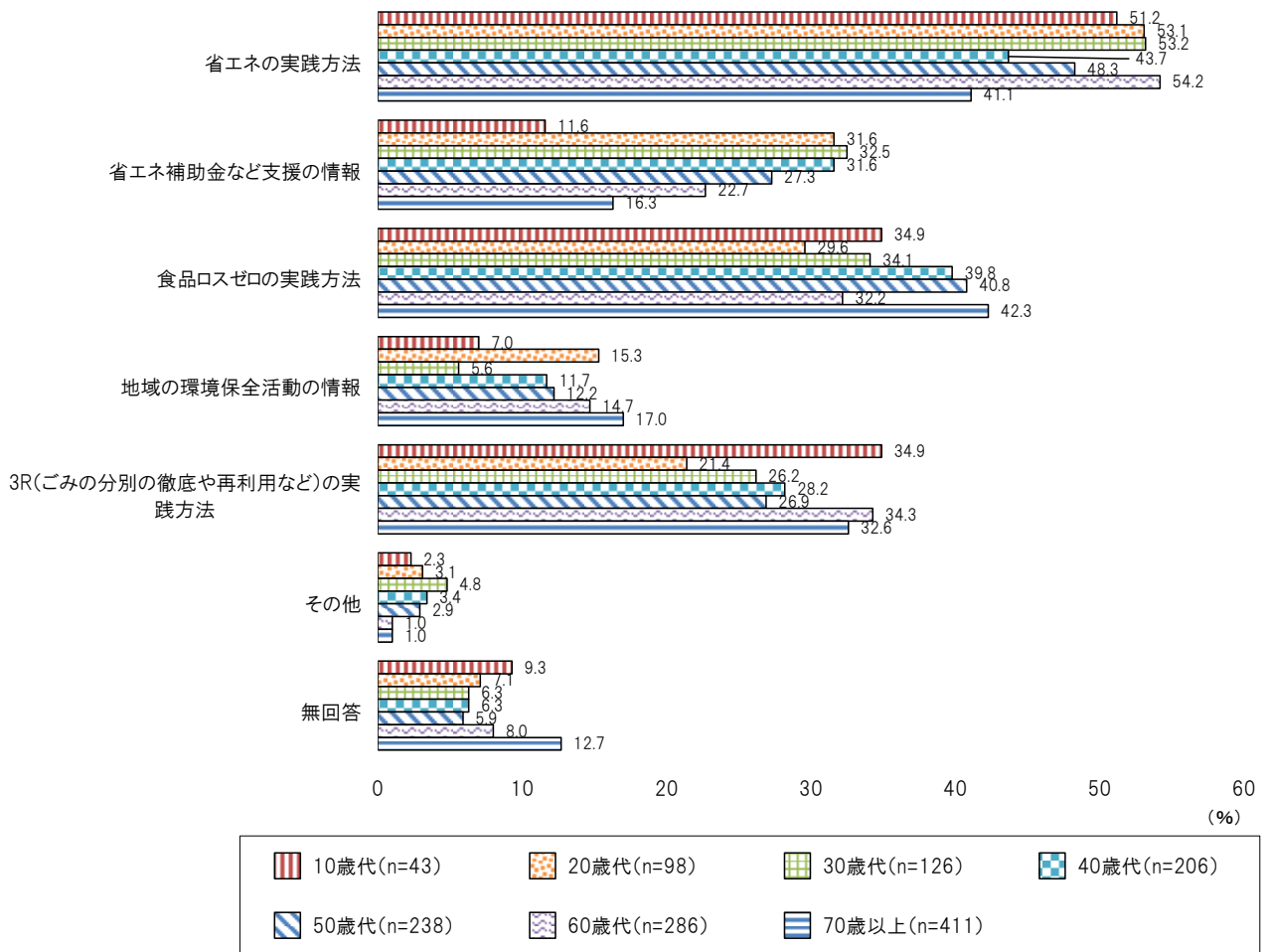
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	省エネの実践方法	51.2%	食品ロスゼロの実践方法	34.9%	/	/
			3R（ごみの分別の徹底や再利用など）の実践方法	34.9%		
20 歳代	省エネの実践方法	53.1%	省エネ補助金など支援の情報	31.6%	食品ロスゼロの実践方法	29.6%
30 歳代	省エネの実践方法	53.2%	食品ロスゼロの実践方法	34.1%	省エネ補助金など支援の情報	32.5%
40 歳代	省エネの実践方法	43.7%	食品ロスゼロの実践方法	39.8%	省エネ補助金など支援の情報	31.6%
50 歳代	省エネの実践方法	48.3%	食品ロスゼロの実践方法	40.8%	省エネ補助金など支援の情報	27.3%
60 歳代	省エネの実践方法	54.2%	3Rの実践方法	34.3%	食品ロスゼロの実践方法	32.2%
70 歳以上	食品ロスゼロの実践方法	42.3%	省エネの実践方法	41.1%	3Rの実践方法	32.6%

問25 カーボンニュートラルの実現に向けて必要な情報



問25 カーボンニュートラルの実現に向けて必要な情報



7. 福祉の重層的支援体制について

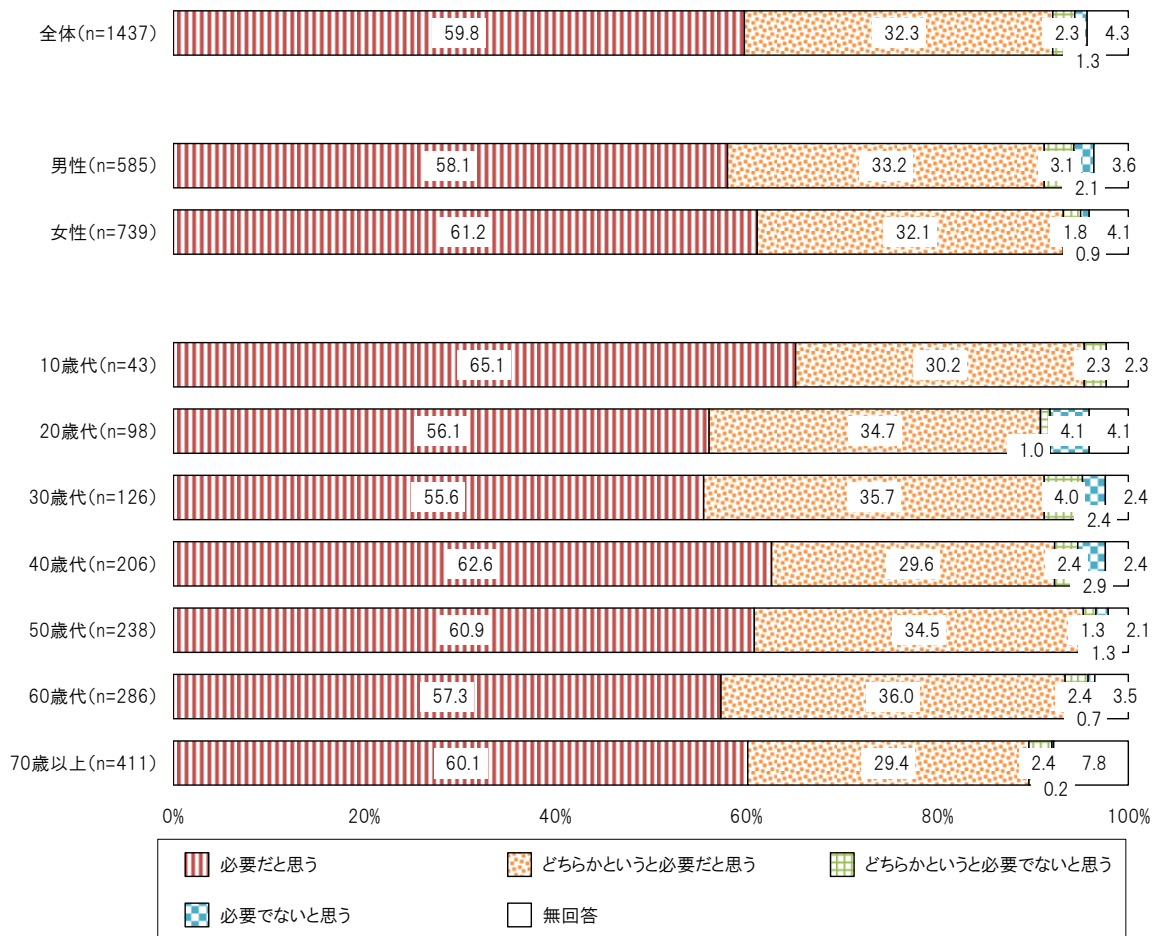
問 26 身近な地域で相談を受け止める取組（重層的支援・福祉まるごと相談室）は必要だと思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「必要だと思う」が59.8%で最も高く、ついで「どちらかという必要だと思う」が32.3%、「どちらかという必要でないと思う」が2.3%となっている。

性別にみると、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」の合計の割合は、男性が91.3%、女性が93.3%で女性の方が男性より2.0%ポイント高くなっている。

年代別にみると、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」の合計の割合は、50歳代で95.4%と最も高くなっており、ついで10歳代で95.3%となっている。一方で70歳以上が89.5%で最も低くなっている。

問26 重層的支援・福祉まるごと相談室の取組は必要だと思うか



問 27 あなたは今、どのようなことでお困りですか。（〇は3つまで）

全体でみると「病気や健康に関すること」が33.1%で最も高く、ついで「困っていることはない」が27.6%、「経済的な問題に関すること」が20.1%となっている。

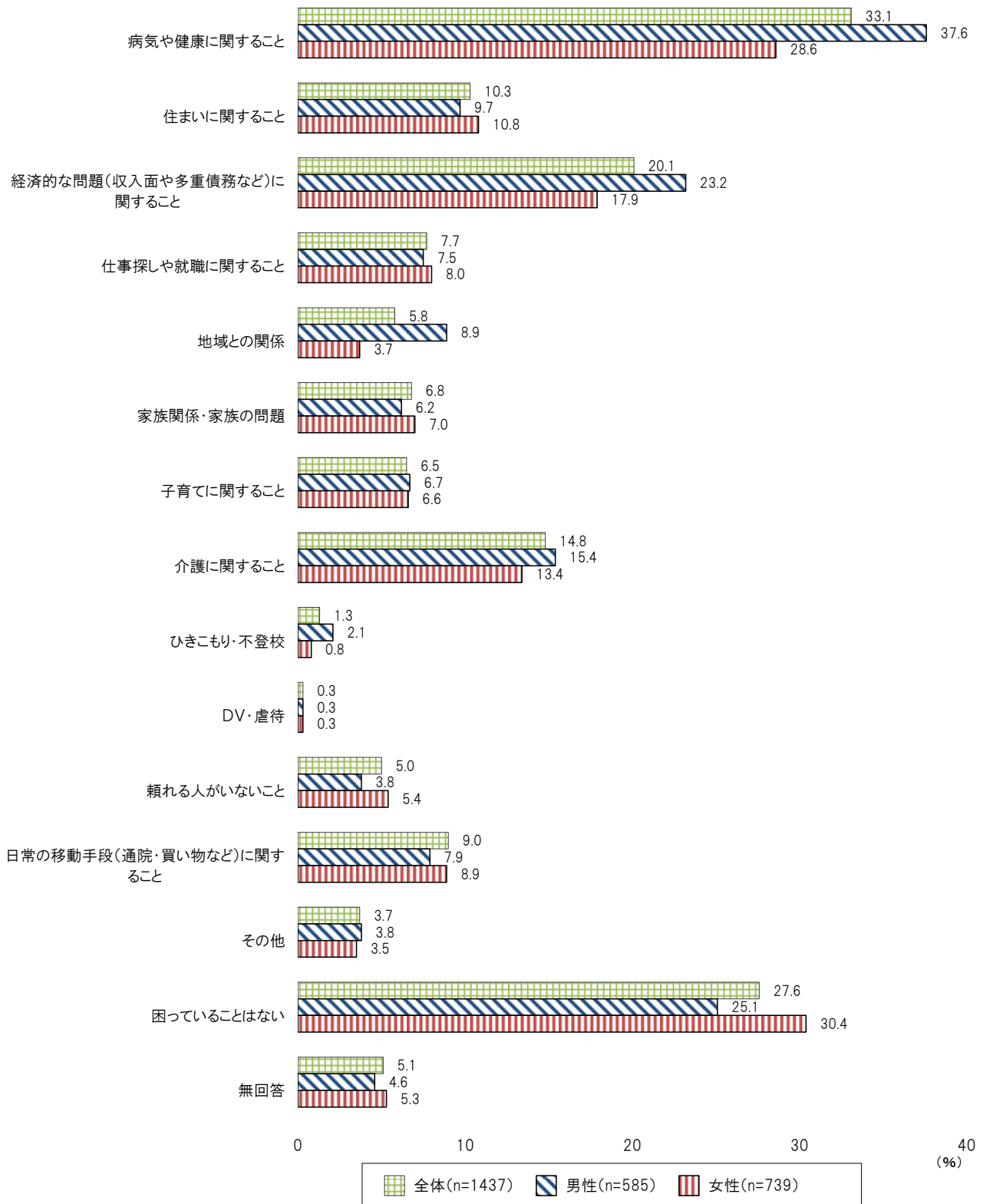
性別にみると、3番目以内に入ってくる項目は同じで「病気や健康に関すること」「困っていることはない」「経済的な問題に関すること」であったが、1番目の項目は男性では「病気や健康に関すること」、女性では「困っていることはない」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「病気や健康に関すること」で9.0ポイント、「経済的な問題に関すること」で5.3ポイント男性の方が高く、一方で、「困っていることはない」で5.3ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「困っていることはない」は3番目以内に入っている。「病気や健康に関すること」は30歳代を除く年代で入っている。10歳代から50歳代では「経済的な問題に関すること」が3番目以内に入っており、60歳代、70歳以上では「介護に関すること」が3番目に入ってきている。

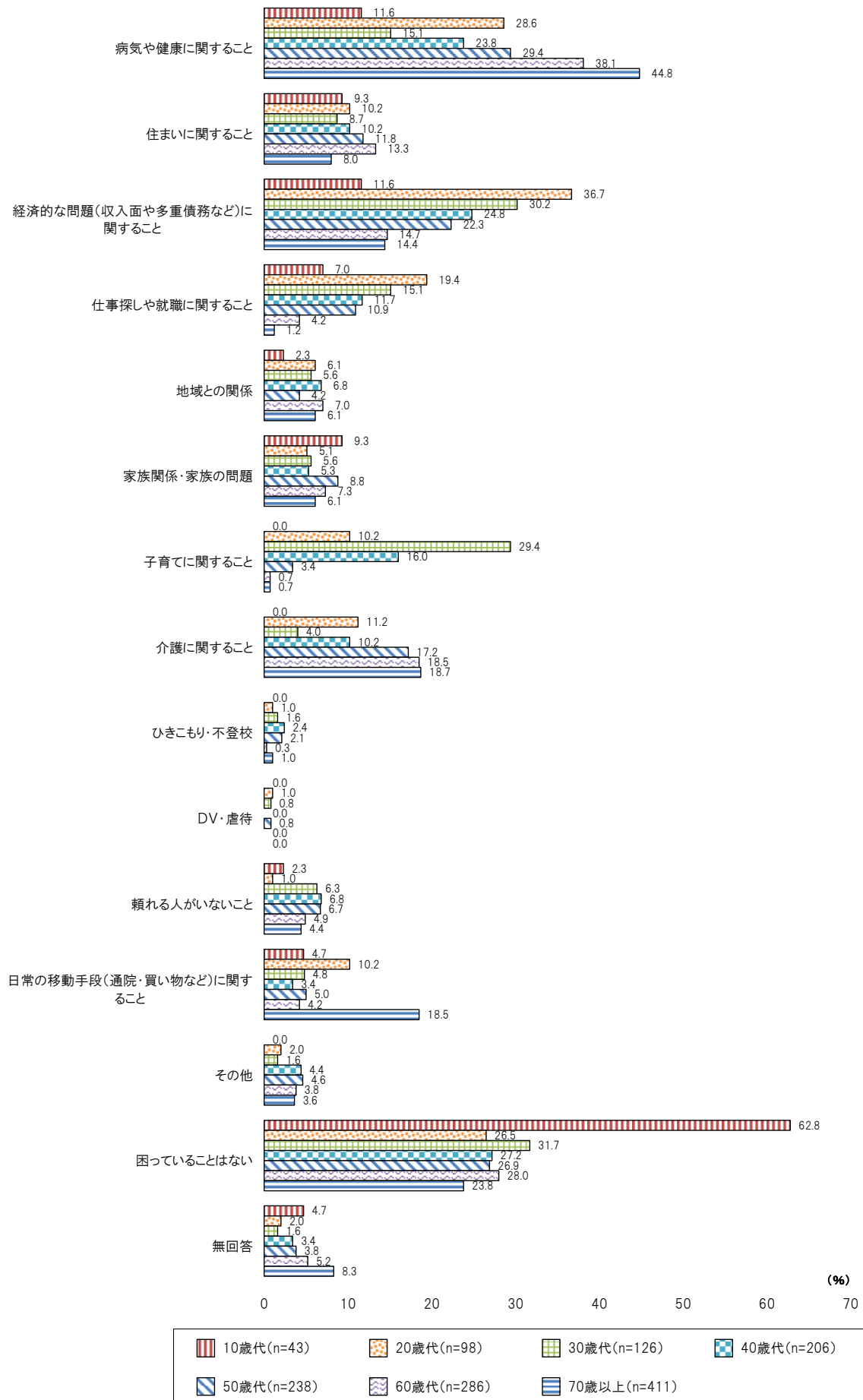
＜年代ごとの上位3項目＞

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	困っていることはない	62.8%	病気や健康に関すること	11.6%	/	/
			経済的な問題（収入面や多重債務など）に関すること	11.6%		
20 歳代	経済的な問題に関すること	36.7%	病気や健康に関すること	28.6%	困っていることはない	26.5%
30 歳代	困っていることはない	31.7%	経済的な問題に関すること	30.2%	子育てに関すること	29.4%
40 歳代	困っていることはない	27.2%	経済的な問題に関すること	24.8%	病気や健康に関すること	23.8%
50 歳代	病気や健康に関すること	29.4%	困っていることはない	26.9%	経済的な問題に関すること	22.3%
60 歳代	病気や健康に関すること	38.1%	困っていることはない	28.0%	介護に関すること	18.5%
70 歳以上	病気や健康に関すること	44.8%	困っていることはない	23.8%	介護に関すること	18.7%

問27 現在どのようなことでお困りか



問27 現在どのようなことでお困りか



問 28 あなたは将来について、どのような不安がありますか。（〇は3つまで）

全体では「健康に関すること」が51.1%で最も高く、ついで「収入・家計に関すること」が38.6%、「介護や医療に関すること」が32.8%となっている。

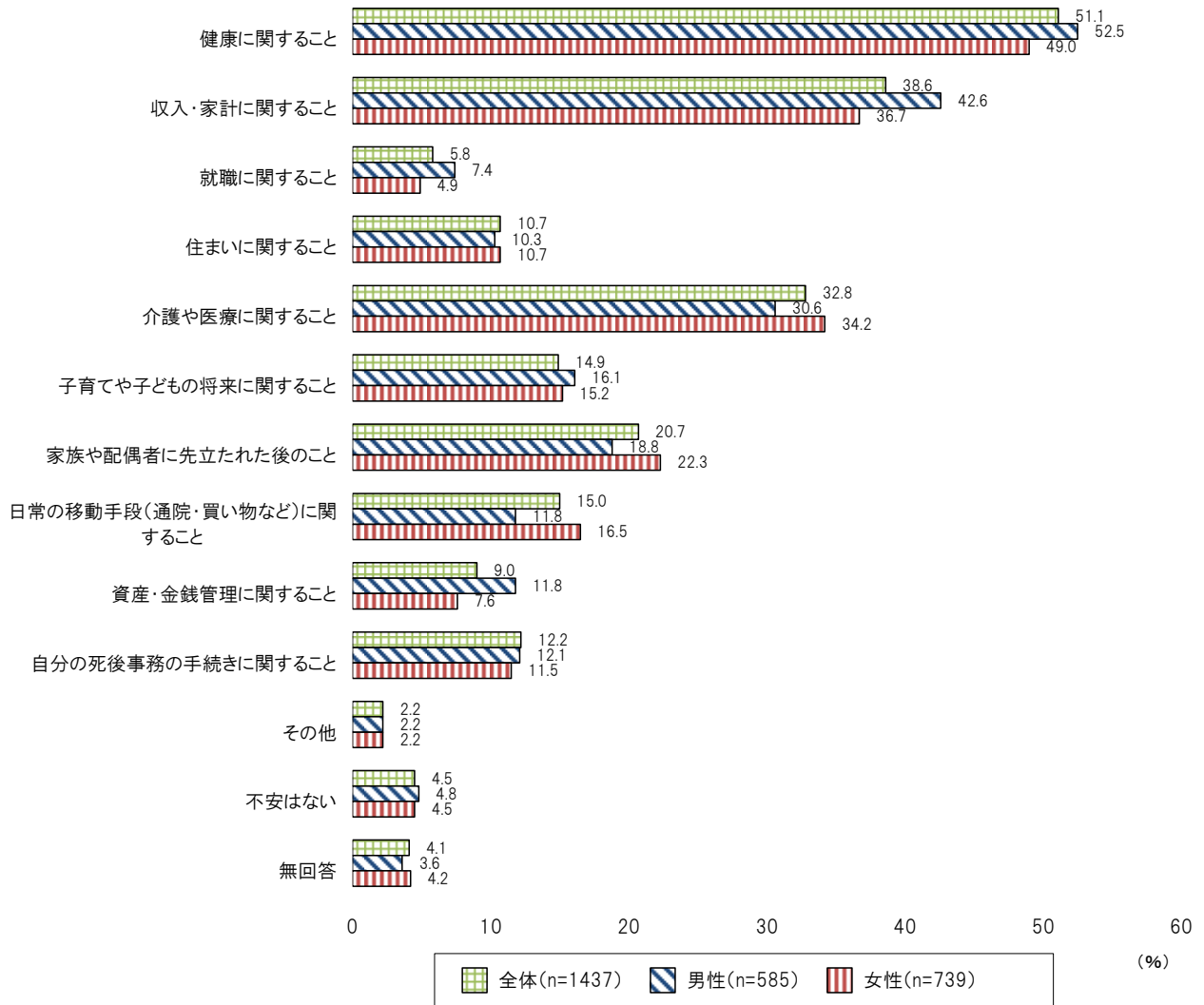
性別にみると、3番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「収入・家計に関すること」で5.9ポイント、「資産・金銭管理に関すること」で4.2ポイント男性の方が高く、一方で、「日常の移動手段に関すること」で4.7ポイント、「介護や医療に関すること」で3.6ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康に関すること」は3番目以内に入っている。「収入・家計に関すること」は70歳以上を除く年代で入っている。10歳代では「就職に関すること」が1番目であり、20歳代、30歳代、40歳代では「子育てや子どもの将来に関すること」が3番目以内に入っている。70歳以上では「日常の移動手段に関すること」が3番目となっている。

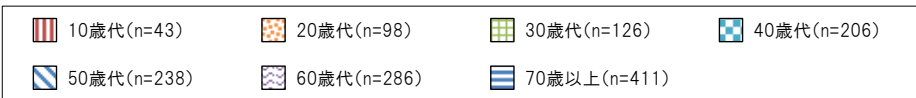
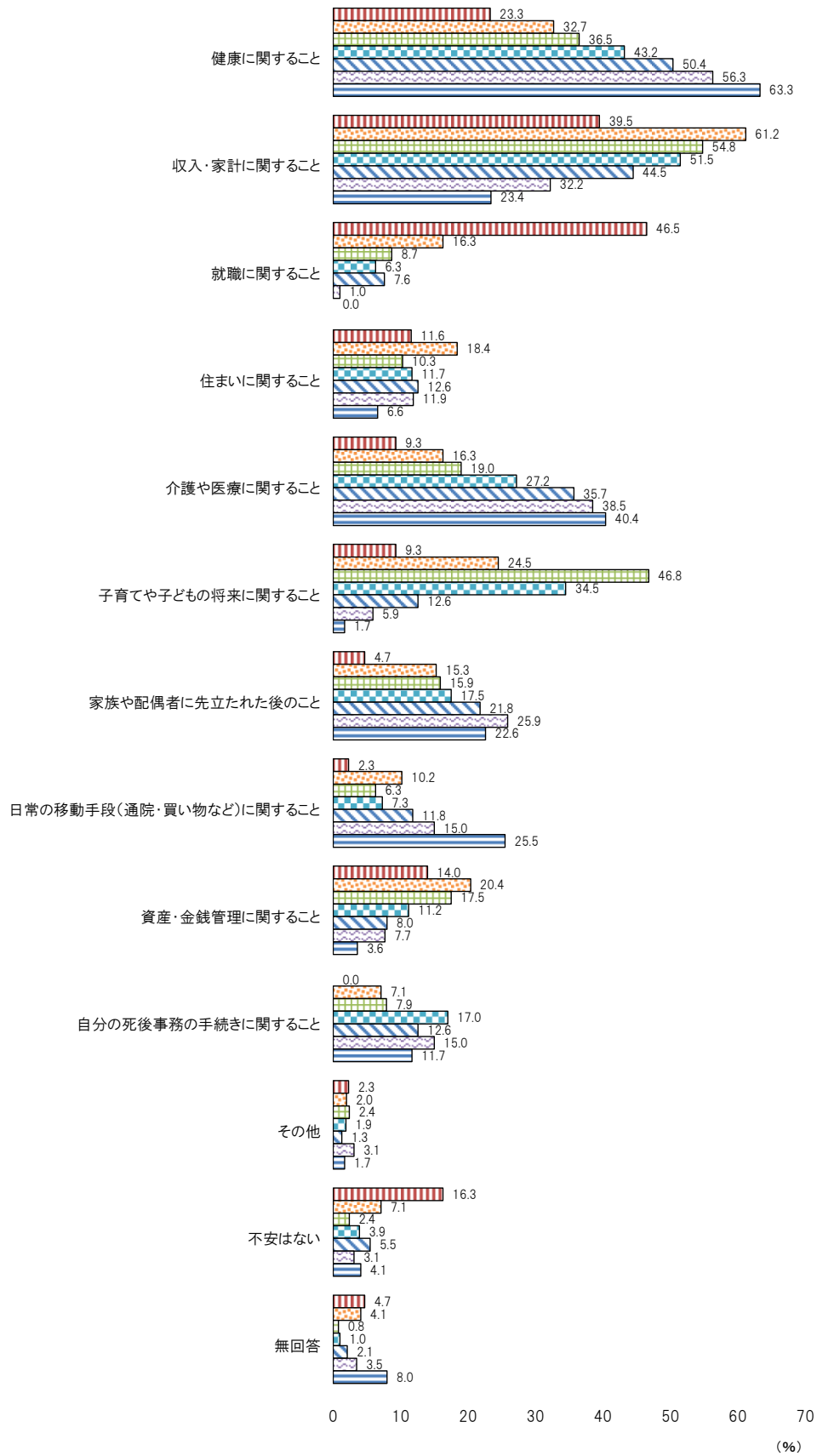
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	就職に関すること	46.5%	収入・家計に関すること	39.5%	健康に関すること	23.3%
20歳代	収入・家計に関すること	61.2%	健康に関すること	32.7%	子育てや子どもの将来に関すること	24.5%
30歳代	収入・家計に関すること	54.8%	子育てや子どもの将来に関すること	46.8%	健康に関すること	36.5%
40歳代	収入・家計に関すること	51.5%	健康に関すること	43.2%	子育てや子どもの将来に関すること	34.5%
50歳代	健康に関すること	50.4%	収入・家計に関すること	44.5%	介護や医療に関すること	35.7%
60歳代	健康に関すること	56.3%	介護や医療に関すること	38.5%	収入・家計に関すること	32.2%
70歳以上	健康に関すること	63.3%	介護や医療に関すること	40.4%	日常の移動手段（通院・買い物など）に関すること	25.5%

問28 将来についてどのような不安があるか



問28 将来についてどのような不安があるか



問 29 どのようなことを行政に支援・充実してほしいですか。（〇は3つまで）

全体では「あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口」が 38.2%で最も高く、ついで「さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内」が 28.9%、「相談方法の充実」が 22.1%となっている。

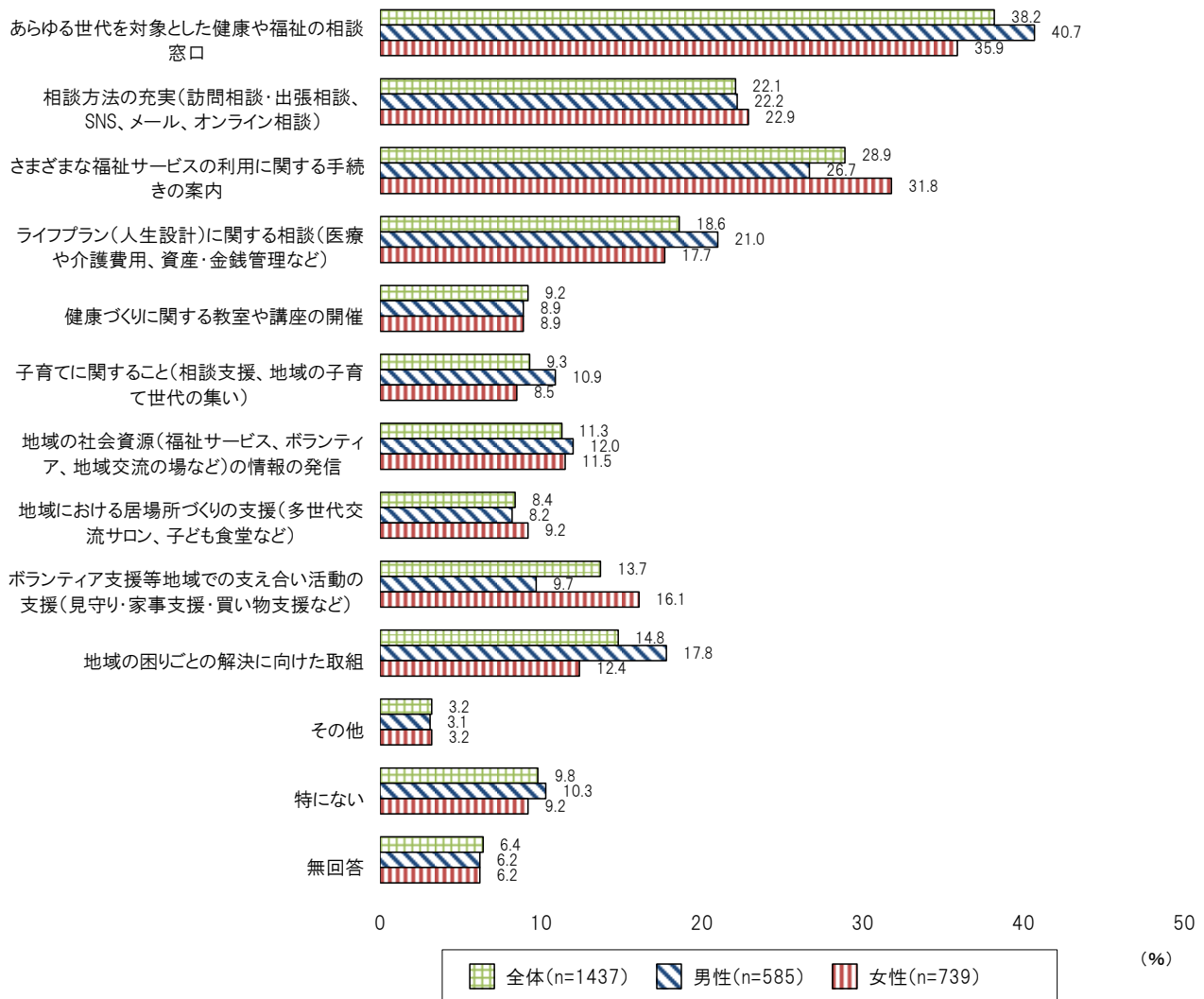
性別にみると、3番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「地域の困りごとの解決に向けた取組」で 5.4 ポイント、「あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口」で 4.8 ポイント男性の方が高く、一方で、「ボランティア支援等地域での支え合い活動の支援」で 6.4 ポイント、「さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内」で 5.1 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口」は 3番目以内に入っている。1番目の項目をみると、40歳代より上の年代では「あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口」、30歳代は「子育てに関すること」、20歳代は「相談方法の充実」、10歳代は「特にない」となっている。

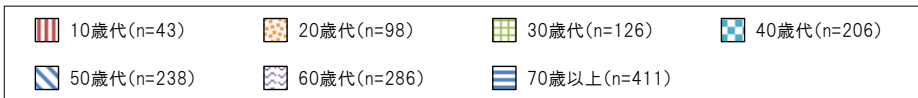
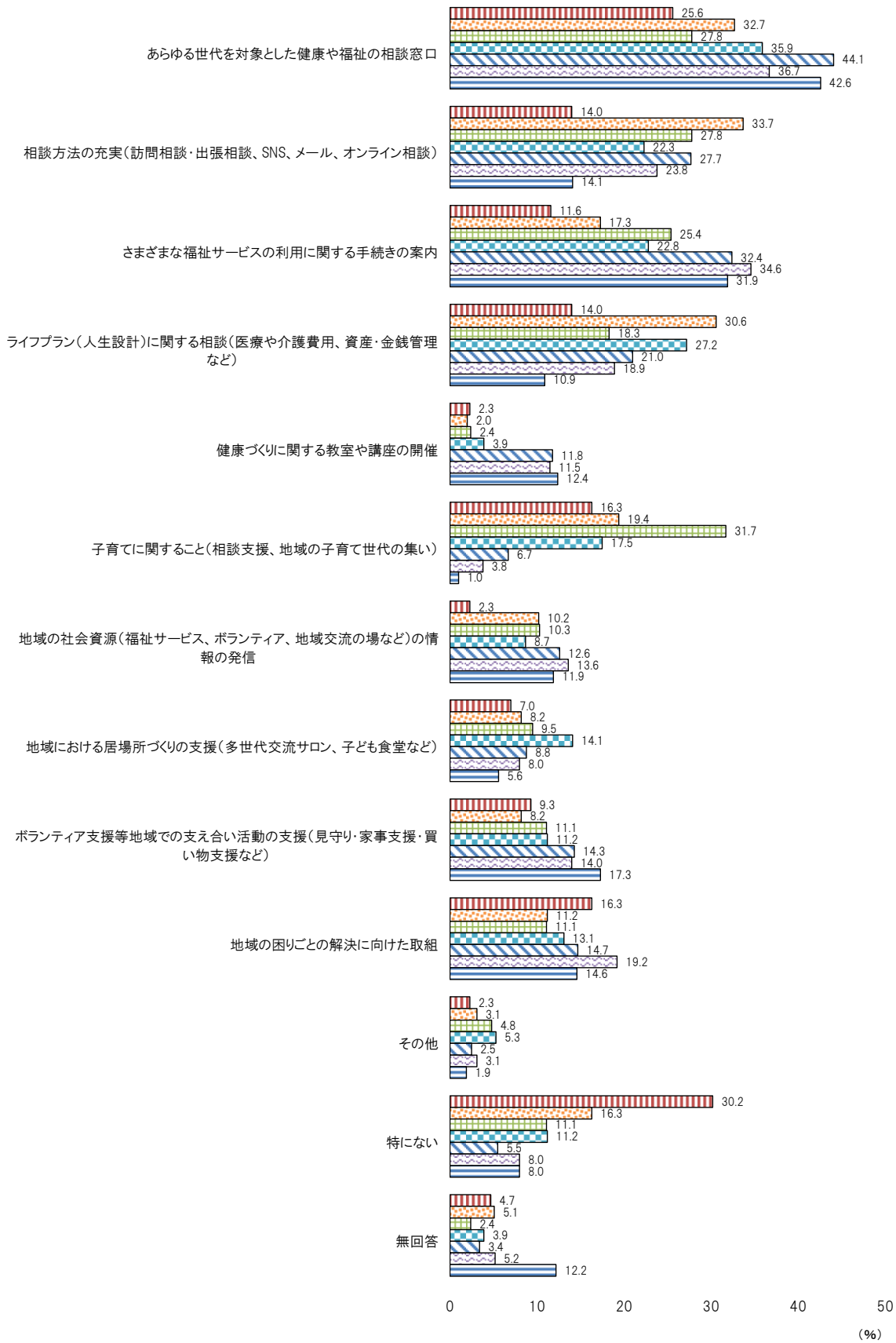
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
10 歳代	特にない	30.2%	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	25.6%	子育てに関すること（相談支援、地域の子育て世代の集い）	16.3%
					地域の困りごとの解決に向けた取組	16.3%
20 歳代	相談方法の充実（訪問相談・出張相談、SNS、メール、オンライン相談）	33.7%	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	32.7%	ライフプラン（人生設計）に関する相談（医療や介護費用、資産・金銭管理など）	30.6%
30 歳代	子育てに関すること	31.7%	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	27.8%	/	/
			相談方法の充実	27.8%		
40 歳代	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	35.9%	ライフプラン	27.2%	さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内	22.8%
50 歳代	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	44.1%	さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内	32.4%	相談方法の充実	27.7%
60 歳代	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	36.7%	さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内	34.6%	相談方法の充実	23.8%
70 歳以上	あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口	42.6%	さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内	31.9%	ボランティア支援等地域での支え合い活動の支援（見守り・家事支援・買い物支援など）	17.3%

問29 行政に支援・充実してほしいこと



問29 行政に支援・充実してほしいこと



8. 終活及び死後事務の心配について

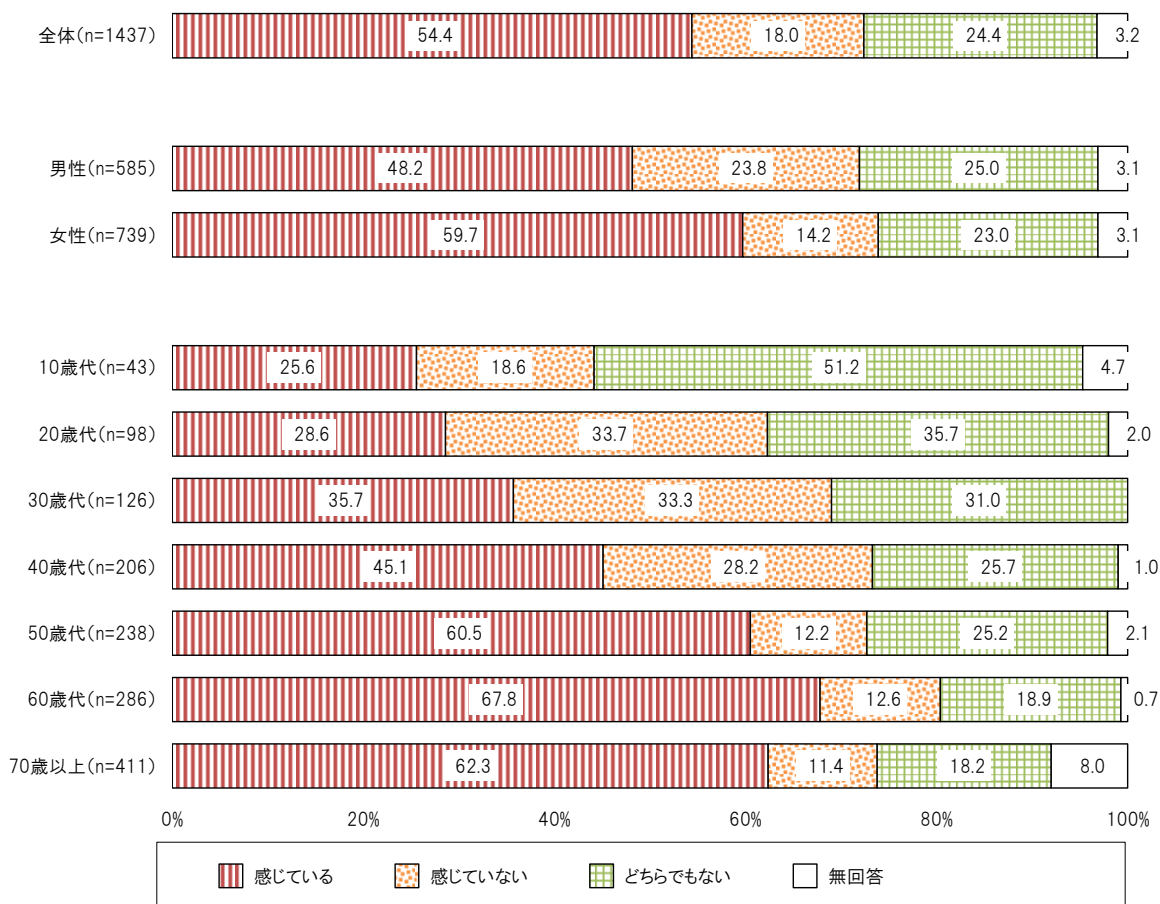
問30 ご自身は終活すべきと感じていますか。(〇は1つだけ)

全体では「感じている」が54.4%で最も高く、ついで「どちらでもない」が24.4%、「感じていない」が18.0%となっている。

性別にみると、「感じている」の割合は、男性が48.2%、女性が59.7%で女性の方が男性より11.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「感じている」の割合について、60歳代で67.8%と最も高くなっており、ついで70歳以上で62.3%となっている。一方で10歳代で25.6%、20歳代で28.6%となっている。なお10歳代では「どちらでもない」が5割を超えており、10歳代、20歳代では「どちらでもない」が最も多くなっている。

問30 ご自身は終活をすべきと感じているか



問 31 問 30 で「1. 感じている」と答えた方におうかがいします。
自身の終活に必要と思うものは何ですか。（〇はいくつでも）

全体でみると「断捨離」が 73.0%で最も高く、ついで「財産（家・土地・預貯金等）の処分の準備」が 56.5%、「延命治療の要否の表明」が 38.7%となっている。

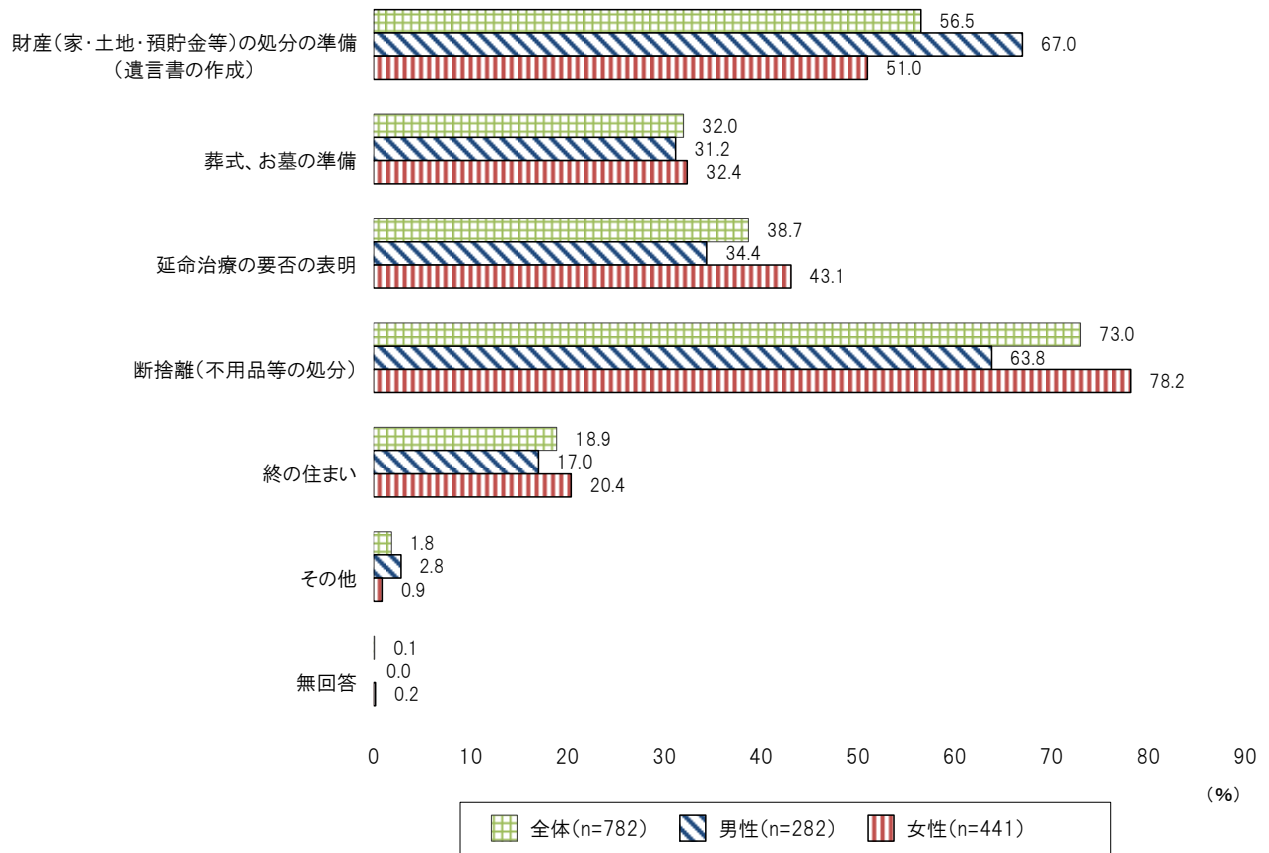
性別にみると、3 番目以内に入ってくる項目は同じであったが、1 番目の項目は男性が「財産の処分の準備」、女性が「断捨離」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「財産の処分の準備」で 16.0 ポイント男性の方が高く、一方で、「断捨離」で 14.4 ポイント、「延命治療の要否の表明」で 8.7 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「財産の処分の準備」および「断捨離」は 3 番目以内に入っている。10 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「延命治療の要否の表明」、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「葬式、お墓の準備」が入っている。

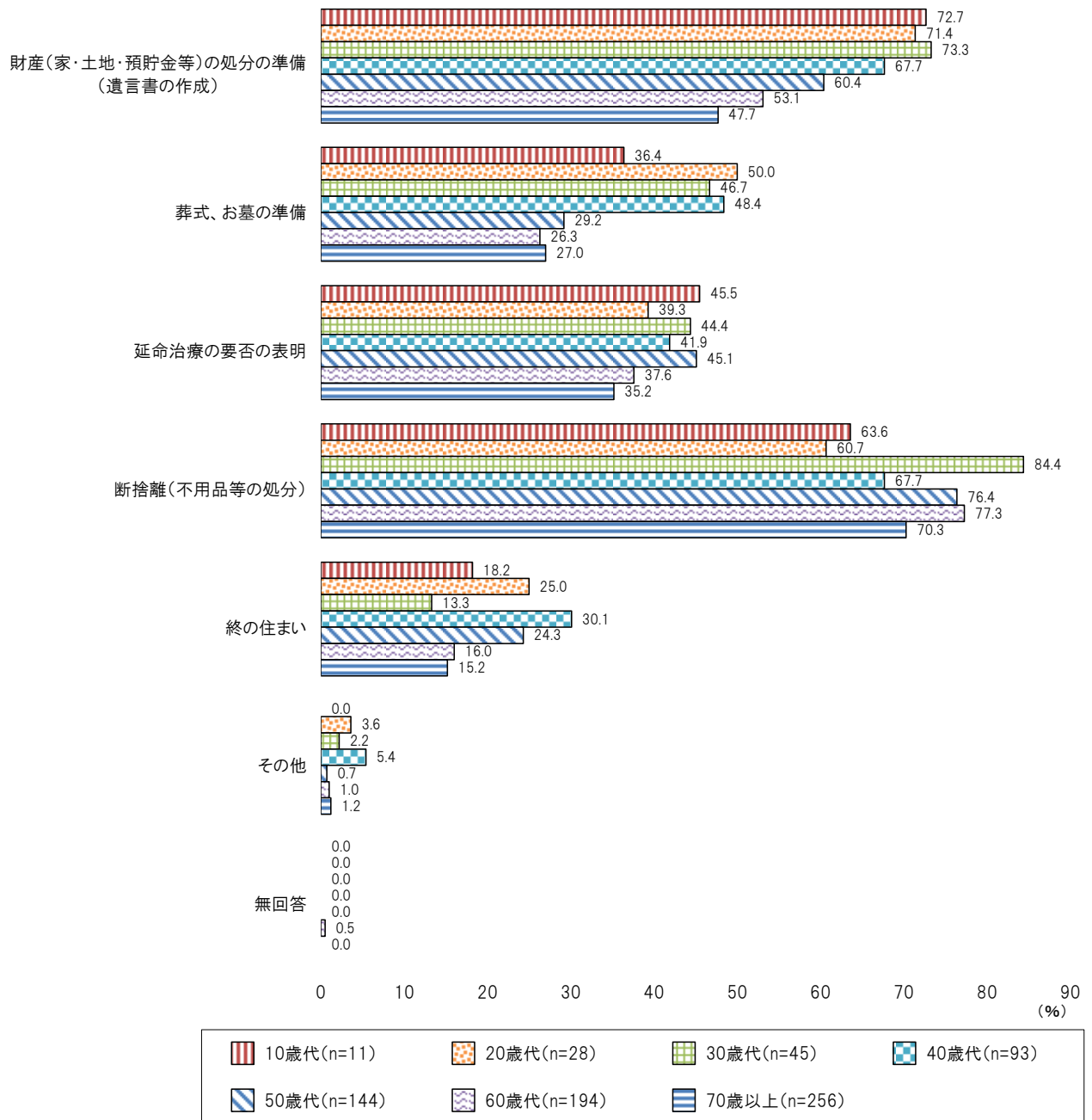
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	財産（家・土地・預貯金等）の処分の準備（遺言書の作成）	72.7%	断捨離（不用品等の処分）	63.6%	延命治療の要否の表明	45.5%
20 歳代	財産の処分の準備	71.4%	断捨離	60.7%	葬式、お墓の準備	50.0%
30 歳代	断捨離	84.4%	財産の処分の準備	73.3%	葬式、お墓の準備	46.7%
40 歳代	財産の処分の準備	67.7%	断捨離	67.7%	葬式、お墓の準備	48.4%
50 歳代	断捨離	76.4%	財産の処分の準備	60.4%	延命治療の要否の表明	45.1%
60 歳代	断捨離	77.3%	財産の処分の準備	53.1%	延命治療の要否の表明	37.6%
70 歳以上	断捨離	70.3%	財産の処分の準備	47.7%	延命治療の要否の表明	35.2%

問31 自身の終活に必要と思うもの



問31 自身の終活に必要と思うもの



問 32 自身の死後（および疎遠な独居の家族がいる場合はその方の死後）に心配なことは何ですか。（〇はいくつでも）

全体で見ると「財産（家・土地・預貯金等）の管理」が 52.1%で最も高く、ついで「各種料金の支払いのこと」が 33.3%、「葬式、お墓の希望が叶うか」が 17.3%となっている。

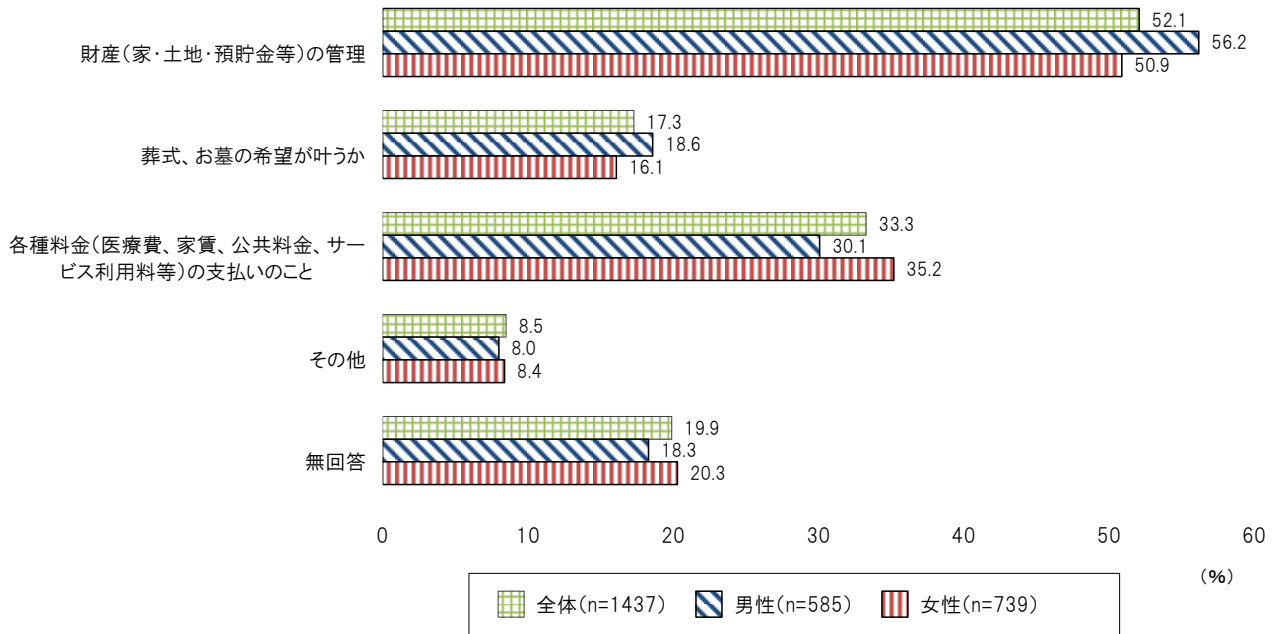
性別にみると、3 番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「財産の管理」で 5.3 ポイント男性の方が高く、一方で、「各種料金の支払いのこと」で 5.1 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「財産の管理」が 1 番目となっている。また「各種料金の支払いのこと」は 3 番目以内に入っている。

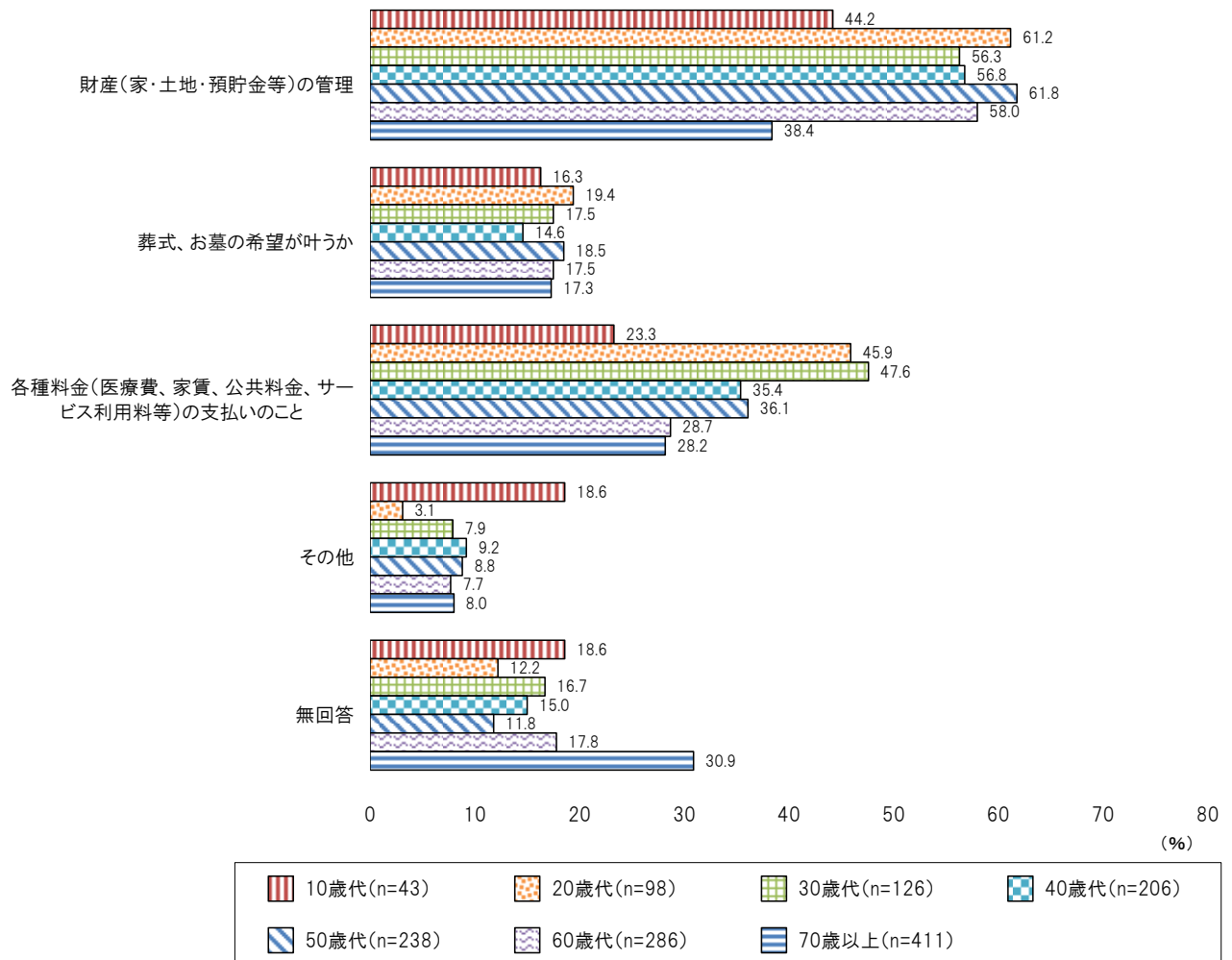
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	財産（家・土地・預貯金等）の管理	44.2%	各種料金（医療費、家賃、公共料金、サービス利用料等）の支払いのこと	23.3%	その他	18.6%
					無回答	18.6%
20 歳代	財産の管理	61.2%	各種料金の支払いのこと	45.9%	葬式、お墓の希望が叶うか	19.4%
30 歳代	財産の管理	56.3%	各種料金の支払いのこと	47.6%	葬式、お墓の希望が叶うか	17.5%
40 歳代	財産の管理	56.8%	各種料金の支払いのこと	35.4%	無回答	15.0%
50 歳代	財産の管理	61.8%	各種料金の支払いのこと	36.1%	葬式、お墓の希望が叶うか	18.5%
60 歳代	財産の管理	58.0%	各種料金の支払いのこと	28.7%	無回答	17.8%
70 歳以上	財産の管理	38.4%	無回答	30.9%	各種料金の支払いのこと	28.2%

問32 自身の死後に心配なこと



問32 自身の死後に心配なこと



9. 観光施策について

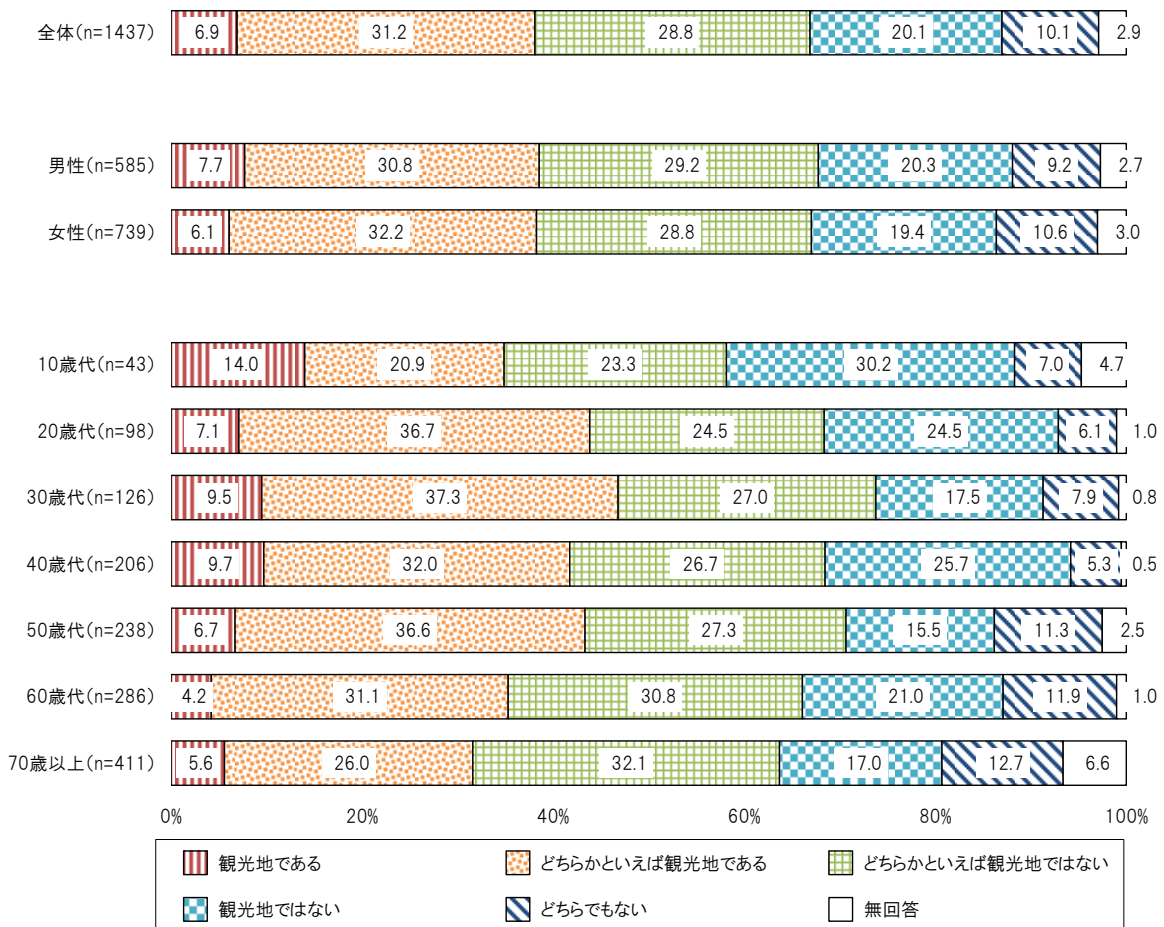
問 33 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。（○は1つだけ）

全体では「どちらかといえば観光地である」が31.2%で最も高く、ついで「どちらかといえば観光地ではない」が28.8%、「観光地ではない」が20.1%となっている。

性別にみると、「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、男性が38.5%、女性が38.3%で大きな差はみられない。

年代別にみると、「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、最も低い70歳以上の31.6%と最も高い30歳代の46.8%の間では15.2ポイントの差となっている。「観光地ではない」「どちらかといえば観光地ではない」の合計の割合でみると、最も低い50歳代の42.8%と最も高い10歳代の53.5%の間では10.7ポイントの差となっている。

問33 松阪市を観光地だと思うか



問 34 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。（〇は3つまで）

「グルメ・食事」が55.1%で最も高く、ついで「宿泊施設」が43.4%、「歴史・文化」が31.5%となっている。

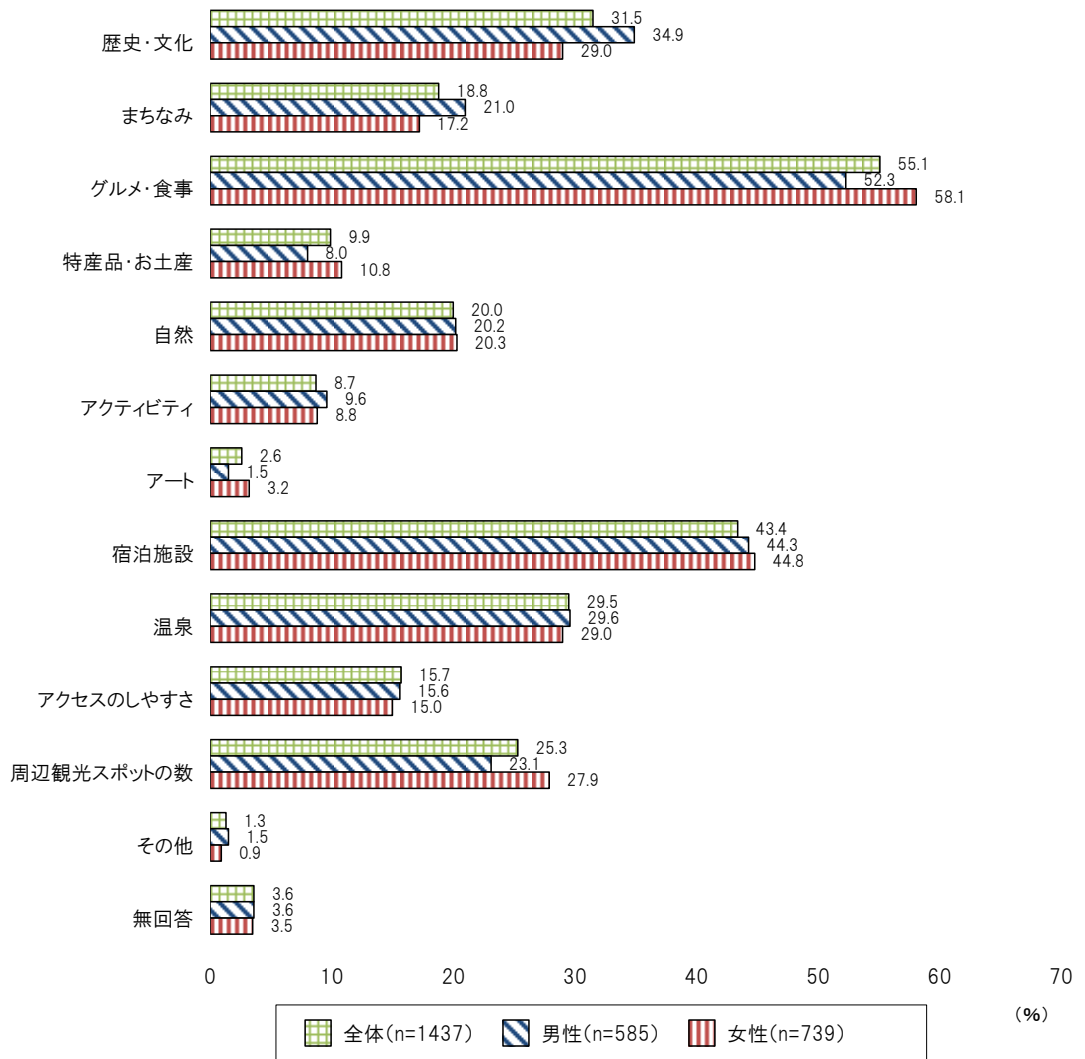
性別にみると、3番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「歴史・文化」で5.9ポイント、「まちなみ」で3.8ポイント男性の方が高く、一方で、「グルメ・食事」で5.8ポイント、「周辺観光スポットの数」で4.8ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、70歳以上を除いた年代では「グルメ・食事」が1番目となっており、70歳以上では「宿泊施設」が1番目となっている。「宿泊施設」はいずれの年代でも2番目以内に入っている。

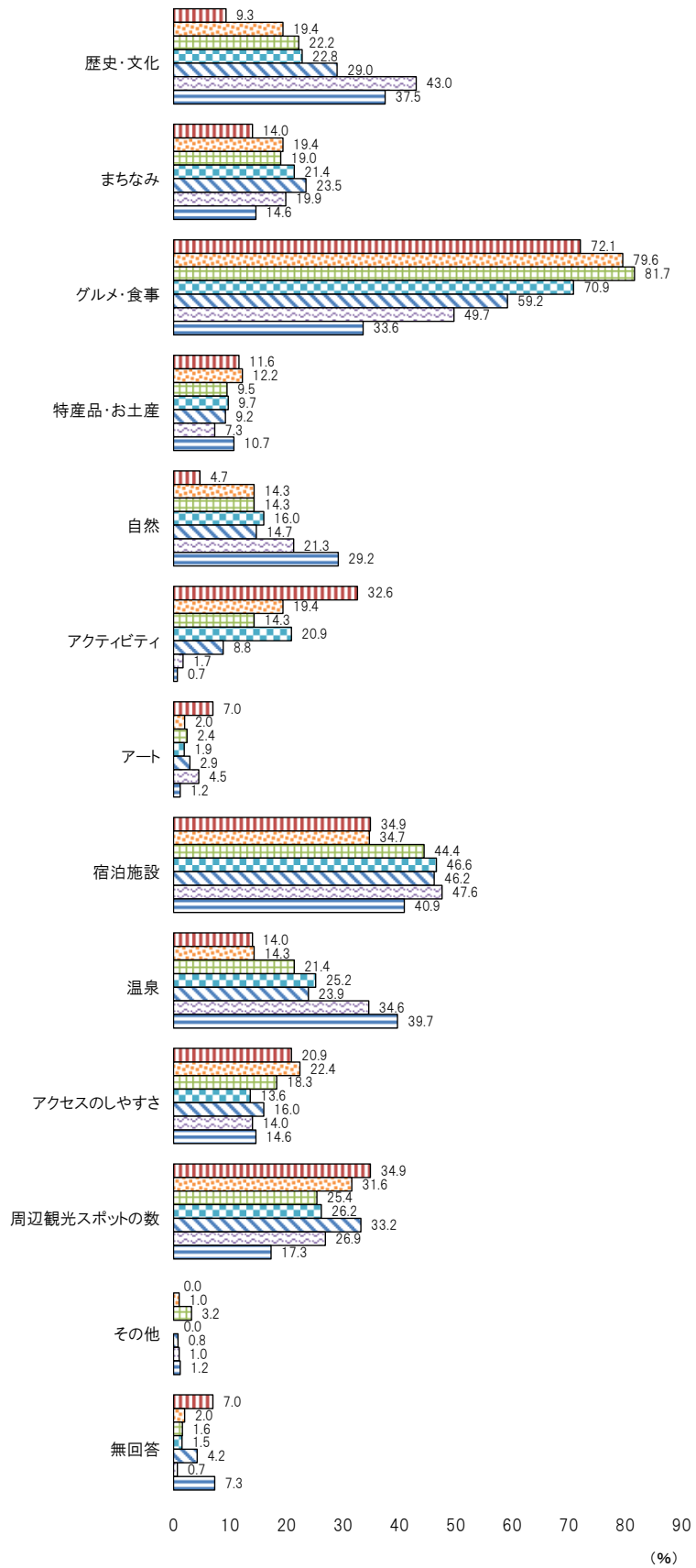
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	グルメ・食事	72.1%	宿泊施設	34.9%		
			周辺観光スポットの数	34.9%		
20歳代	グルメ・食事	79.6%	宿泊施設	34.7%	周辺観光スポットの数	31.6%
30歳代	グルメ・食事	81.7%	宿泊施設	44.4%	周辺観光スポットの数	25.4%
40歳代	グルメ・食事	70.9%	宿泊施設	46.6%	周辺観光スポットの数	26.2%
50歳代	グルメ・食事	59.2%	宿泊施設	46.2%	周辺観光スポットの数	33.2%
60歳代	グルメ・食事	49.7%	宿泊施設	47.6%	歴史・文化	43.0%
70歳以上	宿泊施設	40.9%	温泉	39.7%	歴史・文化	37.5%

問34 旅行に行くときに何を重視して行き先を決めるか



問34 旅行に行くとき何を重視して行き先を決めるか



問 35 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）しますか。（○は2つまで）

「グルメ（松阪牛）」が68.5%で最も高く、ついで「歴史、文化、まちなみ」が40.2%、「グルメ（松阪牛以外）」が14.4%となっている。

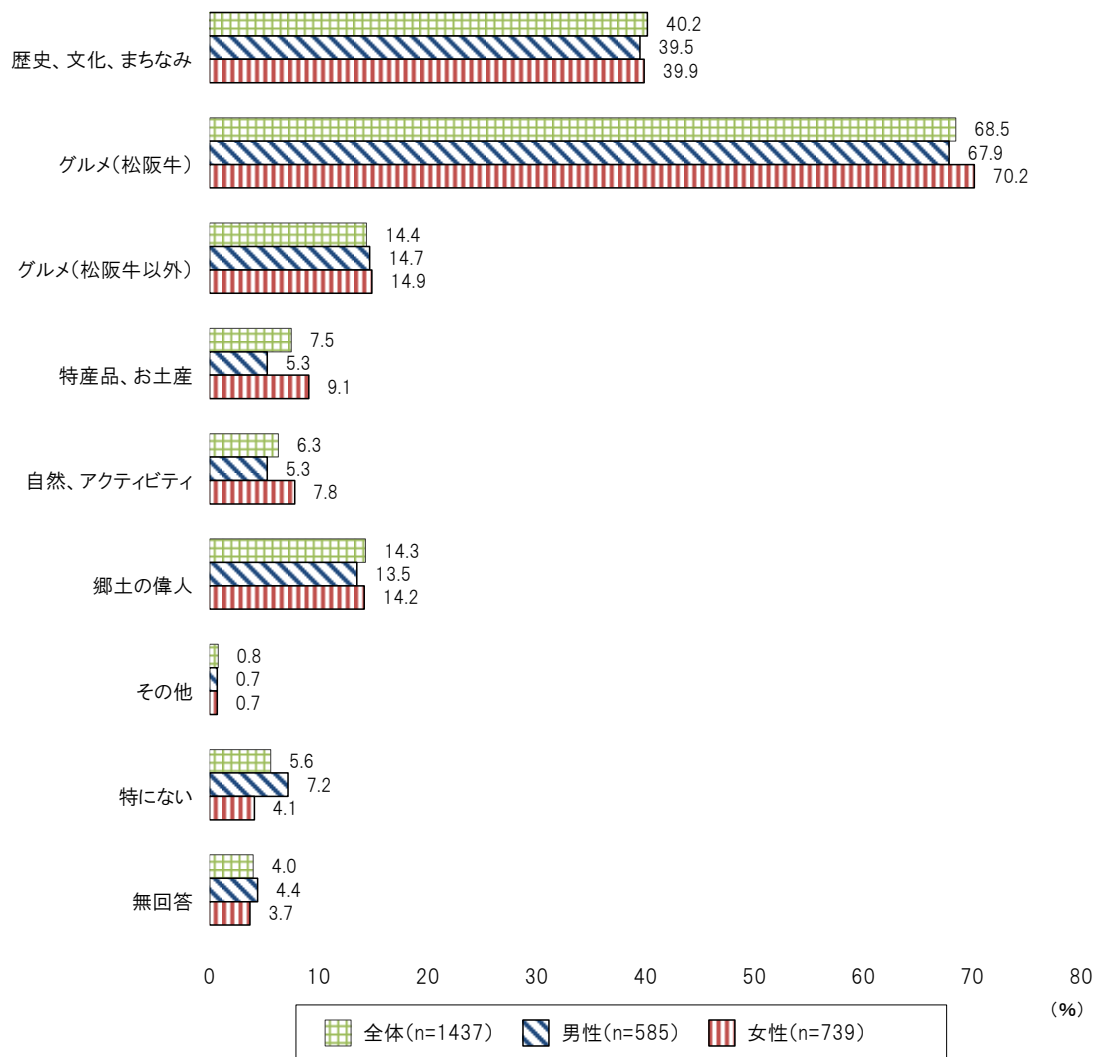
性別にみると、3番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「特産品、お土産」で3.8ポイント、「自然、アクティビティ」で2.5ポイント女性の方が高くなっている。男性の方が高い項目は「特にない」だけであった。

年代別にみると、いずれの年代でも1番目は「グルメ（松阪牛）」であり、2番目は30歳代を除いた年代で「歴史、文化、まちなみ」となっている。3番目に入る項目として、10歳代は「特産品、お土産」、20歳代、40歳代、50歳代では「グルメ（松阪牛以外）」、60歳代、70歳以上では「郷土の偉人」が入っている。

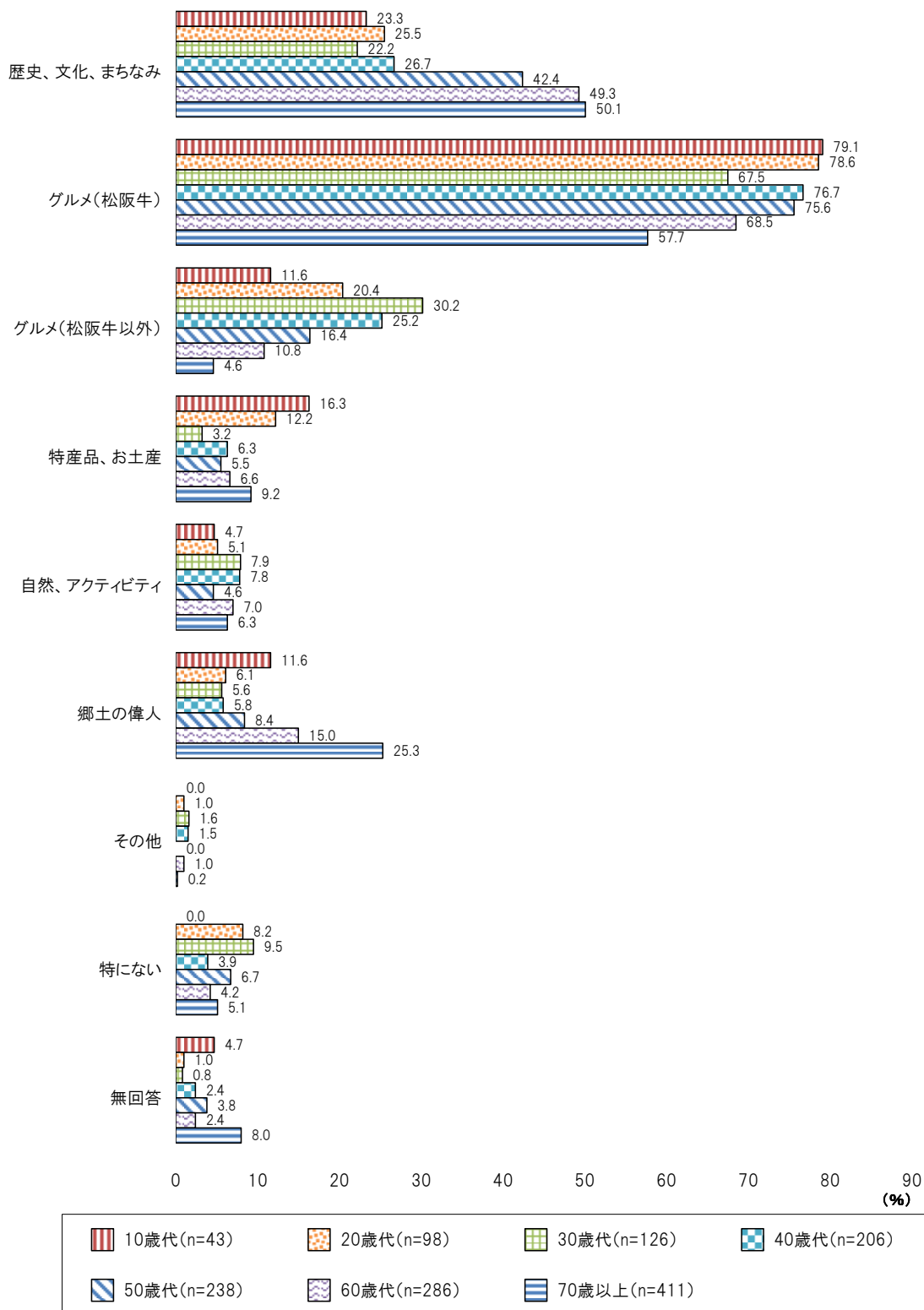
＜年代ごとの上位3項目＞

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
10 歳代	グルメ（松阪牛）	79.1%	歴史、文化、まちなみ（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	23.3%	特産品、お土産（例：松阪もめん、松阪茶など）	16.3%
20 歳代	グルメ（松阪牛）	78.6%	歴史、文化、まちなみ	25.5%	グルメ（松阪牛以外）	20.4%
30 歳代	グルメ（松阪牛）	67.5%	グルメ（松阪牛以外）	30.2%	歴史、文化、まちなみ	22.2%
40 歳代	グルメ（松阪牛）	76.7%	歴史、文化、まちなみ	26.7%	グルメ（松阪牛以外）	25.2%
50 歳代	グルメ（松阪牛）	75.6%	歴史、文化、まちなみ	42.4%	グルメ（松阪牛以外）	16.4%
60 歳代	グルメ（松阪牛）	68.5%	歴史、文化、まちなみ	49.3%	郷土の偉人（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	15.0%
70 歳以上	グルメ（松阪牛）	57.7%	歴史、文化、まちなみ	50.1%	郷土の偉人	25.3%

問35 観光客などから松阪市についてたずねられたら何を紹介するか



問35 観光客などから松阪市についてたずねられたら何を紹介するか



問 36 これから松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいと思いますか。（〇は2つまで）

「歴史・文化のまちとしてPR」が43.8%で最も高く、ついで「食のまちとしてPR（松阪牛）」が41.7%、「食のまちとしてPR（松阪牛以外）」が26.5%となっている。

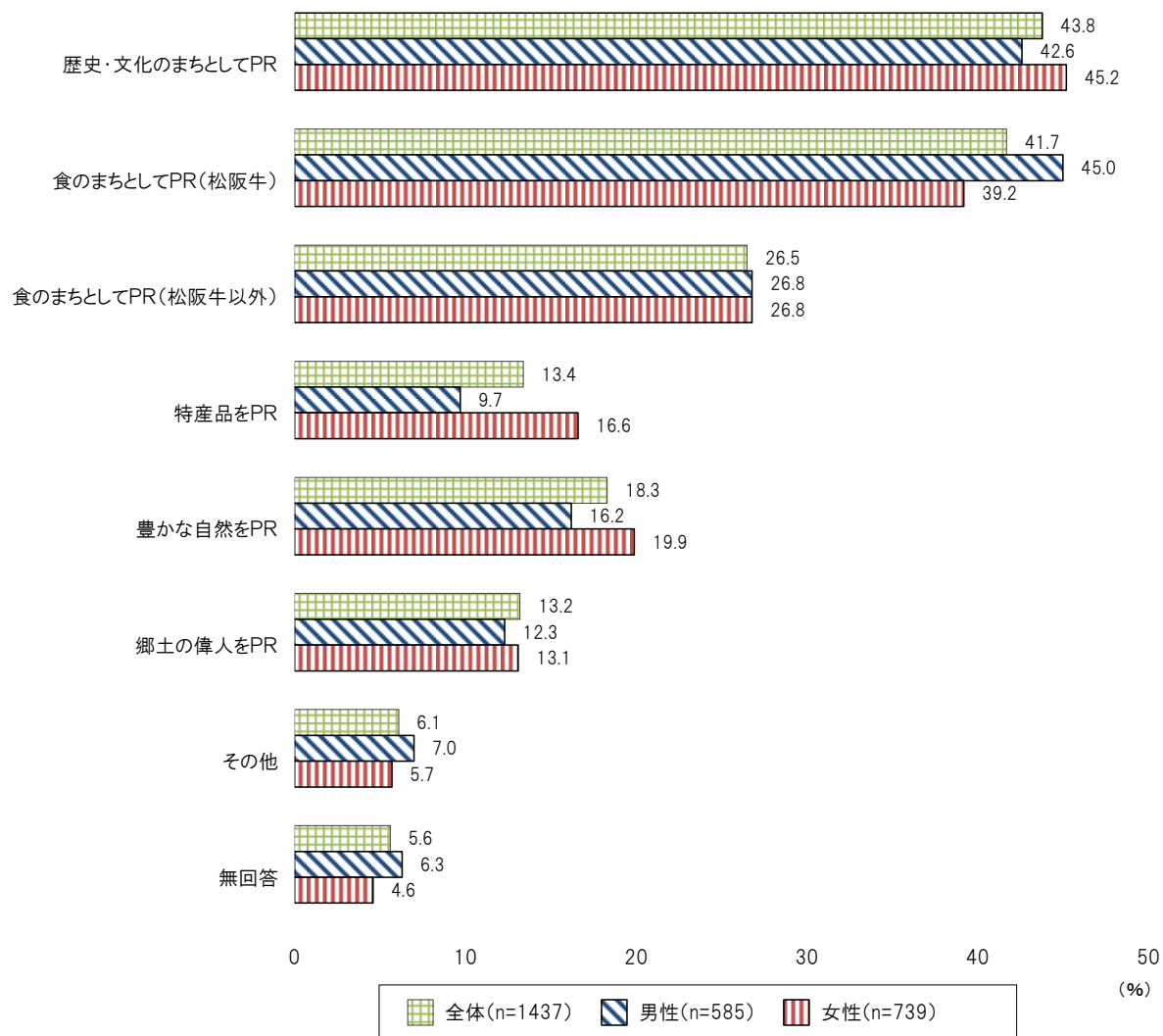
性別にみると、3番目以内に入る項目は男女とも同じであったが、1番目の項目は、男性は「食のまちとしてPR（松阪牛）」、女性は「歴史・文化のまちとしてPR」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「食のまちとしてPR（松阪牛）」で5.8ポイント男性の方が高く、一方で「特産品をPR」で6.9ポイント、「豊かな自然をPR」で3.7ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は10歳代から50歳代では「食のまちとしてPR（松阪牛）」、60歳代、70歳以上では「歴史・文化のまちとしてPR」となっている。

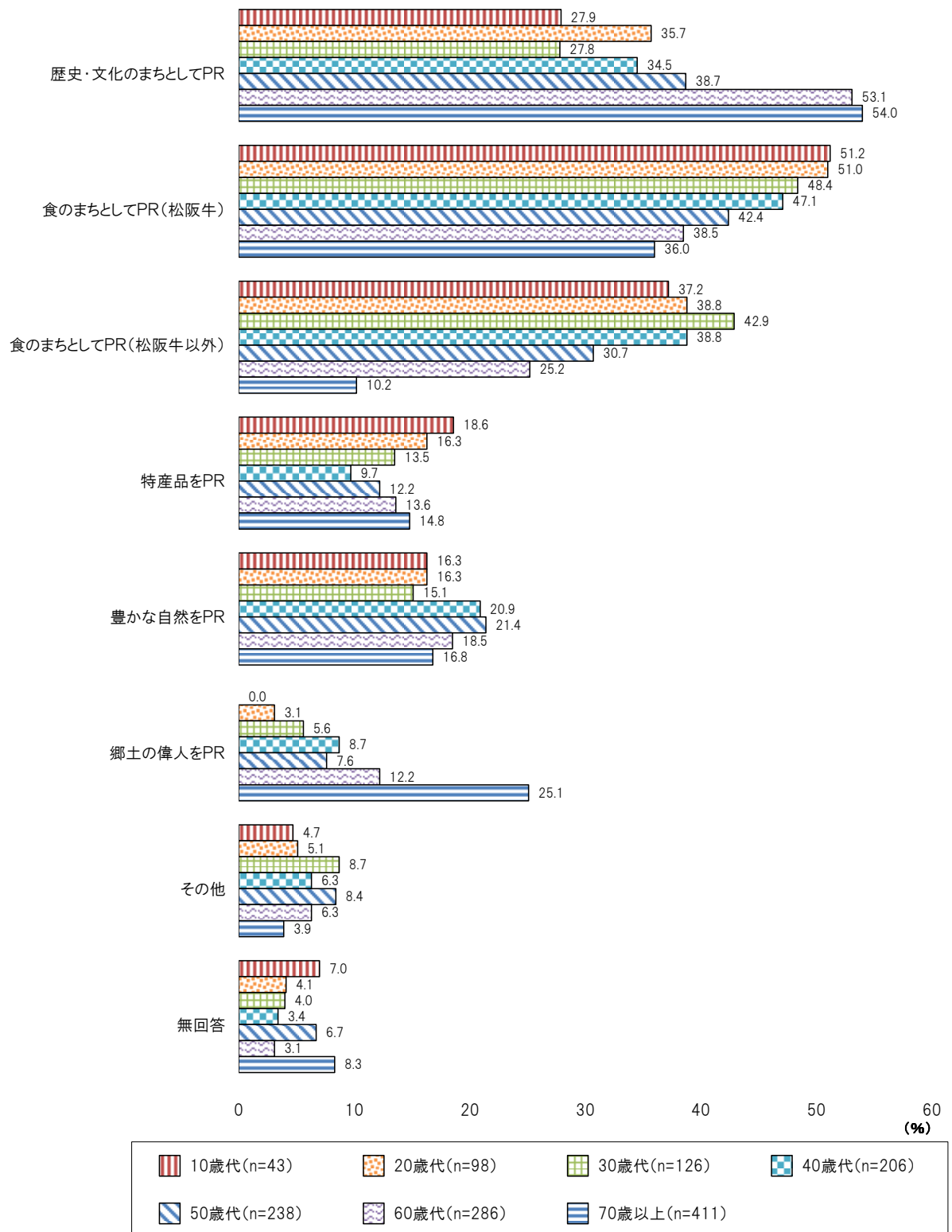
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
10 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	51.2%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	37.2%	歴史・文化のまちとしてPR（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	27.9%
20 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	51.0%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	38.8%	歴史・文化のまちとしてPR	35.7%
30 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	48.4%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	42.9%	歴史・文化のまちとしてPR	27.8%
40 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	47.1%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	38.8%	歴史・文化のまちとしてPR	34.5%
50 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	42.4%	歴史・文化のまちとしてPR	38.7%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	30.7%
60 歳代	歴史・文化のまちとしてPR	53.1%	食のまちとしてPR（松阪牛）	38.5%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	25.2%
70 歳以上	歴史・文化のまちとしてPR	54.0%	食のまちとしてPR（松阪牛）	36.0%	郷土の偉人をPR（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	25.1%

問36 松阪に観光客が訪れてもらうためにはどうすればよいか



問36 松阪に観光客が訪れてもらうためにはどうすればよいか



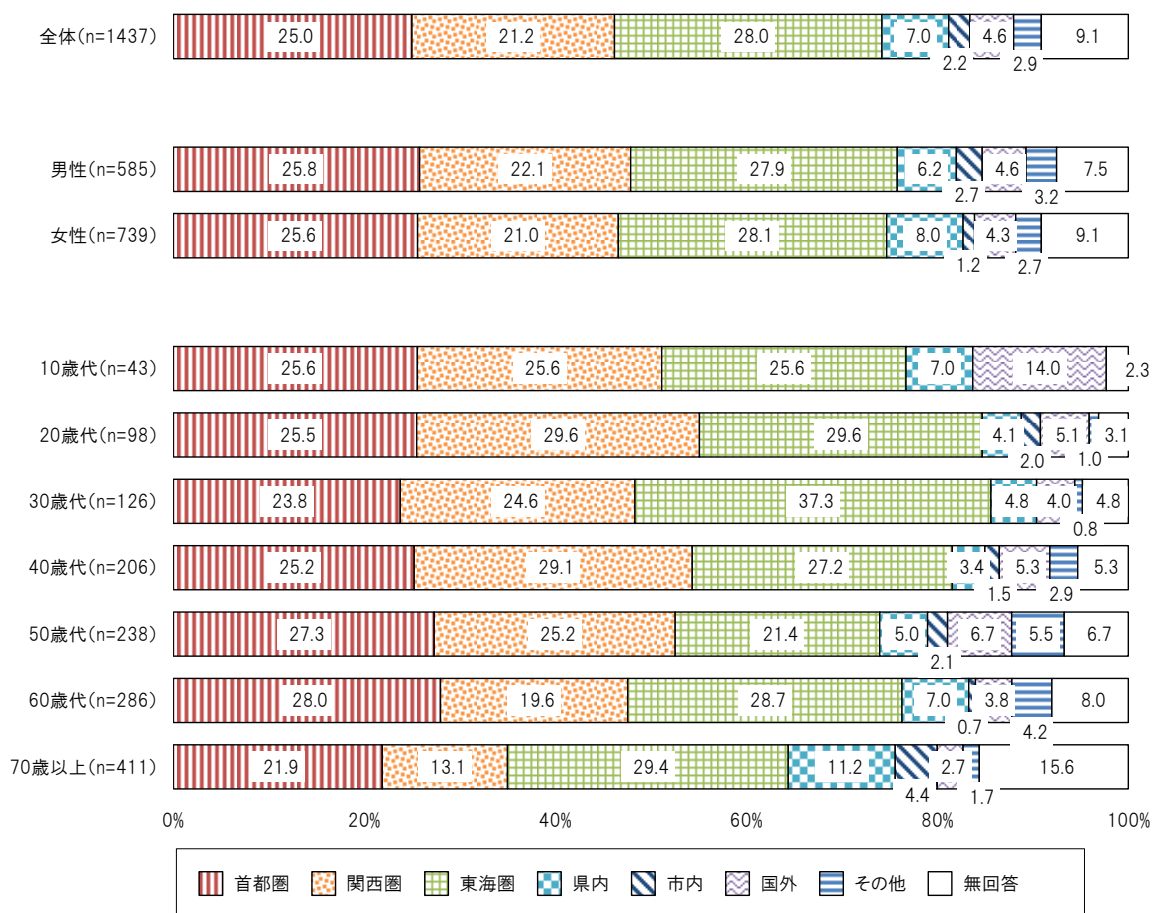
問 37 どのようなところに向けたPRや情報発信をすればいいと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「東海圏」が28.0%で最も高く、ついで「首都圏」が25.0%、「関西圏」が21.2%となっている。

性別にみると、「東海圏」「首都圏」「関西圏」の男女の差はいずれもわずかなものであり、大きな違いはみられない。

年代別にみると、各年代で最も多かった項目は、20歳代、30歳代、60歳代、70歳以上は「東海圏」、50歳代は「首都圏」、20歳代、40歳代は「関西圏」となっている。なお、10歳代は「東海圏」「首都圏」「関西圏」の3項目について同率であった。また、20歳代は「東海圏」と「関西圏」が同率で最も多くなっている。

問37 どのようなところにてPRや情報発信すればよいか



問 38 どのような方法でPRや情報発信をすればいいと思いますか。（〇は2つまで）

「SNS」が41.3%で最も高く、ついで「イベント出展」が30.2%、「WEB」が28.9%となっている。

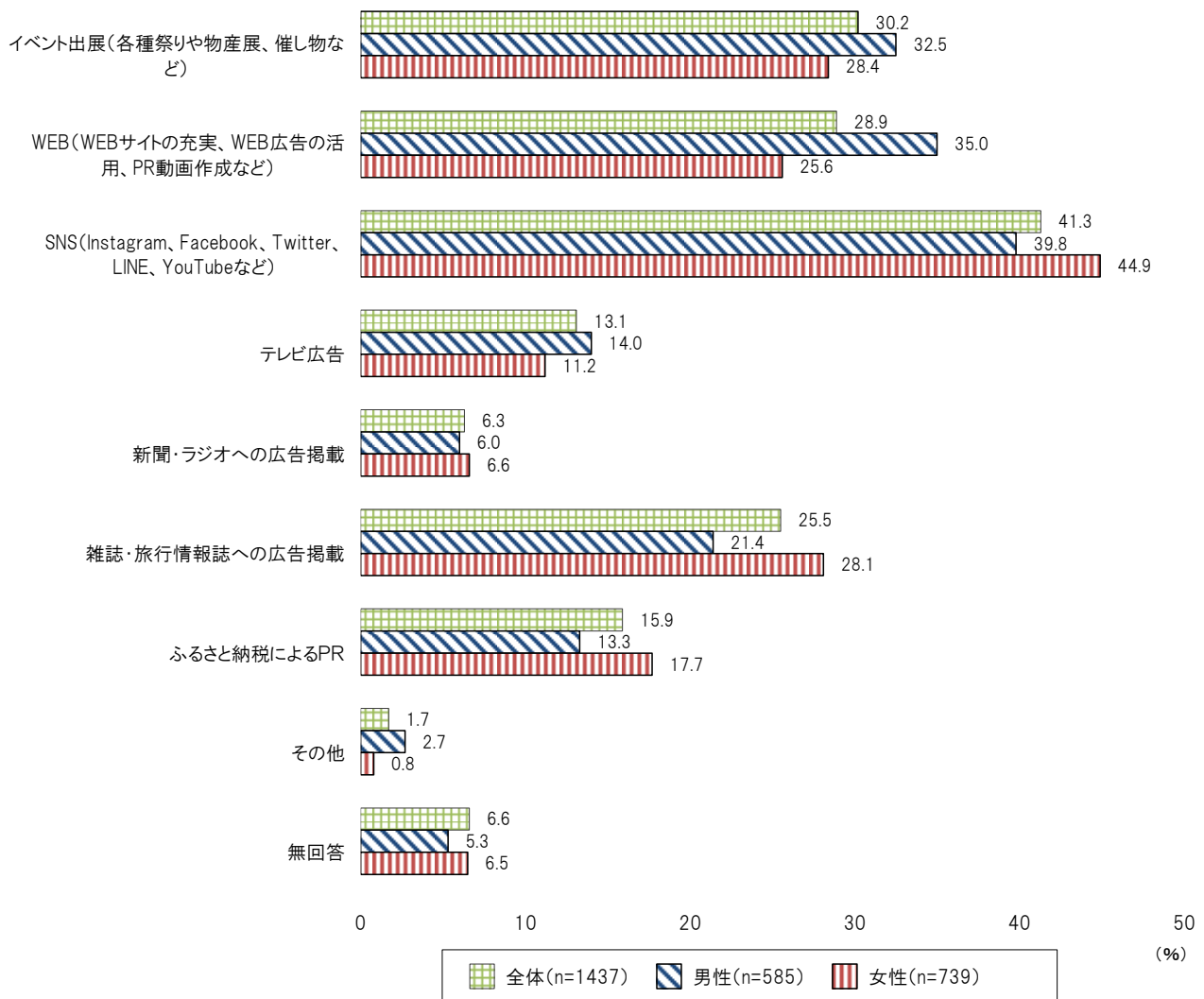
性別にみると、1番目に高い項目は「SNS」で同じであった。2番目に高い項目は、男性では35.0%で「WEB」、女性では28.4%で「イベント出展」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「WEB」で9.4ポイント、「イベント出展」で4.1ポイント男性の方が高く、一方で「雑誌・旅行情報誌への広告掲載」で6.7ポイント、「SNS」で5.1ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、60歳代、70歳以上を除いた年代では「SNS」が1番目となっており、60歳代では「WEB」、70歳以上では「イベント出展」が1番目となっている。

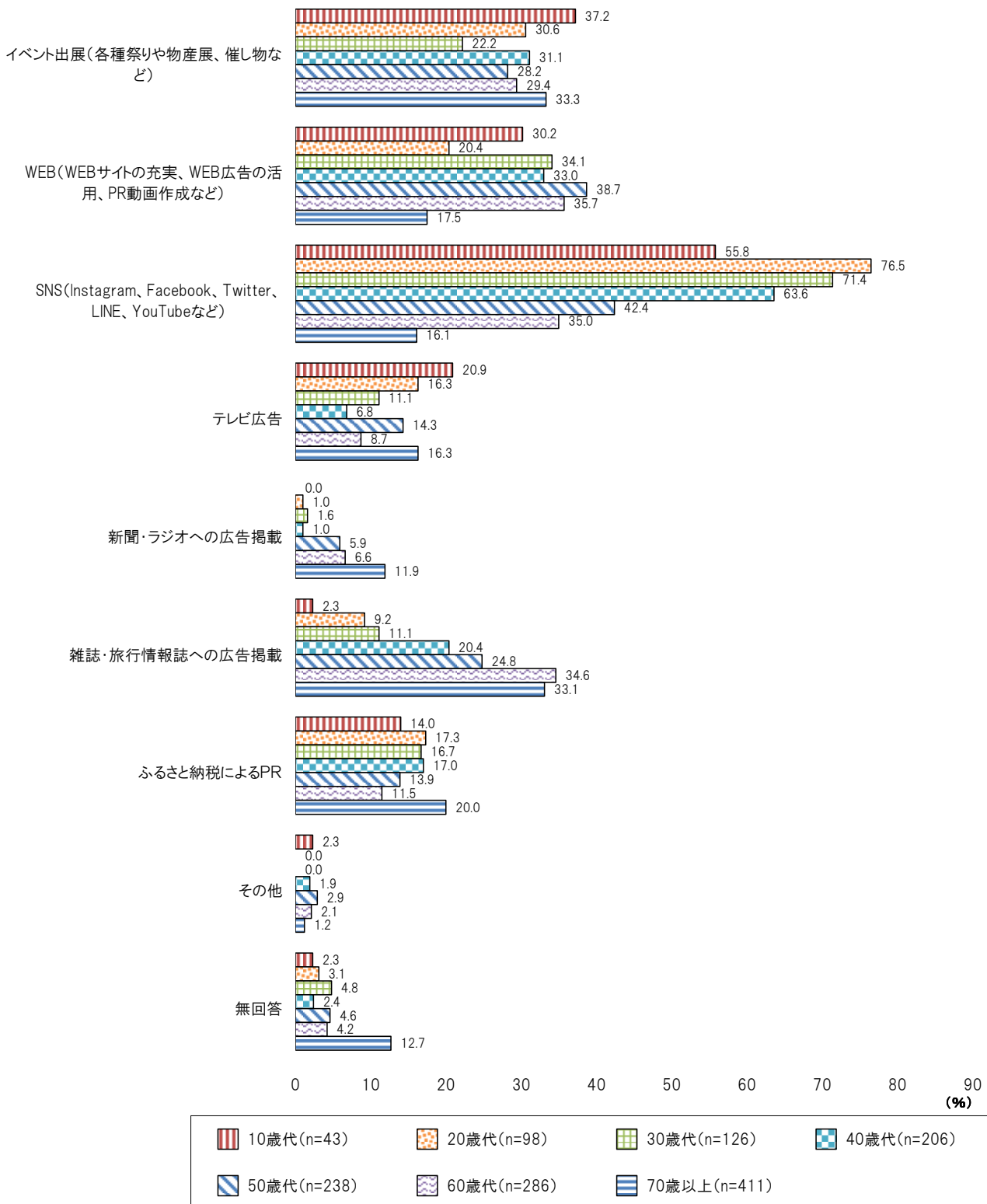
＜年代ごとの上位3項目＞

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	SNS (Instagram、Facebook、Twitter、LINE、YouTube など)	55.8%	イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)	37.2%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	30.2%
20 歳代	SNS	76.5%	イベント出展	30.6%	WEB	20.4%
30 歳代	SNS	71.4%	WEB	34.1%	イベント出展	22.2%
40 歳代	SNS	63.6%	WEB	33.0%	イベント出展	31.1%
50 歳代	SNS	42.4%	WEB	38.7%	イベント出展	28.2%
60 歳代	WEB	35.7%	SNS	35.0%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	34.6%
70 歳以上	イベント出展	33.3%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	33.1%	ふるさと納税によるPR	20.0%

問38 どのような方法でPRや情報発信をすればよいか



問38 どのような方法でPRや情報発信をすればよいか



10. 医療に対する意識について

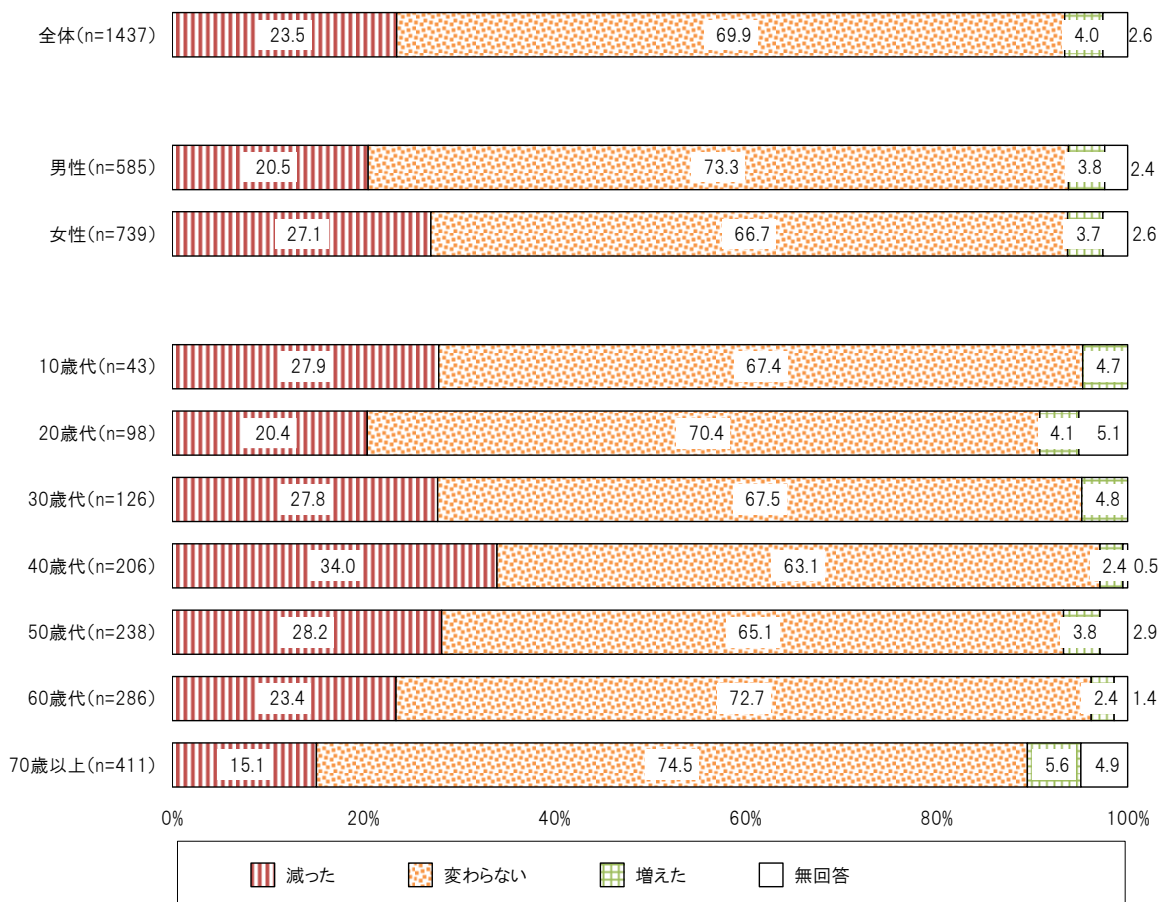
問 39 この2年間、国内においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出の自粛等を求められた時期がありました。あなた自身は、地域の病院（済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院などを除く）や診療所への受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。（〇は1つだけ）

全体では「変わらない」が69.9%で最も高く、ついで「減った」が23.5%、「増えた」が4.0%となっている。

性別にみると、「減った」の割合は、男性が20.5%、女性が27.1%で女性の方が男性より6.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「減った」の割合は、40歳代で34.0%と最も高く、次いで50歳代で28.2%となっている。一方で70歳以上は15.1%で最も低くなっている。

問39 コロナ前と比べ地域の病院や診療所への受診はどうなったか



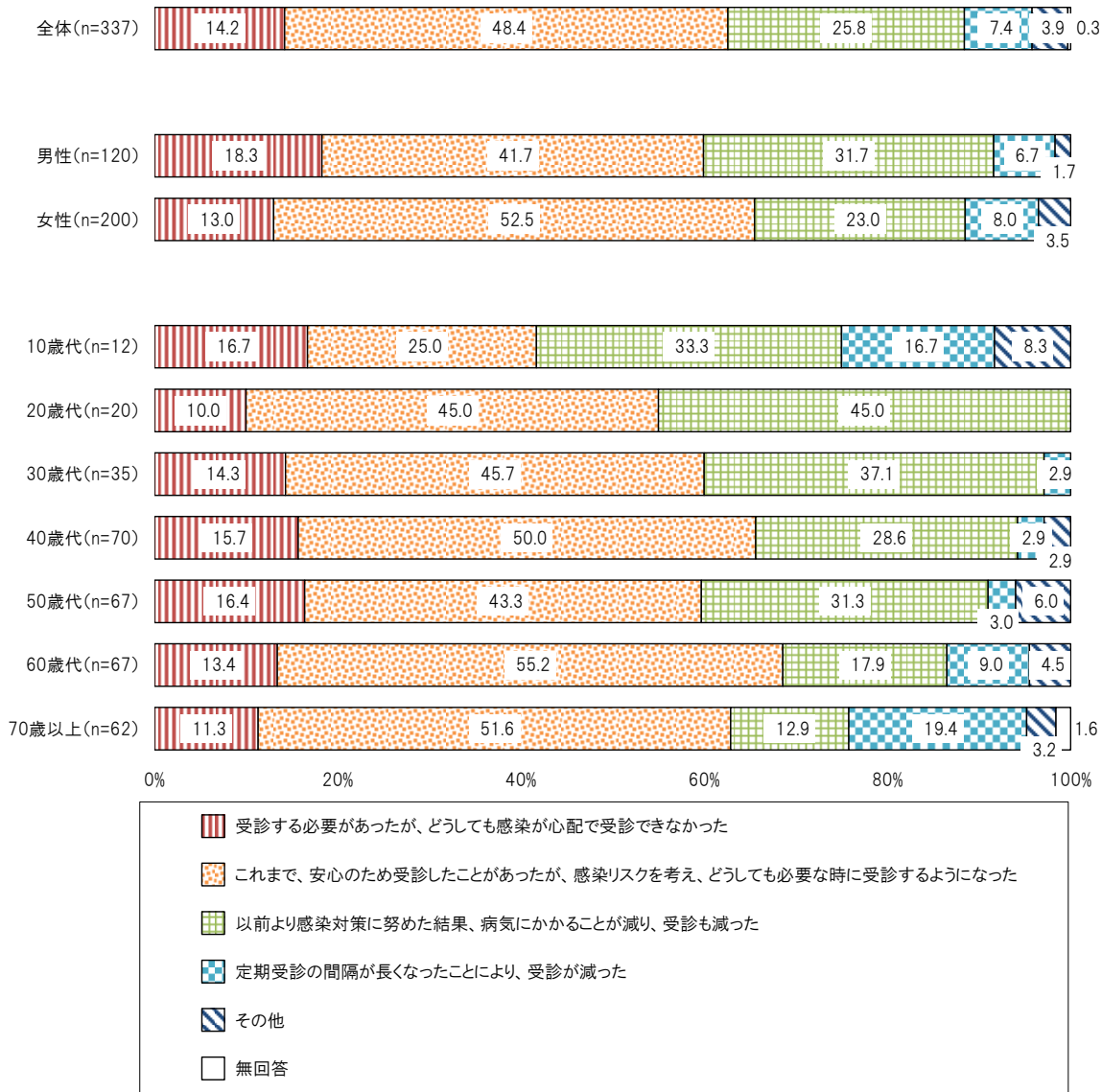
**問 40 問 39 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。
減った理由として、最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）**

全体では「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」が 48.4%で最も高く、ついで「以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った」が 25.8%、「受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」が 14.2%となっている。

性別にみると、「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合は、男性が 41.7%、女性が 52.5%で女性の方が男性より 10.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合では、60 歳代が 55.2%と最も高くなっており、ついで 70 歳以上が 51.6%となっている。一方で、10 歳代では 25.0%と最も低くなっている。

問40 地域の病院や診療所への受診が減った理由



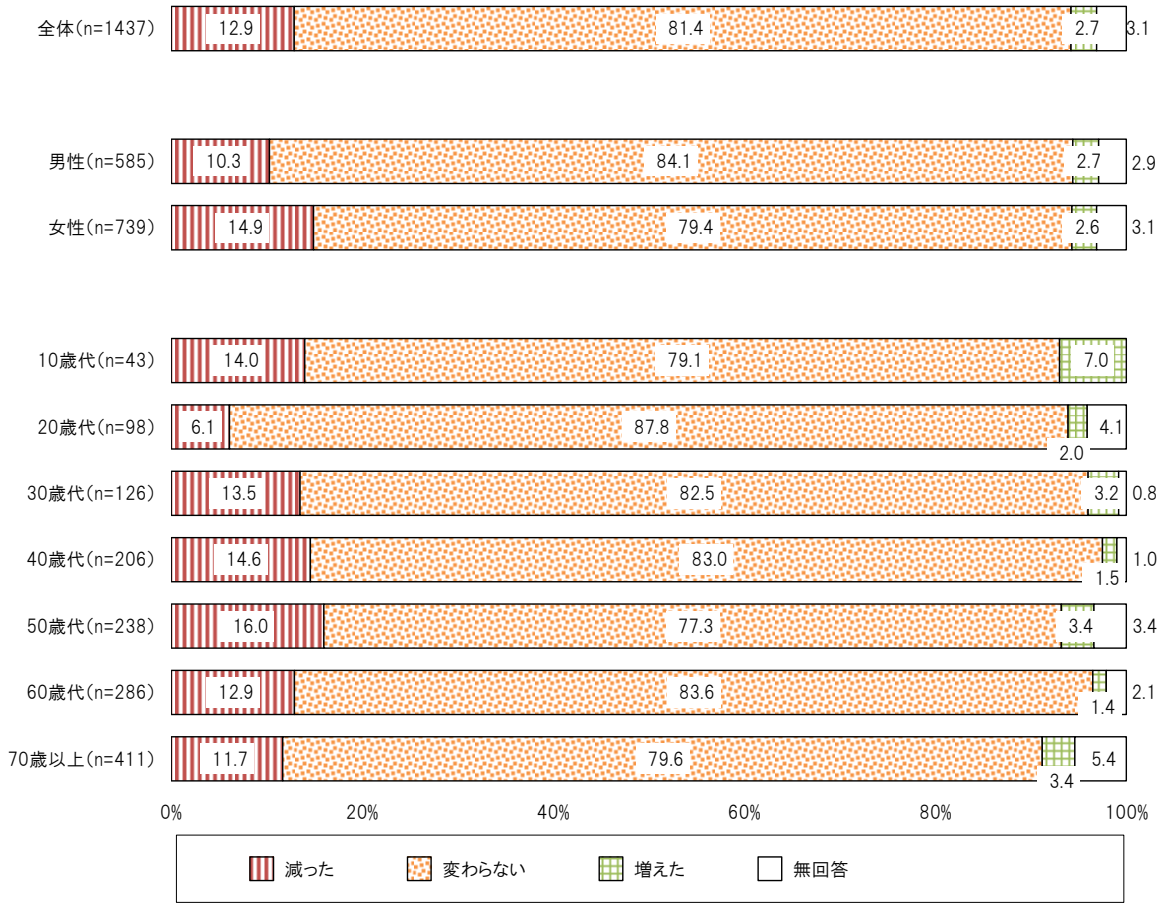
問 41 この2年間、あなた自身は、健康診断、検診等の受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。（○は1つだけ）

全体では「変わらない」が81.4%で最も高く、ついで「減った」が12.9%、「増えた」が2.7%となっている。

性別にみると、「減った」の割合は、男性が10.3%、女性が14.9%で女性の方が男性より4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「減った」の割合は、50歳代で16.0%と最も高く、次いで40歳代で14.6%となっている。一方で20歳代が6.1%で最も低くなっている。

問41 コロナ前と比べ健康診断、健診等の受診はどうなったか



問 42 問 41 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

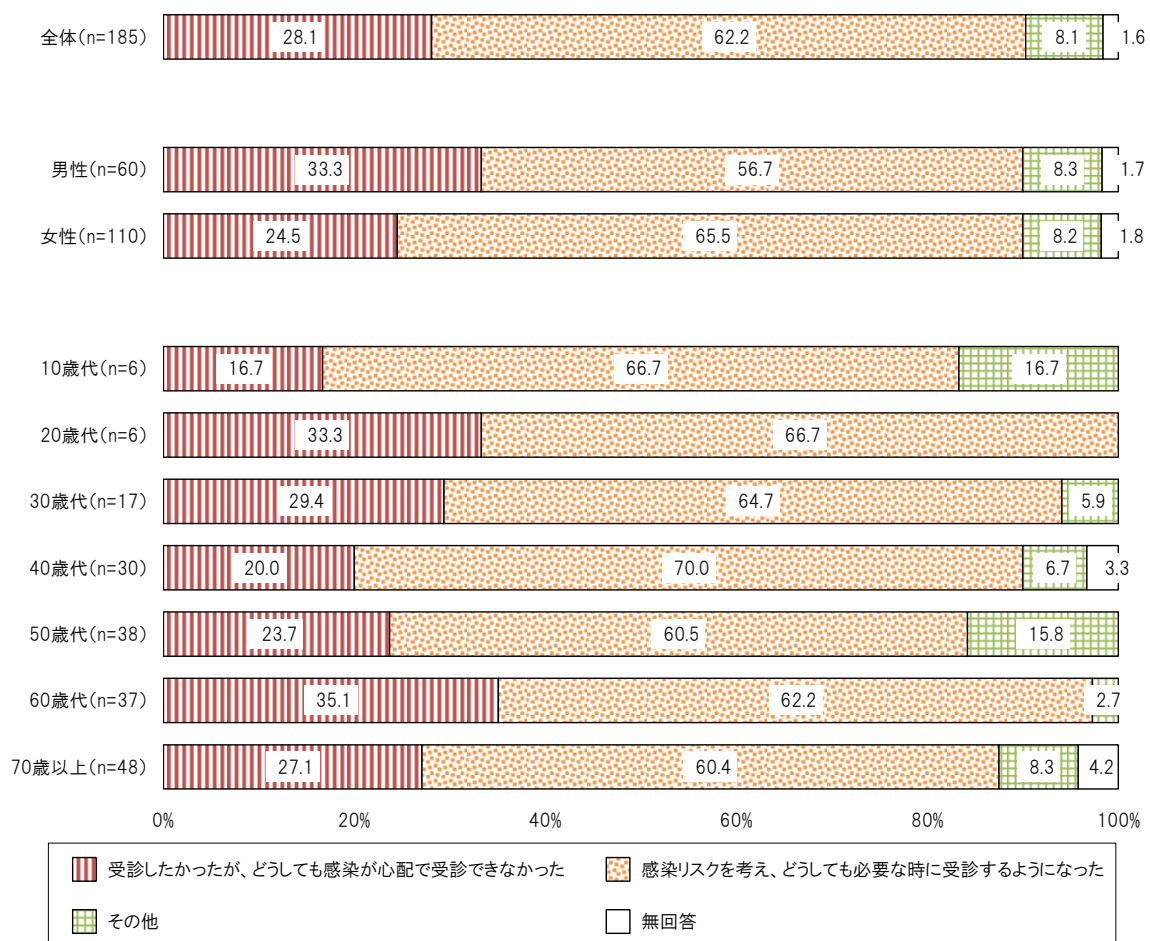
減った理由として、最も近いものを選んでください。(〇は1つだけ)

全体では「感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」が62.2%で最も高く、ついで「受診したかったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」が28.1%となっている。

性別にみると、「感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合は、男性が56.7%、女性が65.5%で女性の方が男性より8.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合では、40歳代が70.0%と最も高くなっており、ついで10歳代、20歳代が66.7%となっている。一方で、70歳以上では60.4%と最も低くなっている。

問42 健康診断、健診等の受診が減った理由



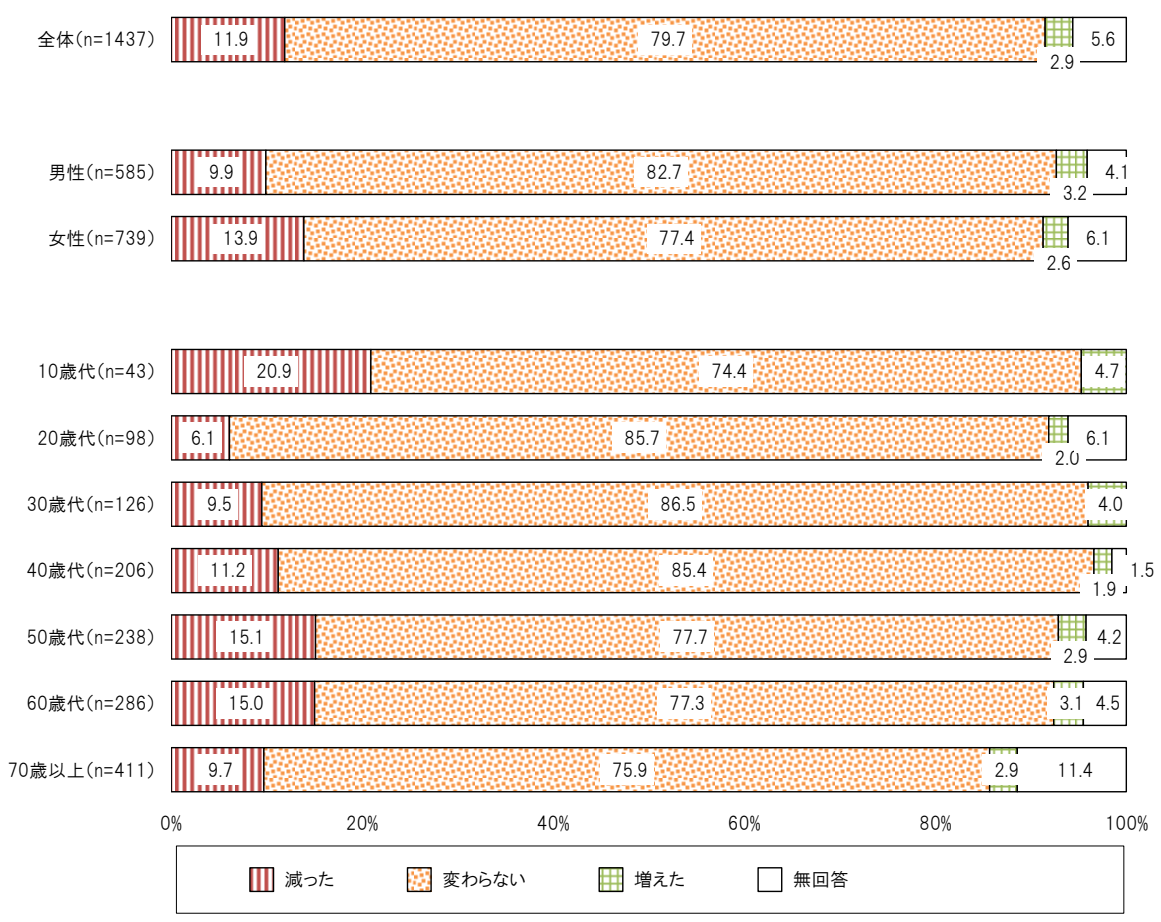
問 43 この2年間、あなた自身は、総合病院への受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。(〇は1つだけ)

全体では「変わらない」が79.7%で最も高く、ついで「減った」が11.9%、「増えた」が2.9%となっている。

性別にみると、「減った」の割合は、男性が9.9%、女性が13.9%で女性の方が男性より4.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「減った」の割合は、10歳代で20.9%と最も高く、次いで50歳代で15.1%となっている。一方で20歳代は6.1%で最も低くなっている。

問43 コロナ前と比べ総合病院への受診はどうなったか



問 44 問 43 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

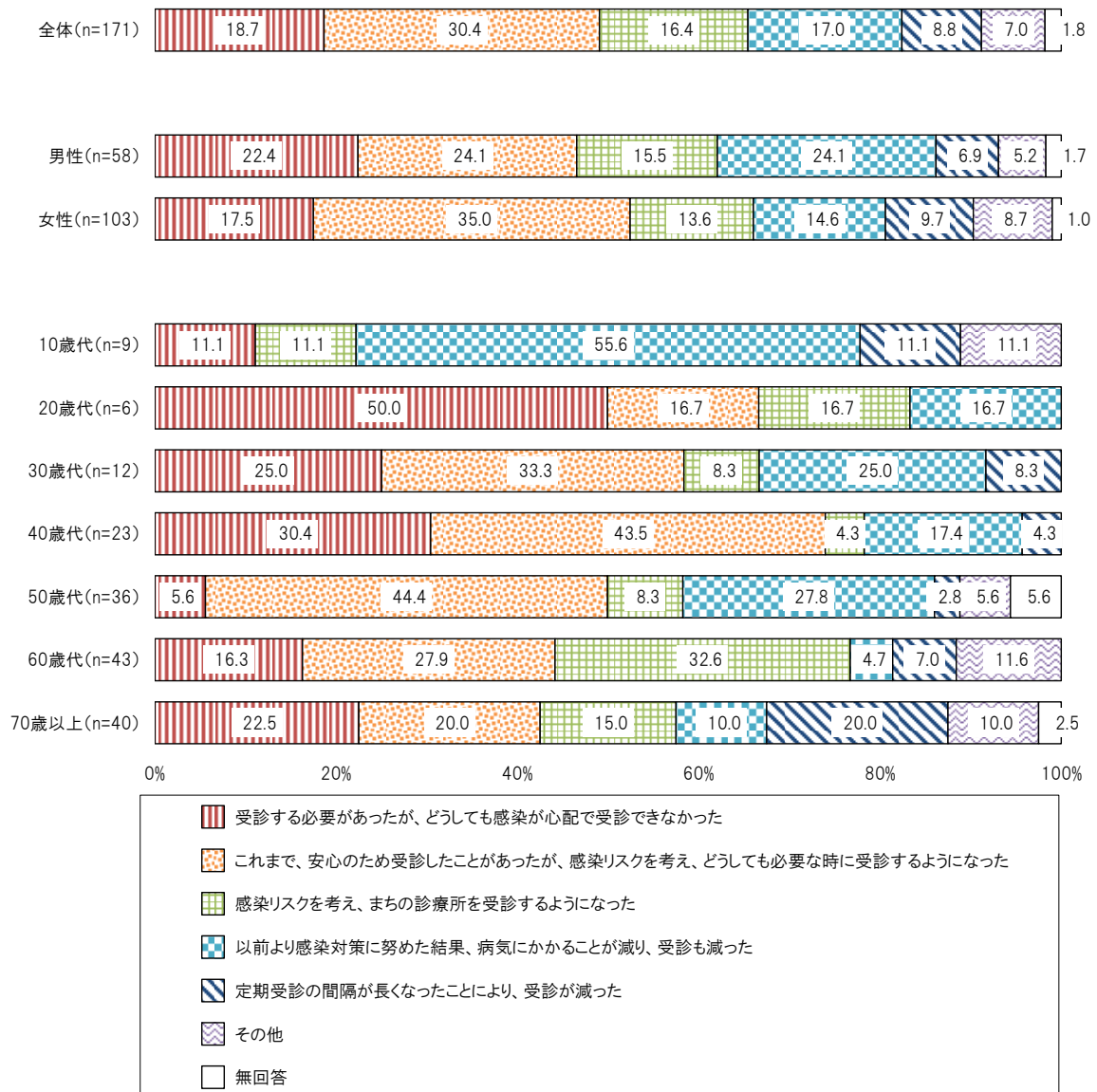
減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

全体では「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」が 30.4%で最も高く、ついで「受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」が 18.7%、「以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った」が 17.0%となっている。

性別にみると、「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合は、男性が 24.1%、女性が 35.0%で女性の方が男性より 10.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、各年代で最も多かった項目は、30 歳代、40 歳代、50 歳代は「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」、20 歳代、70 歳以上は「受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」、10 歳代は「以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った」、60 歳代は「感染リスクを考え、まちの診療所を受診するようになった」となっている。

問44 総合病院への受診が減った理由

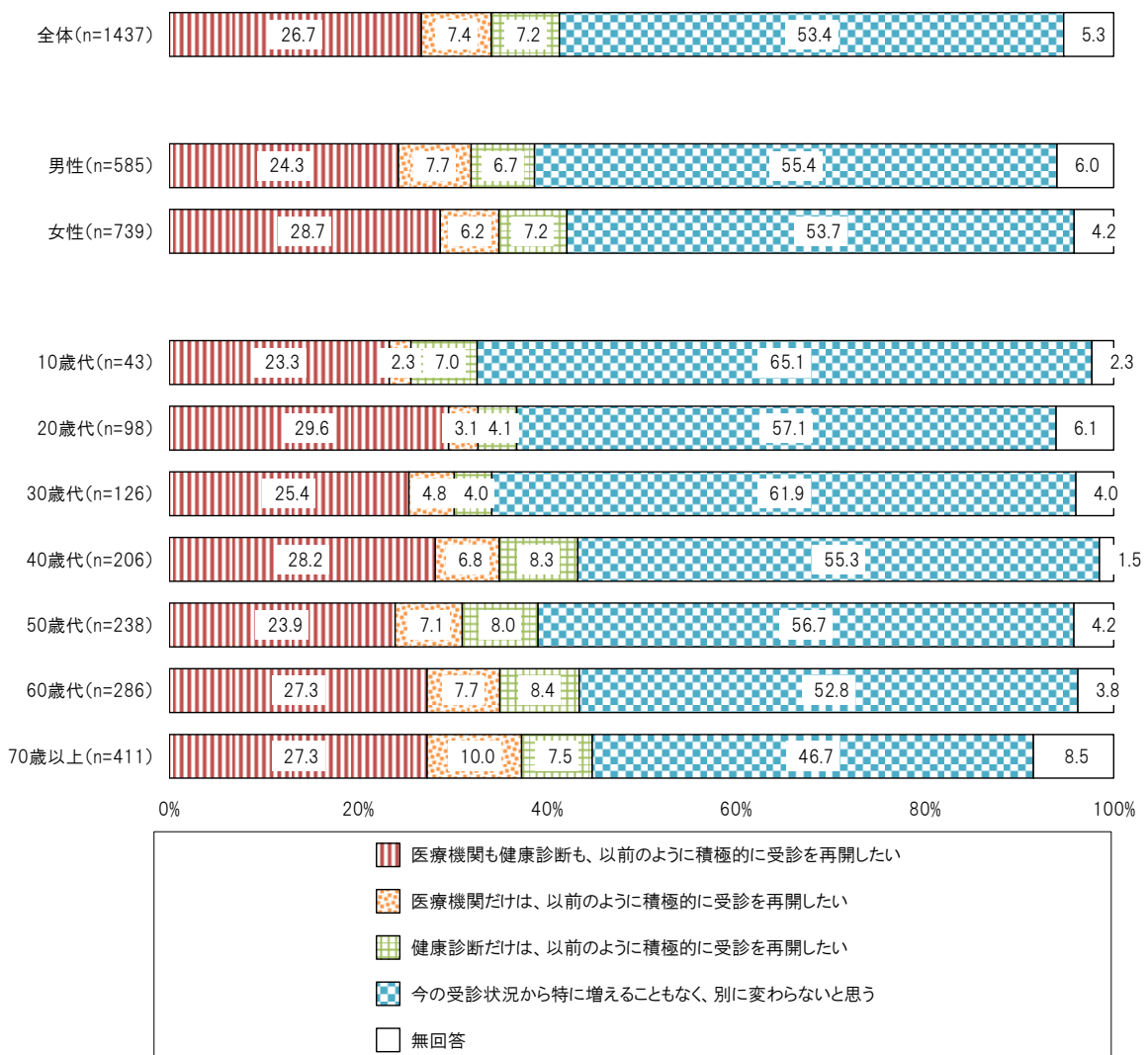


問 45 新型コロナウイルス感染症が終息したら、医療機関（まちの診療所や総合病院）あるいは健康診断（検診などを含む）への受診をどうしますか。（○は1つだけ）

全体では「今の受診状況から特に増えることもなく、別に変わらないと思う」が53.4%で最も高く、ついで「医療機関も健康診断も、以前のように積極的に受診を再開したい」が26.7%、「医療機関だけは、以前のように積極的に受診を再開したい」が7.4%となっている。

性別にみると、いずれの項目も男女間での差は小さく、傾向の違いはあまりみられない。年代別にみると、「今の受診状況から特に増えることもなく、別に変わらないと思う」の割合では、10歳代で65.1%と最も高く、次いで30歳代で61.9%となっている。一方で70歳以上は46.7%で最も低くなっている。

問45 コロナが終息したら医療機関や健康診断への受診をどうするか



11. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

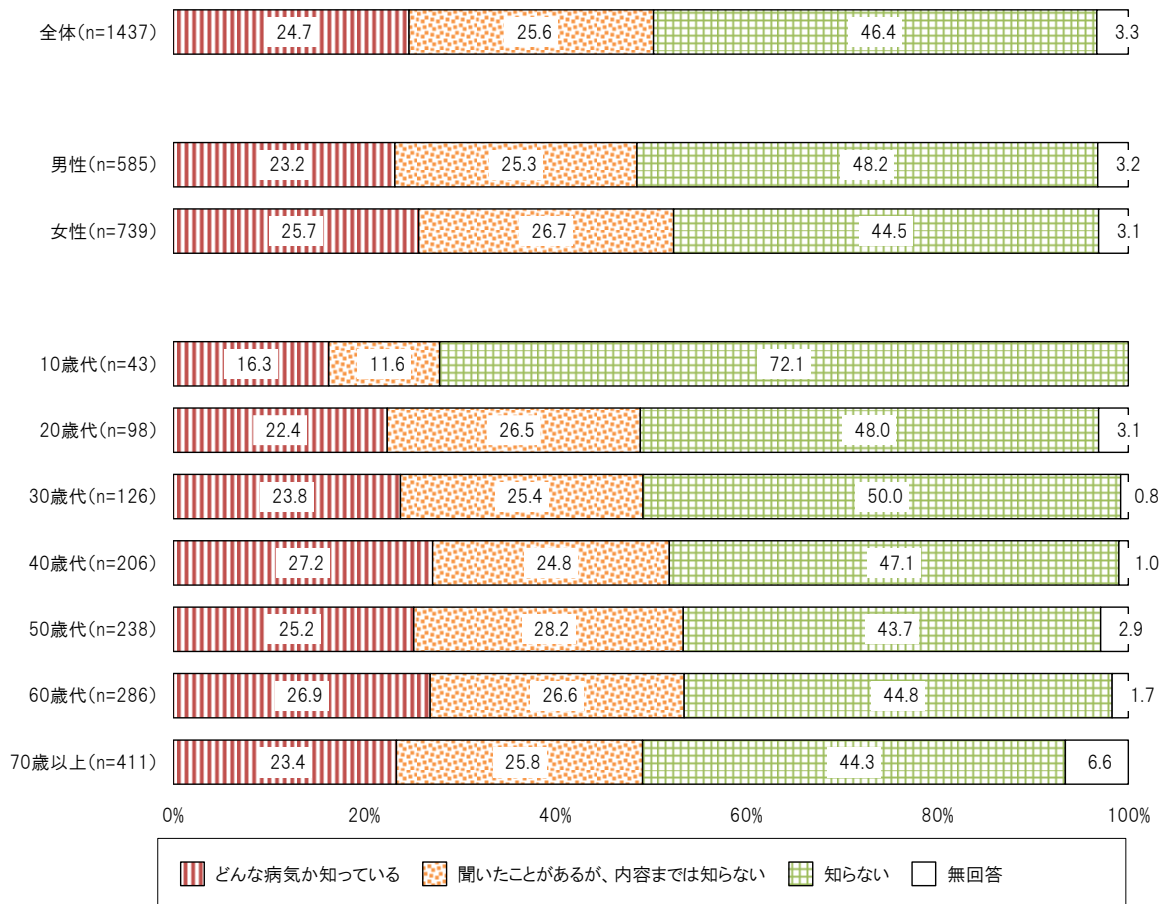
問 52 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患※）という病気を知っていますか。（〇は1つだけ）

「知らない」が46.4%で最も高く、ついで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が25.6%、「どんな病気か知っている」が24.7%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は、男性で48.2%、女性で44.5%であり男性の方が3.7ポイント高くなっている。

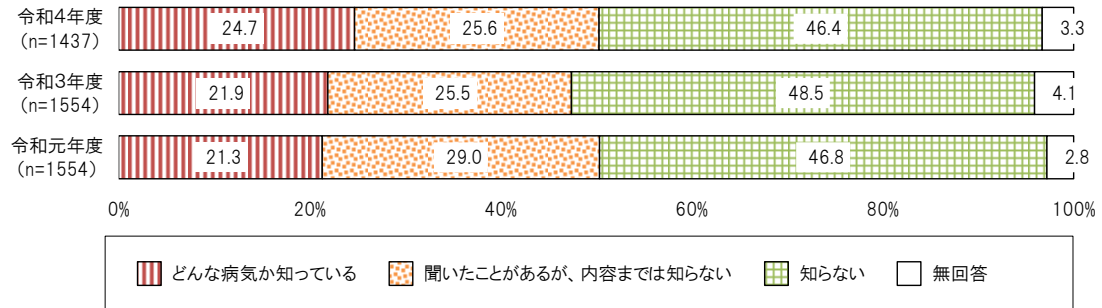
年代別にみると、「知らない」の割合は、10歳代で72.1%と最も高くなっており、ついで30歳代で50.0%となっている。一方で、50歳代で43.7%と最も低くなっている。

問46 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



前回と比較すると、「どんな病気か知っている」の割合について、前回は21.9%、今回が24.7%と2.8ポイント高くなっている。

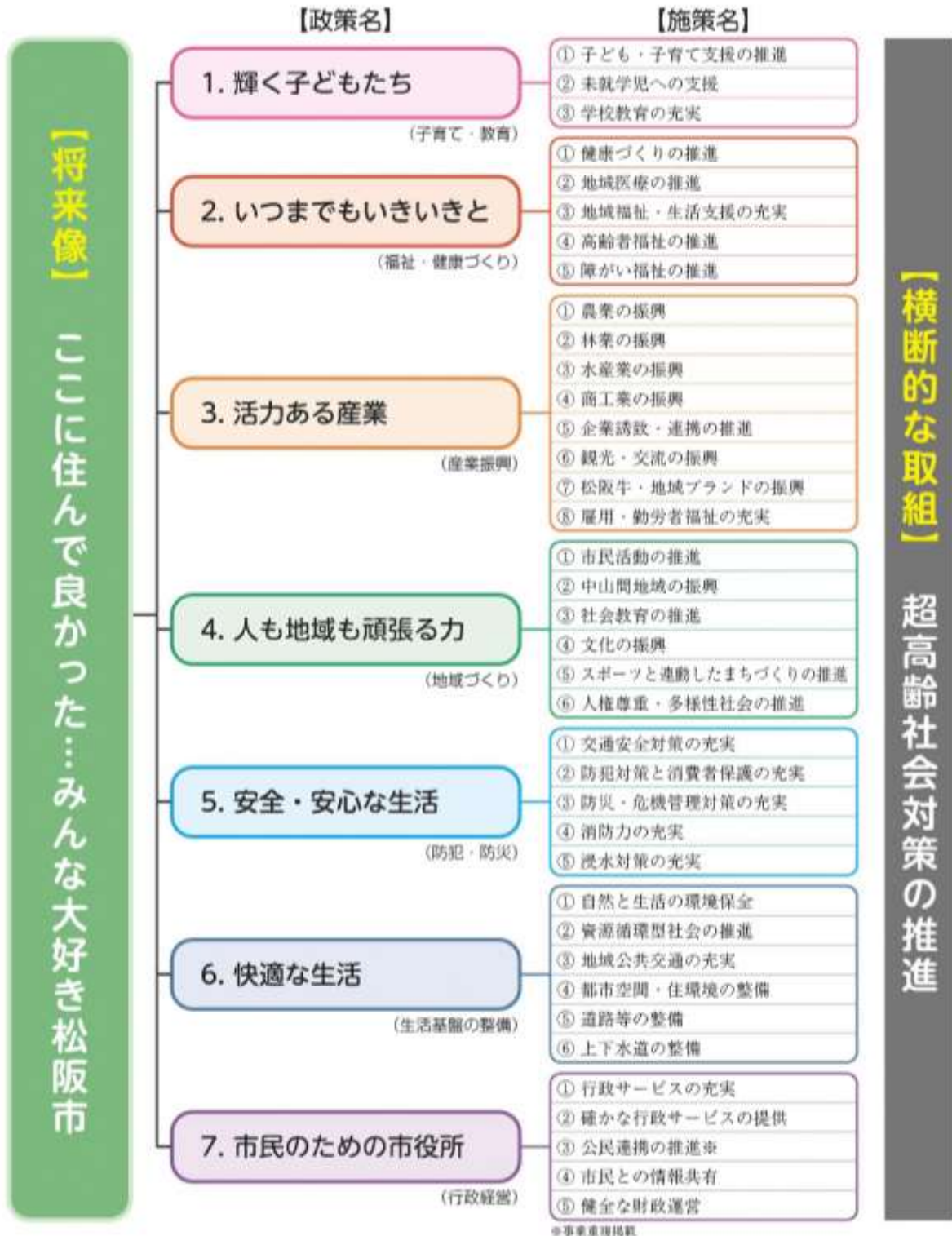
問46 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



Ⅲ 自由記述

市政に対するご意見については、359 人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策分野ごとに分類し、政策分野に属さないご意見については、「市政全般」等に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



《主な意見》

1. 輝く子どもたち

- 新型コロナウイルスにより、クラス閉鎖になった場合、感染の有無に限らずそのクラスの子どもの給食費等は日割りで返還されます。但し、感染していない子の兄弟姉妹が同時に休んだ場合は返還がありませんので、見直すことはできないのでしょうか。
- 一人親世帯にももっと手当を充実させてほしい。一人親となって自分の親と同居しているが、世帯は別なのに手当が貰えない。親と同居せざるを得ないなどの事情を抱えている人もいる。一人親の方は周りにもたくさんいらっしゃるが、手当条件に困っている方が多い。
- 少子化を防ぐために、児童手当のタイミングで1万円分の商品券を送付するなど、大胆な子育て支援策を検討してほしい。
- 子育て支援をもっと拡充してください。配偶者からのサポートが得られない世帯もあり、子どもが2人いる場合、正直経済的にも厳しいです。3人の方がワンモアベビーなど支援が多いです。保育時間の延長や保育費用の助成など、子育てする人が働きやすい環境が整備されれば、仕事で活躍するチャンスを得ることができ、また税収の増加にも繋がると考えます。もっと子育て世帯の話に耳を傾けてほしいです。また市政に意見を言える場を提供して欲しいです。
- 子どもに対して手厚くしてほしい。シングルの方でも育てやすいように。どんな人の子どもに対しても、みんな一緒のようにすれば育てやすいと思う。
- 子育て支援に力を入れてほしいです。おたふくかぜのように予防接種の任意接種料金の補助金などが増えてほしいです。
- 子育ての悩みなども気軽に相談できる場所があればいいと思います。市役所に問い合わせてもらいたい回しになることも多いです。
- 未就学児の窓口医療費を無料にしてください。
- 少子高齢化が進んでいる現代社会なので、子育て支援にぜひ力を入れていただきたいです。出産に対する費用の負担等をよろしく願いいたします。
- 子供医療費の助成について、所得制限をなくして下さい。子育てがしやすい環境の整備をお願いします。また、固定資産税の軽減の検討をお願いします。
- 市民が「幸せ」を実感できるような街づくりを期待しています。これからは担う子どもたちに係るさまざまな施策や、子育て家庭への財政支援が重要だと思います。社会でよりよく子どもたちを育てるには、どうしてもお金が必要になります。また、子どもたちへの投資は地元や社会への愛着の醸成に繋がると思います。
- 子育て支援や教育など若い世代を対象にした取り組みを充実させることは、5年、10年後、高齢者や障がい者を見守る地域の担い手につながると思う。
- 歳の離れた子供が3人いますが、1人目と3人目の年齢が近くないと行政の支援が受けられないのはおかしいと思います。少子化対策を重視するのであれば、3人目、4人目の子どもを育てる家庭に対して、もっと経済的な支援が必要なのではないでしょうか。
- 保育所希望者全員入所できる定員の確保を早急をお願いします。
- 子育て世代に優しくない。待機児童をどうにかしてほしい。子どもを預けることができず、働くことができない。また、保育士の数が少ないことも気になる。

- 私立保育園の保育士の給与を上げてほしいです。
- 幼稚園を保育所化してほしい。各小学校に保育園と見守り所を置き、市が管理するべき。
- 就学前教育について、市立幼稚園からこども園への移行が進みつつあるが、幼稚園としての施設も残して欲しい。
- 他市に比べて小・中学校の建物等の設備が古いように感じます。
- 子どもたち全員が保育園から義務教育終了まで一貫した教育が受けられるようにし、個性豊かな子どもたちの育成に力を入れて頂きたいと願っています。
- 学校教師の残業時間を減らす取り組みを本格的にすべきだと思います。民間に委託できる仕事（作業）は委託すべきです。
- 小・中学校の給食費と保険料を無償化するべき。
- 友人に「松阪の小・中学校の給食は、津市に比べて10年は遅れている」と言われました。給食費の補助等をもう少し増やしてほしいです。
- 学校教育で、男女関係なく家事・育児・介護を担うことを学ぶ機会がさらに増えればと思います。
- コロナが流行し始めた頃、松阪市は学校の分散登校やリモート授業の開始（決定）が遅かったと感じたので、とても不安に思いました。教育委員会に問い合わせをした時も返答が曖昧でした。これから起こるかも知れない自然災害や予想外の事態にも、他市よりも一歩早く対応出来ると、松阪市の認知にもつながるので良いのではないかと思います。
- 学校のトイレの洋式化してきれいにしてほしい。
- ご検討されておられるように、民間の力を分野によってうまく活用し、行政がさらに効率的・効果的になればと思います。例えば、学校の部活動を民間へ委託したり、教育も基本部分をIT活用で教え方の差異が少なくするなど、教員の負担を軽減し、教員にしかできない丁寧な教育活動に注力できれば、子供にも教員にも良いことだと思います。このような事例は学校教育以外にも多くあるように思います。
- コロナ禍において、子供達のマスクの問題や外遊びに関する規定が学校ごとに異なるので統一してほしいと思いました。
- 公立小中学の環境整備に注力してください。建物の老朽化が顕著です。また、熱中症対策として浄水器を各校に設置してください。校内の水道水は配管の老朽化を考えると健康的とは言えません。かといって低学年の児童に重い水筒を何本も持たせることは不可能です。また、感染症を拡大防止のため、トイレ及び保健室の掃除を児童に実施させることをやめさせて頂きたいです。
- 中学校の部活動について、強制ではないことを子どもたちにしっかり伝えてほしいです。土日も試合などがあり、クタクタになりながら懸命に学校に通っている姿は、見ていて辛いです。また、学校の教材が多すぎて通学カバンがかなりの重量になっているので、軽量になるようにしてほしいです。
- 地方は高齢化による人口減少などをプラスに変え、生き残っていくことを考える必要があります。若者や子供たちが自分らしく未来に希望や楽しみが持てるような地域であってほしいです。まずは教育が大切だと思います。
- 高齢者よりも次世代のための施策を優先すべきだと思います。学校から、コロナ禍での方針についての情報が少なすぎると思います。
- これからの子供達のために松阪市の学校給食をオーガニックにしてほしい。
- 幼稚園や小学校の統廃合に関しての情報提供が遅く、情報量も少ない。今後のことを考えると不安が

強い。納得して受け入れている市民は少ないと思う。

2. いつまでもいきいきと

- 最近、新型コロナの感染者が急増しているのに、以前は新聞に詳細が出ていたが最近はまったく無く、対策に力を入れて頂きたい。
- 「マスクをしない自由」を保護してください。
- 20代から乳がん検診の補助を出してほしいです。若い世代も罹患すると思います。
- 市民病院のシステムが分かりにくく、来院の際にとまどってしまう。
- 毎年がん検診の受診券を送っていただきありがとうございます。印刷物の色合いが毎年優しくて癒されております。また来年も楽しみにしています。
- 松阪牛一頭のふるさと納税はびっくりしました。健康づくりの為の講座も色々企画してほしいです。大好きな松阪、今後の発展を祈ります。
- 観光アピールやスポーツイベントも大切だと思うが、その前にコロナ対策に力をいれてほしいです。他県や他市町を参考にして対策に取り組み、それをマスコミなどで取り上げてもらったら、市のPRになるのではないのでしょうか。大好きな松阪を全国一番に感染者ゼロにして下さい。
- 高齢者予防接種について、3回目、4回目は日時が指定されていて、オンラインの予約の煩わしさが無く助かりました。
- コロナの情報共有が足りない。感染者の行動歴を共有することは、感染リスクの高い行動の周知につながる。ワクチン接種歴の共有は、接種の推進につながると思う。個別ではなく、データだけでも共有するとよいと思う。
- 4回目コロナワクチン接種を60歳未満の健康な人にも行って欲しい。
- このコロナ禍において、医療従事者や介護従事者の方の負担は大きいことと思います。このような方々に多くの報酬が支払われることを希望します。
- 夜間の小児科が少なく不安です。
- 子どもがいて休日・夜間に部活やスポーツで怪我した時に医療情報センターに電話して見てもらえる病院を聞く事が多いのですが、松阪市内で受診できる病院が1つもなく他市に行ってます。時間も移動費もかかります。市内での病院医療を充実してほしいです。
- 買い物に行くのが大変です。福祉施策はもちろん大切ですが、それを支える人の負担が多すぎると思います。
- 生活保護の受給規定を見直してほしいです。乗用車の所有やパチンコに全てを使うなど、言語道断だと思います。
- 生活が苦しく、将来の不安が募るばかりです。助成金や補助金などの支給が無条件でもらえたら良いのと思います。
- 松阪市へ今年5月に転居し、妻と二人暮らしで、年金生活を送っています。現在、借家に住んでおり、家賃が月5万円で、生活費はギリギリです。コロナの影響で仕事もなかなか見つかりません。役所へは納税を時々待ってもらう連絡をしています。もっと年金生活者への負担をやわらげる取り組みをお願いしたいです。
- 結婚に対する補助制度を充実させてほしい。
- 生活保護費は本当に必要な人にだけ支給してほしい。

- 色々な所が悪く、片目も見えず、国の難病指定があっても、介護ヘルパーさんを頼んでも、両眼見えなければ資格がないと市役所に行ったら断られました。介護保険代は少ない年金から差し引かれていくのにひどい話です。どうしたら生きやすくなるのか相談に乗ってもらえたらと思っています。
- 高齢者の自宅介護の支援を考えてほしい。特に家族の負担軽減について考えてほしい。早い対応をお願いしたい。
- 遠からず独居（死別）になりますが、生活費、買い物、病院受診等、利便性の良い所に引っ越しも考えますが、知らない所（環境）、資金不足等、周囲も空き家も増し、不安はつきものです。年金から介護保険、国民保険等、受診時の3割負担、老人の住みよい町を希望します。
- 市から支給されたおむつが山積みになっているお家がありますし、たくさんすぎて燃やしてみえるお宅もあるとお聞きします。とてもムダな気がします。おむつを配るのは民生委員様のお仕事でしょうか。御苦労様ですが、状況に応じてきめ細かく対応してあげてください。
- 敬老の日やクリスマスにお赤飯やお菓子を配っていただきます。年に一度、お弁当もいただきます。ともすれば孤立化しがちな老人に気を配っていただいていることを感じ、ありがたく感謝しております。民生委員さんが暑い時も寒い時もよくまわってきて下さって、気遣っていただいています。細やかな配慮をしていただいています。
- 主要駅から離れた地域の移動手段の確保や60代～70代前半に向けたフレイル予防など、5年後～10年後を見据えた福祉の取り組みが必要だと思う。
- 障がい福祉が非常に後退している。
- 障害の子どもとともに47年間介護生活を送っています。子どもは最重度の障害で、24時間介護を必要とし、現在はデイサービス、ヘルパーを利用していますが、コロナでショートステイの利用を控えています。介護に限界を感じる事も多々あります。介護支援の基準を超えた場合に市から支援が受けられるようにお願いします。
- 松阪市は、身体障害者に冷たい。

3. 活力ある産業

- 特に市街化調整区域で農業に取り組むうえで、田畑の草刈り支援や排水掃除支援等の補助金を検討してほしい。
- チェーン店ばかりで町に面白味がなく、町としての文化が感じられない。小規模・個人経営の店舗がもっと頑張ることができるよう取り組んでほしいです。それが地域活性化・観光資源の醸成に繋がると考えます。
- 今回のアンケートには松阪市への企業誘致に関するものが全くなく不安を感じる。松阪市を豊かにするには観光だけでは成り立たないと思うので、企業誘致用地の確保に向けた取り組みを発信していただきたい。
- 松阪港の活用を考えてほしい。神戸や横浜の様に、若者を呼び込むような街づくりをしてほしい。港を生かし、船のターミナルの活用、商業船の見学、夕日の見学等。老人でも心和める風景をほっておくのはもったいないと思います。
- 松阪駅前を魅力あるスペースにするべきだと思います。まつさか木綿の案内flagなどで、駅から歩いて行けるスポットに行きたくなるようなPRが必要ではないでしょうか。東海地方の人でも、松阪牛しか知らない人がたくさんいます。近鉄もJRも停車する駅ですから、名古屋駅のPRも効果はあ

と思います。もう少し活気のある街に進化してほしいと思います。

- 松阪市は観光地とは言い難い。志摩（伊勢）観光の際に立ち寄る施設等を魅力化するべき。コロナの2年半で多くが疲弊している今、アフターコロナ目指して、皆が元気出せるイベント等を開催してほしい。文化ホールでのイベント開催も期待したい。
- 松阪に移り住んで30年程になります。暮らしやすく、この地で最後まで過ごせたらなあと思っておりますので、松阪を良くしたい思いからの意見を少し。観光資源が豊富でとても魅力的な土地であるにもかかわらず、発信の仕方が余り上手でない為、世間一般に伝え切れていない部分が埋もれており、もったいないなあと感じます。
- 松阪の歴史上人物は全国的に考察すると、それほどでもない。その事をふまえて、その人に関連した史実も宣伝すべきと思う。
- 松阪駅周辺の城下町をもっと発展させ、松阪市を活気づけてほしい。また、インスタ映えスポット（花畑など）をつくり、他県の若者が松阪市を訪れ、SNS発信してもらえばPRになると思う。松阪市がますます観光地として発展していくことを期待します。
- 観光関連で1つ、松阪は時代劇映画の撮影地によくできていると思いますが、その事を観光のアピールに全く活かされていないように思います。ヒットした映画、女性に人気のコンテンツがあったのに、市からのアピールはほぼ無かったように思います。所謂「聖地」として、観光資源になったのではないのでしょうか。もったいないと以前から感じています。
- 伊勢には伊勢神宮があり、隣の多気町にはvisonという施設が出来、観光客で賑わっています。松阪は歴史もありグルメもあり…と観光客を呼べる要素はあると思うのですが、今ひとつパツとしないように思います。松阪駅前が閑散としているように思います。松阪も何か人が魅力を感じる施設を作っていないと素通りされる市になってしまいそうです。
- 豪商ポケットパークも休憩だけの場所で、観光する人もあまり利用されていないのが残念でもったいないです。松阪は、歴史的にも魅力のある街だと思うので、もう少し新しい取り組みをして、アピールしていただくと若者も住みたい街になると思います。今のままだと、若い人は出て行ってしまおうのではないかと不安になります。
- 本居宣長、蒲生氏郷、三井高利など歴史に名を残した人物が多くいらっしゃいます。その方々所縁の地を巡るマップや、自然豊かな飯南飯高地域の紹介マップを作成して観光客の参考にしていただけるものを積極的に作り、配布すべきだと考えます。和歌山街道沿いに歴史と松阪駅前からの道ルートとかかる時間等を織り交ぜ、所々にある松阪の味処を紹介した魅力ある総合マップがあればと思います。和歌山街道の「波瀬本陣」から奈良県宇陀市にある「あぶらや」までの観光マップを宇陀市と協力し作成するのも一案と考えます。遠いところからの観光客をターゲットにする前に、まず三重県内近場の松阪住民に興味を持ってもらう事が大事だと思います。
- 観光にもっと力を入れたほうが良い。グルメな場所はたくさんある。
- 松阪には人を周知させるような施設がないです。松阪に一度行ってみたい！って魅力的なインパクトが低いです。
- 松阪駅前をもう少し活気あるように店を作っただけであればと思います。
- 日本100名城にも選ばれている松阪城を、観光名所としてもっと押し出していても良いと思う。著名な学者の方とかも呼んで、講演とかもすれば、より人を呼び込む事が出来そう。コロナ禍の前、ボランティア活動されてる知人に、松阪城、長谷川邸など伊勢の友人4人と案内して

いただき、いい企画でした。全員伊勢神宮周辺の方々でしたが、「松阪にもこんな観光名所があるんだネ～」なんて感嘆されてました。お城近くの観光案内所も整備され、とても良くなったと思いますが、それ以前に駅前の交番横の案内所を誰もが気軽に入りやすい建物（戸口を広くとか）にしていたきたい。出来た時から「一体あれは何？」という感じでした。単発でも松阪市には、要所要所いい所がたくさんあるので、もっともっとアピールして下さい。

- 山にハイキング等へ行きたくても、案内板が少なく不安になり、行けない所がある。地元の人でも分からないのに、他から来た人だともっと分からず、観光できない。案内板の全体図に現在地等の記入するのはどうでしょう。
- 私はちゃちゃもが大好きなので、もっとグッズを増やしてほしい！！
- 松阪木綿をもっと広めるには商店街にのれんなど、歩けば目に入るようにすればいかがでしょうか。美杉の小さな町、何もない家にも素敵なのれんがかかっていました。いいな～と思いました。
- 「世界一美味しいお肉を食べるコース」のひとつで松阪の地を紹介されていました。松阪肉は改めてPRしなくても知名度は高いと思います。食でPRするなら、まず駅前を活性化する事だと思います。空き店舗が多いベルタウンを利用して老舗のホルモン屋さん、鶏肉のホルモン焼さんに出店してもらうのは如何でしょう。家賃は取らず、人件費のみを負担頂く、若しくは補助金を出し、店舗の負担を少なくして観光活性化のために協力頂く。松阪市のPRにもなりますし、お店ごとの味の違いを気軽に知っていただけるとと思います。また駅前でもありますし、お酒を飲んでも公共の交通機関を利用することが出来ます。気軽に足を運べる、食べ比べが出来、松阪ならではの企画ではないでしょうか。
- 松阪市のPR活動をもっと積極的に行う為に、市役所内に「PR課」を作ってみてはどうでしょうか。市民の活用も考え募集されてはどうでしょうか。
- 松阪市は、特にこれといってすすめる場所や物はない。京都に住んでいたが、松阪というと松阪牛という言葉が返ってくる。すき焼きがイメージされているようだ。かといって、松阪の人もいつも松阪牛を食べているのではないが、お土産には買っていたり、郵送したりしている。
- 私は元々大阪出身ですが、松阪は食べものおいしいです。最近松阪ハムがおいしくて、お中元に使いました。茶畑や茶くら道の駅でお茶ソフトなどとてもおいしかったです。ツイッターをしておりますので、榎田川を写したりして、あげたりしました。おいしいもの、歴史もありますので、これらを利用してアピールしたらいいのになと思います。
- 松阪牛はもう世界中の人が知ってくれているので、他にもあると牛以外のもののアピールをしてほしいです。
教科書に載るほどの本居宣長さんのことも、松阪人はもっと知って、特に子どもたちにふるさとの偉人を身近に感じてほしいと思います。
今後とも松阪の“売り”を生かした行政をよろしくお願いします。
- ちゃちゃもグッズももっと作ってほしいです。
- 松阪牛の素材を活かした料理店が老舗以外に育っていないので、産業振興として推進してほしい（駅直通のグルメ街の構築及び有名店の誘致、新店舗開拓等）
- 働く場所が限られており、若者が都会へ流れてしまう。
- 子育て支援のために色々なこと（はるるイベント、春日保超延長保育など）を考えて頂くことは、住民のためにはとても良いですが、現場で働く人たちのことを第一に考えて、吟味、相談した上で実行

して頂きたいです。現場で働く人たちのワークアンドバランスがきちんと成立するからこそ良好なサービスの提供につながると思います。目立つ政策をどんどん現場で働く人たちに押し付けしないで下さい。よろしくお願い致します。

- 多気などビソンやホクトなど企業を誘致してPRしているのに松阪は何もない。仕事がないから県外へ出て行くしかないのが現状。
- 仕事も収入が低いので、大企業が集まる地域、県外へ若者が流れてしまうので、少子高齢化も相まって、松阪はますます弱体化してしまいそうな気がします。
- 松阪市内、働く会社が少ない為、県外など子どもたちが家を離れて生活をするという事が多く、又、子どもが減っているという先が心配である。

4. 人も地域も頑張る力

- 市の関係の方は日々努力されていますが、もう少し地域へ入り込んで、一つずつ細やかに地域の方々にまちづくり等の指導していただきたい。
- 住民協議会と自治連合会、公民館等が一体となってまちづくり協議会の体制が変わりましたが、地域の皆さんは以前と何ら変わっていないとの認識しかありません。
施設等のコミセン化もそれぞれの地域で人材がいるのかどうか、それに見合う給料は出せるのか、とても不安です。将来の高齢化、少子化等を考え、福祉の充実をしていくのだと思いますが、コミセン化を進めていく上でいろいろな課題も出てくると思います。地域住民との協議を重ね、進めていってほしいものです。
- 町内会と言っても、以前はもっと集まるのに声かけもあって楽しかったが、現在は全員バラバラで、町でも隣同士の付き合いがないのでは。子どもたちも各々自分の周囲2~3人としか同じグループとして動いてないのでは。何かもっと力強い集まりが出来たらと常に思っている。何か寂しく思っている。
- 松阪市の範囲はとても広く、住民の思いは一緒だと思いますが、地域により統一はなかなか出来るものではないと感じます。地域でこんなステキなところがある、とても住みやすい、など探って、地域住民が地域のことが好きで誇れることができ、人に伝えていけることが大切だと、この年齢となり感じます。価値観の違う人の集まりなので、思わぬことが観光でもヒットするかも分かりません。
- 高齢化に伴って、地域での自治会役員、民生委員等の選出が難しくなっている。
- まちづくり協議会などの活動や名前など、知らない人は知らない、無関心な人も多いのではと思います。そのような組織に市政を任せて市民参加と言えるのでしょうか。
- 同じ松阪市と言っても、市街地と山里では生活するのに大きな違いがあります。隣の家まで距離があったり、移動が不自由な市民が山間地には多くいます。年々高齢化が進み、空き家も増えています。それでも何とか住み易くいたいと、それぞれがんばっています。いろんな条件の違う地域の集まった松阪市が、どこに住んでも同じ満足を感じたいものです。
- 今にも崩れそうな空き家、草が伸び交通の妨げになっている田んぼ、持ち主が分かっているにもかかわらず、自治体もどうすることができず、行政に話を持っていくても解決に至らないというが、持ち主が分かっている土地であれば、行政から何とかするように強く言ってもらいたい。特に見通しの悪い所があり、交通事故が起こっても不思議でないところがある。
- 山間地域を持つ広域な松阪の市政は大変だと思いますが、今まで以上にそういった地域に目を向け

た行政を展開していただきたい。特に高齢者には影響が大きい。

- 市の中心地より離れた地域のことをもっと考えてほしい。小学校の統合やスポーツ、文化（例えば、図書の本の巡回等考えると、サークル活動の紹介、PR を広報に載せるとか）的活動を過疎地へ案内・実施してほしい。
- 地域おこし協力隊の活動はフェイスブックや Instagram 等で拝見しておりますが、「何処のお店に食べに行きました。美味しかったで一す！」「お隣さんから〇〇をいただきました。美味しかったで一す。」「野菜を植えました。草がいっぱい！」など幼稚な投稿が多く見受けられます。中には、飯南高校とコラボした企画の発信や、ワンデイカフェの案内等もありますが、個人の絵日記に対して月額 20 万円（月 16 日以上勤務）は破格ではないでしょうか。最近では新聞でも他地域の協力隊の記事もよく掲載されています。何かに特化した方が、専門的に勉強し今後自分にも地域にも生かしていくような活動をされています。何を基準に採用されたのか、理解に苦しみます。
地域おこし協力隊は外にばかり目を向けるのではなく、松阪市民の役に立つことも起案し、実行していただきたいと思います。他の地域から来た方だからこそ、松阪市に足りない行政サービス等のアイデアを出していただけるのではないのでしょうか。
- 奈良県宇陀市では数年前に日本語学校が開校しました。1 年ほど日本語を学んだ生徒は、市内の高校へ編入し、1 年間は普通科で日本のことを学び、残る 2 年で福祉の資格取得のため学校へ通います。ワンルームマンションを格安で貸し、近隣の病院にアルバイトを手配し、将来福祉施設で働いてもらう人材を育てています。これは宇陀市がしているのではなく、地元民がそれぞれの得意分野で協力し、出来たことです。地域おこし協力隊が 3 名もいらっしゃるのですから、観光だけを目的とするのではなく、地元民が暮らしやすい、また松阪市の発展のため、精力的に活動をしていただきたいと思っています。
- 飯南飯高の高齢者が増え、交通の便も然り、ゴミ出し一つにも困っている状況です。ゴミは子どもが帰ってきたときに、持ち帰ってもらっている家庭がどれだけあるかご存知ですか？500 円を払えば持って行ってもらえるなどというサービスもあるそうですが、飯南飯高地域のみゴミを出すのにお金を払わねばならないのでしょうか。他市では家の前にゴミを出すところもあります。そこまでは望みませんが、せめて一週間に 1 回の回収でも構わないので、無償で引き取りに来てもらえるサービスを考えていただきたいと思います。今後は外への発信もしつつ、高齢化した地域への特化したサービスも協力隊にアイデアを出してもらい、実現していただきたいと切に願います。
- 過疎地域なので農地や空き家のこれからが不安です。
- 過疎集落の高齢、少子化により自治活動の担い手不足。補助金だけでは解決する問題ではない。集落、寺社含む、の終活も必要。
- 農業振興地域の過疎化についての取り組みがなされていない。こどもの減少や高齢化が進んでいても対策ができない。
- 図書館は貸出・返却のシステムや消毒用機器の導入は便利で、子ども向けコーナーも充実していると思います。しかし、大人向けのコーナーは人気のありそうなジャンルや雑誌コーナーがメインで、人文・理科の分類などが 2F に追いやられるなど、図書館としての姿勢を疑います。人気のある本が売ればよい書店とは違うと思います。改善を望みます。
- 生涯学習講座の充実。ワークセンター講座は入りにくい。
- 松阪公民館が今後どうなるのか教えてほしい。

- コロナ禍でイベントもままならない時ですが、その以前よりまち中ではいろいろな団体が特自でイベントを行っています。なでしこ祭、鈴の音、おひなさま等々…しかし街中心から離れた地区ではこれらの祭などほとんど知られておりません。そう感じられます。中心地だけが盛り上がり、関係者のみの参加、とてもさみしく思います。どうすれば松阪真中だけの祭で終わる事が無いように考えていかなくてはいけないのではないのでしょうか？
- 私個人としては、自然豊かで穏やかな人柄の人が多い松阪は住みよい町だと思っています。歴史の面で（郷土の偉人とはまた違った）、北畠氏について、もっと発信してほしいと思います。（山城、寺院等関わり深いです）
- 安価で気軽に利用できるアスレチックジムが少ないので増設してほしい。
- 12月開催予定の松阪マラソンですが、コロナ感染者数が多い場合は中止にしてほしいです。リスクが高いです。申し込んでみえる方には返金してほしいです。
- 松阪市の文化施設、スポーツ施設は全て中途半端。他県では、どんな小さな市や町でも全国大会を開催できるだけの大きなスポーツ施設を持っている。
大きな施設を作って、大きな催し物や大会を開催することで、子どもたちが夢を持って文化・スポーツ活動に励むことができるようになると考えている。是非、中途半端な施設ではなく、作るならしっかりした施設を作ってほしい。
- テニスの壁打ちができる場所を町内にたくさん作っていただきたいです。
- 公共施設の利用について。高齢者が施設（主にグラウンド及び体育館）を利用する際、料金を取らないでほしい。料金が発生すると、利用をためらいます。引きこもりが増えて、運動不足、又、歩行困難な状況にもなります。高齢者はボランティアで草むしり、清掃等を積極的に行います。料金に見合う奉仕はやってくれると思います。高齢者の集いの場をつくってください。利用方法は振興局主導に任せてください。地域に合ったやり方があります。教育委員会一本では無理だと思います。
- 松阪の人はシビックプライドを持った熱い人が多いと感じています。スケートパークができた時にはびっくりでした。すごいところに目を付けてもらいました。スケートボードの活躍が素晴らしかった東京オリンピックを機に、もっともっと世界に発信してほしいと思います。また、松阪っ子たちが、せっかくの環境に親しんで、スケートボード人口が増えれば良いなあと思っています。
- スポーツ施設の利用時間料金が4月から変わりみんなかなり困ってます。不便です。利用してる人にしか不便さはわからないと思いますが、みんなが署名して変えてもらいたいとも言ってます、もう一度検討してほしい。他の伊勢や津の地区と比べても松阪市はおかしいです
- 近年、男女平等など叫ばれていますが、松阪に関しては女性の立場、女性の役割に関して、まだまだ古い先入観が浸透しており残念です。特に高齢男性の意識の低さ、例に「女はお茶くみ」「女はでしゃばらず」等（100年、200年前の話です）。女性が意見を発言することを美德としない意識を改革して頂きたい。
- 「人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり」のために、2006年に制定された「松阪市人権のまちづくり条例」の市民への周知、とりわけ市職員のなかに、もう一度周知徹底させることが必要。
- 多様性を大切に、この街に住んでいるすべての人が、自分の生き甲斐を発揮できる社会になることを願います。

5. 安全・安心な生活

- 旧 23 号線を自転車で走っていることを見かけますが、道幅が狭いのでとても危険だと思いました。また、大人にも子どもにもきちんと交通ルールを教えられる環境が必要だと感じます。
- 横断歩道の白線が薄くて分からない。高齢者にも見えるように白線を引き直してほしい。
- 我が家の近くは小学校の通学路ですが、信号もなく国道を渡っていて、止まる車も少なく、大変危険です。毎年学校のアンケートに書いても改善される様子がないです。事故があつてからでは遅いです。早急に各小中学校の通学安全の確認をお願いしたいです。
- 大黒田町の交差点で（北向き）先が渋滞しているのに信号が変わって 1 台目が後ろに並ぼうとするので、毎朝大渋滞する！7:30~8:30。そこは 2 車線で奥まで行って合流するような道路だと思うが、表示などが無いので、知らない人が多く、自分だけ良ければいい、後の人への配慮が足りない人が多い！！事務所に座ってないで、朝に見に来るべき！
- 交通安全の為、横断歩道の標識菱形の白線の塗り直しをしてほしい。
- 子どもたちが安全に通学できる様に通学路を整備してほしい
- 道路が暗く、歩行者の発見が遅れる。又、歩道が大変少なく、歩行者、自転車等は車道を通り非常に危ない。
- 交通安全に力を入れてほしい。信号が黄色で侵入は当たり前、赤色でも 2~3 台侵入することもよくある。「松阪は信号が青色になっても直ぐ発信してはいけない」と転居してきた時に伝えられましたが、その通りの状況。観光のお客さんが増えてほしいと思う反面、今の交通マナーでは、見られるのが恥ずかしいと思ってしまう。夕方の早めのライト点灯なども大事だけど、それより信号を守ることを、もっと取り締まったほうがいいのではないかと。子どもたちも、青になっても横断歩道を安心して渡れるように。車も青で安心して進入できるように。指示器を出さない車、曲がる直前に出す車も多く感じる。狭い道路での譲り合いも出来ない、突っ込んだ者勝ち状態で、みんなが侵入してしまい、行き違いず…という光景も多い気がします。交通ルールを守れるといいですね。
- 年代を問わず交通マナーが悪い。①子どもの自転車（右側通行）②歩き（左側歩き）③20~30 代の車の運転、駐車など（方向指示器を出さない）右側駐車 人は右、車は左が徹底されていない
- 残念ながら、松阪市民は本当に交通マナーがない。悪いを通り越してマナーがない。市政から働きかけて欲しい。市のサービスで高齢者の免許返納を促したり、警察と連携して、取り締まりしてほしい。スマホながら運転や、あおり運転、横断歩道止まらない、など、小さな違反をバンバン取り締まってほしい。スマホながら運転の罰則が厳罰化された事知らない人が多いのでは？事故や違反したら大変な事になることを、市からもアピールしてほしい。
- 松阪市は防犯カメラが少なすぎると思う。もっとカメラの設置をしてほしい。
- 治安が悪い。
- 田舎の田園が広がる道路は夕方~夜が真っ暗です。秋冬の中高生帰宅が危ないので安全な施策をお願いしたいです。不審者も心配です。
- 夜間、街灯が暗かったり、少なかったりする場所が気になります。特に子どもたちの学校帰り、1人で暗い道を通るのは危ないと思います。街灯の設置を希望します。
- 市内（特に山沿い、人通りの少ない）の見回りをしてほしいです。
- 高町の分譲地が増えているにもかかわらず、街灯が少なすぎる。危ないし防犯上も良くないので、すぐに増やしてほしい。

- 街灯が少ないので増やしてほしい。
- とにかく防災無線が聞き取れないので、災害の際にどうしようもない。(何か言ってるのは聞こえる)
- 東海・南海巨大地震への対策に松阪市、三重県で連携して取り組んで頂き、子どもたちの安全確保に努めてほしいと思います。電信柱を京都のように地下に埋めることや、防災に特化した町づくりをハウスメーカーと行政がタイアップするなど、備蓄品の確保だけではなく、何か独自の対策をお願いしたいです。子どもの安全が確保できる街には、人が集まってくるのではないのでしょうか。
- 自然災害に強い街づくりを目指してほしい。
- 学校の耐震、避難場所としての機能向上に取り組んでほしい。
- 我が家は犬を飼っていますが、災害時のペット同行避難所は三十三銀行アリーナですが、遠すぎて歩いていけません。そして、「同伴」避難所はまだないようです。この点についてずっと気になっておりますので、ご検討お願いいたします。
- 災害時における、弱者(高齢者・障がい者)への情報伝達方法について充実していただきたい。
- 地震について取りざたされている。もっと防災準備をして欲しい。
- 東南海地震に向けて、自治会の共助体制の構築に支援、補助してほしい
- 浸水対策が万全でない所があり、雨が降る度にその心配をしなければなりません。近年は田んぼを宅地に変える工事も多々あり、その心配が一層強まりました。
私以外にも松阪をもっと良くしたいと考えている方は沢山存在します。小さい意見にも耳を傾けて頂けると、とても嬉しく思います。
- 水害対策の為、河川全体の幅・底をとことん広げ掘り下げ、時間雨量1000万ミリの豪雨に耐える河川にしてはと思います。モデル河川を造ってみませんか。お考えになって下さい。
- 以前、台風でR166の水が流れ込み、排水路が欠損していて畑に流れ込み、車庫が水いっぱいになり、役所に連絡しました。職員に診て頂いたが、優先順位と言われ、U字溝も直してもらえませんでした。今でも台風の度、車庫が浸水しますが、せめて材料だけでも支給して頂ければ自分ですることは出来るのですが。
- 水害に対する減災の取り組みも重要ではないでしょうか。阪内川下流の地域に移住して35年、河川の整備は一度もされていません。川の中の木、草、堆積物(土砂)は年々増え続け、満潮時の水位も高くなっているのは日々感じています。海拔0m地区という事もあり、防災には関心も高く、力を入れて準備をしています。しかし、堤防のひび割れが目立ち、土砂で水位が上がっていると、恐怖を感じる事もあります。
早急に対応をお願いしたいです。その地域を離れるのが一番なのでしょうが、人それぞれに事情もあります。
- アンケートが届き、改めて市政のことを意識していないことに気がきました。
川が近いので、浸水や河川改修には興味があります。30年前と比べると櫛田川の底(砂が増えている)は気になります。現在改修工事が実施されていて、経過観察しています。市政に対して意見を発信できるよう向かい合うことにします。
- 金剛川上流部が、工業団地、木材団地、住宅開発、太陽光発電等開発が進むが、河川改修があまりされていないが増水時に不安を感じる。

6. 快適な生活

- 市として風力発電に反対してほしい。特に市長が前に立って行ってほしい。
- 長野県や富山県を旅行すると道路の脇はきれいに整備され、田んぼの畔もきれいに刈り取られています。それに比べ松阪は、道路脇はせいだかあわだち草など雑草が茂ったり、田んぼの畔には除草剤が撒かれていたりします。松阪市は北国と違って温暖な気候に恵まれているのですから、もっと身近な自然を大切にしてほしいと思います。
市のほうで何か皆に関心が向けられる啓蒙を促してほしいと思います。
- 早々に飯南・飯高地域で計画されている風力発電に反対すべきである。
何のための森林保全・観光開発か、考えて下さい。
- 松阪駅周辺（路上含む）を全面禁煙化してほしい。JR側のトイレがたばこ臭い。
- 川や海が汚れています。関係する地域の自治会等に呼びかけて、一齐に清掃してはいかがでしょうか。
集めた後のゴミ等の運搬や処分方法については松阪市の協力が必須です。ぜひ、大きな流れを作り、実践し、孫たちにきれいな川や海を残していきたいものです。ボランティア仲間を集めて、ぜひ参加するので推し進めて下さい。
- 地元の山登りイベントに参加してから登山が好きになりました。香肌イレブンも目指してみようと思います。
一方で、風力発電のことも気になります。自然を大事にして地元の人を大事にしてほしいです。
又、近年、山での事故も多く、推進すると事故も増えるかと思われるので、注意を促してほしいです。
- 受動喫煙防止にもっと力を入れたほうが良い。都市部はかなり進んでいる。
- 資源不足の日本の地において、飯高風力発電計画は今後の予想を考えても進めるべきだと思う。
- 太陽光パネルの積極的設置（特に公共で）には反対です。太陽光パネルは数十年後には使用できなくなり廃棄されると思いますが、廃棄にもものすごく費用がかかります。太陽光パネルを付けることによるリスクの説明責任があると思います。
- 風力発電に対するの煮え切らない態度や、遑って、鈴の森公園の収蔵庫建設に対して市民が声を上げても聞く耳を持たない姿勢が気になります。
- 牛舎からの臭いが雨天や夜間にひどいです。現状調査や指導をしてもらいたいです。洗濯物へのおい移り、窓が開けられない等の環境問題があります。
- プラスチックゴミの収集は量が少なければ隔週でも良いのでは？
- 道路沿いの茂みや、道路沿いの田に、空き缶やゴミのポイ捨てがとても多いので、困っています。何とかありませんか。市会議員の方々は何をされているのでしょうか。あまり見えてきません。
- 松阪市指定のゴミ袋の厚みが薄く感じている。物を入れるとすぐに破れたり、伸びたりと使用感に不自由を感じる。また袋の容量など45、30、10Lなど種類はあるが、10Lではなく15Lぐらいの容量があると助かります。伊勢市のゴミ袋は厚みも（そこまで言うほど変わりませんが若干厚い）あり、すぐに破れたりと言うこともないし、実際に15Lの容量のゴミ袋もあり大変便利に感じています。10Lが悪いわけではないですが、容量によってはもったいないと感じています。30Lまではいかなくても、10Lでは入りきらず袋が二枚必要になる場合でも15Lがあれば一枚ですむとおもいます。検討お願いいたします。
- ごみ収集の休みが多い。
- リサイクルゴミは回収拠点がなく、リサイクルセンターを利用するほか無いので、リサイクルセンタ

一の昼休みを廃止して欲しい。複数のスタッフがおり、混雑している状況も見たことが無いので、交代休憩にしていただけると有難い。平日でなくても利用可能なのは評価できる。可燃ごみは週3回以上、不燃ごみは毎週の回収をお願いしたい。不燃ごみで自転車まで回収していただけて助かる。ゴミ袋の値上がり等があっても構わないので更に充実させて欲しい。

- 温暖化を心配しており、その背景にはごみ分別が必要だと思いますが、きちんと分別していない人があまりにも沢山いるので、誰でも分かりやすく分別できるような対策があれば良いと思う。
- 市街地の住宅に居住しています。約30年間になりますが、交通の便が全く良くならない状況で、この先車が運転できなくなった際はどのようにと不安に思っています。
- 私たち高齢者は運転しないので、もう少しコミュニティバスの便利さがほしい。
- 買い物に病院とコミュニティバスの利用と思っても停留所が遠く、また巡回する場所によって目的場に着くのが遅く、ついタクシーの利用になってしまいます。
- 他市町村の様に小型乗合タクシーの利用ができるように考えてほしいです。
地方へは市営バスが通らないので、市のコミュニティバスのルートを見直してほしい。年々、高齢者が増加しており、公共交通を利用して通院している人も多いので対処してほしい。
- 公共交通について、山間部においてはタクシーチケット等を導入してほしい。コミュニティバスの停留所まで行くのに便利な住人は限られているので利用しにくい。
- 生まれ育った松阪が大好きです。若い頃より今の方が好きになったと思います。とても住みやすく、便利ですが、私の住む地域には公共交通機関がなく、車がないと移動できません。今はまだ運転できますが、何年後かはそれも難しくなってくると思います。そうした時に市民バスが郊外まで来てくれるのかという不安はあります。
- 私の地域では高齢化、過疎化が進んでいます。公共交通機関の利用料金のさらなる補助をお願いしたいです。
- 運転免許返上の年齢に近づいてきたので、病院、買い物等の交通手段が不便になるので移動手段の充実を図ってほしい。(公共交通の充実)
- バス等の交通機関を何とかしてほしい。
多気などビゾンやホクトなど企業を誘致してPRしているのに松阪は何もない。仕事がないから県外へ出て行くしかないのが現状。
- 高齢化社会が急速に進む中で、75歳以上の高齢ドライバーの運転ミス(踏み間違い等)による交通死亡事故が全国的に大きな社会問題となっています。早めの運転免許返納が推奨されていますが、問題は返納後の生活用品などの購入や病院に行く際の交通手段をどうするか、その環境を整えていく施策が必要だと思います。現在、中心市街地には鈴の音バスが運行されていますが、周辺地域においては一部地域のみでまだまだ十分ではありません。地域の住民自治協議会か、もう少しエリアを広げた中で、民間と公共が協同したコミュニティバスの運行か、また事前に予約指定した時間と場所に車で送迎するデマンド型交通の検討など、交通弱者の解消を図られる施策を考えていただきたい。
- 最近、明和町が取り組んだMobiのような制度の検討を希望します。バスの通るエリアに住んでいますが、高齢者はバスの待ち時間も大変です。私の居住地区でも二世帯の家庭は2,3軒です。買い物、病院への足が大変で、タクシー代もかなりの負担になります。高齢者支援としてぜひお願いします。
- 免許返納後の交通手段について、コミュニティバスがありますが、運行時間、バス停までの距離が人によって違うため、タクシー利用の補助があれば良いと思う。

- 交通機関の便が悪い。車がなかったら病院も買い物も行けない。
- コミュニティバスの協力金は毎年払っていますが、町には来ません。停留所の町地区の方までは歩いていけません。高齢者になったら心配です。全ての町地区に平等に巡回してほしいです。
- 松阪に限らず、高齢者の免許返納の為に公共交通機関の整備や福祉の充実にも力を入れてほしいです。
- バス等の公共交通機関がない地域が多く、オンデマンドタクシー等は予約で直ぐには乗ることが出来ないが、路線バスが通っている所には鈴の音バスもあり公平でないのではないのでしょうか？
- 虹が丘町、南虹が丘町周辺にバスが通っておらず通学などに不便なためバスの停留所を増やしてほしい。
- 今後運転免許の返納も視野に入中、公共交通機関が整備されていないと感じる。
- 家から駅までが遠く、バスの最終も早い時間なので、市外の高校へ通う子どもの送り迎えをしなければいけない。ひとり親で生活も苦しいのに、子どもの送り迎えで思うように仕事ができない。バスがもっと遅い時間に運行できるよう、市で補助等してほしい。
- コミュニティバスについて、目的地に到着するまで時間がかかりすぎる。また、途中から乗っても運賃が安くない。市内へ行くのに利用するには振興局まで歩いていく必要があるが、遠い。
- バスを親しみやすい乗りやすいものにしてほしい
- 家の周囲を三方囲む形で太陽光発電の計画があり困っています。行政に相談するも国のガイドラインを読めと言うばかりで、何の解決にも至っておりません。松阪市は空き家バンクに移住促進を進めているようですが、こんなにソーラーパネルだらけの田舎に住みたいでしょうか。私共も名古屋から半世紀近く前に移住してきた者です。知人には、移住して、自然の豊かさに良かったと思っていたのに突然ソーラーパネルが家の横に出来て鬱々としている方が居ます。ガイドラインも無視している事業者に対して、余りにも緩い規制に怒りをどこに持って行けばよいのか困っています。誰の為の行政でしょうか。
- 駅前に自由に止められる駐輪場がほとんどありません。車で行動するしかなく不便です。管理が難しい、用地がないなどの問題もあると思いますが、松阪に引っ越してから自転車利用が減りました。
- 県外からの転居した者ですが、駅から降りた時まず感じた事は、活力のない殺風景な印象です。このイメージは50年間変わりません。
市として、他市との違いは何かを見直す機会と思います。(昔のままの建物が残る事は良い事です)これを新しいイメージに変える事は大変ですが、良い知恵が出る事を期待します。
- ベルファーム・森林公園等散歩道の柵等が壊れていて、道が塞がれている。・公衆トイレも改修して新しくなり、使用しやすくなったが、清掃がいまいちである。地域住民とタイアップして掃除してはどうか。駅前通りのシャッター街を何とかできないか。
- 20年ぶりに故郷に戻り、松阪の歴史に大変興味を持ちました。郷土の偉人が多く、歴史ある街並みなど、もっと小学生や中学生にPRしてほしいです。
- 松阪市市街化調整区域の区分(線引き)の見直しが必要。
- 車でテレビを見ようとすると、松阪ではワンセグフルセグテレビの電波が悪く、映りにくいので、ちゃんと見られるようにしてほしい。
- 空き地が増え、それを活用するための方策を考えてほしい。特に駅に近い場所。
大型ショッピングモール等(コストコ、ショッピングセンター等)が松阪に出来るとありがたい。

- 子どもたちが勉強だけでなく安心して遊べる場所、又、勉強だけではなく、のびのびと出来るようになってほしいと思います。大人も子どもも一緒になって話をしたり、遊んだり出来る場所があればいいかなと思います。
- 県外からの観光客は、松阪を素通りして伊勢や志摩の方に行きます。松阪市が伊勢・志摩くらい認知度と魅力がないといつまでも現状のままだと思います。はっきり言ってお肉だけです。町自体はまずまず住みやすいのでいいのですが、中心部は特に駅前・裏ともに昔と変わっていないか、昔よりも段々寂れていっている感じがします。三交百貨店があった時の方が活性化していた様な感じがします。伊勢や亀山、四日市などの自治体は、その辺り頑張っている感じがしますので、松阪市も負けずに頑張ってください。
- 街もきれいで良いところもたくさんありますが、発信の仕方が下手なのかな・・・と感じます。そして一番気になるところは「松阪の顔」とも言える「駅」「駅周辺」の開発です。駅を降りてもパツとしたところ（魅力的の場所）がひとつもありません。三十三銀行横の古い建物も老朽化が激しく、強度的にも心配です。松阪に来たい！来て良かった！楽しかった！と思える街づくりが市民にとっても観光客にとっても大切ではないでしょうか。
- 個人の私有地に草が生えても刈っていただけない。市から話をしてほしい。
- 近くに遊歩道があれば、毎日でも歩きに行く。近くに高齢者向けの気軽に入れる飲食店があれば、毎日でも行きたい。
- 駅前三十三銀行横の市管理駐輪場を月極以外の一般利用（時間有料等）に考えて頂くと JR、近鉄の利用にとっても助かります。駐輪場を見ますと、平日でも利用する方が少なく、空気が多々有ります。ぜひお考えください。学生さんと一緒に駐輪場（無料）ですと、自転車も多く、駅に遠く、なかなか大変です。宜しくお願い致します。
- よく旅行しますが、松阪駅近くは少し淋しいような気がします。松阪城跡ももっと整備していただきたいです。
- 太陽光パネルの設置が増えて、自然環境・住環境が低下している。
水、空気、緑をきれいにして、住環境を良くして観光業にも活かしてほしい。
- 卸センター跡地やマーム跡地には、イオン系列が入ることを望みます。津南や明和まで行くのは松阪市民には遠いので、ぜひお願いします。映画館があれば尚良いです。観光においては、松阪駅前をもう少し活気あるように店を作っていただきたいです。
- 松阪市総合運動公園に子どもの遊べる遊具をつくってほしいです。
- ペット（犬）を飼っているが、市内には散歩できる公園が城跡公園だけしかないのが困る。マナーが悪い人が多いからかも知れないが、監視員（シルバー等→狂犬病の接種やウンチ袋を持っているかの確認等）を置いてでも良いので、入れる公園を増やしてほしい。（森林公園、中部台等）
- 町の道路沿いの雑草等は定期的に取り除き、清掃に力を入れてきれいな町作りをしてほしい。
- 常々思っているのですが、東町の2コ1住宅、空き家が多く見られますが…制約が色々有ると聞いてますが…市営住宅的に貸すのはダメなのですか？
- 複合遊具のある公園が少ない。
- 高齢化で、出会いの清掃も難しくなり、町内の公演は草ぼうぼうで木々の枝もジャングル化しています。町内で草刈りを頼む費用もなく伸び放題の木々の枝切を率先してほしいです。
- 街が殺風景なので、景観を良くしてほしいです。次々と山や空き地に太陽光発電を観察するのも景観

破壊・自然破壊につながるので規制が必要だと感じます。

- 松阪駅西方面のベルタウンの衰退は悲しくてなりません。松阪市の代名詞でもある松阪牛そして、最近注目されている鳥焼き肉の店を駅西エリア(ベルタウン)に集結させメディアで取り上げてもらい、松阪駅から歩いて数分と言う立地を生かして、市外県外からの来松を目指して頂きたいと、以前から思っておりました。簡単には行かない事は承知しておりますが、御一考下さい。
- 曾原町公園が家の裏手にありますが、遊具が何もないので、ブランコなど設置して頂けたら嬉しいです。
- 公園の整備、ペットと遊べる場所を増やしてほしい。
- 西中学校、通学路の補装をしてほしい(曲町区内)。安心して通学ができるように。
- 住宅の道路は市の管轄と聞いているが、雑草が道路にまでせり出し、とても見たく悪く危険、又、歩道を狭くしているため、中高生が登下校で通る際にかわいそうに思っている。今までは自治会活動として年に数回清掃・草刈り等が行われていたが、コロナ禍に於いては感染リスクがあり中止せざるを得ない状況です。そのような現実に対して、市としては柔軟に対応いただきたい。
- 市街地での道路環境について、道がガタガタ。道路標識が殆ど消えているが、以前から何も手が付けられていない。松阪市のPRを外に向かってする前に対応する事案だと思う。
- 道路を整備してください。道の周辺、歩道の脇に草が生い茂っているのを見ると、いつも残念な気持ちになります。高速から県外の人が市内に降りてきた時に、あの道の状態を見ると、どう思うのかといつも思います。整備されている道を通して市街地にお迎えしたいです。美しい町にしたいです。
- 仕事先(本町)の前の道路が見た目重視の作りのため、石や砂が剥がれやすく困ってます。県道になるため苦情を伝えても簡易的な砂取りばかりを年に数回して頂くだけで、根本的な解決になってません。近辺の住民は困っております。市政とは違いますが、この声が届いたらと思いついて書かせて頂きました。
- 最近車で市内で走っていると道路標識の劣化が目立っています。改修をしてください。
- 新黒田町から花岡の道幅が狭すぎます。一方通行にするか、広げてほしいです。
- 道路の整備をお願いします。実線等をしっかりと書いてほしいです。
- 中央町の「コメダ」から「くすりのアオキ」の通りのガードレールが少なすぎる。特にコメダの交差点のガードレールをつけてほしい。
- 道路を整備して、歩きやすい道路にしてほしい。
- 大黒田の交差点の立体化を是非とも進めてほしい。田村町への坂内川の橋を架けて渋滞解消をお願いしたい。さくら保育園の前の道からが細いので溝に蓋をして広げてほしい。
- 水道料金が他の地域より高いです。検討してほしいと思います。
- 早急に下水道の整備をお願いします!!他市に恥ずかしいです。
- 水道管が古くて劣化が気になるが、更新が進んでいない。
- 概ね満足していますが、水道料金が県内でもベラボウに高いと思います。上下水道を合算しての料金設定も理解しかねます。(特に下水道料金は何を基準にすれば理解できるのか?)
- 水道料金、下水料金、市民税が高い。

7. 市民のための市役所

- コロナが理由で働き方を変えました。保育園が学級閉鎖ばかりで子を預けられず、仕事が思うようにできない為です。収入面にとっても不安があります。商品券などとても助かっています。
- 商品券、他の地域では5万円の所があるのに対して少なすぎる。
- 特にないが、役所での手続きをもう少し時間短縮することをお願いしたい。
- 松阪市の松阪みんなの商品券の販売方法はとても良かったと思います。
事務の仕事(引換券の発送)は大変だったと思うのですが、混雑することなく購入することが出来ました。ありがとうございます。
- 最近、孫の市民税の払いが遅れていて市役所を訪れた時、足の痛みがひどく杖歩行をしていたが、玄関に手押し車があればなど思ったのと、車イスを置いてあっても一つの玄関の方で、違う所から入ったら困った。返す時には受付の方が快く近くまで来て下さって返納して下さいありがとうございました。
- マイナポイント還元のスマホでのやり方もサンフラワー店の所で教えてほしいです。
- マイナンバーカードを作るとポイントがもらえると聞いたが、たずねても何と返答もなかった。後で何らかの説明があると思っていたが、何もなかった。
- 松阪市をよくする為に考えてくださりありがとうございます。「コロナに負けるな、松阪みんなの商品券」はとても助かりました。ありがとうございます。これからも松阪市をよくする為に貢献していきたいと思います。
- 市役所の駐車場を止めやすく広くしてほしい。
- 庁舎内が狭すぎて分館が多くなっています。本庁舎の建て替えが難しいと思われるので議会棟を新しく建てられたらどうですか。この程度であれば建て替えより経費も安く、現本庁内部も少し余裕が出来ます。ぜひ市長等に御検討していただくよう要望いたします。
- 仕事上、色々な市に申請業務を行っていますが、他の市では不要な押印が必要だったりする事が多いので、他の市と足並みを揃えていただきたい。
- 所属する団体では、市長交渉や教育委員会との懇談、要望書の提出などなど、市民のより良い暮らしを求めて、市との関わりを深めているつもりです。対応はまずまずなので、一応満足はしています。
- みんなの商品券は全部1000円券にしてほしい。500円はめんどくさいです。
- 地域振興券について、紙媒体ではなく、電子クーポンでの対応を是非検討願います。
- 市役所の受付があちこちに行かなければならない。市に対する申請、相談機能を一箇所で行なえるようにして頂きたい。
- 一台ぐらいは住民票などの自動発行機が今まで通りあってもよい。全員がマイナンバーの申請をするとは思えないしこれだけ個人情報の流出が多いと危なくて申請できない。
- オンライン化は結構ですが、マイナンバーカードやコロナ関係の質問について、支所に問い合わせても回答していただけるようにしてほしい。
- マイナポイントに関する事を、マイナンバーカードセンターに集約したのはどうなのかなーと思う。私もスマホが対応機種ではなくて、どうしようかなと困った。慣れないところへキョロキョロと運転しながら行くのは不安だから。各振興局によくわかる方を配置してくれたら良かったのに。嬉野管内に住んでるが、嬉野振興局に上下水道事務所がなくなったのも不便を感じる。各振興局で出来ないことが増えてはダメなのでは？このアンケートで、松阪市の政策について満足度と重要度についてきいてるけど、どんな現状か分からないことも、分からないという選択肢がないので答えにくかつ

た。

- 市役所本庁も振興局もこれだけの人数の職員が必要なのかといつも思います。窓口に立っても、受付に出てくる人は少ないです。スペシャリストを育成して下さい。どこの市町村でも、職員の仕事に対する姿勢が問題となっています。2, 3年での人事異動により知識の無い人が多すぎます。これでは何も解決しないと思います。
- 市役所へ行くと職員の方々の仕事の様子を見せて頂いています。高額な給与を受けながらも、姿勢も悪く、人が見ているにもかかわらず、残念なことが多いです。クーラーの中で仕事をやられている方々、しっかり市民は見ています。市役所も民間が入れば体制に変化があるかもしれませんね。
- 以前女房と夜市内をウォーキングしていましたが、市役所の前を通ると夜遅くまで電気が点いているのを感じました。毎日遅くまで残業しなくてはならないのかな？
- 議会にも問題があるか分かりませんが、公共事業の大手事業者優先的でなく、中小事業者も参加できるシステムを導入してほしい。
- 松阪市の職員を見ていると、公僕という意識が無いように思える。志の低い人は職員になってもらいたくない。
- 予防接触の補助、コロナ対策の補助クーポンの内容、家屋建築の際の補助、あらゆる補助が他自治体より遅れていると思う。
- 職員の能力向上に努めてほしい。
- 住みやすい松阪市をつくり発展させるには、松阪市役所の皆様(市長)と住民とのコラボに基づいて、効率的に進めることが大切です。
- 公民連携は結構なのですが、ボランティア等民側の善意にただ乗りするのではなく、あくまでも共栄を目指してやっていただきたいです。
- 民間企業に協力を仰ぐ場合、企業側は必ず利益を考えそれを優先して動き、それに関わる者は利益を得る。そのような企業等に対して公金・市民税を流用するのはいささか同意できない。もし民間企業と連携するならば、責任所在が明確になるように一言一句細部まできっちり詰めた契約書を作成・運用すべき。
- 「広報まつさか」は行政との重要な情報ツールとして重宝しています。しかしながら、個人的には広報誌の重要事項のみチェックし、その他は目を通す程度です。友人に活用状況を問うと同様な方が結構多いことが解りました。提案ですが、原則として2ヶ月に1回の隔月発行とし、緊急性の高い重要案件がある場合は、休み月にも発行する方式にしたら経費の大幅な削減になるかと思います。
- 行方不明者についてのマイク放送は、主旨は理解するも、市の対応は良くない。何度も放送し、環境上の対応として悪い。
- 市の行事予定などをもっと力を入れて広報してほしい。こんなことしてたの？と後の報告で知ることが多い気がする。情報収集の分かりやすいシステムがほしい。webに不慣れな方向けにも発信してほしい。
- さまざまな生きづらさを抱える若者を支え、支援してくれる個人・団体・セラピスト等についての情報を広報に載せていただけると大変ありがたいです。
- 色々な制度があるにも関わらず、自分から積極的に調べないとわからない。又、色々な通知が来ても、非常に分かりにくい内容で、本当に制度を使ってもらおうという感じがしない。不親切に思える。
- 時代の流れですべてデジタル化になってきていますが、私たちの年代では難しいことも多々ありま

す。もう少し、手を差しのべてもらえたら、と思うこともあります。

- 広報のデジタル化。カラー印刷で経費もかかるだろうし、紙はもったいないし、配布の手間もある。コロナで誰か触ったものを受け取るのが気になります。
- ホームページがわかりにくい。
- 行政からの連絡や、市民からの相談、市の観光PRなどは、WEB（SNSを含め）をどんどん活用してほしい。行政手続きも、スマホでできることはスマホで。
- 情報のSNS推進は必要ですが、紙媒体は絶対必要！何度も見ることが出来るのでありがたいです。
- 行政一般だが、支援策の周知が足りない。該当者にもっと細かに周知するべき。個人情報保護も大事だが、個別のサービス充実のためには情報共有が必要だと思う。
- いろいろな情報をネット等でもっと発信して欲しい。ネットでもっと便利にして欲しい。
- 飯南・飯高管内の情報をもっと提供してほしい。
- 公共事業予算を減らして、福祉に予算を回し、福祉の充実を図っていただくようお願いいたします。
- 税の使い道について、今の時代に合ったやり方に見直しをしてほしい。必要でない事に使う必要はない。
- 市民税・その他の税金の滞納対策（滞納になる原因を調査）し、解決する方法を考えるべき。
- コロナ対策にかかり支援を行うのはいいのですが、市民税や国保税、町県民税などがこんなに高くなつては、支援を受ける側でない者はとても大変です。もう少し何とか考えてもらいたいです。
- 松阪市の財政状況（借金の返済状況等）が分かりやすく、タイムリーに見える様にして安心出来る市政を目指して下さい。
- ふるさと納税によって失われている納税額はどれくらいの金額になるのか、毎年、公表してほしい。また、税の流出を防ぐためにどのようなことをしたらよいかということ住民が主体となって話し合う機会をつくってほしい。
- 住みやすい松阪にする為に、市県民税など少しでも安くしてほしい。
- 松阪市は住民税が高いみたいですが、それはどうしてなのでしょう。できるだけ安くなることを希望します。
- 税金が他の市町村に比べ高いです。
- 競輪事業によって、市にお金が入るのであれば、進学したい学生さん・お店を閉店せざるを得ない方・子ども食堂等に支援していただきたい。
- 借金時計は、なぜ設置しているのか？あったから何になるのか？設置するだけでもお金がかかり、運用にも金がかかる。全くもって理解できない。職員が見て、自らの減給を申し出る等があったのか？市民の意識が変わったのか？意味と価値のある物や事を選別し行う事が重要であり、極力無駄を省いて頂きたい。
- 税金とは何か考えて使ってほしい。無駄な事業が多すぎる様に感じる。消耗品の購入等、見直す時なのではないか。
- 松阪市の借金が多いので心配です。何とかして下さい。
- 将来的な町づくりや発展のためには、人口増が不可欠。そのためにどのように予算を使うかを検討すべき。
- 税金の無駄使いを無くしてほしい。

アンケート

- 私は目が不自由です。アンケートは誰かにお願いして書いてもらわなければなりません。
目の不自由な人に送るなら、せめて点字で打ったアンケートと一緒に郵送するべきではないでしょうか？役所がこのような対応をしていて、どうして松阪が良くなるようにアンケートを取るのでしょうか？一度よく考えてほしいです。
皆でより良い松阪にしていくなら、まず役所がしっかりとしてほしいです。
- アンケートについて、最大 3000 件を紙で集計するのは大変だろうと思います。
- 今回のアンケートのような手法は住民の声が市役所に届くための良策と考えます。頑張ってください。我々も頑張ります。日本一住みやすい市（まち）となるように！
- 問 1 に性別質問、今時驚きです。
高齢者にとっては質問が多すぎる。
- 理解し回答するのに時間かかり、どうでもいい感じになってしまう。見直しもしたくない感じです。
- このアンケートは何の役に立つのか。血税を無駄に使わないで下さい。何をやっても人口減少するのでは。公務員は暇なのか。
- 全般的に抽象的な問で答えるのが難しい。このアンケートが市政に役立つのか甚だ疑問です。
- 3000 名に対するアンケートでは少なすぎると思います。少数意見で何が得られるのでしょうか。全市民に実施するのが本来だと思いますが…。
- 問が多すぎる。税金を使っているのか。アンケートでいくらかかっているのか。
- アンケートを受け取りましたが、行政の取り組みについて知らないことが多くあったので、私の回答は不十分なものになっています。申し訳ありません。
- 抽象的な質問が多かったので困りました。この回答がどう生かされるのか期待しております。外国語や外来語が無闇に増え、質問したいが一言言葉とがめをするようで嫌な思いをしています。
- アンケート量の多さ、内容の難しさに大変疲れました。
- アンケートの内容や言葉が一般人には少し難しいのではありませんか？答えの幅も狭すぎます。
- “無作為に選んだ”とありますが、何度もアンケートの対象となっています。
質問事項が多いです。
- アンケートの内容が松阪市行政の恣意的な内容ばかりで、無意味。
- web での回答の方が効率的だと思いますが、なかなかハードルが高くて…。中高年の web 難民を救済する勉強会などがあればと思います。（参加したい）市政の負担減になるのでは。IT 難民率が全国一低い市を目指してはどうでしょうか？
- 高校生には難しすぎるアンケートでした。
- アンケートの量が多すぎると、設問が抽象的すぎる。本当に欲しい情報がアンケートから得られているのか疑問。もっと量を減らして、質問内容もわかりやすく答えやすいものを検討して欲しい。またアンケート結果のフィードバックと入手した情報の活用について明確に示して欲しい。
- アンケートが難しすぎる。市の今の現状も把握できてないまま回答することに申し訳なさを感じた。
- アンケートの設問に偏りがあり選択肢が狭い。
- アンケート調査のインターネット仕様で、一部だけを修正したいのにすべての確認をするイマイチなシステム仕様の改善が必要。
- このアンケートの意義は何か。また、回答をどう反映していくのか、回答者に伝えて欲しい

- こちらのアンケートは80代の母親宛に来ました。とても本人が回答するのは無理です。母に聞きながら回答しましたが、ほとんど理解出来ませんでした。ランダムに選出するにも限度があると思います。再考を願います。
- アンケートを受けて改めて考える機会を持った気がしました。私たちにも参加・協力出来るよう心がけて行きたいと思いました。
- 市政の具体的な状況が判らないため、アンケート内容の解答に不安。
- 長くて面倒。いちいちはがきを送り、回答を催促する姿勢にもいら立ちを覚えた
- 今回のアンケートの件、回答数が多かったのでは半分に減らしたほうが良い。回答に疲れて正確なアンケートができなくなる。
- アンケートはアンケート。この結果を集約しても市民の動きや心理を把握したことはない。市民と直接接している職員が肌で感じている感性を大切にしてほしい。
- 企画課のみなさんおつかれさまです。今回のアンケートは設問がいろいろ幅広く唐突すぎてとまどいを感じました。とにかく施策として進めたい事の裏付けとして聞きたいことが詰め込まれてる気がしました。先進的な取組にネガティブな意見は出にくいので、賛同する意見が多かったからと言って、限られた財源の中で真に必要な施策は何なのかという裏付けにはならないと思います。絶対的な評価ではなく、相対的に必要な施策を何をするか選択することが必要かです。あれもこれもやっていては、全てが中途半端になってしまう気がします。
- このような大変なアンケートに協力しなければならぬのは迷惑に感じます。無作為に選ばれて迷惑です。

窓口対応

- 松阪市の職員の対応は懇切丁寧で大変良いと思う。市民の中にはクレーマーやお客様意識が高く職員に対し無礼な態度を見せる人もいるが、大多数の市民は松阪市職員の質の高さを口には出さないが分かっている。どうか自信をもって職務にあたってほしいと思う。
- 職員の対応が悪い。
- 役所の窓口対応について、「丁寧に」とまでは求めないですが、優しい気持ちで対応してほしいです。忙しいと思いますが…。
- 職員の言葉遣いが悪い。
又、コロナ関係の電話がかかりにくく、話をしても明瞭な説明をしてもらえない。
- 先日市役所にうかがった折、とても親切で優しく対応していただき、昔の役場の対応と比較して本当に心から嬉しく思うと同時に、その女性の人柄に頭が下がりました。ありがとうございました。
- 時々市役所に行く時がありますが、受付の方、又ほかの方、感じがいいです。
- 地域振興局のスタッフの仕事の仕方の改善を求めます。
- 松阪市役所の窓口に行くと、どの窓口の職員さんも、とても親切丁寧で気持ちよく対応して下さります。これからも、頼りにしていますので、宜しくお願いします。
- コロナ禍で仕事が増えている中、市役所での対応など、感謝しかありません。今後ともよろしく願います。
- 住民目線での対話が少ないように思う。職員には現場をもっと経験・勉強してもらいたい

市政全般

- 大学奨学金があるのを知りました。なぜ大学に限定するのですか？専門学校も同じように学び、同じように学費もかかるのに、大学（生）だけに限定するのはおかしいと思います。
- 他の県や市など、成功している部分の参考、企業成功者の取り組み、教育法など、リーダーシップをとって、目的をはっきり持って、市政に取り組んでほしい。そして責任の所在をはっきりとしてほしい！！市民には、この町は何に向けてがんばって取り組んでいるのか？特化しているのか、まったく見えてきません。松阪市と言えば…これで有名な町です！！と言えるものがないです！研究者・大学・企業と共に何かを創造したり、未来に向かってこれに取り組んでいます！！と言えるものが見えてこないです。長いものに巻かれるのではなく、これをやりたい！！市民をこんなふうに幸せにしたい！！というものが何なのか？逆に教えてほしいです。どんな素晴らしいプロジェクトがあるのか知りたいくらいです！！期待しています！！はっきり明確で、わかりやすい目的を、市民にメッセージを届けて下さいね！リーダーとしての責任と行動を期待しています！
- 何かに特化した大学を誘致するなどできないものか。
- 森林を大切にしてほしい。中山間地帯の事を考えてほしい。河川敷の防災対策は重要。空き家の今後を考えるべき。過疎化対策は重要。ソーラーパネルの設置には反対。
- 新型コロナ感染拡大や気候変動による環境の悪化の下で、行政の方の対応も厳しいものがありますが、松阪市民の安全確保のため頑張ってくださいようお願い申し上げます。
- 動物愛護の分野に注力してほしい。
- ・税金を少なくしてほしい
 - ・花火大会を松阪でしてほしい（昔は松阪港でやっていた）
 - ・街コン等の婚活イベントをしてほしい（男女無料）
 - ・松阪駅周辺の交通規制の明確化（一方通行を逆走したり、ロータリーから出てくる車が優先と思っ
て急に出てきたりすることが多い）
 - ・松阪に大型ショッピングセンターがほしい（津南イオンや明和ジャスコへ行かないといけない）コ
ストコやドンキホーテがほしい
 - ・松阪駅周辺の店舗等（電車やバスの待ち時間を潰せる場所をつくってほしい）商店街の活性化等
 - ・松阪みんなの商品券の購入が出来ない（平日仕事しているので、土日祝にも購入出来るようにして
ほしい）
 - ・観光施設の充実（城の復元・御城番通りを伊勢のおかげ横町のようにする）
 - ・駅前ロータリーに駐停車スペースの充実化（雨の日は送迎の車で混雑して危険）
- 今のままだと松阪市は高齢化が進み少子化になり、人口減少は避けられない。これを止めるのは生産年齢人口をいかに増やすかが第一の課題。若年層が魅力ある市として、ここで学び（大学があること）、ここで就職（大企業がある）して、結婚、出産すれば、おのずと人口が定着すれば市の税収も安定する。今や市の人口は16万人を切っている。行政はなんらかの対策を施すべき。
- 大切な地元なので、これからも素敵な町づくりをお願いします。
- 住みやすい松阪市を希望します。
アンケートをまちづくりの指針とし、今後とも宜しくお願いします。
- 野良猫、野良犬（最近野良犬は見ないが）に対する対応が遅れている。保護する施設・事業が少ない。もっと動物愛護するようになってほしい。ボランティア団体も少なく、それに対する補助も少ない。自

然・動物を愛する市となってほしい。

- 若者の見方も参考にして下さい！
- 松阪は相対的にみていい街だと思います。あまり不満はありません。ただ、いつまで元気でいられるか？今は車で移動出来る状態にありますが、車に乗れなくなったとき、どういう生活をすればいいのか考えてしまいます。車に乗れなくなってもある程度自分の好きなことがやれるよう自分を心身とも大切にしていかなければと思います。
- 今のままで十分暮らしやすい町です。普通が一番です。これからもこの状態がいつまでも続きますようお願いしております。
- 夏の暑い時期にはスポーツドリンクを配布してほしい。
- 新型コロナウイルス感染症の中でも、市政担当の方々は積極的に業務運営を遂行されており、一住民として大変感謝しております！身体には十分御自愛いただき、市民のため、松阪市のため、ひいては三重県が他の首都圏に負けないように、あらゆる諸施策を展開していただき、他府県の方々が松阪市政を見学したいと来県されるように頑張ってくださいと念じております！！
- のどかな良い環境にある松阪市を、もっと皆が楽しめるように出来ないものだろうか？
- 建物行政はいい。
- 松阪市豊原町は高齢になると住みにくい。もっともっと公共交通・スーパーを増やしてほしい。要望を市役所に伝えていますが、なかなか考えてくれない。もっと真剣に考えてほしい！！
- 安心して住みよい松阪市になるようお願いします。
- 松阪市をよりよく生活しやすい町にしてください。
- 中心部から少し離れた郊外になると、車が無いと不便な所も気になります。また、人口減少も気になります。大手の企業誘致で雇用の促進、人口増加も取り組んでほしいものです。松阪市が嫌いではなく、心から頑張ってもらいたいと願っております。松阪市の未来の発展を願っています。
- 最近松阪の町がだんだん寂しい町になりつつある今日この頃ですが、今回アンケートの資料を読み、回答の出来るところは書かせて頂きました。
今後、松阪の町がより一層栄えて頂き、すばらしい松阪、歴史、文化、御城番屋敷など他の県の方々が一度は行ってみたいと感じて頂けるような町づくりを作ってもらいたく思っています。人情のある町造りを創って下さい。
- 女性の社会進出・若者の県外流出・給料が低いことが、少子高齢化に影響している。観光振興・松阪駅西地区の再開発などに取り組む必要がある。
- コロナ禍の中、よく頑張ってくれていると思います。
困っている時に相談に乗ってくれて、手助けになるアドバイスをしてくれるところがあって嬉しいです。
- 松阪市の行政としての方向性が見えない。住みよい街（自然豊かな地方都市）づくりを目指して、人口減少をくい止め、松阪市へ移住を考える人が増える施策を施してほしい。郷土愛を育てる施策を行ってほしい。
- 早いコロナの終息を願い、一日も早く皆様の協力にて楽しいイベントが開催できる日を待ち望みます。私は、関西大阪から松阪に嫁いで52年、半世紀が過ぎましたが、本当に住みよい松阪です。市政の方々の力で、もっとより良い松阪を築いてほしいと思っております。
- 自分があまり市政に関心を持っていないのが分かりました。自分が今、まあまあ生活ができ、そこ

そこ健康（薬を飲んだり、気になることはあるが）でいられるからだと思います。コロナで収入がなくなり、食べられない世帯がある。フードドライブのようなことができればいいのにと。また、8050問題もTVなどで見る。みんなが生きやすくなる方法はないだろうか。高齢者がどんどん増えて、若い人が増えない。子どもの数もすごく減っていて、これも問題です。沢山の問題が山積していると思ったし、どれもこれもやらなければならない問題ばかりだと思います。

- ・大学を卒業する子どもたちの魅力ある就職先の有無が、若者の人口流出を防ぐ大事な鍵だと思います。
 - ・魅力ある大学をつくるなどの対策が必要だと思います。
 - ・妊娠・出産を機に正職員からパートタイム勤務に切り換えた女性が、市の社会人採用枠から外れてしまうのは不利であると思います。
- ・松阪市をより豊かにするには、子育て支援をもっと充実させる必要があると思う。人口の増加なくして、豊かにならない。
 - ・子どもへの支援、学校教育、スポーツ施設の充実を重点的に行ってほしい。道路整備など（河川改修を除く）のインフラ整備は、これ以上必要ないのではないか。
 - ・学校教育の充実させる必要がある。（教育の質、学校施設、スポーツ施設の整備。松阪市には、特に体育館がない。）
- ・憩いの場が少ない。
 - ・公園がほしい。
 - ・道路の白線が消えている。
 - ・自転車のマナーが悪い。
 - ・通信の普及により、不安がある。
- 私自身他の地域に色々住んでましたが、松阪市は住みやすい地域だと感じてます。これからは産業をもっと充実して、若い世代が住みたくなる街づくりを期待しております。
- 自分たちのしたいイベントにばかり税金投入せず、また、十分支援のある高齢者よりも、未来ある子供たちのために、しっかりと税金を使ってください。それならこちらも気持ちよく納税できます。子供たちにとって、子供たちの目線での魅力ある街に発展することを願っています。
- 補助金や税制優遇をもっと充実させて下さい。大学生に対しても、子育て支援して欲しい
- 松阪市は、もっと小さな行政組織を目指すべきだと思います。

その他

- 妊娠した際、母子手帳ケースをもらいましたが、それが花柄で残念だった。せっかくなら松阪もめんものがよかった。
- 松阪市で生まれて、松阪で生活し、今思うと平和な松阪でよかったです。
高望みしなかったら、働く所もたくさんあり、うれしいです。
これも市役所で働いてみえる皆さんがいてくれるからだと感謝しています。
ありがとう。みなさん。
- コロナでも皆がんばって仕事をしていただいているのにととも感謝しています。
自身も十分に注意しながら、何とかがんばっている高齢者です。
- 市政に携わって下さってます職員の皆様にはコロナ他たくさんのお仕事が増えてると思います。予

防接種の時も、懸命に働いて下さり、大変だといつも心より感謝しております。

- 元々松阪生まれではないが、松阪は住みやすいし、いい町だと思う。もっと魅力的になれる町だと思っている。松阪を楽しい町に出来る仕事が出来て生活出来たら楽しいだろうな、そうなったら嬉しいなと思っています。いつか実現したらいいなと思います。いつもお仕事お疲れさまです。がんばって下さい。
- 天保10年頃、水戸斉昭の蝦夷地経営計画書「北方未来考」という書物に『北海道』の名が出てきます。松浦武四郎の蝦夷地に向かう5年前です。北海道の名を付けた親は水戸斉昭なのです。明治に「北加伊道」と進言したのは武四郎さんの洒落気だったと思います。松阪市の言う『北海道』の名付けは水戸さんで、武四郎とするのは歴史上ではフェイクでしょう。
- 9月頃に再度支援金給付が有るそうですが本当ですか？
- コロナが早く終息して以前の様にどこへでも出かけられる街が戻ってくる様願っています。
- 議員の定数を18人とする事。議員の給料が高すぎる。年に何日活動しているのか日当にすれば良い。議員の質が悪い。
- 最近、市政と市民（町民）との距離を身近に感じる出来事がございました。春日町の海会寺公園沿いの河川の堤防の草が道路側に張り出して一部車の通行の妨げになっているので、「この草を刈って頂きたい」とお願いしたところ、快く御了承頂き、直ぐに行動に移して頂きました。8月19日（金）の午後に建設・土木課の御担当者様をお願いをし、翌週の半ばには道路側のみならず、河川の中の草まで刈って下さり、町民は感謝を致しております。その節は大変お世話になり有り難うございました。改めて御礼を申し上げます。
- ありがとうございます。
- 松阪公民館の入り口が分かりにくい。
- フットサル場の取締をしてほしい。
- 議員定数を半減できないか？

IV 調査票

松阪市市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、このアンケートは本市のまちづくりの指針となる「松阪市総合計画」の進捗や効果をはかり、市民の皆さまが市の政策や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために実施させていただきます。

アンケートの結果は、今後のきめ細やかな市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

令和4年8月

松阪市長 竹上 真人

【対象】 松阪市にお住まいの15歳以上の市民の中から無作為に選んだ3,000人

※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。

※介護が必要な状態、病院に入院中等でご本人が回答できない場合は、お答えいただかなくてかまいません。なお、その場合でもお礼状が届きますのでご了承ください。

【回答方法】

①郵送

回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。切手は不要です。

または

②インターネット

パソコンやスマートフォンなどから以下のサイトにアクセスし、ユーザID、パスワードを入力して回答してください。

【URL】 <https://matsu2022.top>



※ユーザID、パスワードは重複回答を防ぐためのものです。回答者は特定されません。

【期限】 令和4年9月5日(月)までにご回答ください。

(氏名、住所をご記入いただく必要はありません)

【お問合せ】

調査実施主体：松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町 1340 番地 1

TEL：0598-53-4319 FAX：0598-22-1377



はじめに、
「あなたご自身について」 および
「松阪市のまちづくりについて」
 おうかがいします



※ご回答いただくにあたって、答えにくい質問には無理にお答えいただかなくてかまいません。

問1 あなたご自身についておうかがいします。

(1)あなたの性別をお答えください。

性別

(2)～(7)は該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

(2)あなたの年齢は	1. 10歳代	3. 30歳代	5. 50歳代	7. 70歳以上
	2. 20歳代	4. 40歳代	6. 60歳代	
(3)あなたの居住地は	1. 本庁管内(旧松阪市)	4. 飯南管内(旧飯南町)		
	2. 嬉野管内(旧嬉野町)	5. 飯高管内(旧飯高町)		
	3. 三雲管内(旧三雲町)			
(4)松阪市での居住年数は(合併前も含む)	1. 1年未満	4. 10年以上20年未満		
	2. 1年以上5年未満	5. 20年以上		
	3. 5年以上10年未満			
(5)あなたのご職業は	1. 自営業(農林水産業などに従事する方も含みます)	4. アルバイト・パート		
	2. 会社員(公務員・会社役員・専門職も含みます)	5. 専業主婦(夫)		
	3. 学生・専門学校生	6. 無職		
		7. その他()		
(6)あなたの家族構成は	1. 単身(ひとり暮らし)	4. 3世代(親・子・孫など)		
	2. 配偶者のみ	5. その他()		
	3. 2世代(親・子など)			
(7)あなたは結婚していますか(事実婚を含む)	1. 結婚したことがない	3. 現在は配偶者がいない		
	2. 現在は配偶者がいる			

問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1)健康だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 健康だと思う | 4. 健康だと思わない |
| 2. どちらかという与健康だと思う | 5. わからない |
| 3. どちらかという与健康だと思わない | |

(2) 現在の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. どちらかという満足している | 5. わからない |
| 3. どちらかという満足していない | |

(3) 余暇^{よか}は充実していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 充実している | 4. 充実していない |
| 2. どちらかという充実している | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという充実していない | |

(4) 生きがい^{いきがい}にしているものはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというない | |

(5) 地域への愛着^{あいじゃく}はありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというない | |

(6) あなたは今、幸せ^{しあわせ}だと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと感じる | 4. 幸せでないと感じる |
| 2. どちらかという幸せだと感じる | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという幸せでないと感じる | |

(7) あなたは幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康であること | 12. 地域に憩いの場があること |
| 2. 食生活が良好であること | 13. 頼れる人がいること |
| 3. 住まいがあること | 14. 地域に愛着があること |
| 4. 生活に経済的な余裕があること | 15. 人から頼りにされること |
| 5. 家族との関係が良好なこと | 16. 自分が活躍する場があること |
| 6. 災害に対する備えができていること | 17. 社会に貢献していると感じること |
| 7. 治安が保たれていること | 18. 働く場所があること |
| 8. 食の安全が保たれていること | 19. 仕事にやりがいを感じる |
| 9. 生活環境が良好なこと | 20. 生きがいがあること |
| 10. 近所づきあいが良好なこと | 21. 余暇が充実していること |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 22. その他 () |

問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. している | 4. していない |
| 2. どちらかというとしている | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとしていない | |

(2) かかりつけ医*がいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

*かかりつけ医……風邪などの病気や体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする決まった医療機関（医師）のことです。

(3) (2)で「1. いる」と答えた方におうかがいします。

かかりつけの医療機関を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 地域の病院や診療所 |
| 2. 総合病院（済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など） |
| 3. その他（ ） |

(4) あなたは、この1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1回 | 7. 年に6~10回 |
| 2. 週に4~5回 | 5. 月に2~3回 | 8. 年に1~5回 |
| 3. 週に2~3回 | 6. 月に1回 | 9. 特にしていない |

(5) 最近（この2~3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. よく利用する | 3. あまり利用しない（これまでに数回利用した程度） |
| 2. たまに利用する（年に数回程度） | 4. 利用したことがない |

問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）*を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない | |

*住民自治協議会（まちづくり協議会）……住民協議会、自治会連合会、公民館と市が住民自治のあり方を協議した結果できた、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的に地域づくりを行う組織です。

(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動（清掃活動・防災訓練・お祭りなど）に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 積極的に参加している | 3. 参加していない |
| 2. ときどき参加している | |

問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っている | 14. 防災対策が進んでいる |
| 2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている | 15. 騒音などの公害が少ない |
| 3. 道路が整備されている | 16. 歴史や伝統がある |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い | 17. 商業や事業を行うのに有利 |
| 5. 買い物が便利 | 18. 情報・通信が整備されている |
| 6. 働く場所がある | 19. 市の情報公開や情報提供が積極的 |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている | 20. ごみが落ちていない |
| 8. 保健・福祉施設が整っている | 21. 観光資源が豊富 |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 22. 食べ物がおいしい |
| 10. 医療施設、救急医療が整っている | 23. 交通マナーが良い |
| 11. 人と人とのつながりがある | 24. 空気がきれい |
| 12. 市政に参加する機会が多い | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている |
| 13. 治安が良い | 26. その他() |

(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っていない | 14. 防災対策が遅れている |
| 2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない | 15. 騒音などの公害が多い |
| 3. 道路が整備されていない | 16. 歴史や伝統がない |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い | 17. 商業や事業を行うのに不利 |
| 5. 買い物が不便 | 18. 情報・通信が整備されていない |
| 6. 働く場所がない | 19. 市の情報公開や情報提供が消極的 |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない | 20. ごみが落ちている |
| 8. 保健・福祉施設が整っていない | 21. 観光資源が少ない |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 22. 食べ物がおいしくない |
| 10. 医療施設、救急医療が整っていない | 23. 交通マナーが悪い |
| 11. 人と人とのつながりが薄い | 24. 空気が汚れている |
| 12. 市政に参加する機会が少ない | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない |
| 13. 治安が悪い | 26. その他() |

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかというに住みやすい | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというに住みにくい | |

問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(39)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(1)地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)交通事故のないまちづくり(交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16)どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19)障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
(21)子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27)森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29)企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30)地域資源を生かした観光政策(観光の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36)市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37)中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(○は1つだけ)

1. 満足	3. ふつう	5. 不満
2. やや満足	4. やや不満	

ここからは、
「松阪市の個々の課題について」
 おうかがいします



広報全般について

問8 松阪市の情報は主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. テレビ | 7. 行政チャンネル（アイウエーブまつさかなど） |
| 2. ラジオ | 8. 自治会などの回覧 |
| 3. 新聞 | 9. 知人・家族のクチコミ |
| 4. 松阪市ホームページ | 10. インターネットサイト（ネットニュースなど） |
| 5. SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど） | 11. その他（ ） |
| 6. 広報まつさか | |

問9 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 毎月読んでいる | 4. ほとんど読まない |
| 2. 大体読んでいる | 5. 読んだことがない・知らない |
| 3. 時々読む | |

問10 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 必要なときのみ |
| 2. 週1回以上 | 5. 災害時のみ |
| 3. 月1回以上 | 6. 見たことがない・知らない |

問11 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 必要なときのみ |
| 2. 週1回以上 | 5. 見たことがない・知らない |
| 3. 月1回以上 | |

問12 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」を知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ダウンロードして利用している | 4. 知らないが今後利用してみたい |
| 2. ダウンロードしているが利用していない | 5. 知らない |
| 3. 知っているがダウンロードしていない | |

問13 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報は何か。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 子育て情報 | 7. イベント情報 |
| 2. 学校・教育情報 | 8. 市政情報 |
| 3. 防災・安全情報 | 9. 観光情報 |
| 4. 災害情報 | 10. ボランティア情報 |
| 5. 健康情報 | 11. 利用者参加型企画（プレゼント企画等） |
| 6. ごみ情報 | 12. その他（ ） |

シビックプライド(松阪というまちを愛し、誇りに思う心)について

シビックプライドとは「都市に対する市民の誇り」であり、「まちを愛する心」です。「自身が生まれ育った場所」に愛着を抱く郷土愛と異なり、シビックプライドの対象は「移住した街」にも生まれます。そのため郷土愛は「生まれ故郷」に限定されますが、シビックプライドはその限りではありません。

問 15 あなたは松阪というまちに「シビックプライド」を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 大変持っている
2. まあまあ持っている
3. あまり持っていない
4. ほぼ持っていない

各種手続きのオンライン化について

現在、松阪市では皆さんが利用する市役所の各種手続きについて、パソコンやスマートフォンを使った「手続きのオンライン化」をすすめています。

問 16 これまでに松阪市の各種手続きを電子申請（オンライン申請）でしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない
3. わからない

問 17 電子申請（オンライン申請）が普及するために必要なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 電子申請ができる手続きの種類や数が増えること
2. 使いやすい電子申請の方法が整うこと
3. 機器（パソコンやスマートフォン）操作やセキュリティ、手続き面での不安がなくなること
4. 電子申請ができる機器（パソコンやスマートフォン）が普及すること
5. 職員による対面での支援や、窓口サービスの充実がすすむこと
6. その他（)

公民連携事業について

松阪市では、変化する社会に対応できる市役所であるために、市が持っていない民間ノウハウを導入する取組をすすめるなど「市と市民・事業所の協働がすすむまち（公民連携）」を目指しています。公民連携をすすめることで、松阪市がかかわりを持ちながら民間の力を活かしたり、民間の仕事を生み出しつつ行政の負担を減らしたりすることなどが考えられます。（取組の例：民間企業提案募集や広告掲載、公共施設の運営管理民間委託など）

問 18 松阪市が民間との連携（公民連携）をすすめることについてどのように思いますか。（○は1つだけ）

1. 積極的にすすめていくべき
2. どちらかというすすめていくべき
3. どちらかというすすめるべきではない
4. すすめるべきではない
5. わからない

問 19 次の市役所業務のうち、特に民間の力を活かすことができる分野は何だと思えますか。（○は3つまで）

1. 各種証明・届出手続きなどの窓口
2. 市民活動・地域活動などの支援
3. 産業の振興・支援
4. ごみ収集・清掃
5. 小中学校・幼稚園・保育園の運営
6. 保健医療・健康づくり
7. 福祉支援・相談
8. 生涯学習・公民館活動
9. 建設・建築工事など
10. 公共施設の管理運営
11. その他（ ）

現在、松阪市ですすめている「成果連動型事業」は、補助金の交付や業務委託費の支払い時に成果目標（達成度）を定めて事業をすすめることで最大限の効果が発揮できる民間事業者の力を活かした先進的な取組の一つですが、このような新しい試みはリスクが高い側面も持っています。

問 20 松阪市が、課題解決のために先進的な取組をすすめることについてどのように思いますか。（○は1つだけ）

1. 積極的にすすめていくべき
2. どちらかというすすめていくべき
3. どちらかというすすめるべきではない
4. すすめるべきではない
5. わからない

カーボンニュートラルについて

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

「排出を全体としてゼロにする」とは、二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減と吸収作用の保全・強化が必要である、とされています。

問 21 「カーボンニュートラル」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 内容まで知っている
2. 内容は知らないが言葉だけ知っている
3. 知らない

問 22 バイオマス発電など再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出しない低炭素の重要なエネルギー源です。再生可能エネルギーの活用についてどのように思われますか。(○は1つだけ)

1. 必要だと思う
2. どちらかというが必要だと思う
3. どちらかというが必要でないと思う
4. 必要でないと思う

問 23 2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、「地域脱炭素ロードマップ」が公表されています。松阪市が取り組むべきものとして重要だと思うものを以下から選んでください。(○は3つまで)

1. 公共施設や学校等の屋根への太陽光パネルの設置
2. 公共施設や学校等へのLEDなどの省エネ設備の導入
3. 公共施設や学校等の増改築時のZEB[※]化
4. 公用車などの電気自動車化等によるゼロカーボン・ドライブ
5. AI、IoT等の新技術を活用したスマートシティの推進
6. 食品リサイクルや家庭の生ごみのバイオマス化などの資源循環の高度化
7. 森林などの整備・保全、公園等の緑化、建築物の屋上の緑化空間の創出などによるCO₂吸収量の確保

※ZEB………快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

問 24 カーボンニュートラルを実現するために、わたしたちができるところから取り組むべき「ゼロカーボンアクション 30」が公表されています。あなたがすでに取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

1. エネルギーの節約(節電・節水、省エネ家電の導入、クールビズなど)
2. 省エネ住宅(太陽光パネルの設置、省エネリフォームなど)
3. CO₂の少ない交通(自転車・公共交通機関の利用、エコドライブ、電気自動車など)
4. 食品ロスをなくす(食べ残しゼロ、地元産の食材の利用など)
5. 環境保全活動への参加(ごみ拾い活動、植林活動など)
6. CO₂の少ない製品を選ぶ(環境配慮マークの付いた商品の購入など)
7. 3Rの実践(マイバッグやマイボトルの使用、ごみの分別の徹底など)
8. サステナブルファッション(今持っている服を長く大切に着る、環境に配慮した服を選ぶなど)
9. 今は取り組んでいないが、これから始めようと思っている
10. 今後とも取り組むつもりはない

問 25 カーボンニュートラルの実現に向けて、一人ひとりが自分のこととして取り組むために必要な情報は何かと思いますか。(○は2つまで)

1. 省エネの実践方法
2. 省エネ補助金など支援の情報
3. 食品ロスゼロの実践方法
4. 地域の環境保全活動の情報
5. 3R(ごみの分別の徹底や再利用など)の実践方法
6. その他()

福祉の重層的支援体制について

高齢者福祉、障がい福祉、子育て支援、生活困窮などの各制度は充実されてきていますが、一方で少子高齢化や家族・地域社会の変化などにより、8050問題、ひきこもりなど世帯（個人）が抱える困りごとが複雑化・多様化し、従来の福祉制度では対応しきれない世帯（個人）が増加してきています。そこで国では、このようなさまざまな困りごとを抱えながらも、地域が支え合い、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように、地域と協働しながら包括的に支援する仕組み（重層的支援体制整備）を創ろうという動きが出てきています。

そこで、松阪市では地域福祉の充実のために、令和3年度からこのような仕組みづくりに取り組んでおり、その取組のひとつとして、令和4年度からおおむね中学校区ごとに、身近な地域で相談を受け止める相談窓口「福祉まるごと相談室」を順次設置していきます。この相談室には、福祉職、医療職、地域づくり支援職員を配置し、健康や福祉の総合相談、地域の困りごとの相談、地域での支え合い活動の支援等を行っていきます。

令和4年7月に鎌田、嬭野、飯高のモデル3地区に「福祉まるごと相談室」を設置しました。

問 26 このような身近な地域で相談を受け止める取組（重層的支援・福祉まるごと相談室）は必要だと思いますか。（〇は1つだけ）

1. 必要だと思う
2. どちらかというが必要だと思う
3. どちらかというが必要でないと思う
4. 必要でないと思う

問 27 あなたは今、どのようなことでお困りですか。（〇は3つまで）

1. 病気や健康に関すること
2. 住まいに関すること
3. 経済的な問題（収入面や多重債務など）に関すること
4. 仕事探しや就職に関すること
5. 地域との関係
6. 家族関係・家族の問題
7. 子育てに関すること
8. 介護に関すること
9. ひきこもり・不登校
10. DV・虐待
11. 頼れる人がいないこと
12. 日常の移動手段（通院・買い物など）に関すること
13. その他（)
14. 困っていることはない

問 28 あなたは将来について、どのような不安がありますか。(〇は3つまで)

1. 健康に関すること
2. 収入・家計に関すること
3. 就職に関すること
4. 住まいに関すること
5. 介護や医療に関すること
6. 子育てや子どもの将来に関すること
7. 家族や配偶者に先立たれた後のこと
8. 日常の移動手段(通院・買い物など)に関すること
9. 資産・金銭管理に関すること
10. 自分の死後事務の手続きに関すること
11. その他 ()
12. 不安はない

問 29 どのようなことを行政に支援・充実してほしいですか。(〇は3つまで)

1. あらゆる世代を対象とした健康や福祉の相談窓口
2. 相談方法の充実(訪問相談・出張相談、SNS、メール、オンライン相談)
3. さまざまな福祉サービスの利用に関する手続きの案内
4. ライフプラン(人生設計)に関する相談(医療や介護費用、資産・金銭管理など)
5. 健康づくりに関する教室や講座の開催
6. 子育てに関すること(相談支援、地域の子育て世代の集い)
7. 地域の社会資源(福祉サービス、ボランティア、地域交流の場など)の情報の発信
8. 地域における居場所づくりの支援(多世代交流サロン、子ども食堂など)
9. ボランティア支援等地域での支え合い活動の支援(見守り・家事支援・買い物支援など)
10. 地域の困りごとの解決に向けた取組
11. その他 ()
12. 特にない

終活及び死後事務の心配について

令和2年9月から配布している松阪市版エンディングノート「もめんノート」は、終末期等の医療や介護の希望、財産の処分のことなどを家族等に伝えるために特に有用な終活ツールです。

一方で、令和4年9月から、松阪市エンディングサポート事業として、死後事務委任[※]に関する相談窓口を開設します。今後の方向性についてお聞きします。

[※]死後事務委任 …… 生前準備のひとつとして、ご自身が亡くなった後に発生する相続財産以外の諸手続き（医療費・家賃等の支払い、葬儀・納骨・永代供養等に関する事等）を、あらかじめ委任しておくことをいいます。

問 30 ご自身は終活すべきと感じていますか。(○は1つだけ)

1. 感じている
2. 感じていない
3. どちらでもない

問 31 問 30 で「1. 感じている」と答えた方におうかがいします。

自身の終活に必要なと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 財産（家・土地・預貯金等）の処分の準備（遺言書の作成）
2. 葬式、お墓の準備
3. 延命治療の要否の表明
4. 断捨離（不用品等の処分）
5. 終の住まい
6. その他（ ）

問 32 自身の死後（および疎遠な独居の家族がいる場合はその方の死後）に心配なことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 財産（家・土地・預貯金等）の管理
2. 葬式、お墓の希望が叶うか
3. 各種料金（医療費、家賃、公共料金、サービス利用料等）の支払いのこと
4. その他（ ）

観光施策について

問 33 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 観光地である | 4. 観光地ではない |
| 2. どちらかといえば観光地である | 5. どちらでもない |
| 3. どちらかといえば観光地ではない | |

問 34 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 歴史・文化 | 7. アート |
| 2. まちなみ | 8. 宿泊施設 |
| 3. グルメ・食事 | 9. 温泉 |
| 4. 特産品・お土産 | 10. アクセスのしやすさ |
| 5. 自然 | 11. 周辺観光スポットの数 |
| 6. アクティビティ | 12. その他 () |

問 35 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介(自慢)しますか。(○は2つまで)

- | | |
|--|--|
| 1. 歴史、文化、まちなみ(例:松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど) | |
| 2. グルメ(松阪牛) | |
| 3. グルメ(松阪牛以外) | |
| 4. 特産品、お土産(例:松阪もめん、松阪茶など) | |
| 5. 自然、アクティビティ(例:櫛田川、香肌峡など) | |
| 6. 郷土の偉人(例:蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など) | |
| 7. その他 () | |
| 8. 特にない | |

問 36 これから松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|---|--|
| 1. 歴史・文化のまちとしてPR(例:松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど) | |
| 2. 食のまちとしてPR(松阪牛) | |
| 3. 食のまちとしてPR(松阪牛以外) | |
| 4. 特産品をPR(例:松阪もめん、松阪茶など) | |
| 5. 豊かな自然をPR(例:櫛田川、香肌峡など) | |
| 6. 郷土の偉人をPR(例:蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など) | |
| 7. その他 () | |

問 37 どのようなところに向けた P R や情報発信をすればいいと思いますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|--------|------------|
| 1. 首都圏 | 5. 市内 |
| 2. 関西圏 | 6. 国外 |
| 3. 東海圏 | 7. その他 () |
| 4. 県内 | |

問 38 どのような方法で P R や情報発信をすればいいと思いますか。(○は 2 つまで)

- | |
|---|
| 1. イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など) |
| 2. WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など) |
| 3. SNS (Instagram、Facebook、Twitter、LINE、YouTube など) |
| 4. テレビ広告 |
| 5. 新聞・ラジオへの広告掲載 |
| 6. 雑誌・旅行情報誌への広告掲載 |
| 7. ふるさと納税による P R |
| 8. その他 () |

医療に対する意識について

問 39 この 2 年間、国内においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出の自粛等を求められた時期がありました。あなた自身は、地域の病院 (済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院などを除く) や診療所への受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 減った | 2. 変わらない | 3. 増えた |
|--------|----------|--------|

問 40 問 39 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は 1 つだけ)

- | |
|--|
| 1. 受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった |
| 2. これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった |
| 3. 以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った |
| 4. 定期受診の間隔が長くなったことにより、受診が減った |
| 5. その他 () |

問 41 この 2 年間、あなた自身は、健康診断、検診等の受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 減った | 2. 変わらない | 3. 増えた |
|--------|----------|--------|

問 42 問 41 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は 1 つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 受診しなかったが、どうしても感染が心配で受診できなかった |
| 2. 感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった |
| 3. その他 () |

問 43 この 2 年間、あなた自身は、総合病院への受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 減った | 2. 変わらない | 3. 増えた |
|--------|----------|--------|

問 44 問 43 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は 1 つだけ)

- | |
|--|
| 1. 受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった |
| 2. これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった |
| 3. 感染リスクを考え、まちの診療所を受診するようになった |
| 4. 以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った |
| 5. 定期受診の間隔が長くなったことにより、受診が減った |
| 6. その他 () |

問 45 新型コロナウイルス感染症が終息したら、医療機関（まちの診療所や総合病院）あるいは健康診断（検診などを含む）への受診をどうしますか。(○は 1 つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 医療機関も健康診断も、以前のように積極的に受診を再開したい |
| 2. 医療機関だけは、以前のように積極的に受診を再開したい |
| 3. 健康診断だけは、以前のように積極的に受診を再開したい |
| 4. 今の受診状況から特に増えることもなく、別に変わらないと思う |

COPD（慢性閉塞性肺疾患）に係る認知度について

問 46 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患*）という病気を知っていますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. どんな病気か知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことがあるが、内容までは知らない | |

*COPD（慢性閉塞性肺疾患）……たばこの煙などの有害物質を吸い続けることで肺や気管支に慢性的な炎症を起こして、息切れや咳がひどくなり呼吸困難を招く進行性の病気。以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。

最後に

市政に対するご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。



郵送でご回答いただく方は、
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
9月5日(月)までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

松阪市 市民意識調査
結果報告書

令和4年11月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-22-1377

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp